

令和 6 年度
中野区一般廃棄物処理基本計画改定に
伴う基礎調査
報告書

令和 7（2025）年 3 月

〈目 次〉

第 1 章 調査全体の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の種類	1
第 2 章 家庭ごみアンケート調査	2
1 調査概要	2
2 回答者の属性	3
3 調査結果	6
第 3 章 事業所アンケート調査	65
1 調査概要	65
2 回答事業所の属性	66
3 調査結果	68
第 4 章 ごみ組成分析調査	101
1 調査概要	101
2 燃やすごみの調査結果	105
3 陶器・ガラス・金属ごみの調査結果	110
4 食品ロスの調査結果	115
5 過去の調査結果との比較	119
第 5 章 排出原単位調査	122
1 調査の概要	122
2 調査結果	123
第 6 章 考察	125
1 家庭ごみと事業系ごみの推計	125
2 排出実態調査から得られた知見	131

第 1 章 調査全体の概要

1 調査の目的

中野区は、令和 3 年 9 月に第 4 次中野区一般廃棄物処理基本計画を改定した。この計画は、令和 3 年度から令和 12 年度を計画期間とし、概ね 5 年後、または社会情勢等の変化を踏まえ、必要に応じて改定することとしている。

本調査は、区民・事業者へのアンケート調査、ごみ組成分析調査、及び排出原単位調査により、区民・事業者のごみ減量・リサイクルへの取組実態や意識・意向、家庭ごみの組成、区民 1 人 1 日当たりの排出量等を把握し、一般廃棄物処理基本計画を改定するための基礎資料とすることを目的とするものである。

2 調査の種類

上記の目的のため、以下の調査を実施した。

(1) 家庭ごみアンケート調査

無作為に抽出した 20 歳以上の区民 1,500 人を対象に、郵送によりアンケート調査を実施した。

(2) 事業所ごみアンケート調査

区に事業系ごみ区収集の届け出を行っている事業所の中から無作為に抽出した 1,000 事業所を対象に、郵送によりアンケート調査を実施した。

(3) ごみ組成調査

ごみ集積所に排出された燃やすごみと陶器・ガラス・金属ごみの組成割合を調査した。

(4) 排出原単位調査

区民 1 人 1 日当たりの燃やすごみの排出量（排出原単位）を調査した。

第 2 章 家庭ごみアンケート調査

1 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、一般廃棄物処理基本計画改定の基礎資料として区が行っている施策に関する評価やごみに関する意識、具体的な行動を把握することを目的に実施した。

(2) 調査対象

住民基本台帳から無作為に抽出した 20 歳以上の区民、1,500 人（1,500 世帯）を対象とした。

(3) 調査方法

調査票の送付は郵送により行った。回答は郵送、またはインターネット上の回答フォームへの入力とした。後日、ご協力へのお礼とご回答のお願いをはがきで郵送した。

(4) 調査期間

令和 6 年 7 月 22 日～8 月 2 日

(5) 回収状況

発送数は 1,500 通、宛先不明等で 15 通が返送されたため有効発送数は 1,485 通である。有効回答数は 690 通（郵送回答 472 件、ネット回答 218 件）で、回答率は 46.5%である。

(6) 集計結果の留意事項

回答者の属性別の集計表は、上段が回答者数、下段が構成比を示している。
なお、構成比の合計値は四捨五入の関係で 100%にならない項目がある。

2 回答者の属性

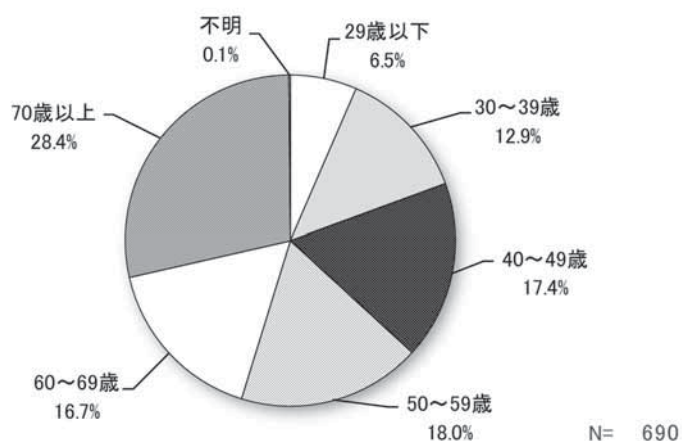
回答者の属性は以下のとおりである。

(1) 年齢

70代以上が最も多く 28.4%、次いで 50代が 18.0%、40代が 17.4%などであった。

図表 2-1 回答者の年齢

選択肢	回答数	割合
29歳以下	45	6.5%
30～39歳	89	12.9%
40～49歳	120	17.4%
50～59歳	124	18.0%
60～69歳	115	16.7%
70歳以上	196	28.4%
不明	1	0.1%
合計	690	100.0%

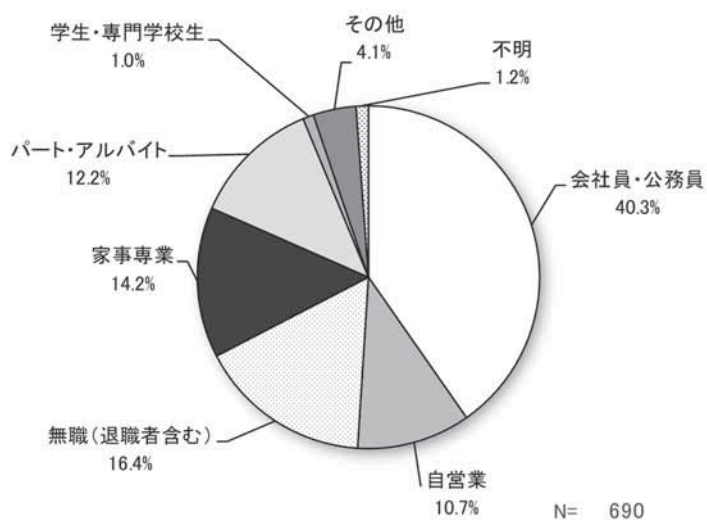


(2) 職業

会社員・公務員が最も多く 40.3%、次いで無職（退職者を含む）が 16.4%、家事専業 14.2%、などとであった。

図表 2-2 回答者の職業

選択肢	回答数	割合
会社員・公務員	278	40.3%
自営業	74	10.7%
無職(退職者含む)	113	16.4%
家事専業	98	14.2%
パート・アルバイト	84	12.2%
学生・専門学校生	7	1.0%
その他	28	4.1%
不明	8	1.2%
合計	690	100.0%

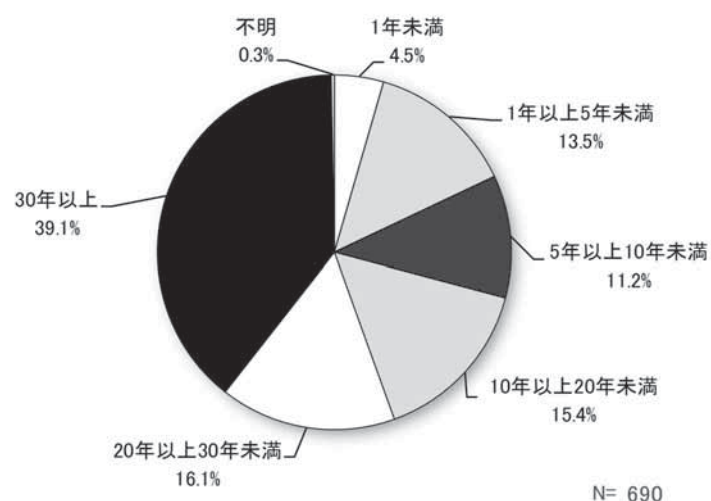


(3) 居住年数

30 年以上が最も多く 39.1%、次いで 20 年以上 30 年未満が 16.1%、10 年以上 20 年未満が 15.4%などであった。

図表 2-3 回答者の居住年数

選択肢	回答数	割合
1年未満	31	4.5%
1年以上5年未満	93	13.5%
5年以上10年未満	77	11.2%
10年以上20年未満	106	15.4%
20年以上30年未満	111	16.1%
30年以上	270	39.1%
不明	2	0.3%
合計	690	100.0%

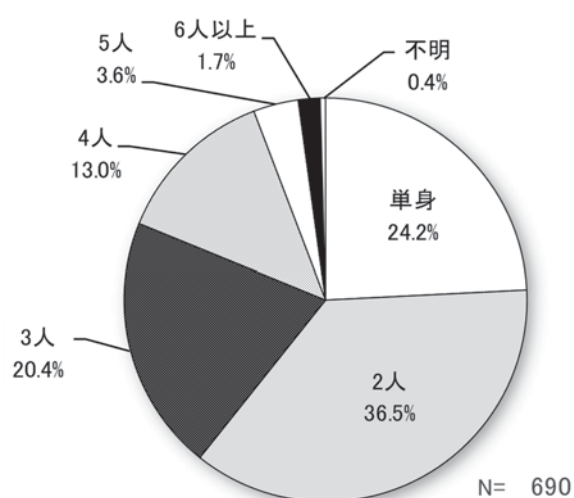


(4) 世帯人数

2人世帯が最も多く 36.5%、次いで単身世帯が 24.2%、3人世帯が 20.4%などであった。

図表 2-4 回答者の世帯人数

選択肢	回答数	割合
単身	167	24.2%
2人	252	36.5%
3人	141	20.4%
4人	90	13.0%
5人	25	3.6%
6人以上	12	1.7%
不明	3	0.4%
合計	690	100.0%

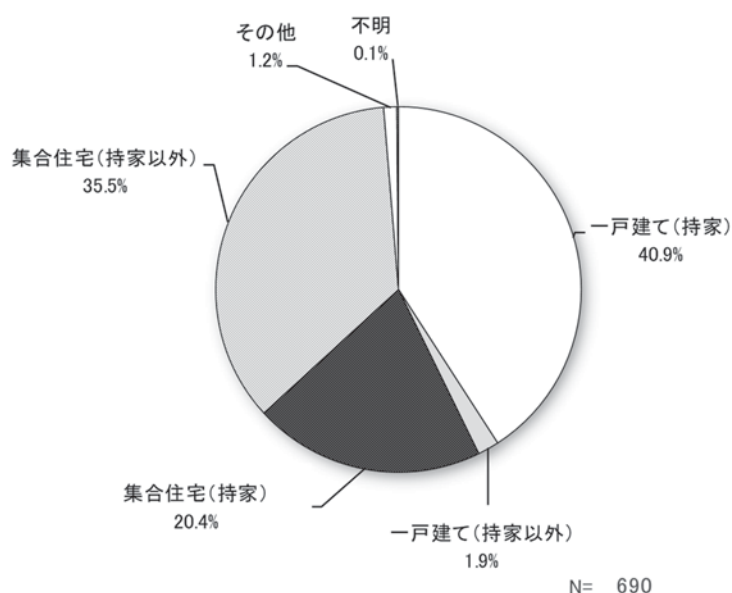


(5) 住居形態

一戸建て（持家）が最も多く 40.9%、次いで集合住宅（持家以外）が 35.5%、集合住宅（持家）が 20.4%などであった。

図表 2-5 回答者の住居形態

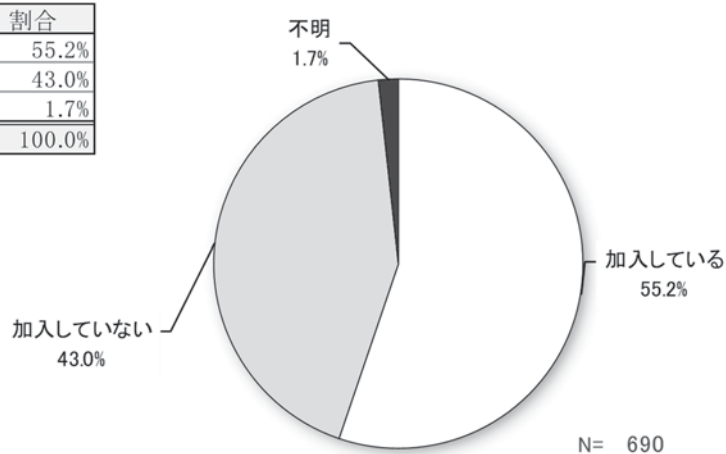
選択肢	回答数	割合
一戸建て(持家)	282	40.9%
一戸建て(持家以外)	13	1.9%
集合住宅(持家)	141	20.4%
集合住宅(持家以外)	245	35.5%
その他	8	1.2%
不明	1	0.1%
合計	690	100.0%



(6) 町会・自治会への加入

町会・自治会に加入しているとの回答は 55.2%、加入していないとの回答は 43.0%であった。

選択肢	回答数	割合
加入している	381	55.2%
加入していない	297	43.0%
不明	12	1.7%
合計	690	100.0%



3 調査結果

(1) 普段の暮らしや関心事について

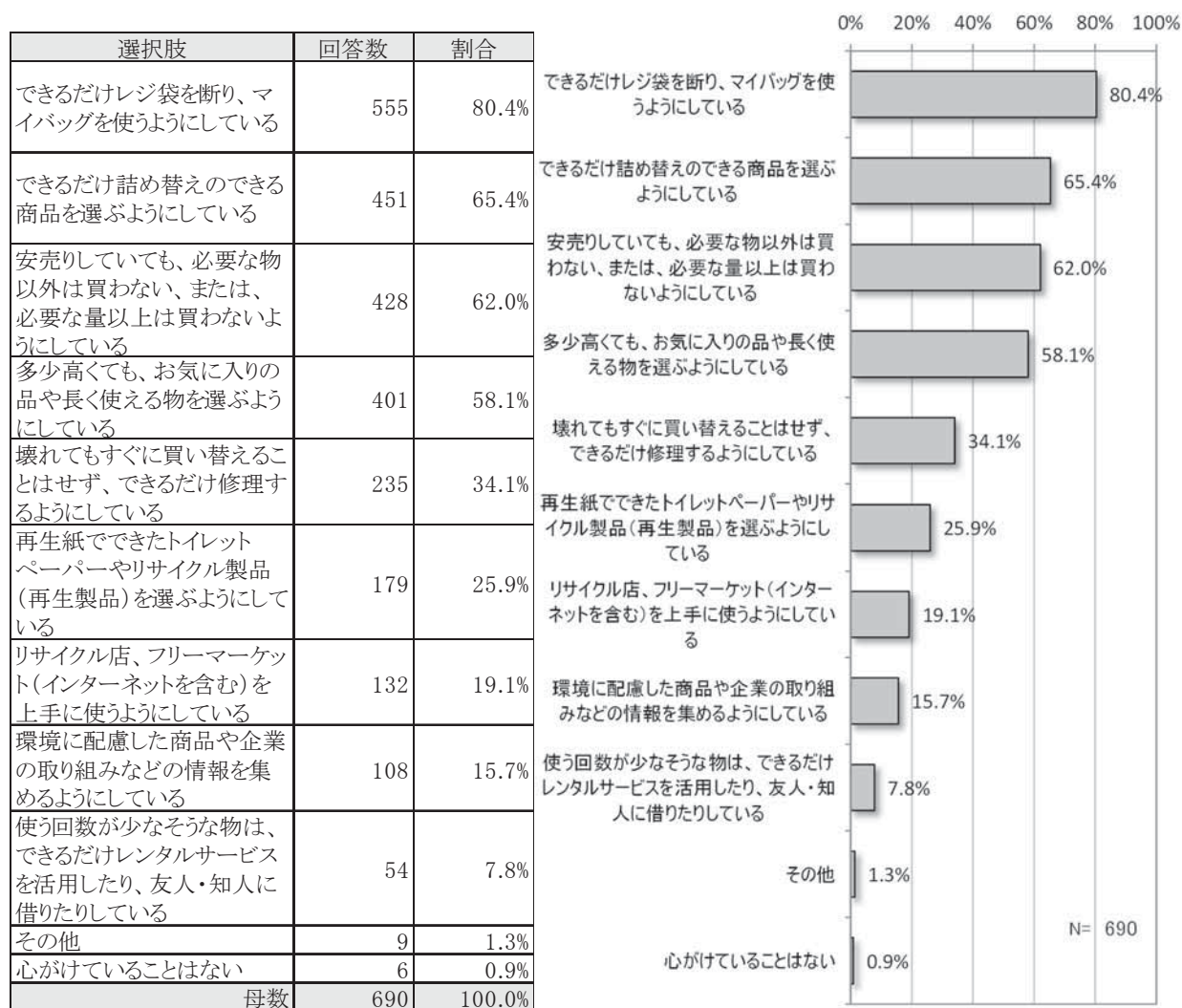
①日常のごみ減量行動について

問 2(1) 次のうち、あなたが普段心がけていることはどんなことですか。(複数回答)

令和 2 年 7 月に容器包装リサイクル法の施行規則によりレジ袋有料化が導入されていることもあり、「できるだけレジ袋を断る」が 80.4%で最も多くなっている。

また、前回の調査結果（図表 2-7）に比べ、「できるだけ詰め替えのできる商品を選ぶ」が増加し、65.4%となっている。詰め替え可能な洗剤やシャンプー等の普及が拡大していることも要因と考えられる。

図表 2-6 普段心がけているごみ減量行動

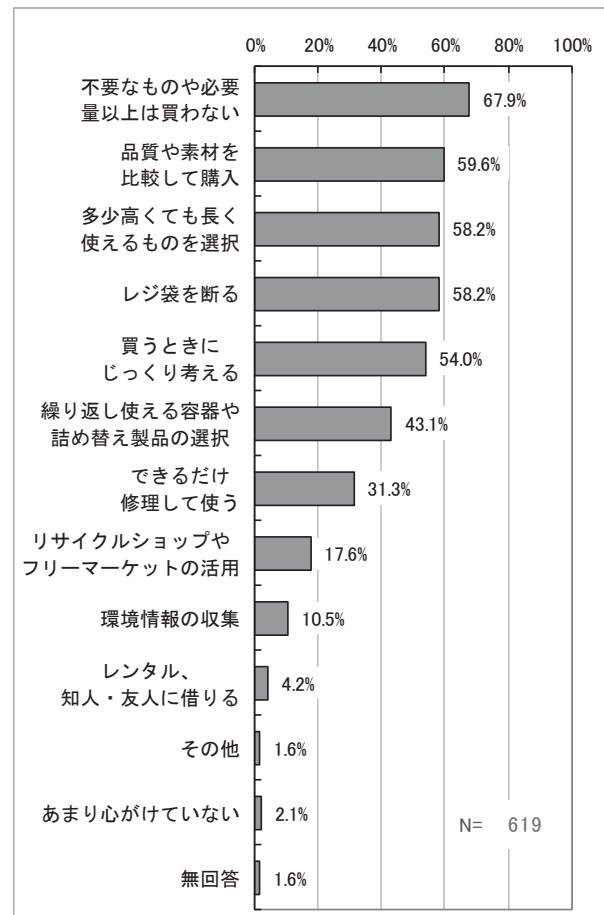


【その他】の具体的記述

- ・ 物は買わない
 - ・ 社会の情報で常識的に自分で判断する
 - ・ 捨てる時のことを考える
 - ・ ある程度の範囲で購入店舗を決めている
- など

図表 2-7 （参考）普段心がけているごみ減量行動（前回令和元年度調査）

項 目	回答数	割合
安売りしていても、必要なもの以外は買わない、または、必要な量以上は買わないようにしている	420	67.9%
値段だけでなく、商品をじっくりと見て、品質や素材などを比較して買うようにしている	369	59.6%
多少高くても、お気に入りの品や長く使えるものを選ぶようにしている	360	58.2%
できるだけレジ袋を断り、マイバッグを使うようにしている	360	58.2%
使う回数が少なそうな物は、買うかどうかをじっくり考える	334	54.0%
できるだけ繰り返し使える容器や詰め替え可能な商品を選ぶようにしている	267	43.1%
壊れてもすぐに買い替えることはせず、できるだけ修理するようになっている	194	31.3%
リサイクル店、フリーマーケット(ウェブサイトを含む)を上手に使うようにしている	109	17.6%
環境の取り組みについての情報をいろいろと集めるようにしている	65	10.5%
できるだけレンタルサービスを活用したり、友人・知人に借りたりするようにしている	26	4.2%
その他	10	1.6%
上記のことについてはあまり心がけていない	13	2.1%
無回答	10	1.6%
全体回答者数	619	



図表 2-8 は、属性別のクロス集計結果である。

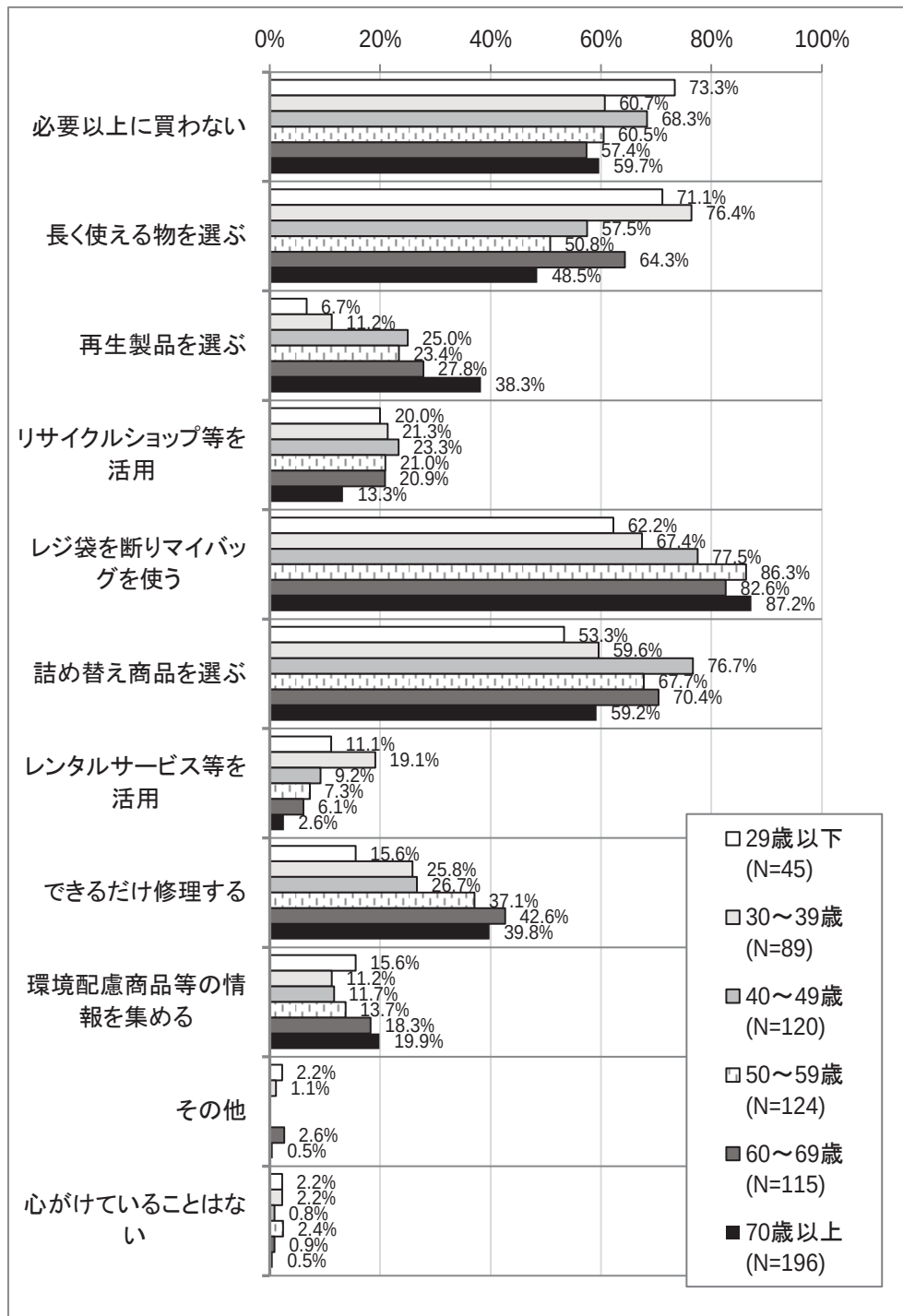
年齢別に見ると、「レジ袋を断りマイバッグを使う」は 20 代、30 代が低く 60% 台となっている。「詰め替え商品を選ぶ」も同様の傾向である。(グラフ：図表 2-9)

世帯人数別に見ると、「必要以上に買わない」との回答割合は、単身世帯が 2 人以上の世帯よりも高い一方、「レジ袋を断りマイバッグを使う」行動は低い傾向にあるといった特徴が見られる。

図表 2-8 普段心がけているごみ減量行動（属性別クロス集計）

		回答数	必要以上に買わない	長く使える物を選ぶ	再生製品を選ぶ	リサイクルショップ等を活用	レジ袋を断りマイバッグを使う	詰め替え商品を選ぶ	レンタルサービス等を活用	できるだけ修理する	環境配慮商品等の情報を集める	その他	心がけていることはない
全体		690 (100%)	428 (62.0%)	401 (58.1%)	179 (25.9%)	132 (19.1%)	555 (80.4%)	451 (65.4%)	54 (7.8%)	235 (34.1%)	108 (15.7%)	6 (0.9%)	9 (1.3%)
年 齢	29歳以下	45 (100%)	33 (73.3%)	32 (71.1%)	3 (6.7%)	9 (20.0%)	28 (62.2%)	24 (53.3%)	5 (11.1%)	7 (15.6%)	7 (15.6%)	1 (2.2%)	1 (2.2%)
	30～39歳	89 (100%)	54 (60.7%)	68 (76.4%)	10 (11.2%)	19 (21.3%)	60 (67.4%)	53 (59.6%)	17 (19.1%)	23 (25.8%)	10 (11.2%)	1 (1.1%)	2 (2.2%)
	40～49歳	120 (100%)	82 (68.3%)	69 (57.5%)	30 (25.0%)	28 (23.3%)	93 (77.5%)	92 (76.7%)	11 (9.2%)	32 (26.7%)	14 (11.7%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)
	50～59歳	124 (100%)	75 (60.5%)	63 (50.8%)	29 (23.4%)	26 (21.0%)	107 (86.3%)	84 (67.7%)	9 (7.3%)	46 (37.1%)	17 (13.7%)	0 (0.0%)	3 (2.4%)
	60～69歳	115 (100%)	66 (57.4%)	74 (64.3%)	32 (27.8%)	24 (20.9%)	95 (82.6%)	81 (70.4%)	7 (6.1%)	49 (42.6%)	21 (18.3%)	3 (2.6%)	1 (0.9%)
	70歳以上	196 (100%)	117 (59.7%)	95 (48.5%)	75 (38.3%)	26 (13.3%)	171 (87.2%)	116 (59.2%)	5 (2.6%)	78 (39.8%)	39 (19.9%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)
	60歳以上	196 (100%)	117 (59.7%)	95 (48.5%)	75 (38.3%)	26 (13.3%)	171 (87.2%)	116 (59.2%)	5 (2.6%)	78 (39.8%)	39 (19.9%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)
職 業	会社員・公務員	278 (100%)	172 (61.9%)	185 (66.5%)	52 (18.7%)	51 (18.3%)	208 (74.8%)	182 (65.5%)	33 (11.9%)	82 (29.5%)	42 (15.1%)	1 (0.4%)	5 (1.8%)
	自営業	74 (100%)	50 (67.6%)	46 (62.2%)	24 (32.4%)	16 (21.6%)	63 (85.1%)	49 (66.2%)	6 (8.1%)	29 (39.2%)	12 (16.2%)	0 (0.0%)	2 (2.7%)
	無職(退職者含む)	113 (100%)	66 (58.4%)	71 (62.8%)	34 (30.1%)	18 (15.9%)	95 (84.1%)	77 (68.1%)	4 (3.5%)	49 (43.4%)	20 (17.7%)	2 (1.8%)	1 (0.9%)
	家事専業	98 (100%)	61 (62.2%)	45 (45.9%)	29 (29.6%)	16 (16.3%)	81 (82.7%)	59 (60.2%)	3 (3.1%)	37 (37.8%)	17 (17.3%)	2 (2.0%)	1 (1.0%)
	パート・アルバイト等	119 (100%)	76 (63.9%)	51 (42.9%)	37 (31.1%)	30 (25.2%)	102 (85.7%)	78 (65.5%)	7 (5.9%)	38 (31.9%)	16 (13.4%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)
	パート・アルバイト等	119 (100%)	76 (63.9%)	51 (42.9%)	37 (31.1%)	30 (25.2%)	102 (85.7%)	78 (65.5%)	7 (5.9%)	38 (31.9%)	16 (13.4%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)
居 住 年 数	1年未満	31 (100%)	22 (71.0%)	18 (58.1%)	1 (3.2%)	6 (19.4%)	21 (67.7%)	20 (64.5%)	4 (12.9%)	9 (29.0%)	3 (9.7%)	2 (6.5%)	0 (0.0%)
	1年以上5年未満	93 (100%)	63 (67.7%)	70 (75.3%)	16 (17.2%)	18 (19.4%)	64 (68.8%)	58 (62.4%)	5 (5.4%)	20 (21.5%)	9 (9.7%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)
	5年以上10年未満	77 (100%)	51 (66.2%)	51 (66.2%)	10 (13.0%)	18 (23.4%)	57 (74.0%)	54 (70.1%)	10 (13.0%)	27 (35.1%)	13 (16.9%)	0 (0.0%)	1 (1.3%)
	10年以上20年未満	106 (100%)	67 (63.2%)	66 (62.3%)	24 (22.6%)	22 (20.8%)	83 (78.3%)	70 (66.0%)	6 (5.7%)	27 (25.5%)	12 (11.3%)	1 (0.9%)	3 (2.8%)
	20年以上30年未満	111 (100%)	63 (56.8%)	65 (58.6%)	30 (27.0%)	27 (24.3%)	98 (88.3%)	68 (61.3%)	12 (10.8%)	46 (41.4%)	26 (23.4%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)
	30年以上	270 (100%)	160 (59.3%)	131 (48.5%)	98 (36.3%)	41 (15.2%)	231 (85.6%)	180 (66.7%)	17 (6.3%)	106 (39.3%)	45 (16.7%)	2 (0.7%)	3 (1.1%)
	30年以上	270 (100%)	160 (59.3%)	131 (48.5%)	98 (36.3%)	41 (15.2%)	231 (85.6%)	180 (66.7%)	17 (6.3%)	106 (39.3%)	45 (16.7%)	2 (0.7%)	3 (1.1%)
世 帯 人 数	単身	167 (100%)	113 (67.7%)	95 (56.9%)	45 (26.9%)	27 (16.2%)	121 (72.5%)	102 (61.1%)	11 (6.6%)	51 (30.5%)	20 (12.0%)	3 (1.8%)	4 (2.4%)
	2人	252 (100%)	155 (61.5%)	155 (61.5%)	68 (27.0%)	44 (17.5%)	208 (82.5%)	163 (64.7%)	14 (5.6%)	87 (34.5%)	41 (16.3%)	2 (0.8%)	4 (1.6%)
	3人	141 (100%)	82 (58.2%)	81 (57.4%)	39 (27.7%)	27 (19.1%)	112 (79.4%)	89 (63.1%)	21 (14.9%)	52 (36.9%)	25 (17.7%)	1 (0.7%)	1 (0.7%)
	4人	90 (100%)	54 (60.0%)	51 (56.7%)	18 (20.0%)	24 (26.7%)	79 (87.8%)	69 (76.7%)	6 (6.7%)	33 (36.7%)	10 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	5人以上	37 (100%)	21 (56.8%)	18 (48.6%)	9 (24.3%)	10 (27.0%)	33 (89.2%)	26 (70.3%)	2 (5.4%)	11 (29.7%)	12 (32.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	5人以上	37 (100%)	21 (56.8%)	18 (48.6%)	9 (24.3%)	10 (27.0%)	33 (89.2%)	26 (70.3%)	2 (5.4%)	11 (29.7%)	12 (32.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
住 居 形 態	一戸建て	295 (100%)	168 (56.9%)	155 (52.5%)	89 (30.2%)	60 (20.3%)	253 (85.8%)	199 (67.5%)	23 (7.8%)	115 (39.0%)	53 (18.0%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)
	集合住宅(持家)	141 (100%)	90 (63.8%)	90 (63.8%)	35 (24.8%)	25 (17.7%)	115 (81.6%)	100 (70.9%)	10 (7.1%)	56 (39.7%)	27 (19.1%)	2 (1.4%)	2 (1.4%)
	集合住宅(持家以外)等	253 (100%)	169 (66.8%)	156 (61.7%)	55 (21.7%)	47 (18.6%)	186 (73.5%)	151 (59.7%)	21 (8.3%)	64 (25.3%)	28 (11.1%)	4 (1.6%)	6 (2.4%)
町 加 入 会 入 の	加入している	381 (100%)	213 (55.9%)	214 (56.2%)	109 (28.6%)	73 (19.2%)	318 (83.5%)	250 (65.6%)	24 (6.3%)	132 (34.6%)	70 (18.4%)	3 (0.8%)	4 (1.0%)
	加入していない	297 (100%)	205 (69.0%)	181 (60.9%)	66 (22.2%)	57 (19.2%)	227 (76.4%)	193 (65.0%)	28 (9.4%)	96 (32.3%)	37 (12.5%)	3 (1.0%)	5 (1.7%)

図表 2-9 普段心がけているごみ減量行動（年齢別）

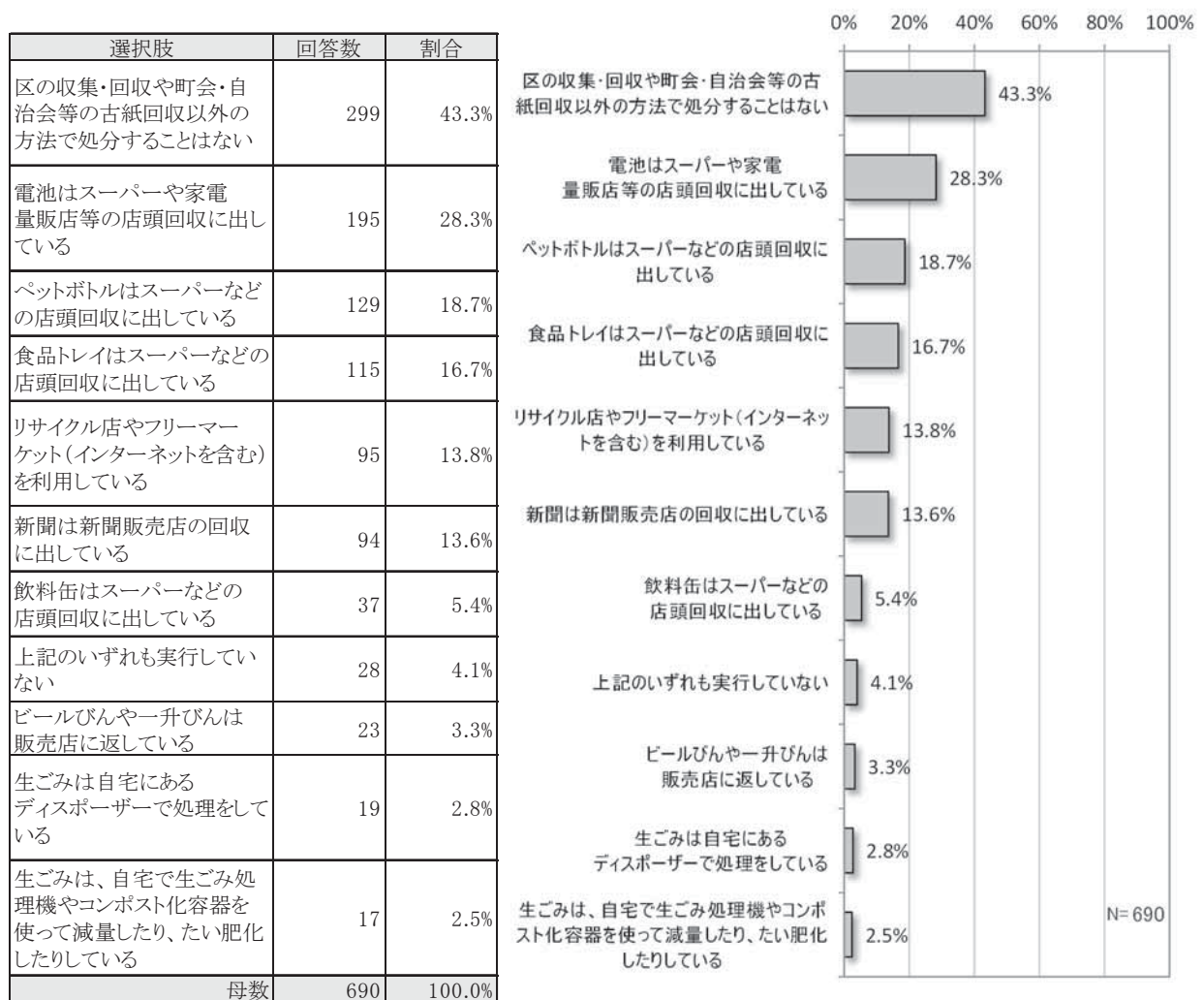


②不用物の処分方法（区回収・集団回収以外）

問 2(2) ご家庭で不用になったものの処分について、区の回収や町会・自治会等の古紙回収以外の方法で処分することはありますか。（複数回答）

「区収集・回収、集団回収以外では処分していない」とする回答が 43.3%と最も多い。
店頭回収については、「電池」が 28.3%、「ペットボトル」が 18.7%、「食品トレイ」が 16.7%が利用していると回答している。

図表 2-10 不用物の処分方法（区回収・集団回収以外）



【その他】の内容

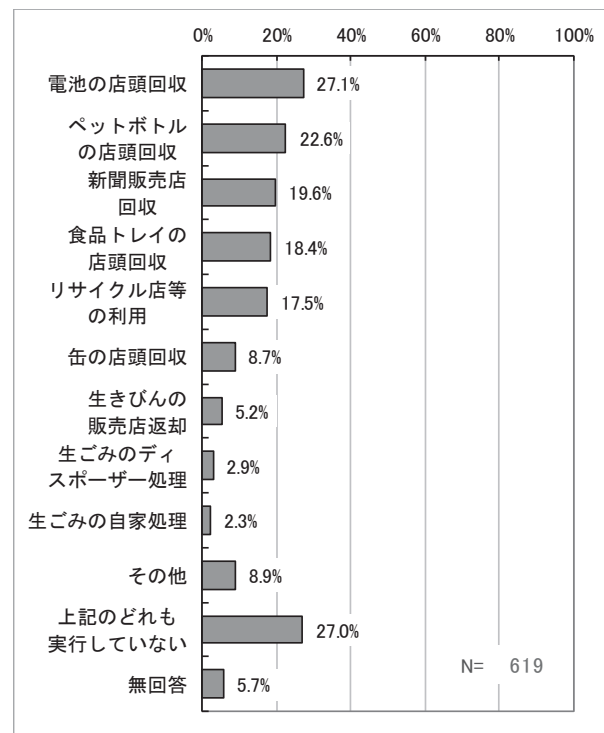
- ・ 古着は購入した店で引き取ってくれる場合は引き取ってもらっている
 - ・ 宅配の際に回収してもらっている
 - ・ ペットボトルのキャップのみ、スーパーの回収に出している
- など

参考として、前回の調査結果を図表 2-11 に示す。

今回と前回のアンケート結果はほぼ同様の傾向であるが、「新聞販売店の回収」は前回の 19.6%から今回は 13.6%に低下しており、新聞販売部数の低下が影響しているものと考えられる。

図表 2-11 （参考）不用物の処分方法（前回令和元年度調査）

項 目	回答数	割合
電池は家電量販店等の店頭回収に出している	168	27.1%
ペットボトルはスーパーなどの店頭回収に出している	140	22.6%
読み終えた新聞は新聞販売店の回収に出している	121	19.6%
食品トレイはスーパーなどの店頭回収に出している	114	18.4%
リサイクル店やフリーマーケット(ウェブサイトを含む)を利用している	108	17.5%
飲料缶はスーパーなどの店頭回収に出している	54	8.7%
ビールびんや一升びんは販売店に返している	32	5.2%
生ごみは自宅にあるディスポーザーで処理をしている	18	2.9%
生ごみは自宅で生ごみ処理機を使って減量したり、コンポスト(たい肥)化をしたりしている	14	2.3%
その他	55	8.9%
上記のどれも実行していない	167	27.0%
無回答	35	5.7%
全体回答者数	619	



図表 2-12 は、属性別のクロス集計結果である。

- ・ 年代別にみると、新聞販売店回収やペットボトル・食品トレイの店頭回収の利用は、20 代、30 代の若年層では実施率が他世代に比べて低い。一方、インターネットも含むリサイクル店、フリーマーケットの利用率は 60 代以上の年代が低いといった傾向が見られる。
- ・ 世帯人数別にみると、単身世帯は販売店回収、店頭回収、リサイクル店の利用などの区収集・集団回収以外の処分の実施率が低いといった傾向が見られる。

図表 2-12 不用物の処分方法（属性別クロス集計）

		回答数	問2(2) 不用物の処分方法(区回収・集団回収以外)										
			新聞販売 店の回収	ビールびん 等の販売 店返却	飲料缶の 店頭回収	ペットボト ルの店頭 回収	食品トレイ の店頭回 収	生ごみの 減量、たい 肥化	生ごみの デスポー ザー処理	リサイクル 店やフリー マーケット 利用	電池の店 頭回収	上記のい ずれも実 行してい ない	区収集・ 回収、古 紙回収以 外で処分 していない
全体		690 (100%)	94 (13.6%)	23 (3.3%)	37 (5.4%)	129 (18.7%)	115 (16.7%)	17 (2.5%)	19 (2.8%)	95 (13.8%)	195 (28.3%)	28 (4.1%)	299 (43.3%)
年齢	29歳以下	45 (100%)	1 (2.2%)	2 (4.4%)	2 (4.4%)	7 (15.6%)	5 (11.1%)	1 (2.2%)	0 (0.0%)	9 (20.0%)	5 (11.1%)	1 (2.2%)	17 (37.8%)
	30～39歳	89 (100%)	3 (3.4%)	2 (2.2%)	4 (4.5%)	10 (11.2%)	10 (11.2%)	1 (1.1%)	2 (2.2%)	16 (18.0%)	21 (23.6%)	2 (2.2%)	35 (39.3%)
	40～49歳	120 (100%)	9 (7.5%)	3 (2.5%)	2 (1.7%)	24 (20.0%)	19 (15.8%)	3 (2.5%)	5 (4.2%)	21 (17.5%)	32 (26.7%)	4 (3.3%)	42 (35.0%)
	50～59歳	124 (100%)	17 (13.7%)	4 (3.2%)	6 (4.8%)	30 (24.2%)	23 (18.5%)	5 (4.0%)	4 (3.2%)	23 (18.5%)	39 (31.5%)	4 (3.2%)	47 (37.9%)
	60～69歳	115 (100%)	17 (14.8%)	6 (5.2%)	11 (9.6%)	24 (20.9%)	21 (18.3%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	15 (13.0%)	30 (26.1%)	6 (5.2%)	50 (43.5%)
	70歳以上	196 (100%)	47 (24.0%)	6 (3.1%)	12 (6.1%)	34 (17.3%)	37 (18.9%)	6 (3.1%)	7 (3.6%)	11 (5.6%)	68 (34.7%)	11 (5.6%)	107 (54.6%)
	職業	会社員・公務員	278 (100%)	22 (7.9%)	7 (2.5%)	13 (4.7%)	44 (15.8%)	41 (14.7%)	9 (3.2%)	8 (2.9%)	43 (15.5%)	73 (26.3%)	9 (3.2%)
	自営業	74 (100%)	10 (13.5%)	5 (6.8%)	1 (1.4%)	11 (14.9%)	10 (13.5%)	2 (2.7%)	0 (0.0%)	12 (16.2%)	23 (31.1%)	2 (2.7%)	37 (50.0%)
	無職(退職者含む)	113 (100%)	25 (22.1%)	5 (4.4%)	9 (8.0%)	32 (28.3%)	25 (22.1%)	5 (4.4%)	7 (6.2%)	15 (13.3%)	31 (27.4%)	5 (4.4%)	51 (45.1%)
	家事専業	98 (100%)	14 (14.3%)	2 (2.0%)	5 (5.1%)	11 (11.2%)	14 (14.3%)	1 (1.0%)	2 (2.0%)	4 (4.1%)	31 (31.6%)	6 (6.1%)	43 (43.9%)
	パート・アルバイト等	119 (100%)	20 (16.8%)	4 (3.4%)	9 (7.6%)	30 (25.2%)	23 (19.3%)	0 (0.0%)	2 (1.7%)	20 (16.8%)	35 (29.4%)	6 (5.0%)	53 (44.5%)
居住年数	1年未満	31 (100%)	1 (3.2%)	0 (0.0%)	2 (6.5%)	4 (12.9%)	4 (12.9%)	1 (3.2%)	2 (6.5%)	7 (22.6%)	3 (9.7%)	1 (3.2%)	10 (32.3%)
	1年以上5年未満	93 (100%)	6 (6.5%)	2 (2.2%)	3 (3.2%)	8 (8.6%)	6 (6.5%)	4 (4.3%)	1 (1.1%)	14 (15.1%)	18 (19.4%)	1 (1.1%)	42 (45.2%)
	5年以上10年未満	77 (100%)	5 (6.5%)	1 (1.3%)	1 (1.3%)	15 (19.5%)	15 (19.5%)	1 (1.3%)	5 (6.5%)	13 (16.9%)	22 (28.6%)	6 (7.8%)	23 (29.9%)
	10年以上20年未満	106 (100%)	10 (9.4%)	3 (2.8%)	4 (3.8%)	21 (19.8%)	16 (15.1%)	3 (2.8%)	5 (4.7%)	19 (17.9%)	29 (27.4%)	1 (0.9%)	38 (35.8%)
	20年以上30年未満	111 (100%)	15 (13.5%)	4 (3.6%)	7 (6.3%)	29 (26.1%)	27 (24.3%)	2 (1.8%)	4 (3.6%)	20 (18.0%)	34 (30.6%)	7 (6.3%)	44 (39.6%)
	30年以上	270 (100%)	57 (21.1%)	13 (4.8%)	20 (7.4%)	52 (19.3%)	47 (17.4%)	6 (2.2%)	2 (0.7%)	22 (8.1%)	89 (33.0%)	12 (4.4%)	140 (51.9%)
	世帯人数	単身	167 (100%)	16 (9.6%)	3 (1.8%)	10 (6.0%)	23 (13.8%)	23 (13.8%)	4 (2.4%)	2 (1.2%)	16 (9.6%)	43 (25.7%)	8 (4.8%)
	2人	252 (100%)	37 (14.7%)	8 (3.2%)	9 (3.6%)	39 (15.5%)	42 (16.7%)	10 (4.0%)	10 (4.0%)	30 (11.9%)	60 (23.8%)	12 (4.8%)	110 (43.7%)
	3人	141 (100%)	19 (13.5%)	8 (5.7%)	12 (8.5%)	34 (24.1%)	23 (16.3%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)	22 (15.6%)	45 (31.9%)	5 (3.5%)	52 (36.9%)
	4人	90 (100%)	15 (16.7%)	3 (3.3%)	5 (5.6%)	26 (28.9%)	21 (23.3%)	1 (1.1%)	5 (5.6%)	22 (24.4%)	30 (33.3%)	2 (2.2%)	38 (42.2%)
	5人以上	37 (100%)	7 (18.9%)	1 (2.7%)	1 (2.7%)	6 (16.2%)	6 (16.2%)	2 (5.4%)	1 (2.7%)	5 (13.5%)	16 (43.2%)	1 (2.7%)	13 (35.1%)
住居形態	一戸建て	295 (100%)	51 (17.3%)	12 (4.1%)	20 (6.8%)	63 (21.4%)	56 (19.0%)	7 (2.4%)	3 (1.0%)	38 (12.9%)	104 (35.3%)	15 (5.1%)	127 (43.1%)
	集合住宅(持家)	141 (100%)	22 (15.6%)	6 (4.3%)	6 (4.3%)	22 (15.6%)	19 (13.5%)	4 (2.8%)	14 (9.9%)	25 (17.7%)	25 (17.7%)	4 (2.8%)	67 (47.5%)
	集合住宅(持家以外)等	253 (100%)	21 (8.3%)	5 (2.0%)	11 (4.3%)	44 (17.4%)	40 (15.8%)	6 (2.4%)	2 (0.8%)	32 (12.6%)	66 (26.1%)	9 (3.6%)	104 (41.1%)
町会への加入	加入している	381 (100%)	69 (18.1%)	17 (4.5%)	22 (5.8%)	79 (20.7%)	74 (19.4%)	7 (1.8%)	14 (3.7%)	48 (12.6%)	120 (31.5%)	19 (5.0%)	172 (45.1%)
	加入していない	297 (100%)	22 (7.4%)	6 (2.0%)	15 (5.1%)	49 (16.5%)	39 (13.1%)	9 (3.0%)	4 (1.3%)	46 (15.5%)	70 (23.6%)	9 (3.0%)	121 (40.7%)

③ごみ関連用語の認知度・関心度

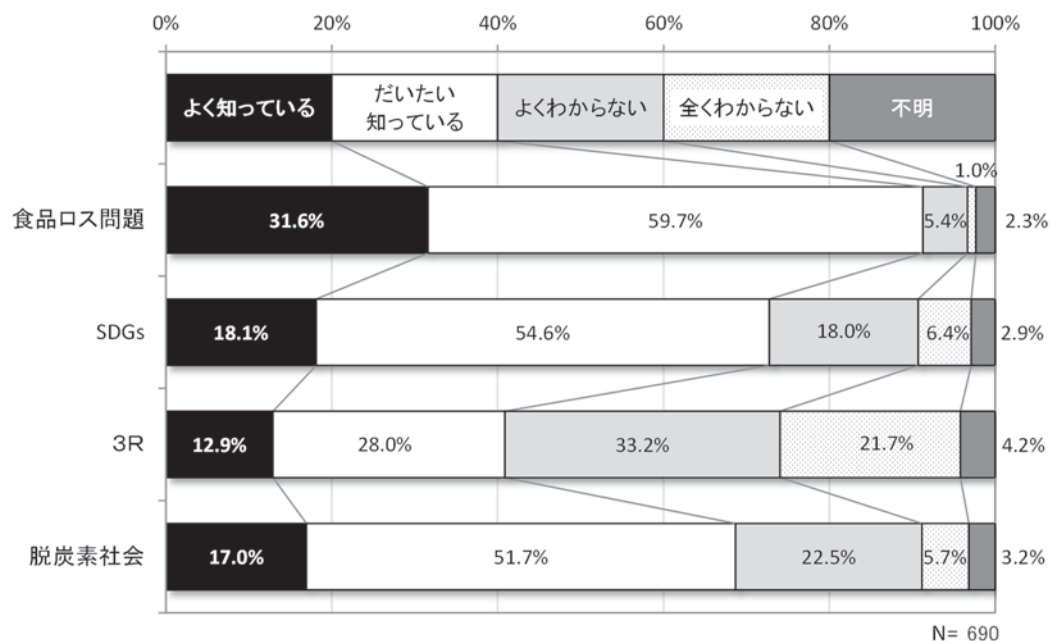
問 2(3) 次のごみ問題に関連する用語や動向について、あなたの認識に最も近いものを選びください。

食品ロス問題に関しては、「よく知っている」「だいたい知っている」を合わせると **90%** 以上となっている。SDGs、脱炭素社会に関しては、「よく知っている」「だいたい知っている」が合わせて **70%** 前後である。

3R は最も認知度が低く、約 **55%** が「よくわからない」「全くわからない」と回答している。

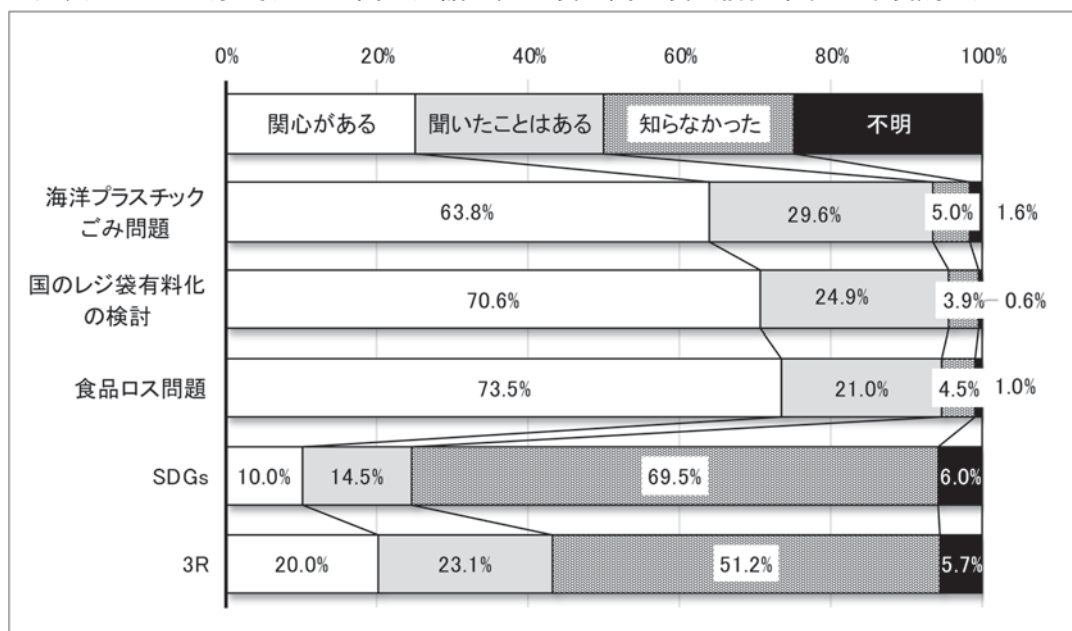
図表 2-13 ごみ関連用語の認知度・関心度

項目\選択肢	1 よく 知 つ て い る	2 い だ い に 知 つ て い る	3 よ く わ か ら な い	4 全 く わ か ら な い	不 明	合 計
食品ロス問題	218 (31.6%)	412 (59.7%)	37 (5.4%)	7 (1.0%)	16 (2.3%)	690 (100.0%)
SDGs	125 (18.1%)	377 (54.6%)	124 (18.0%)	44 (6.4%)	20 (2.9%)	690 (100.0%)
3R	89 (12.9%)	193 (28.0%)	229 (33.2%)	150 (21.7%)	29 (4.2%)	690 (100.0%)
脱炭素社会	117 (17.0%)	357 (51.7%)	155 (22.5%)	39 (5.7%)	22 (3.2%)	690 (100.0%)



前回の調査結果（図表 2-14）では、「SDGs」を「知らなかった」割合が 69.5%であったのに対し、今回の調査では「全くわからない」に「よくわからない」を加えても 24.3%である。前回と今回の調査は厳密には同様の聞き方ではないものの、「SDGs」の認知度はこの 5 年間で大幅に上昇している。

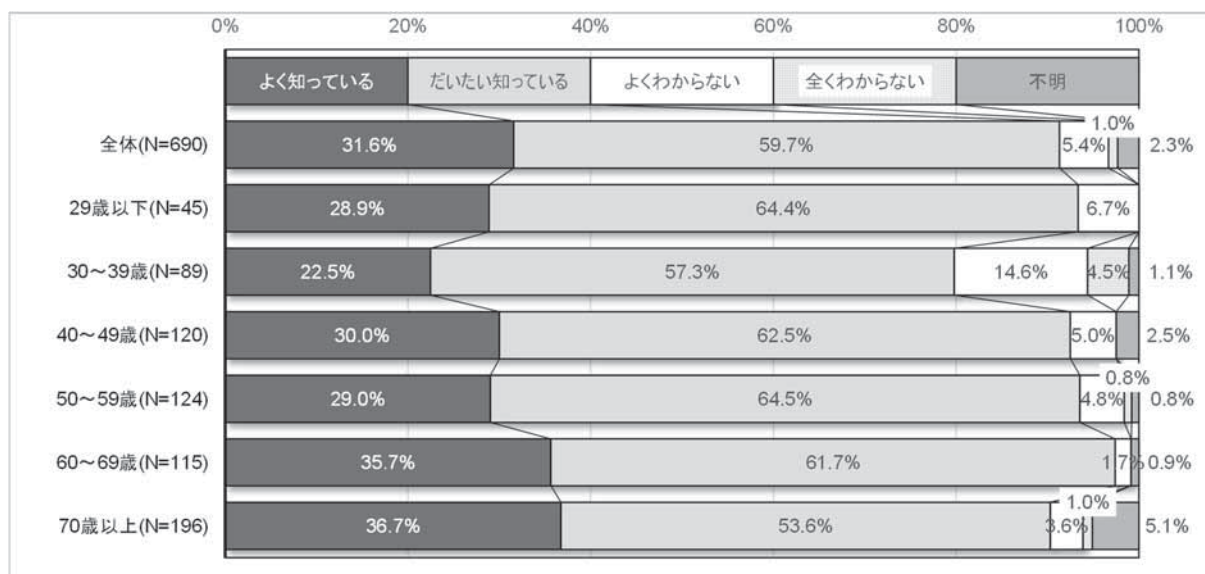
図表 2-14 （参考）ごみ関連用語の認知度・関心度（前回令和元年度調査）



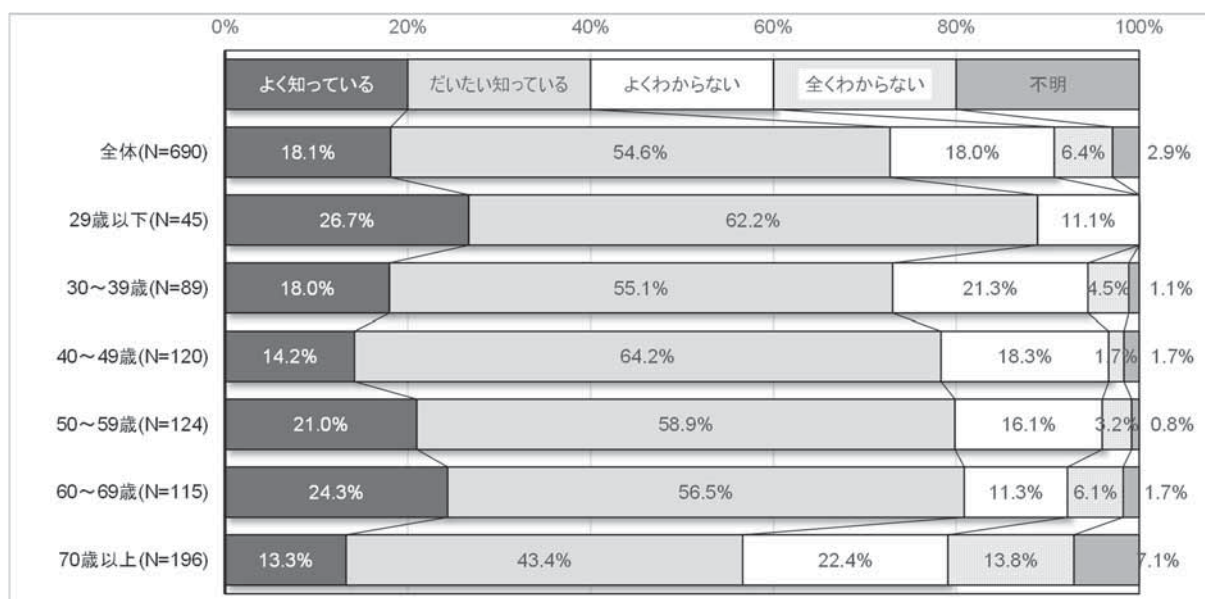
図表 2-15～図表 2-18 は年齢別のクロス集計結果である。

「食品ロス問題」は 60 代、70 代の認知度が高かったものの、「SDGs」「3R」「脱炭素社会」は、いずれも 20 代が最も「知っている」の割合が高く、特に「3R」は「知っている」割合が 33.3%と他の年代よりも突出して高い傾向が見られる。

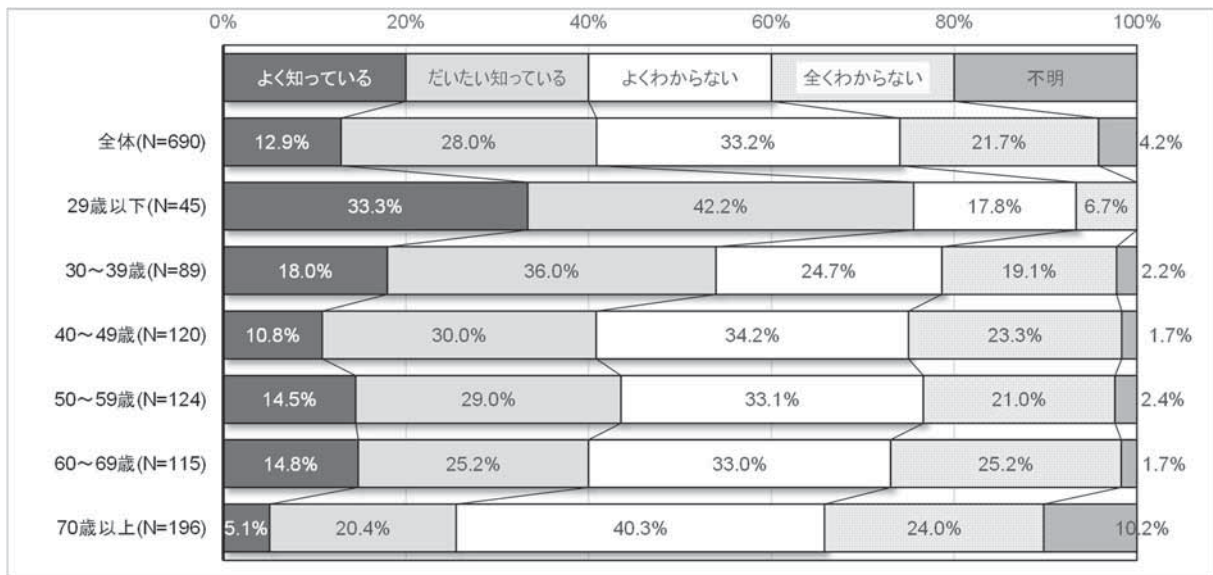
図表 2-15 ごみ関連用語の認知度・関心度「食品ロス問題」（年齢別クロス集計）



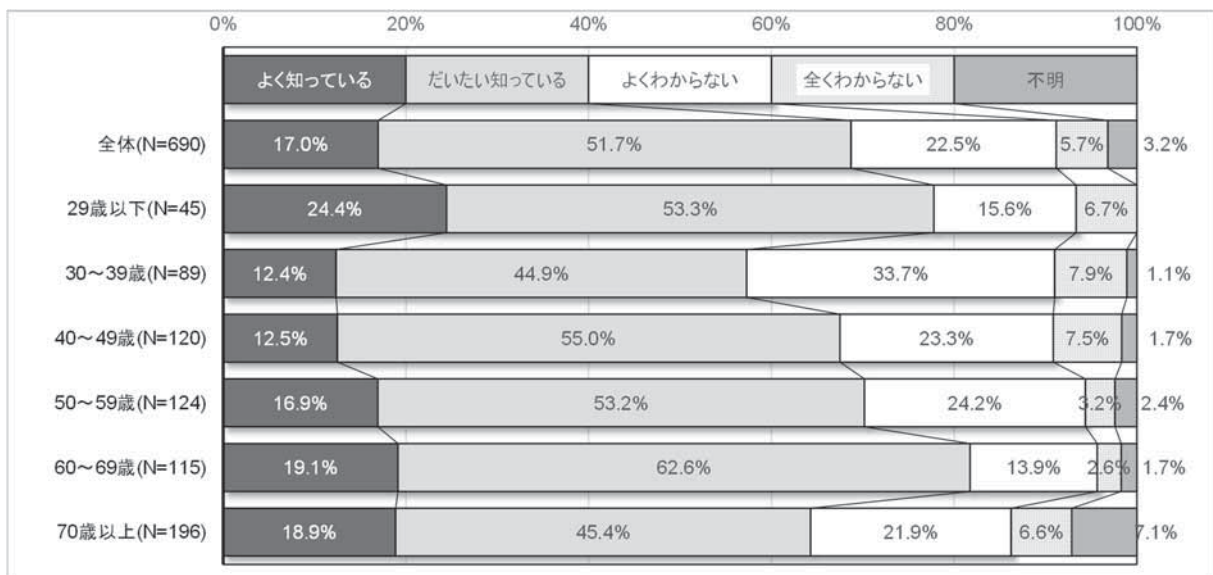
図表 2-16 ごみ関連用語の認知度・関心度「SDGs」（年齢別クロス集計）



図表 2-17 ごみ関連用語の認知度・関心度「3R」（年齢別クロス集計）



図表 2-18 ごみ関連用語の認知度・関心度「脱炭素社会」（年齢別クロス集計）



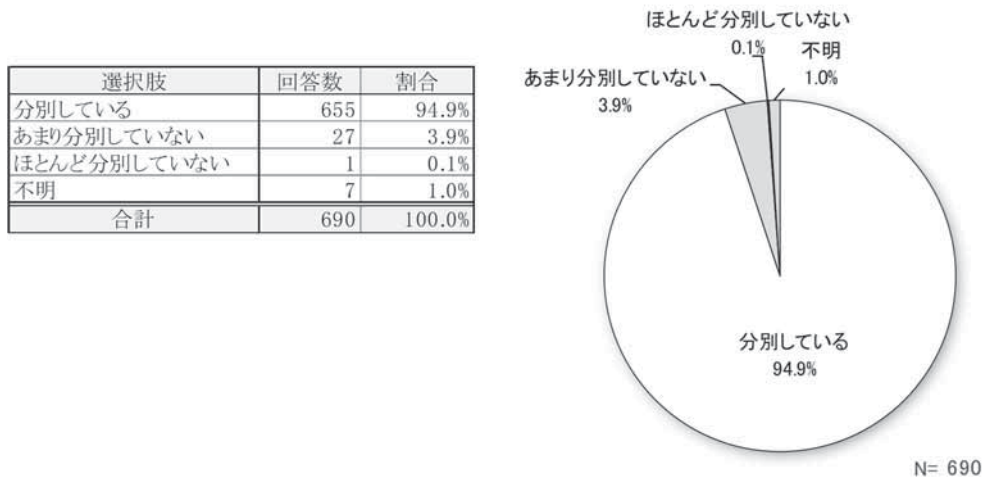
(2) ごみや資源の分別について

①分け方・出し方の認知

問 3(1) あなたの家庭では、ごみや資源を分別していますか。

約 95%が「分別している」と回答している。

図表 2-19 ごみや視点の分別をしているかどうか



②分別している資源の種類

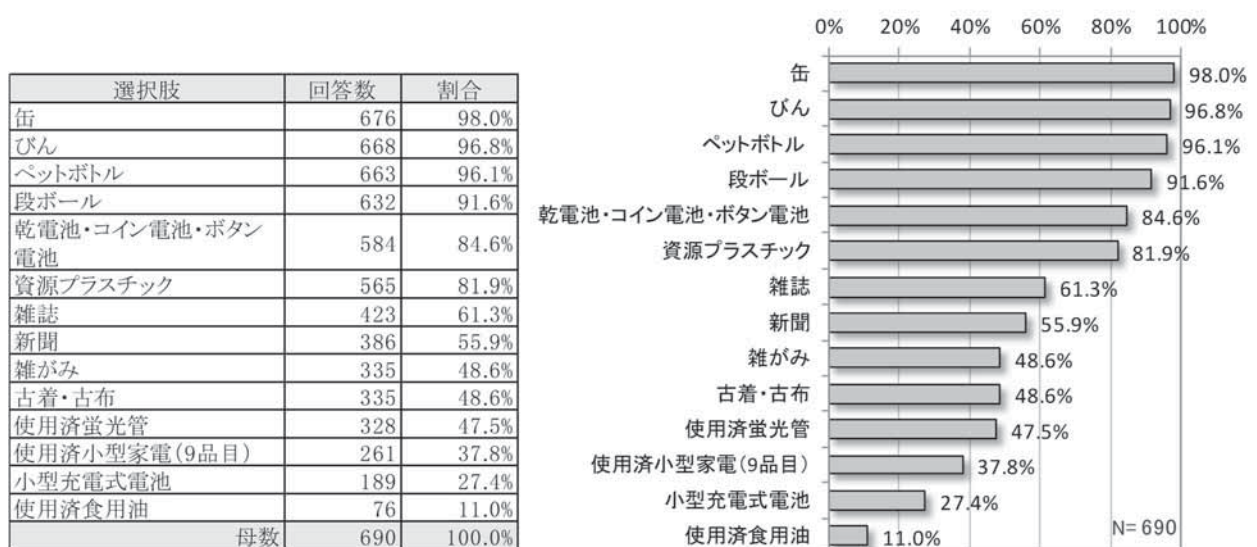
問 3(2) 分別している資源の種類を教えてください。

びん・缶、ペットボトルは 95%以上が「分別している」と回答している。

雑誌は 61.3%、新聞は 55.9%と分別の実施率がやや低い、新聞や雑誌を家庭内で購読していない層の存在が分別率を引き下げているものと考えられる。

また、雑がみや古着・古布類も分別実施率は 5 割を切っている。

図表 2-20 分別している資源の種類



図表 2-21 は、属性別のクロス集計結果である。

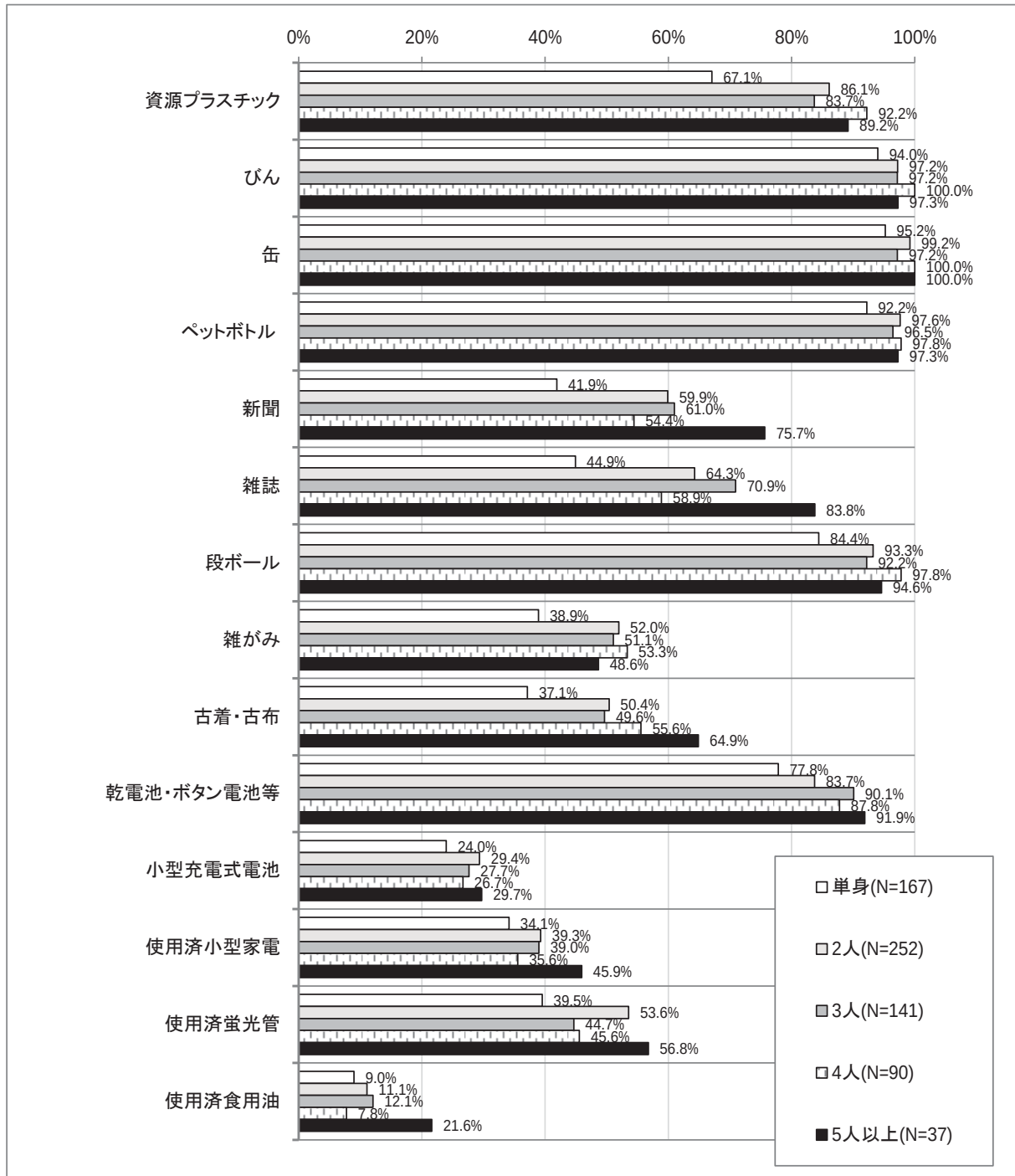
例えば世帯人数別のクロス集計（グラフ：図表 2-22）では、単身世帯の「新聞」の分別実施率は **41.9%**と低いが、前述のように新聞の購読率が低いためと考えられる。単身世帯は雑誌のみや古着・古布の分別実施率も **30%**台と、2人以上の世帯よりも低くなっている。

また、町会加入の有無別のクロス集計（グラフ：図表 2-23）を見ると、新聞、雑誌、雑誌のみ、古着・古布は町会加入世帯が未加入世帯よりも顕著に分別率が高くなっている。

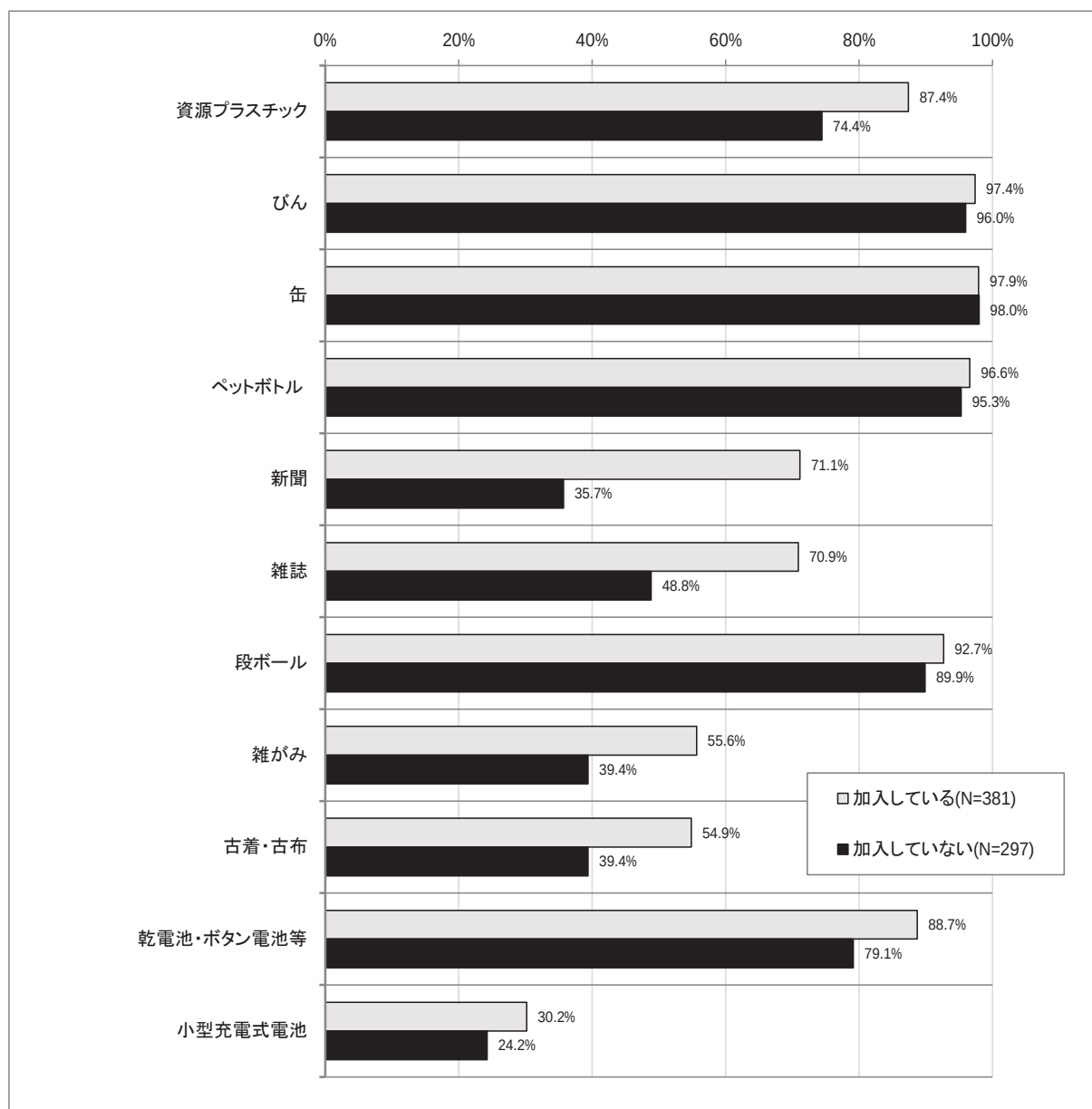
図表 2-21 分別している資源の種類（属性別クロス集計）

		問3(2) 分別している資源の種類															
		回答数	資源プラスチック	びん	缶	ペットボトル	新聞	雑誌	段ボール	雑誌のみ	古着・古布	乾電池・ボタン電池等	小型充電式電池	使用済小型家電	使用済蛍光灯	使用済食用油	不明
全体		690 (100%)	565 (81.9%)	668 (96.8%)	676 (98.0%)	663 (96.1%)	386 (55.9%)	423 (61.3%)	632 (91.6%)	335 (48.6%)	335 (48.6%)	584 (84.6%)	189 (27.4%)	261 (37.8%)	328 (47.5%)	76 (11.0%)	0 (0.0%)
年 齢	29歳以下	45 (100%)	29 (64.4%)	39 (86.7%)	43 (95.6%)	43 (95.6%)	12 (26.7%)	18 (40.0%)	43 (95.6%)	10 (22.2%)	11 (24.4%)	33 (73.3%)	5 (11.1%)	12 (26.7%)	10 (22.2%)	6 (13.3%)	0 (0.0%)
	30～39歳	89 (100%)	65 (73.0%)	87 (97.8%)	88 (98.9%)	86 (96.6%)	24 (27.0%)	39 (43.8%)	80 (89.9%)	34 (38.2%)	35 (39.3%)	67 (75.3%)	18 (20.2%)	21 (23.6%)	19 (21.3%)	5 (5.6%)	0 (0.0%)
	40～49歳	120 (100%)	99 (82.5%)	120 (100.0%)	119 (99.2%)	117 (97.5%)	53 (44.2%)	69 (57.5%)	116 (96.7%)	55 (45.8%)	52 (43.3%)	102 (85.0%)	33 (27.5%)	37 (30.8%)	47 (39.2%)	4 (3.3%)	0 (0.0%)
	50～59歳	124 (100%)	103 (83.1%)	120 (96.8%)	121 (97.6%)	119 (96.0%)	67 (54.0%)	73 (58.9%)	110 (88.7%)	54 (43.5%)	57 (46.0%)	107 (86.3%)	40 (32.3%)	58 (46.8%)	65 (52.4%)	15 (12.1%)	0 (0.0%)
	60～69歳	115 (100%)	94 (81.7%)	114 (99.1%)	115 (100.0%)	113 (98.3%)	74 (64.3%)	85 (73.9%)	108 (93.9%)	67 (58.3%)	58 (50.4%)	104 (90.4%)	30 (26.1%)	49 (42.6%)	72 (62.6%)	9 (7.8%)	0 (0.0%)
	70歳以上	196 (100%)	174 (88.8%)	187 (95.4%)	189 (96.4%)	184 (93.9%)	155 (79.1%)	138 (70.4%)	174 (88.8%)	114 (58.2%)	121 (61.7%)	170 (86.7%)	63 (32.1%)	84 (42.9%)	114 (58.2%)	37 (18.9%)	0 (0.0%)
	70歳以上	196 (100%)	174 (88.8%)	187 (95.4%)	189 (96.4%)	184 (93.9%)	155 (79.1%)	138 (70.4%)	174 (88.8%)	114 (58.2%)	121 (61.7%)	170 (86.7%)	63 (32.1%)	84 (42.9%)	114 (58.2%)	37 (18.9%)	0 (0.0%)
職 業	会社員・公務員	278 (100%)	214 (77.0%)	271 (97.5%)	275 (98.9%)	269 (96.8%)	124 (44.6%)	156 (56.1%)	254 (91.4%)	116 (41.7%)	117 (42.1%)	232 (83.5%)	71 (25.5%)	91 (32.7%)	110 (39.6%)	20 (7.2%)	0 (0.0%)
	自営業	74 (100%)	64 (86.5%)	74 (100.0%)	74 (100.0%)	72 (97.3%)	42 (56.8%)	47 (63.5%)	70 (94.6%)	38 (51.4%)	29 (39.2%)	63 (85.1%)	17 (23.0%)	25 (33.8%)	41 (55.4%)	10 (13.5%)	0 (0.0%)
	無職（退職者含む）	113 (100%)	96 (85.0%)	111 (98.2%)	112 (99.1%)	110 (97.3%)	77 (68.1%)	85 (75.2%)	108 (95.6%)	71 (62.8%)	74 (65.5%)	94 (83.2%)	38 (33.6%)	53 (46.9%)	62 (54.9%)	18 (15.9%)	0 (0.0%)
	家事専業	98 (100%)	86 (87.8%)	92 (93.9%)	93 (94.9%)	92 (93.9%)	70 (71.4%)	61 (62.2%)	81 (82.7%)	48 (49.0%)	46 (46.9%)	82 (83.7%)	31 (31.6%)	43 (43.9%)	54 (55.1%)	13 (13.3%)	0 (0.0%)
	パート・アルバイト等	119 (100%)	99 (83.2%)	113 (95.0%)	115 (96.6%)	113 (95.0%)	66 (55.5%)	70 (58.8%)	113 (95.0%)	58 (48.7%)	64 (53.8%)	107 (89.9%)	31 (26.1%)	47 (39.5%)	56 (47.1%)	14 (11.8%)	0 (0.0%)
居 住 年 数	1年未満	31 (100%)	19 (61.3%)	28 (90.3%)	28 (90.3%)	27 (87.1%)	5 (16.1%)	9 (29.0%)	27 (87.1%)	6 (19.4%)	3 (9.7%)	23 (74.2%)	2 (6.5%)	3 (9.7%)	3 (9.7%)	1 (3.2%)	0 (0.0%)
	1年以上5年未満	93 (100%)	71 (76.3%)	91 (97.8%)	93 (100.0%)	92 (98.9%)	31 (33.3%)	38 (40.9%)	86 (92.5%)	34 (36.6%)	36 (38.7%)	71 (76.3%)	20 (21.5%)	28 (30.1%)	25 (26.9%)	9 (9.7%)	0 (0.0%)
	5年以上10年未満	77 (100%)	60 (77.9%)	77 (100.0%)	77 (100.0%)	75 (97.4%)	34 (44.2%)	47 (61.0%)	72 (93.5%)	40 (51.9%)	34 (44.2%)	67 (87.0%)	23 (29.9%)	30 (39.0%)	32 (41.6%)	3 (3.9%)	0 (0.0%)
	10年以上20年未満	106 (100%)	84 (79.2%)	105 (99.1%)	106 (100.0%)	102 (96.2%)	51 (48.1%)	61 (57.5%)	100 (94.3%)	46 (43.4%)	49 (46.2%)	89 (84.0%)	38 (35.8%)	46 (43.4%)	53 (50.0%)	6 (5.7%)	0 (0.0%)
	20年以上30年未満	111 (100%)	96 (86.5%)	107 (96.4%)	109 (98.2%)	107 (96.4%)	63 (56.8%)	70 (63.1%)	101 (91.0%)	48 (43.2%)	50 (45.0%)	97 (87.4%)	39 (35.1%)	50 (45.0%)	65 (58.6%)	17 (15.3%)	0 (0.0%)
	30年以上	270 (100%)	234 (86.7%)	258 (95.6%)	261 (96.7%)	258 (95.6%)	201 (74.4%)	197 (73.0%)	244 (90.4%)	160 (59.3%)	162 (60.0%)	235 (87.0%)	66 (24.4%)	103 (38.1%)	148 (54.8%)	39 (14.4%)	0 (0.0%)
	30年以上	270 (100%)	234 (86.7%)	258 (95.6%)	261 (96.7%)	258 (95.6%)	201 (74.4%)	197 (73.0%)	244 (90.4%)	160 (59.3%)	162 (60.0%)	235 (87.0%)	66 (24.4%)	103 (38.1%)	148 (54.8%)	39 (14.4%)	0 (0.0%)
世 帯 人 数	単身	167 (100%)	112 (67.1%)	157 (94.0%)	159 (95.2%)	154 (92.2%)	70 (41.9%)	75 (44.9%)	141 (84.4%)	65 (38.9%)	62 (37.1%)	130 (77.8%)	40 (24.0%)	57 (34.1%)	66 (39.5%)	15 (9.0%)	0 (0.0%)
	2人	252 (100%)	217 (86.1%)	245 (97.2%)	250 (99.2%)	246 (97.6%)	151 (59.9%)	162 (64.3%)	235 (93.3%)	131 (52.0%)	127 (50.4%)	211 (83.7%)	74 (29.4%)	99 (39.3%)	135 (53.6%)	28 (11.1%)	0 (0.0%)
	3人	141 (100%)	118 (83.7%)	137 (97.2%)	137 (97.2%)	136 (96.5%)	86 (61.0%)	100 (70.9%)	130 (92.2%)	72 (51.1%)	70 (49.6%)	127 (90.1%)	39 (27.7%)	55 (39.0%)	63 (44.7%)	17 (12.1%)	0 (0.0%)
	4人	90 (100%)	83 (92.2%)	90 (100.0%)	90 (100.0%)	88 (97.8%)	49 (54.4%)	53 (58.9%)	88 (97.8%)	48 (53.3%)	50 (55.6%)	79 (87.8%)	24 (26.7%)	32 (35.6%)	41 (45.6%)	7 (7.8%)	0 (0.0%)
	5人以上	37 (100%)	33 (89.2%)	36 (97.3%)	37 (100.0%)	36 (97.3%)	28 (75.7%)	31 (83.8%)	35 (94.6%)	18 (48.6%)	24 (64.9%)	34 (91.9%)	11 (29.7%)	17 (45.9%)	21 (56.8%)	8 (21.6%)	0 (0.0%)
住 居 形 態	一戸建て	295 (100%)	255 (86.4%)	285 (96.6%)	288 (97.6%)	283 (95.9%)	199 (67.5%)	203 (68.8%)	270 (91.5%)	156 (52.9%)	163 (55.3%)	261 (88.5%)	87 (29.5%)	113 (38.3%)	160 (54.2%)	42 (14.2%)	0 (0.0%)
	集合住宅（持家）	141 (100%)	124 (87.9%)	138 (97.9%)	138 (97.9%)	138 (97.9%)	91 (64.5%)	100 (70.9%)	136 (96.5%)	76 (53.9%)	70 (49.6%)	126 (89.4%)	45 (31.9%)	59 (41.8%)	76 (53.9%)	14 (9.9%)	0 (0.0%)
	集合住宅（持家以外）等	253 (100%)	185 (73.1%)	244 (96.4%)	249 (98.4%)	241 (95.3%)	95 (37.5%)	119 (47.0%)	225 (88.9%)	102 (40.3%)	101 (39.9%)	196 (77.5%)	57 (22.5%)	89 (35.2%)	91 (36.0%)	20 (7.9%)	0 (0.0%)
町 会 加 入 有 無	加入している	381 (100%)	333 (87.4%)	371 (97.4%)	373 (97.9%)	368 (96.6%)	271 (71.1%)	270 (70.9%)	353 (92.7%)	212 (55.6%)	209 (54.9%)	338 (88.7%)	115 (30.2%)	158 (41.5%)	211 (55.4%)	47 (12.3%)	0 (0.0%)
	加入していない	297 (100%)	221 (74.4%)	285 (96.0%)	291 (98.0%)	283 (95.3%)	106 (35.7%)	145 (48.8%)	267 (89.9%)	117 (39.4%)	117 (39.4%)	235 (79.1%)	72 (24.2%)	101 (34.0%)	110 (37.0%)	28 (9.4%)	0 (0.0%)

図表 2-22 分別している資源の種類（世帯人数別クロス集計）



図表 2-23 分別している資源の種類（町会への加入の有無別クロス集計）

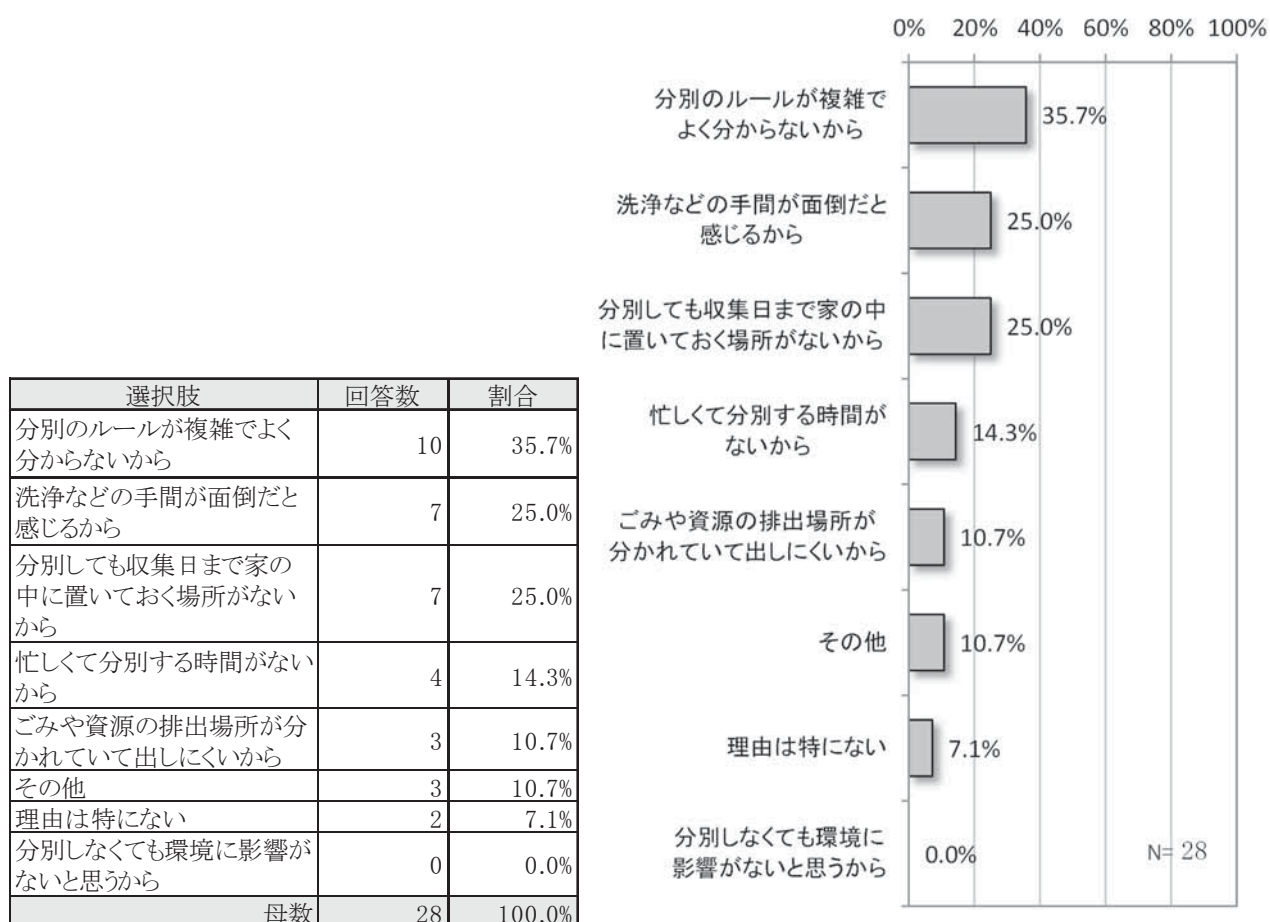


③分別していない理由

問 3(3) 上記(1)で「2 あまり分別していない、3 ほとんど分別していない」と回答した方にお聞きします。分別していない理由を教えてください。

問 3 (1) で「2 あまり分別していない」「3 ほとんど分別していない」との回答は 28 件と少ないが、その理由としては「分別のルールが複雑でよく分からない」が 35.7%で最も多くなっている。

図表 2-24 分別をしていない理由（限定質問）



④ごみの分け方・出し方に関する情報源

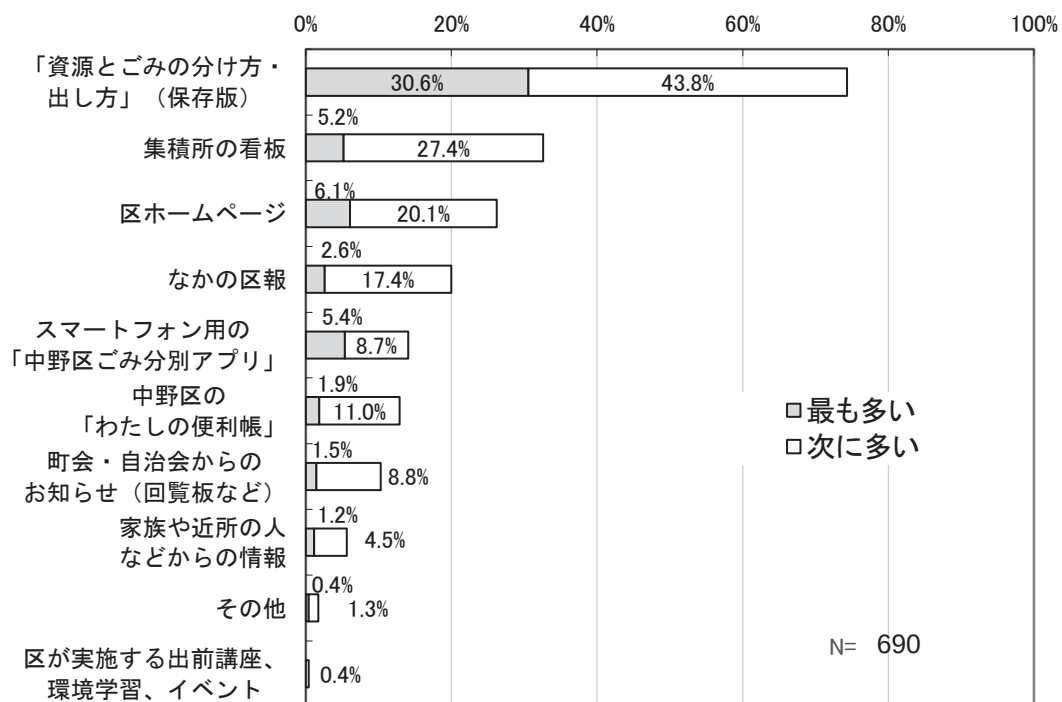
問 3(4) あなたは、ごみの分け方・出し方について、何から情報を得ていますか。次のうちから上位2つをお選びください。

(最も情報を得ているものに◎、次に情報を得ているものに○)

「最も多い」「次に多い」を合わせると、「資源とごみの分け方・出し方」(保存版)が74.4%と最も多く、次いで「集積所の看板」が32.6%、「区ホームページ」26.2%などとなっている。

図表 2-25 ごみの分け方・出し方に関する情報源

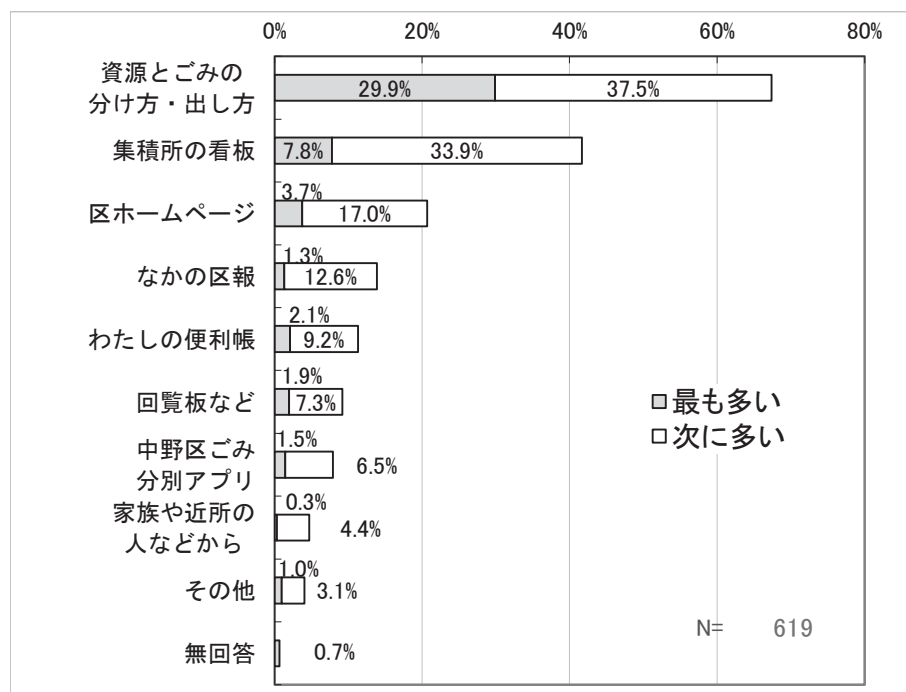
	回答数			割合		
	最も多い	次に多い	計	最も多い	次に多い	計
「資源とごみの分け方・出し方」(保存版)	211	302	513	30.6%	43.8%	74.4%
集積所の看板	36	189	225	5.2%	27.4%	32.6%
区ホームページ	42	139	181	6.1%	20.1%	26.2%
なかの区報	18	120	138	2.6%	17.4%	20.0%
スマートフォン用の「中野区ごみ分別アプリ」	37	60	97	5.4%	8.7%	14.1%
中野区の「わたしの便利帳」	13	76	89	1.9%	11.0%	12.9%
町会・自治会からのお知らせ(回覧板など)	10	61	71	1.5%	8.8%	10.3%
家族や近所の人などからの情報	8	31	39	1.2%	4.5%	5.7%
その他	3	9	12	0.4%	1.3%	1.7%
区が実施する出前講座、環境学習、イベント	0	3	3	0.0%	0.4%	0.4%



前回の調査結果と比較すると、「資源とごみの分け方・出し方」は前回の調査では 67.4%であったものが 74.4%に上昇している。逆に「集積所の看板」は前回の調査では 41.7%であったものが 32.6%に低下している。令和 6 年 4 月から分別の変更（「資源プラスチック」の追加）があり、「資源とごみの分け方・出し方」冊子を全戸配布したことも影響しているものと考えられる。

図表 2-26 （参考）ごみの分け方・出し方に関する情報源（前回令和元年度調査）

	回答数			割合		
	最も多い	次に多い	計	最も多い	次に多い	計
「資源とごみの分け方・出し方」リーフレット	185	232	417	29.9%	37.5%	67.4%
集積所の看板	48	210	258	7.8%	33.9%	41.7%
区ホームページ	23	105	128	3.7%	17.0%	20.7%
なかの区報	8	78	86	1.3%	12.6%	13.9%
中野区の「わたしの便利帳」	13	57	70	2.1%	9.2%	11.3%
町会・自治会からのお知らせ(回覧板など)	12	45	57	1.9%	7.3%	9.2%
スマートフォン用の「中野区ごみ分別アプリ」	9	40	49	1.5%	6.5%	7.9%
家族や近所の人などからの情報	2	27	29	0.3%	4.4%	4.7%
その他	6	19	25	1.0%	3.1%	4.0%
無回答			4			0.7%



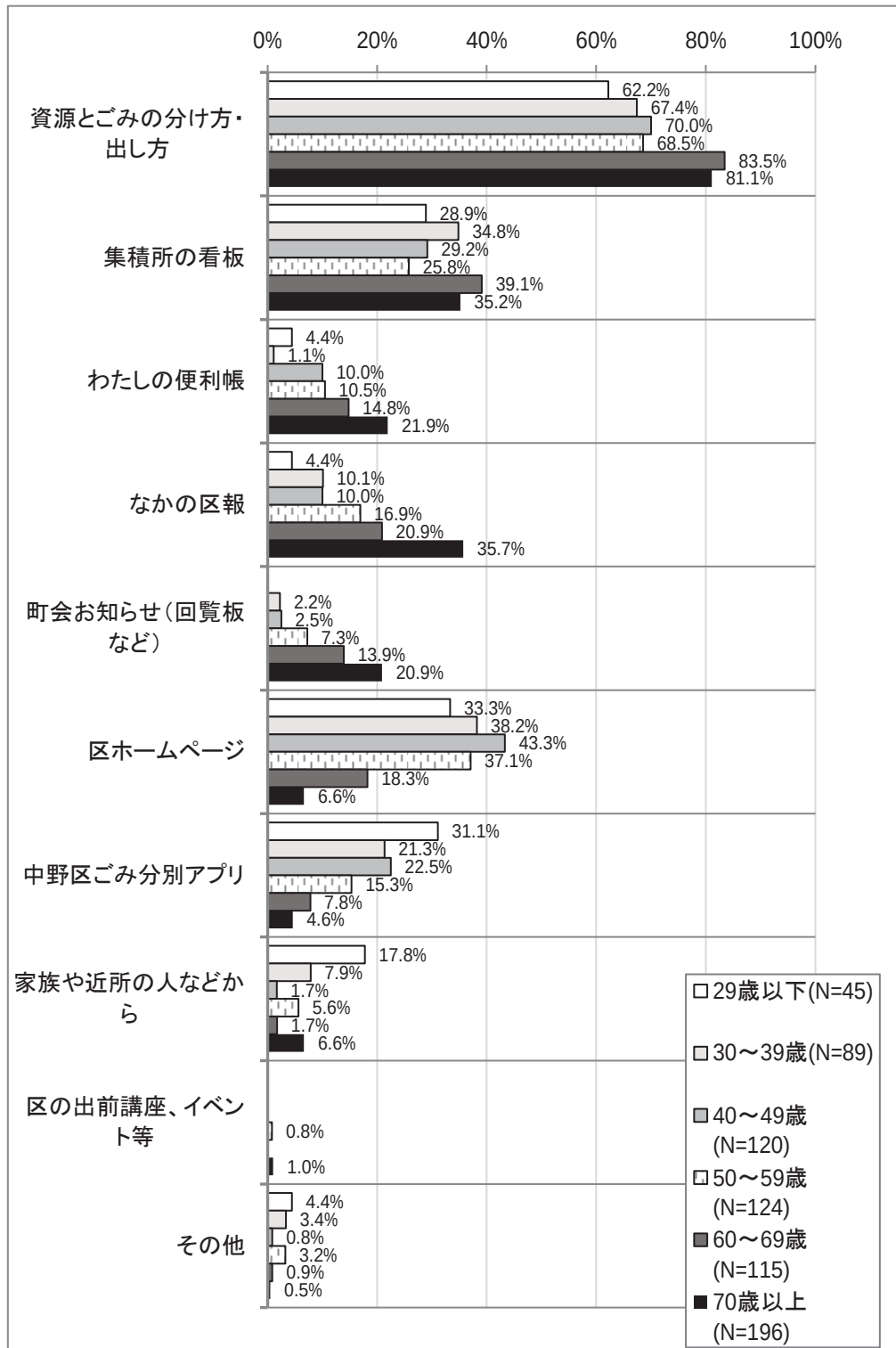
図表 2-27 は、属性別のクロス集計結果である。

年齢別に見ると（グラフ：図表 2-28）、「区ホームページ」の参照は 40 代が多く、「中野区ごみ分別アプリ」は 20 代が多いことがわかる。また、「なかの区報」の参照は 70 代が 35.7%と他の年代よりも突出して多くなっている。

図表 2-27 ごみの分け方・出し方に関する情報源（属性別クロス集計）

		回答数	問3(4)ごみの出し方・分け方の情報源									
			資源とごみの 分け方・ 出し方	集積所の 看板	わたしの便 利帳	なかの区報	町会お知 らせ(回覧 板など)	区ホーム ページ	中野区ご み分別ア プリ	家族や近 所の人など から	区の出前 講座、イベ ント等	その他
全体		690 (100%)	513 (74.3%)	225 (32.6%)	89 (12.9%)	138 (20.0%)	71 (10.3%)	181 (26.2%)	97 (14.1%)	39 (5.7%)	3 (0.4%)	12 (1.7%)
年 齢	29歳以下	45 (100%)	28 (62.2%)	13 (28.9%)	2 (4.4%)	2 (4.4%)	0 (0.0%)	15 (33.3%)	14 (31.1%)	8 (17.8%)	0 (0.0%)	2 (4.4%)
	30～39歳	89 (100%)	60 (67.4%)	31 (34.8%)	1 (1.1%)	9 (10.1%)	2 (2.2%)	34 (38.2%)	19 (21.3%)	7 (7.9%)	0 (0.0%)	3 (3.4%)
	40～49歳	120 (100%)	84 (70.0%)	35 (29.2%)	12 (10.0%)	12 (10.0%)	3 (2.5%)	52 (43.3%)	27 (22.5%)	2 (1.7%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)
	50～59歳	124 (100%)	85 (68.5%)	32 (25.8%)	13 (10.5%)	21 (16.9%)	9 (7.3%)	46 (37.1%)	19 (15.3%)	7 (5.6%)	1 (0.8%)	4 (3.2%)
	60～69歳	115 (100%)	96 (83.5%)	45 (39.1%)	17 (14.8%)	24 (20.9%)	16 (13.9%)	21 (18.3%)	9 (7.8%)	2 (1.7%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)
	70歳以上	196 (100%)	159 (81.1%)	69 (35.2%)	43 (21.9%)	70 (35.7%)	41 (20.9%)	13 (6.6%)	9 (4.6%)	13 (6.6%)	2 (1.0%)	1 (0.5%)
	職 業	会社員・公務員	278 (100%)	190 (68.3%)	84 (30.2%)	21 (7.6%)	36 (12.9%)	15 (5.4%)	101 (36.3%)	63 (22.7%)	19 (6.8%)	1 (0.4%)
自営業		74 (100%)	63 (85.1%)	21 (28.4%)	6 (8.1%)	12 (16.2%)	7 (9.5%)	22 (29.7%)	5 (6.8%)	2 (2.7%)	0 (0.0%)	1 (1.4%)
無職(退職者含む)		113 (100%)	91 (80.5%)	41 (36.3%)	25 (22.1%)	39 (34.5%)	19 (16.8%)	13 (11.5%)	4 (3.5%)	8 (7.1%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)
家事専業		98 (100%)	70 (71.4%)	37 (37.8%)	16 (16.3%)	31 (31.6%)	15 (15.3%)	16 (16.3%)	7 (7.1%)	6 (6.1%)	1 (1.0%)	1 (1.0%)
パート・アルバイト等		119 (100%)	93 (78.2%)	40 (33.6%)	20 (16.8%)	16 (13.4%)	13 (10.9%)	29 (24.4%)	16 (13.4%)	4 (3.4%)	0 (0.0%)	2 (1.7%)
居 住 年 数	1年未満	31 (100%)	21 (67.7%)	9 (29.0%)	2 (6.5%)	2 (6.5%)	0 (0.0%)	7 (22.6%)	11 (35.5%)	1 (3.2%)	0 (0.0%)	2 (6.5%)
	1年以上5年未満	93 (100%)	63 (67.7%)	37 (39.8%)	4 (4.3%)	12 (12.9%)	4 (4.3%)	33 (35.5%)	17 (18.3%)	5 (5.4%)	0 (0.0%)	6 (6.5%)
	5年以上10年未満	77 (100%)	48 (62.3%)	26 (33.8%)	9 (11.7%)	10 (13.0%)	3 (3.9%)	29 (37.7%)	16 (20.8%)	4 (5.2%)	0 (0.0%)	1 (1.3%)
	10年以上20年未満	106 (100%)	73 (68.9%)	25 (23.6%)	18 (17.0%)	11 (10.4%)	3 (2.8%)	48 (45.3%)	24 (22.6%)	3 (2.8%)	0 (0.0%)	2 (1.9%)
	20年以上30年未満	111 (100%)	87 (78.4%)	38 (34.2%)	14 (12.6%)	30 (27.0%)	11 (9.9%)	28 (25.2%)	9 (8.1%)	8 (7.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	30年以上	270 (100%)	220 (81.5%)	89 (33.0%)	41 (15.2%)	73 (27.0%)	50 (18.5%)	36 (13.3%)	20 (7.4%)	18 (6.7%)	3 (1.1%)	1 (0.4%)
	世 帯 人 数	単身	167 (100%)	113 (67.7%)	62 (37.1%)	20 (12.0%)	24 (14.4%)	12 (7.2%)	47 (28.1%)	28 (16.8%)	6 (3.6%)	1 (0.6%)
2人		252 (100%)	193 (76.6%)	89 (35.3%)	33 (13.1%)	67 (26.6%)	27 (10.7%)	58 (23.0%)	31 (12.3%)	17 (6.7%)	1 (0.4%)	5 (2.0%)
3人		141 (100%)	104 (73.8%)	42 (29.8%)	22 (15.6%)	30 (21.3%)	19 (13.5%)	39 (27.7%)	21 (14.9%)	5 (3.5%)	1 (0.7%)	2 (1.4%)
4人		90 (100%)	69 (76.7%)	22 (24.4%)	9 (10.0%)	9 (10.0%)	7 (7.8%)	27 (30.0%)	16 (17.8%)	7 (7.8%)	0 (0.0%)	2 (2.2%)
5人以上		37 (100%)	32 (86.5%)	9 (24.3%)	4 (10.8%)	8 (21.6%)	5 (13.5%)	10 (27.0%)	1 (2.7%)	4 (10.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
住 居 形 態	一戸建て	295 (100%)	255 (86.4%)	285 (96.6%)	288 (97.6%)	283 (95.9%)	199 (67.5%)	203 (68.8%)	270 (91.5%)	156 (52.9%)	163 (55.3%)	261 (88.5%)
	集合住宅(持家)	141 (100%)	124 (87.9%)	138 (97.9%)	138 (97.9%)	138 (97.9%)	91 (64.5%)	100 (70.9%)	136 (96.5%)	76 (53.9%)	70 (49.6%)	126 (89.4%)
	集合住宅(持家以外)等	253 (100%)	185 (73.1%)	244 (96.4%)	249 (98.4%)	241 (95.3%)	95 (37.5%)	119 (47.0%)	225 (88.9%)	102 (40.3%)	101 (39.9%)	196 (77.5%)
町 会 入 会 の	加入している	381 (100%)	295 (77.4%)	107 (28.1%)	56 (14.7%)	93 (24.4%)	61 (16.0%)	93 (24.4%)	34 (8.9%)	27 (7.1%)	3 (0.8%)	6 (1.6%)
	加入していない	297 (100%)	209 (70.4%)	113 (38.0%)	31 (10.4%)	42 (14.1%)	8 (2.7%)	86 (29.0%)	63 (21.2%)	12 (4.0%)	0 (0.0%)	6 (2.0%)

図表 2-28 ごみの分け方・出し方に関する情報源（年齢別クロス集計）



⑤中野区ごみ分別アプリの認知

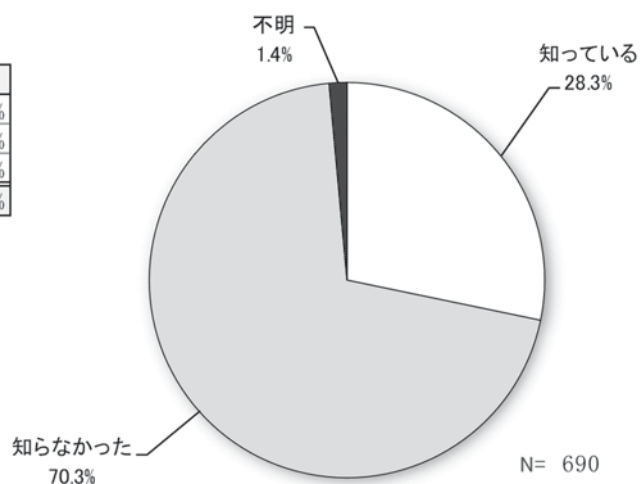
問 3(5) あなたは「中野区ごみ分別アプリ」をご存じでしたか。

中野区ごみ分別アプリの認知度は 28.3%である。

前回の調査結果（図表 2-30）からは、やや増加している。

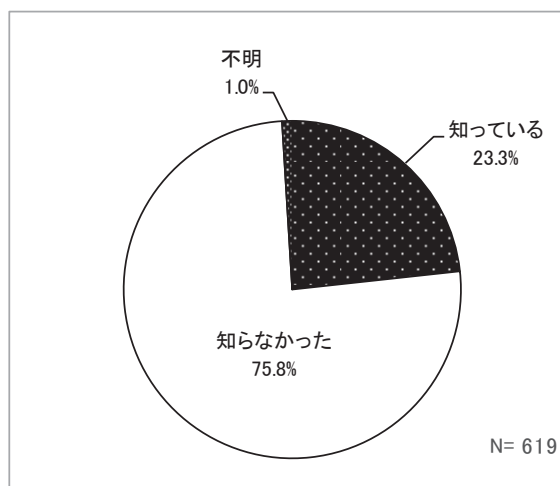
図表 2-29 「中野区ごみ分別アプリ」の認知度

選択肢	回答数	割合
知っている	195	28.3%
知らなかった	485	70.3%
不明	10	1.4%
合計	690	100.0%



図表 2-30 （参考）「中野区ごみ分別アプリ」の認知度（前回令和元年度調査）

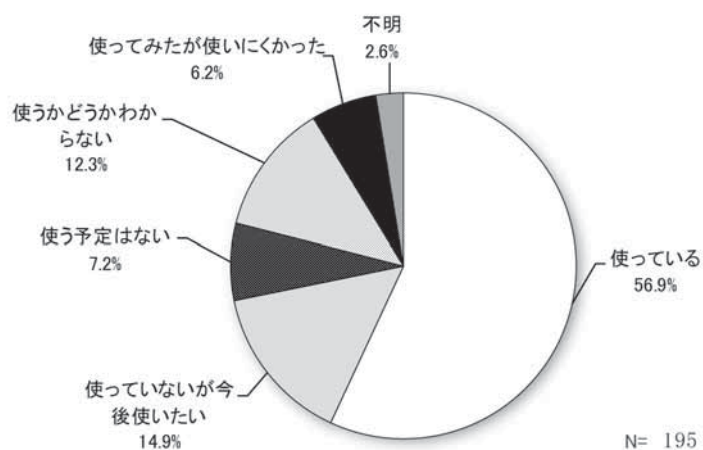
選択肢	回答数	割合
知っている	144	23.3%
知らなかった	469	75.8%
不明	6	1.0%
合計	619	100.0%



図表 2-31 は、ごみ分別アプリを「知っている」と回答した人を対象としたアプリの使用有無や使用感の調査結果である。「アプリを使っている」との回答は 56.9%であった。前回の調査（図表 2-32）では「アプリを使っている」との回答は 35.4%であったため、認知度の向上とともに使用者が増えている傾向が見られる。

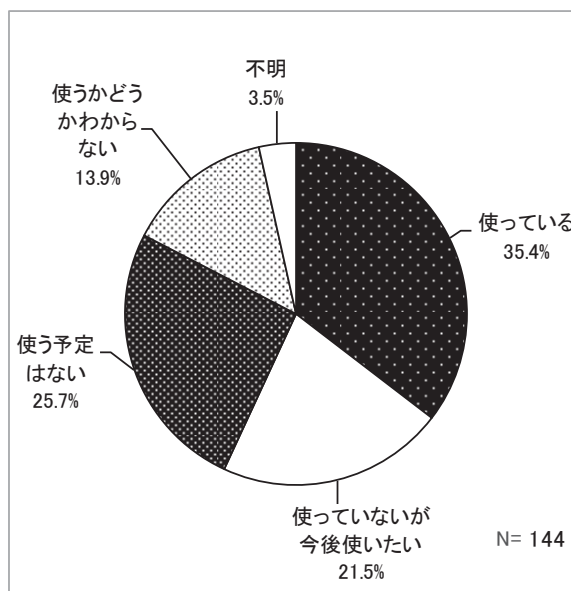
図表 2-31 「知っている」場合の使用状況

選択肢	回答数	割合
使っている	111	56.9%
使っていないが今後使いたい	29	14.9%
使う予定はない	14	7.2%
使うかどうか分からない	24	12.3%
使ってみたが使いにくかった	12	6.2%
不明	5	2.6%
合計	195	100.0%



図表 2-32 （参考）「知っている」場合の使用状況（前回令和元年度調査）

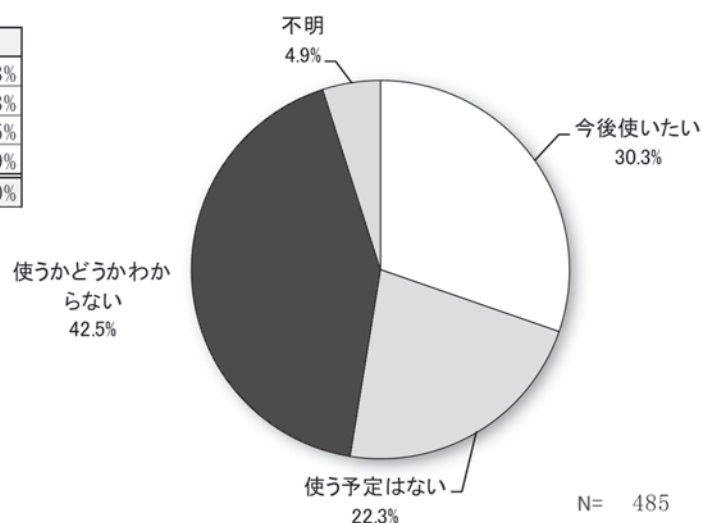
選択肢	回答数	割合
使っている	51	35.4%
使っていないが今後使いたい	31	21.5%
使う予定はない	37	25.7%
使うかどうか分からない	20	13.9%
不明	5	3.5%
合計	144	100.0%



図表 2-33 は、ごみ分別アプリを「知らなかった」と回答した人に対する使用意思の調査結果である。「わからない」が 42.5%と最も多く、「今後使いたい」との回答は 30.3%であった。この傾向は前回の調査結果（図表 2-34）とほぼ同様で、約 3 割の人が「今後使いたい」と回答している。

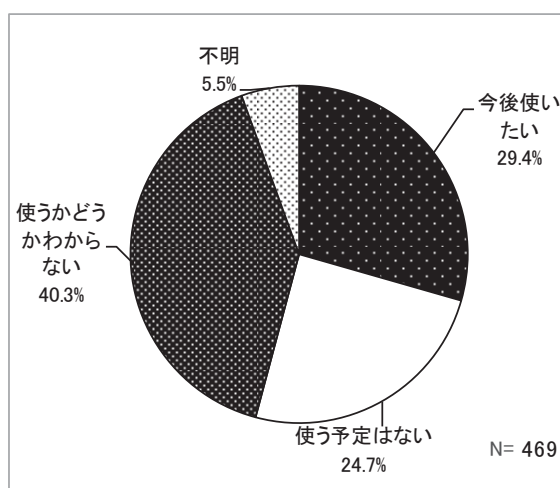
図表 2-33 ごみ分別アプリを「知らなかった」場合の使用意思

選択肢	回答数	割合
今後使いたい	147	30.3%
使う予定はない	108	22.3%
使うかどうかわからない	206	42.5%
不明	24	4.9%
合計	485	100.0%



図表 2-34 （参考）「知らなかった」場合の使用意思（前回令和元年度調査）

選択肢	回答数	割合
今後使いたい	138	29.4%
使う予定はない	116	24.7%
使うかどうかわからない	189	40.3%
不明	26	5.5%
合計	469	100.0%



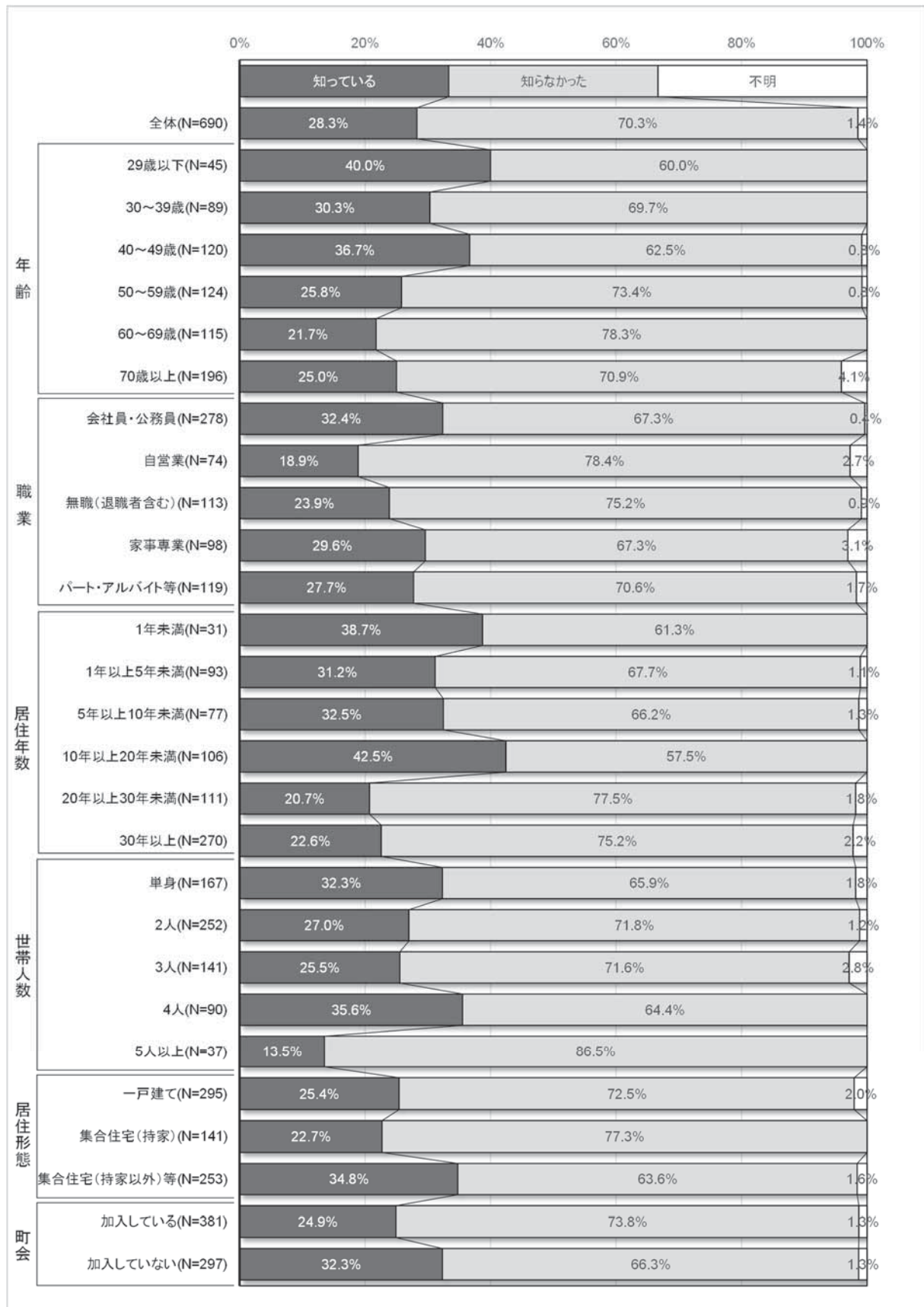
図表 2-35 は、属性別クロス集計結果である。

年齢別では、20 代の認知度が高いことがわかる（グラフ：図表 2-36）。

図表 2-35 「中野区ごみ分別アプリ」の認知度（属性別クロス集計）

		回答数	問3(5)ごみ分別アプリを知っているかどうか		
			知っている	知らなかった	不明
全体		690 (100%)	195 (28.3%)	485 (70.3%)	10 (1.4%)
年 齢	29歳以下	45 (100%)	18 (40.0%)	27 (60.0%)	0 (0.0%)
	30～39歳	89 (100%)	27 (30.3%)	62 (69.7%)	0 (0.0%)
	40～49歳	120 (100%)	44 (36.7%)	75 (62.5%)	1 (0.8%)
	50～59歳	124 (100%)	32 (25.8%)	91 (73.4%)	1 (0.8%)
	60～69歳	115 (100%)	25 (21.7%)	90 (78.3%)	0 (0.0%)
	70歳以上	196 (100%)	49 (25.0%)	139 (70.9%)	8 (4.1%)
	職 業	会社員・公務員	278 (100%)	90 (32.4%)	187 (67.3%)
自営業		74 (100%)	14 (18.9%)	58 (78.4%)	2 (2.7%)
無職(退職者含む)		113 (100%)	27 (23.9%)	85 (75.2%)	1 (0.9%)
家事専業		98 (100%)	29 (29.6%)	66 (67.3%)	3 (3.1%)
パート・アルバイト等		119 (100%)	33 (27.7%)	84 (70.6%)	2 (1.7%)
居 住 年 数	1年未満	31 (100%)	12 (38.7%)	19 (61.3%)	0 (0.0%)
	1年以上5年未満	93 (100%)	29 (31.2%)	63 (67.7%)	1 (1.1%)
	5年以上10年未満	77 (100%)	25 (32.5%)	51 (66.2%)	1 (1.3%)
	10年以上20年未満	106 (100%)	45 (42.5%)	61 (57.5%)	0 (0.0%)
	20年以上30年未満	111 (100%)	23 (20.7%)	86 (77.5%)	2 (1.8%)
	30年以上	270 (100%)	61 (22.6%)	203 (75.2%)	6 (2.2%)
世 帯 人 数	単身	167 (100%)	54 (32.3%)	110 (65.9%)	3 (1.8%)
	2人	252 (100%)	68 (27.0%)	181 (71.8%)	3 (1.2%)
	3人	141 (100%)	36 (25.5%)	101 (71.6%)	4 (2.8%)
	4人	90 (100%)	32 (35.6%)	58 (64.4%)	0 (0.0%)
	5人以上	37 (100%)	5 (13.5%)	32 (86.5%)	0 (0.0%)
住 居 形 態	一戸建て	295 (100%)	75 (25.4%)	214 (72.5%)	6 (2.0%)
	集合住宅(持家)	141 (100%)	32 (22.7%)	109 (77.3%)	0 (0.0%)
	集合住宅(持家以外)等	253 (100%)	88 (34.8%)	161 (63.6%)	4 (1.6%)
町 加 会 入 の	加入している	381 (100%)	95 (24.9%)	281 (73.8%)	5 (1.3%)
	加入していない	297 (100%)	96 (32.3%)	197 (66.3%)	4 (1.3%)

図表 2-36 「中野区ごみ分別アプリ」の認知度（属性別クロス集計）グラフ



(3) 資源プラスチックについて

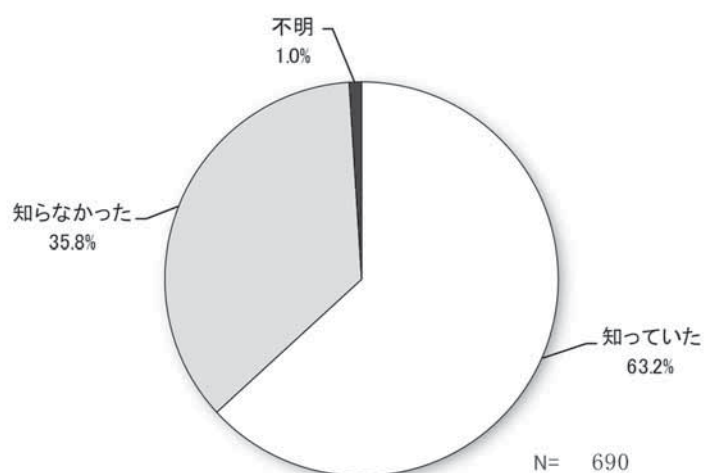
①分別変更（令和 6 年 4 月）の認知度

問 4(1) あなたは、プラスチックの分別ルールの変更についてご存じでしたか。

令和 6 年 4 月のプラスチック類の分別ルール変更について、「知っていた」は 63.2%であり、「知らなかった」は、35.8%であった。

図表 2-37 プラスチック分別ルール変更の認知度

選択肢	回答数	割合
知っていた	436	63.2%
知らなかった	247	35.8%
不明	7	1.0%
合計	690	100.0%



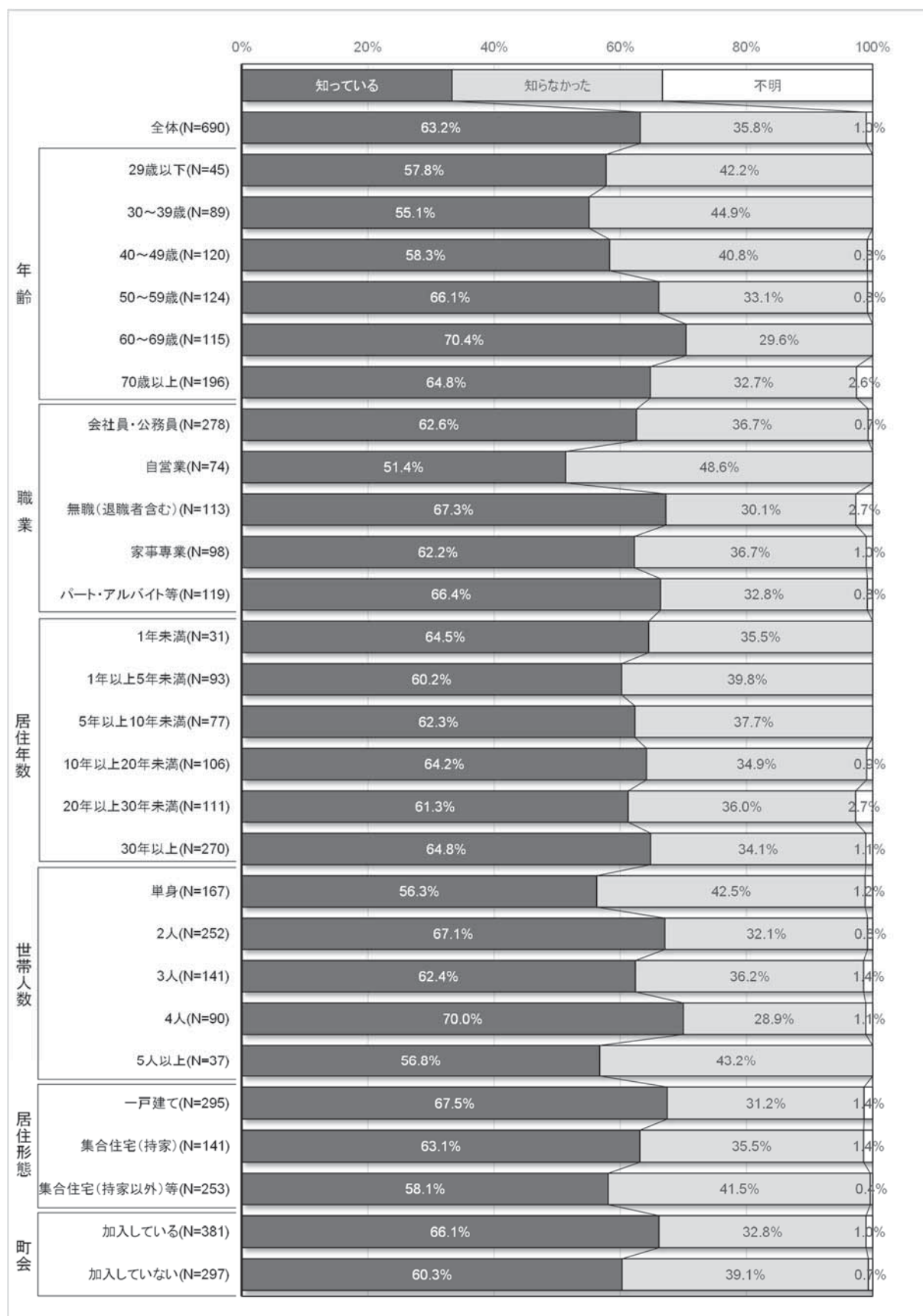
図表 2-38 は、属性別クロス集計結果である。（グラフ：図表 2-39）

プラスチックの分別ルール変更を「知らなかった」とする回答は、年齢別では 30 代、職業別では自営業、世帯人数別では単身世帯、居住形態別では持ち家以外の集合住宅に居住する世帯がそれぞれ高い傾向が見られる。

図表 2-38 プラスチック分別ルール変更の認知度（属性別クロス集計）

		回答数	問4(1)プラスチック分別変更の認知		
			知っている	知らなかった	不明
全体		690 (100%)	436 (63.2%)	247 (35.8%)	7 (1.0%)
年 齢	29歳以下	45 (100%)	26 (57.8%)	19 (42.2%)	0 (0.0%)
	30～39歳	89 (100%)	49 (55.1%)	40 (44.9%)	0 (0.0%)
	40～49歳	120 (100%)	70 (58.3%)	49 (40.8%)	1 (0.8%)
	50～59歳	124 (100%)	82 (66.1%)	41 (33.1%)	1 (0.8%)
	60～69歳	115 (100%)	81 (70.4%)	34 (29.6%)	0 (0.0%)
	70歳以上	196 (100%)	127 (64.8%)	64 (32.7%)	5 (2.6%)
職 業	会社員・公務員	278 (100%)	174 (62.6%)	102 (36.7%)	2 (0.7%)
	自営業	74 (100%)	38 (51.4%)	36 (48.6%)	0 (0.0%)
	無職(退職者含む)	113 (100%)	76 (67.3%)	34 (30.1%)	3 (2.7%)
	家事専業	98 (100%)	61 (62.2%)	36 (36.7%)	1 (1.0%)
	パート・アルバイト等	119 (100%)	79 (66.4%)	39 (32.8%)	1 (0.8%)
居 住 年 数	1年未満	31 (100%)	20 (64.5%)	11 (35.5%)	0 (0.0%)
	1年以上5年未満	93 (100%)	56 (60.2%)	37 (39.8%)	0 (0.0%)
	5年以上10年未満	77 (100%)	48 (62.3%)	29 (37.7%)	0 (0.0%)
	10年以上20年未満	106 (100%)	68 (64.2%)	37 (34.9%)	1 (0.9%)
	20年以上30年未満	111 (100%)	68 (61.3%)	40 (36.0%)	3 (2.7%)
	30年以上	270 (100%)	175 (64.8%)	92 (34.1%)	3 (1.1%)
世 帯 人 数	単身	167 (100%)	94 (56.3%)	71 (42.5%)	2 (1.2%)
	2人	252 (100%)	169 (67.1%)	81 (32.1%)	2 (0.8%)
	3人	141 (100%)	88 (62.4%)	51 (36.2%)	2 (1.4%)
	4人	90 (100%)	63 (70.0%)	26 (28.9%)	1 (1.1%)
	5人以上	37 (100%)	21 (56.8%)	16 (43.2%)	0 (0.0%)
住 居 形 態	一戸建て	295 (100%)	199 (67.5%)	92 (31.2%)	4 (1.4%)
	集合住宅(持家)	141 (100%)	89 (63.1%)	50 (35.5%)	2 (1.4%)
	集合住宅(持家以外)等	253 (100%)	147 (58.1%)	105 (41.5%)	1 (0.4%)
町 加 会 入 の	加入している	381 (100%)	252 (66.1%)	125 (32.8%)	4 (1.0%)
	加入していない	297 (100%)	179 (60.3%)	116 (39.1%)	2 (0.7%)

図表 2-39 プラスチック分別ルール変更の認知度（属性別クロス集計）グラフ

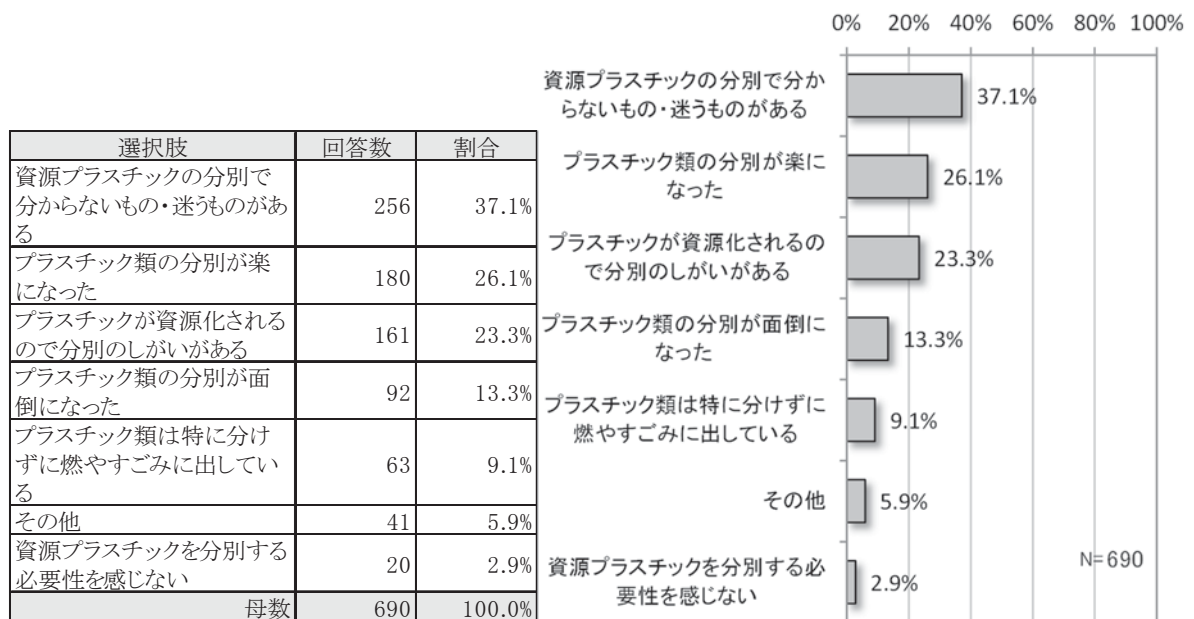


②「資源プラスチック」の分別に関する感想

問 4(2) 「資源プラスチック」の分別回収が始まってみて、いかがですか。

「資源プラスチックの分別で分からないもの・迷うものがある」との回答が **37.1%**で最も多く、「プラスチック類の分別が楽になった」は **26.1%**であった。

図表 2-40 資源プラスチック分別収集開始について



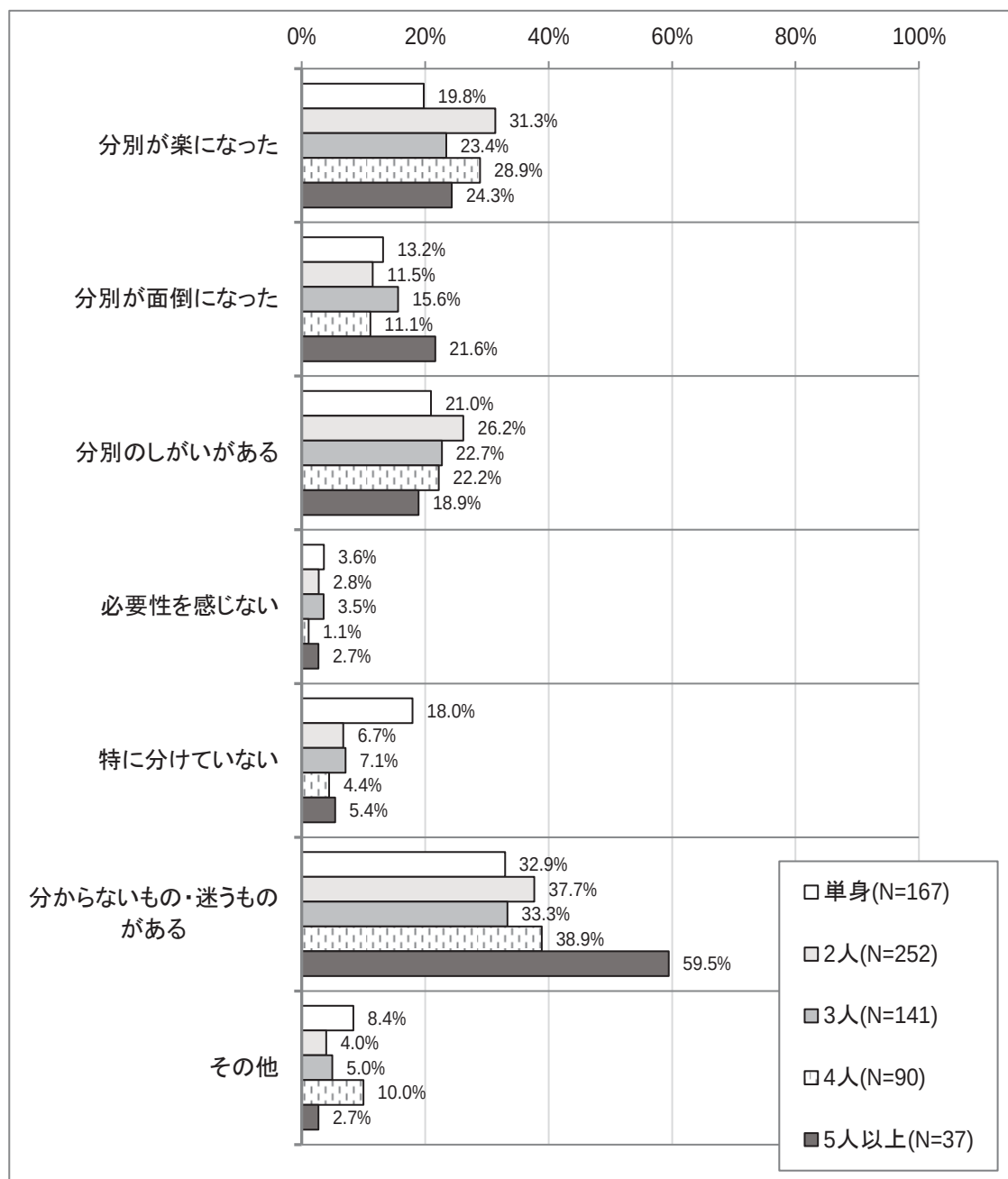
図表 2-41 は属性別クロス集計結果である。（グラフ：図表 2-42）

世帯人数別に見ると、単身世帯は「特に分けずに燃やすごみに出している」とする割合が **18.0%**と突出して高くなっている。

図表 2-41 資源プラスチック分別収集開始について（属性別クロス集計）

		回答数	問4(2)プラスチック分別変更の感想					
			分別が楽になった	分別が面倒になった	分別のしがいがある	必要性を感じない	特に分けていない	分らないもの・迷うも その他
全体		690 (100%)	180 (26.1%)	92 (13.3%)	161 (23.3%)	20 (2.9%)	63 (9.1%)	256 (37.1%)
年 齢	29歳以下	45 (100%)	8 (17.8%)	9 (20.0%)	6 (13.3%)	2 (4.4%)	11 (24.4%)	9 (20.0%)
	30～39歳	89 (100%)	13 (14.6%)	11 (12.4%)	15 (16.9%)	6 (6.7%)	9 (10.1%)	34 (38.2%)
	40～49歳	120 (100%)	29 (24.2%)	14 (11.7%)	23 (19.2%)	1 (0.8%)	11 (9.2%)	47 (39.2%)
	50～59歳	124 (100%)	24 (19.4%)	17 (13.7%)	27 (21.8%)	4 (3.2%)	15 (12.1%)	46 (37.1%)
	60～69歳	115 (100%)	35 (30.4%)	19 (16.5%)	32 (27.8%)	2 (1.7%)	7 (6.1%)	39 (33.9%)
	70歳以上	196 (100%)	71 (36.2%)	22 (11.2%)	57 (29.1%)	5 (2.6%)	10 (5.1%)	80 (40.8%)
職 業	会社員・公務員	278 (100%)	57 (20.5%)	38 (13.7%)	53 (19.1%)	4 (1.4%)	35 (12.6%)	110 (39.6%)
	自営業	74 (100%)	11 (14.9%)	10 (13.5%)	15 (20.3%)	2 (2.7%)	9 (12.2%)	28 (37.8%)
	無職(退職者含む)	113 (100%)	48 (42.5%)	12 (10.6%)	32 (28.3%)	10 (8.8%)	6 (5.3%)	39 (34.5%)
	家事専業	98 (100%)	30 (30.6%)	12 (12.2%)	27 (27.6%)	2 (2.0%)	5 (5.1%)	35 (35.7%)
	パート・アルバイト等	119 (100%)	31 (26.1%)	20 (16.8%)	33 (27.7%)	2 (1.7%)	7 (5.9%)	40 (33.6%)
居 住 年 数	1年未満	31 (100%)	4 (12.9%)	8 (25.8%)	2 (6.5%)	0 (0.0%)	7 (22.6%)	4 (12.9%)
	1年以上5年未満	93 (100%)	17 (18.3%)	12 (12.9%)	19 (20.4%)	6 (6.5%)	12 (12.9%)	29 (31.2%)
	5年以上10年未満	77 (100%)	20 (26.0%)	9 (11.7%)	15 (19.5%)	1 (1.3%)	6 (7.8%)	36 (46.8%)
	10年以上20年未満	106 (100%)	27 (25.5%)	11 (10.4%)	20 (18.9%)	6 (5.7%)	13 (12.3%)	37 (34.9%)
	20年以上30年未満	111 (100%)	29 (26.1%)	15 (13.5%)	27 (24.3%)	2 (1.8%)	13 (11.7%)	37 (33.3%)
	30年以上	270 (100%)	83 (30.7%)	36 (13.3%)	77 (28.5%)	5 (1.9%)	12 (4.4%)	112 (41.5%)
世 帯 人 数	単身	167 (100%)	33 (19.8%)	22 (13.2%)	35 (21.0%)	6 (3.6%)	30 (18.0%)	55 (32.9%)
	2人	252 (100%)	79 (31.3%)	29 (11.5%)	66 (26.2%)	7 (2.8%)	17 (6.7%)	95 (37.7%)
	3人	141 (100%)	33 (23.4%)	22 (15.6%)	32 (22.7%)	5 (3.5%)	10 (7.1%)	47 (33.3%)
	4人	90 (100%)	26 (28.9%)	10 (11.1%)	20 (22.2%)	1 (1.1%)	4 (4.4%)	35 (38.9%)
	5人以上	37 (100%)	9 (24.3%)	8 (21.6%)	7 (18.9%)	1 (2.7%)	2 (5.4%)	22 (59.5%)
住 居 形 態	一戸建て	295 (100%)	87 (29.5%)	41 (13.9%)	75 (25.4%)	9 (3.1%)	20 (6.8%)	110 (37.3%)
	集合住宅(持家)	141 (100%)	46 (32.6%)	18 (12.8%)	35 (24.8%)	2 (1.4%)	9 (6.4%)	61 (43.3%)
	集合住宅(持家以外)等	253 (100%)	47 (18.6%)	33 (13.0%)	50 (19.8%)	9 (3.6%)	34 (13.4%)	84 (33.2%)
町 加 入 の	加入している	381 (100%)	115 (30.2%)	48 (12.6%)	100 (26.2%)	9 (2.4%)	27 (7.1%)	155 (40.7%)
	加入していない	297 (100%)	63 (21.2%)	43 (14.5%)	56 (18.9%)	11 (3.7%)	35 (11.8%)	96 (32.3%)

図表 2-42 資源プラスチック分別収集開始について（世帯人数別クロス集計）

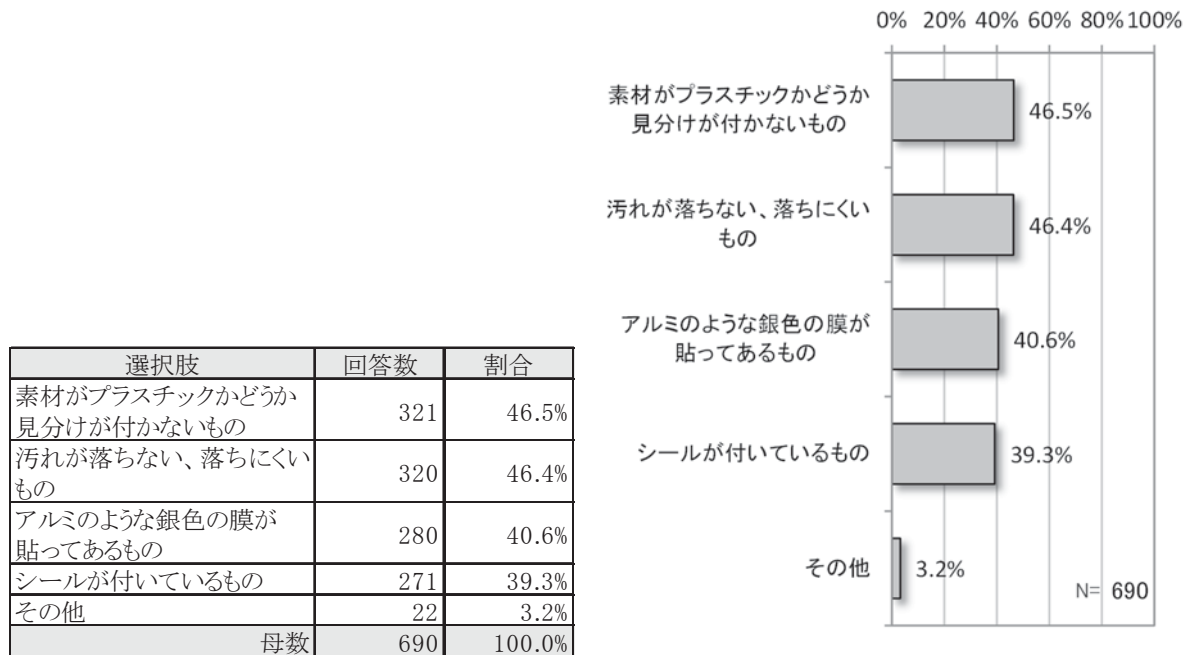


③資源プラスチックの分別で分からないもの・迷うもの

問 4(3) 資源プラスチックの分別で分からないもの・迷うものはどのようなものですか。

「素材がプラスチックかどうか見分けが付かないもの」「汚れが落ちない、落ちにくいもの」など 4 つの選択肢を設けたが、いずれも 39～46%が該当すると回答している。

図表 2-43 資源プラスチックの分別で分からないもの・迷うもの



「その他」の具体的な内容は、

- ・ とても小さいもの
- ・ プラスチック以外の材質が混在したもの
- ・ ペットボトルのふたとラベル

などであった。

図表 2-44 は、属性別クロス集計結果である。

分からないもの・迷うものに関しては、属性による大きな傾向は見られない。

図表 2-44 資源プラスチックの分別で分からないもの・迷うもの（属性別クロス集計）

		回答数	問4(3)プラ分別で迷う・分からないもの				
			汚れが落ちにくい	シールが付いている	アルミの膜が貼ってある	プラかどうか見分けが	その他
全体		690 (100%)	320 (46.4%)	271 (39.3%)	280 (40.6%)	321 (46.5%)	22 (3.2%)
年 齢	29歳以下	45 (100%)	23 (51.1%)	20 (44.4%)	16 (35.6%)	20 (44.4%)	1 (2.2%)
	30～39歳	89 (100%)	43 (48.3%)	34 (38.2%)	40 (44.9%)	41 (46.1%)	5 (5.6%)
	40～49歳	120 (100%)	58 (48.3%)	48 (40.0%)	52 (43.3%)	54 (45.0%)	4 (3.3%)
	50～59歳	124 (100%)	66 (53.2%)	57 (46.0%)	55 (44.4%)	60 (48.4%)	3 (2.4%)
	60～69歳	115 (100%)	47 (40.9%)	48 (41.7%)	42 (36.5%)	49 (42.6%)	7 (6.1%)
	70歳以上	196 (100%)	83 (42.3%)	64 (32.7%)	74 (37.8%)	97 (49.5%)	1 (0.5%)
	70歳以上	196 (100%)	83 (42.3%)	64 (32.7%)	74 (37.8%)	97 (49.5%)	1 (0.5%)
職 業	会社員・公務員	278 (100%)	136 (48.9%)	108 (38.8%)	118 (42.4%)	129 (46.4%)	10 (3.6%)
	自営業	74 (100%)	34 (45.9%)	31 (41.9%)	32 (43.2%)	33 (44.6%)	3 (4.1%)
	無職（退職者含む）	113 (100%)	49 (43.4%)	39 (34.5%)	43 (38.1%)	54 (47.8%)	2 (1.8%)
	家事専業	98 (100%)	36 (36.7%)	36 (36.7%)	39 (39.8%)	46 (46.9%)	1 (1.0%)
	パート・アルバイト等	119 (100%)	61 (51.3%)	56 (47.1%)	43 (36.1%)	56 (47.1%)	5 (4.2%)
居 住 年 数	1年未満	31 (100%)	13 (41.9%)	13 (41.9%)	17 (54.8%)	14 (45.2%)	1 (3.2%)
	1年以上5年未満	93 (100%)	45 (48.4%)	33 (35.5%)	35 (37.6%)	42 (45.2%)	6 (6.5%)
	5年以上10年未満	77 (100%)	40 (51.9%)	29 (37.7%)	36 (46.8%)	37 (48.1%)	2 (2.6%)
	10年以上20年未満	106 (100%)	51 (48.1%)	47 (44.3%)	43 (40.6%)	54 (50.9%)	3 (2.8%)
	20年以上30年未満	111 (100%)	46 (41.4%)	41 (36.9%)	34 (30.6%)	43 (38.7%)	2 (1.8%)
	30年以上	270 (100%)	124 (45.9%)	107 (39.6%)	113 (41.9%)	130 (48.1%)	7 (2.6%)
	30年以上	270 (100%)	124 (45.9%)	107 (39.6%)	113 (41.9%)	130 (48.1%)	7 (2.6%)
世 帯 人 数	単身	167 (100%)	76 (45.5%)	69 (41.3%)	66 (39.5%)	83 (49.7%)	8 (4.8%)
	2人	252 (100%)	111 (44.0%)	88 (34.9%)	105 (41.7%)	110 (43.7%)	10 (4.0%)
	3人	141 (100%)	66 (46.8%)	55 (39.0%)	54 (38.3%)	71 (50.4%)	0 (0.0%)
	4人	90 (100%)	51 (56.7%)	47 (52.2%)	37 (41.1%)	33 (36.7%)	3 (3.3%)
	5人以上	37 (100%)	15 (40.5%)	11 (29.7%)	16 (43.2%)	23 (62.2%)	0 (0.0%)
住 居 形 態	一戸建て	295 (100%)	132 (44.7%)	106 (35.9%)	107 (36.3%)	131 (44.4%)	7 (2.4%)
	集合住宅（持家）	141 (100%)	68 (48.2%)	71 (50.4%)	62 (44.0%)	70 (49.6%)	4 (2.8%)
	集合住宅（持家以外）等	253 (100%)	120 (47.4%)	94 (37.2%)	110 (43.5%)	120 (47.4%)	10 (4.0%)
町 加 会 入 への	加入している	381 (100%)	172 (45.1%)	153 (40.2%)	146 (38.3%)	188 (49.3%)	9 (2.4%)
	加入していない	297 (100%)	145 (48.8%)	116 (39.1%)	130 (43.8%)	129 (43.4%)	11 (3.7%)

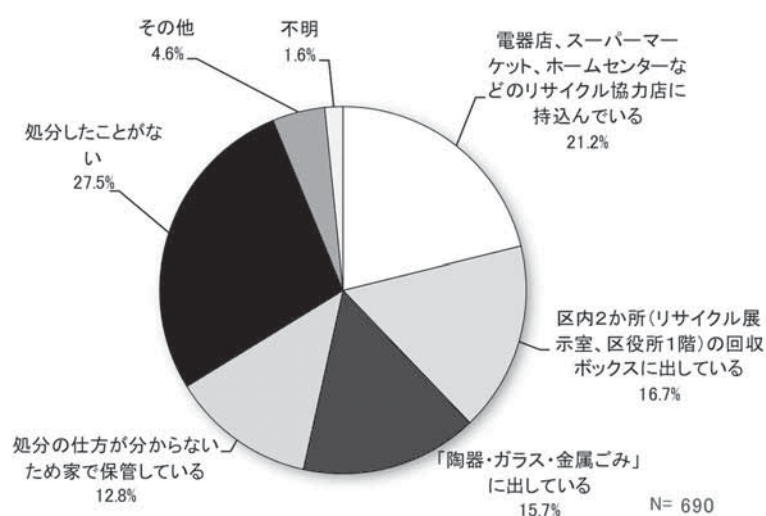
(4) 「小型充電式電池」について

問 5(1) あなたは、充電式電池をどのように処分していますか。

「電器店等のリサイクル協力店への持込」が 21.2%、次いで「リサイクル展示室、区役所 1 階の回収ボックスに出す」が 16.7%、「金属・陶器・ガラスごみ」が 15.7%などであった。

図表 2-45 充電式電池の処分方法

選択肢	回答数	割合
電器店、スーパーマーケット、ホームセンターなどのリサイクル協力店に持込んでいる	146	21.2%
区内2か所(リサイクル展示室、区役所1階)の回収ボックスに出している	115	16.7%
「陶器・ガラス・金属ごみ」に出している	108	15.7%
処分の仕方が分からないため家で保管している	88	12.8%
処分したことがない	190	27.5%
その他	32	4.6%
不明	11	1.6%
合計	690	100.0%



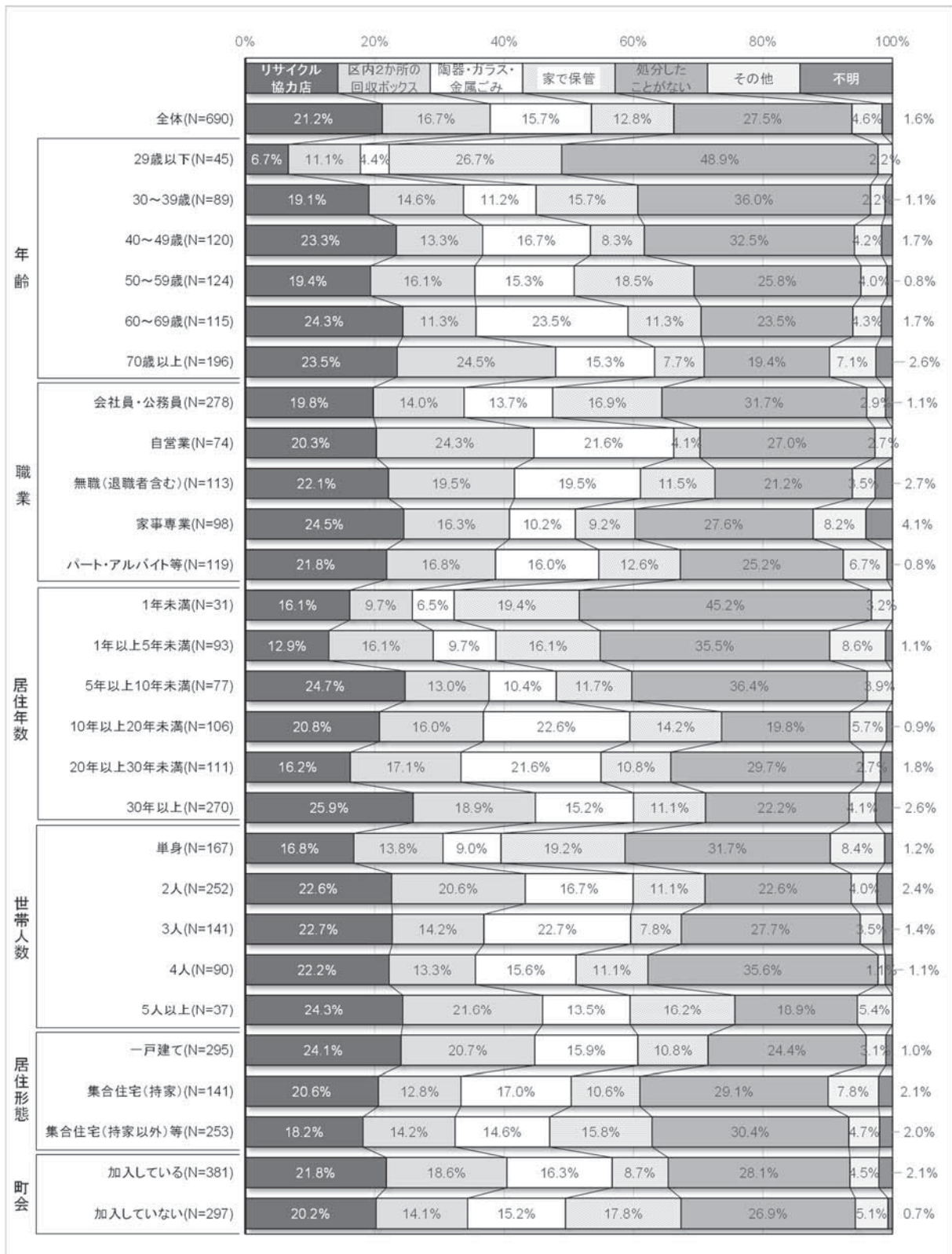
図表 2-46 は、属性別クロス集計結果である。(グラフ：図表 2-47)

居住年数別で見た場合、5 年未満の層ではリサイクル協力店への排出が少ないといった傾向が見られる。

図表 2-46 充電式電池の処分方法（属性別クロス集計）

		回答数	問5(1) 充電式電池の処分方法						
			リサイクル協 力店	区内2か所の 回収ボックス	陶器・ガラス・ 金属ごみ	家で保管	処分したこと がない	その他	不明
全体		690 (100%)	146 (21.2%)	115 (16.7%)	108 (15.7%)	88 (12.8%)	190 (27.5%)	32 (4.6%)	11 (1.6%)
年 齢	29歳以下	45 (100%)	3 (6.7%)	5 (11.1%)	2 (4.4%)	12 (26.7%)	22 (48.9%)	1 (2.2%)	0 (0.0%)
	30～39歳	89 (100%)	17 (19.1%)	13 (14.6%)	10 (11.2%)	14 (15.7%)	32 (36.0%)	2 (2.2%)	1 (1.1%)
	40～49歳	120 (100%)	28 (23.3%)	16 (13.3%)	20 (16.7%)	10 (8.3%)	39 (32.5%)	5 (4.2%)	2 (1.7%)
	50～59歳	124 (100%)	24 (19.4%)	20 (16.1%)	19 (15.3%)	23 (18.5%)	32 (25.8%)	5 (4.0%)	1 (0.8%)
	60～69歳	115 (100%)	28 (24.3%)	13 (11.3%)	27 (23.5%)	13 (11.3%)	27 (23.5%)	5 (4.3%)	2 (1.7%)
	70歳以上	196 (100%)	46 (23.5%)	48 (24.5%)	30 (15.3%)	15 (7.7%)	38 (19.4%)	14 (7.1%)	5 (2.6%)
	職 業	会社員・公務 員	278 (100%)	55 (19.8%)	39 (14.0%)	38 (13.7%)	47 (16.9%)	88 (31.7%)	8 (2.9%)
自営業		74 (100%)	15 (20.3%)	18 (24.3%)	16 (21.6%)	3 (4.1%)	20 (27.0%)	2 (2.7%)	0 (0.0%)
無職(退職者 含む)		113 (100%)	25 (22.1%)	22 (19.5%)	22 (19.5%)	13 (11.5%)	24 (21.2%)	4 (3.5%)	3 (2.7%)
家事専業		98 (100%)	24 (24.5%)	16 (16.3%)	10 (10.2%)	9 (9.2%)	27 (27.6%)	8 (8.2%)	4 (4.1%)
パート・アルバ イト等		119 (100%)	26 (21.8%)	20 (16.8%)	19 (16.0%)	15 (12.6%)	30 (25.2%)	8 (6.7%)	1 (0.8%)
居 住 年 数		1年未満	31 (100%)	5 (16.1%)	3 (9.7%)	2 (6.5%)	6 (19.4%)	14 (45.2%)	1 (3.2%)
	1年以上5年 未満	93 (100%)	12 (12.9%)	15 (16.1%)	9 (9.7%)	15 (16.1%)	33 (35.5%)	8 (8.6%)	1 (1.1%)
	5年以上10年 未満	77 (100%)	19 (24.7%)	10 (13.0%)	8 (10.4%)	9 (11.7%)	28 (36.4%)	3 (3.9%)	0 (0.0%)
	10年以上20 年未満	106 (100%)	22 (20.8%)	17 (16.0%)	24 (22.6%)	15 (14.2%)	21 (19.8%)	6 (5.7%)	1 (0.9%)
	20年以上30 年未満	111 (100%)	18 (16.2%)	19 (17.1%)	24 (21.6%)	12 (10.8%)	33 (29.7%)	3 (2.7%)	2 (1.8%)
	30年以上	270 (100%)	70 (25.9%)	51 (18.9%)	41 (15.2%)	30 (11.1%)	60 (22.2%)	11 (4.1%)	7 (2.6%)
	世 帯 人 数	単身	167 (100%)	28 (16.8%)	23 (13.8%)	15 (9.0%)	32 (19.2%)	53 (31.7%)	14 (8.4%)
2人		252 (100%)	57 (22.6%)	52 (20.6%)	42 (16.7%)	28 (11.1%)	57 (22.6%)	10 (4.0%)	6 (2.4%)
3人		141 (100%)	32 (22.7%)	20 (14.2%)	32 (22.7%)	11 (7.8%)	39 (27.7%)	5 (3.5%)	2 (1.4%)
4人		90 (100%)	20 (22.2%)	12 (13.3%)	14 (15.6%)	10 (11.1%)	32 (35.6%)	1 (1.1%)	1 (1.1%)
5人以上		37 (100%)	9 (24.3%)	8 (21.6%)	5 (13.5%)	6 (16.2%)	7 (18.9%)	2 (5.4%)	0 (0.0%)
住 居 形 態	一戸建て	295 (100%)	71 (24.1%)	61 (20.7%)	47 (15.9%)	32 (10.8%)	72 (24.4%)	9 (3.1%)	3 (1.0%)
	集合住宅(持 家)	141 (100%)	29 (20.6%)	18 (12.8%)	24 (17.0%)	15 (10.6%)	41 (29.1%)	11 (7.8%)	3 (2.1%)
	集合住宅(持 家以外)等	253 (100%)	46 (18.2%)	36 (14.2%)	37 (14.6%)	40 (15.8%)	77 (30.4%)	12 (4.7%)	5 (2.0%)
町 加 会 入 へ の	加入している	381 (100%)	83 (21.8%)	71 (18.6%)	62 (16.3%)	33 (8.7%)	107 (28.1%)	17 (4.5%)	8 (2.1%)
	加入していない	297 (100%)	60 (20.2%)	42 (14.1%)	45 (15.2%)	53 (17.8%)	80 (26.9%)	15 (5.1%)	2 (0.7%)

図表 2-47 充電式電池の処分方法（属性別クロス集計）グラフ



(5) 食品ロスについて

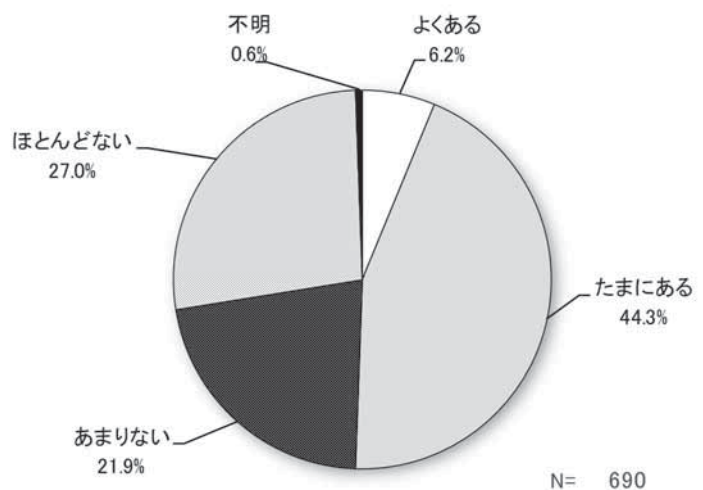
①まだ食べられる食品の廃棄

問 6(1) あなたの家庭では、賞味期限切れの食品や作りすぎてしまった食べ物などを捨ててしまうことはありますか。

「よくある」6.2%、「たまにある」44.3%と、約半数は食品ロスが出ると回答している。前回の調査結果では「よくある」が4.5%、「たまにある」が40.1%であり、やや増加傾向が見られる。

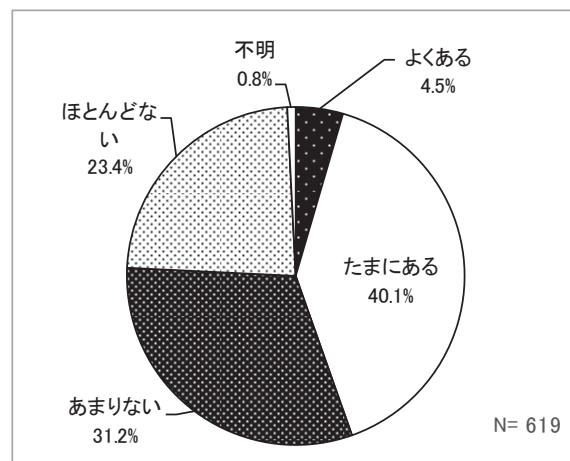
図表 2-48 まだ食べられる食品の廃棄

選択肢	回答数	割合
よくある	43	6.2%
たまにある	306	44.3%
あまりない	151	21.9%
ほとんどない	186	27.0%
不明	4	0.6%
合計	690	100.0%



図表 2-49 (参考) まだ食べられる食品の廃棄 (前回令和元年度調査)

選択肢	回答数	割合
よくある	28	4.5%
たまにある	248	40.1%
あまりない	193	31.2%
ほとんどない	145	23.4%
不明	5	0.8%
合計	619	100.0%



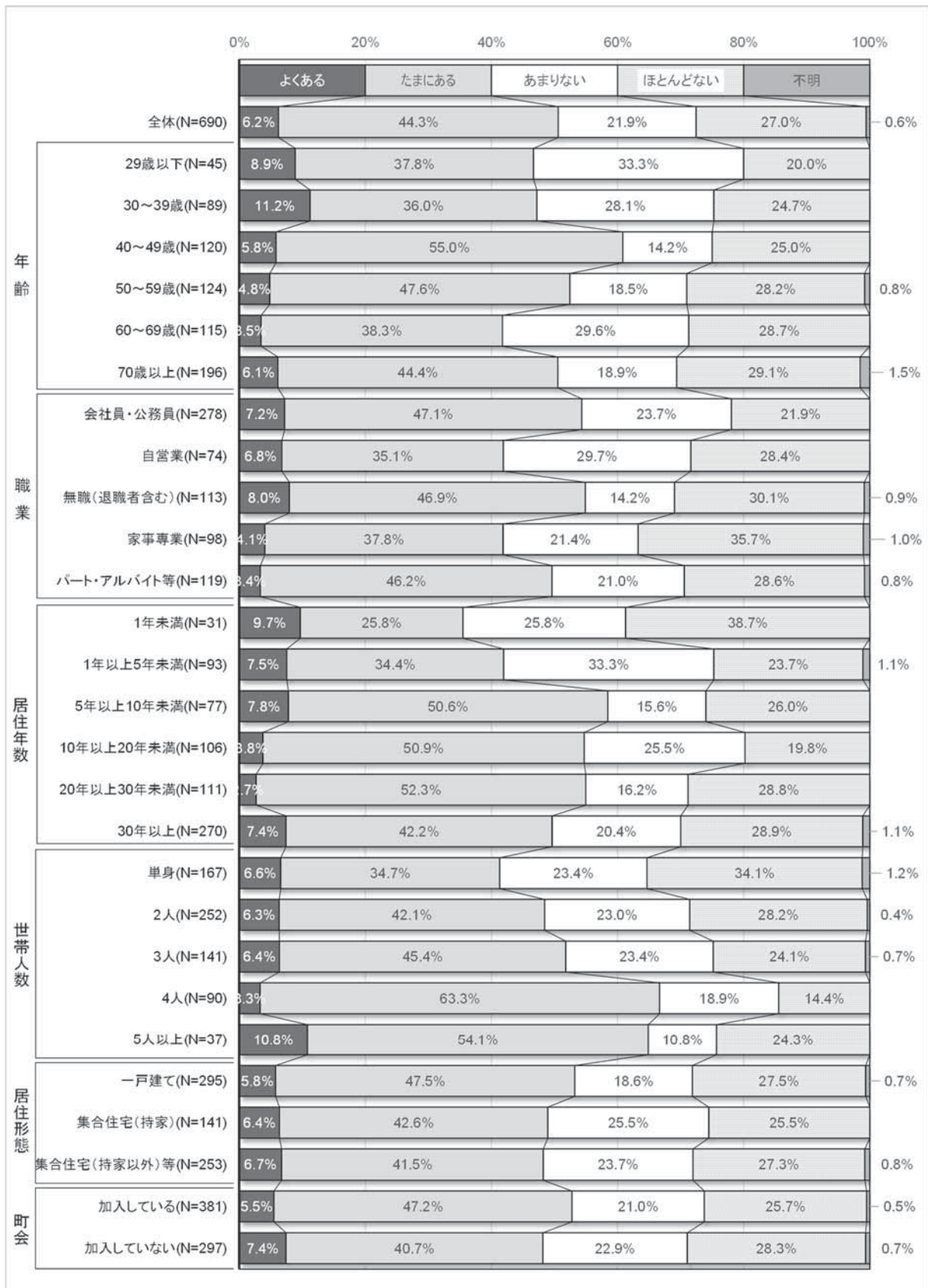
図表 2-50 は、属性別クロス集計結果である。(グラフ：図表 2-51)

まだ食べられる食品の廃棄が「よくある」「たまにある」の合計の割合は、年齢別には 40 代、世帯人数別には 4 人以上の世帯が多く、ファミリー世帯では食品ロスが発生しやすい傾向が見られる。

図表 2-50 まだ食べられる食品の廃棄（属性別クロス集計）

		回答数	問6(1) 食べられる食品の廃棄				
			よくある	たまにある	あまりない	ほとんどない	不明
全体		690 (100%)	43 (6.2%)	306 (44.3%)	151 (21.9%)	186 (27.0%)	4 (0.6%)
年 齢	29歳以下	45 (100%)	4 (8.9%)	17 (37.8%)	15 (33.3%)	9 (20.0%)	0 (0.0%)
	30～39歳	89 (100%)	10 (11.2%)	32 (36.0%)	25 (28.1%)	22 (24.7%)	0 (0.0%)
	40～49歳	120 (100%)	7 (5.8%)	66 (55.0%)	17 (14.2%)	30 (25.0%)	0 (0.0%)
	50～59歳	124 (100%)	6 (4.8%)	59 (47.6%)	23 (18.5%)	35 (28.2%)	1 (0.8%)
	60～69歳	115 (100%)	4 (3.5%)	44 (38.3%)	34 (29.6%)	33 (28.7%)	0 (0.0%)
	70歳以上	196 (100%)	12 (6.1%)	87 (44.4%)	37 (18.9%)	57 (29.1%)	3 (1.5%)
	職 業	会社員・公務員	278 (100%)	20 (7.2%)	131 (47.1%)	66 (23.7%)	61 (21.9%)
自営業		74 (100%)	5 (6.8%)	26 (35.1%)	22 (29.7%)	21 (28.4%)	0 (0.0%)
無職(退職者含む)		113 (100%)	9 (8.0%)	53 (46.9%)	16 (14.2%)	34 (30.1%)	1 (0.9%)
家事専業		98 (100%)	4 (4.1%)	37 (37.8%)	21 (21.4%)	35 (35.7%)	1 (1.0%)
パート・アルバイト等		119 (100%)	4 (3.4%)	55 (46.2%)	25 (21.0%)	34 (28.6%)	1 (0.8%)
居 住 年 数		1年未満	31 (100%)	3 (9.7%)	8 (25.8%)	8 (25.8%)	12 (38.7%)
	1年以上5年未満	93 (100%)	7 (7.5%)	32 (34.4%)	31 (33.3%)	22 (23.7%)	1 (1.1%)
	5年以上10年未満	77 (100%)	6 (7.8%)	39 (50.6%)	12 (15.6%)	20 (26.0%)	0 (0.0%)
	10年以上20年未満	106 (100%)	4 (3.8%)	54 (50.9%)	27 (25.5%)	21 (19.8%)	0 (0.0%)
	20年以上30年未満	111 (100%)	3 (2.7%)	58 (52.3%)	18 (16.2%)	32 (28.8%)	0 (0.0%)
	30年以上	270 (100%)	20 (7.4%)	114 (42.2%)	55 (20.4%)	78 (28.9%)	3 (1.1%)
	世 帯 人 数	単身	167 (100%)	11 (6.6%)	58 (34.7%)	39 (23.4%)	57 (34.1%)
2人		252 (100%)	16 (6.3%)	106 (42.1%)	58 (23.0%)	71 (28.2%)	1 (0.4%)
3人		141 (100%)	9 (6.4%)	64 (45.4%)	33 (23.4%)	34 (24.1%)	1 (0.7%)
4人		90 (100%)	3 (3.3%)	57 (63.3%)	17 (18.9%)	13 (14.4%)	0 (0.0%)
5人以上		37 (100%)	4 (10.8%)	20 (54.1%)	4 (10.8%)	9 (24.3%)	0 (0.0%)
住 居 形 態	一戸建て	295 (100%)	17 (5.8%)	140 (47.5%)	55 (18.6%)	81 (27.5%)	2 (0.7%)
	集合住宅(持家)	141 (100%)	9 (6.4%)	60 (42.6%)	36 (25.5%)	36 (25.5%)	0 (0.0%)
	集合住宅(持家以外)等	253 (100%)	17 (6.7%)	105 (41.5%)	60 (23.7%)	69 (27.3%)	2 (0.8%)
町 加 会 入 へ の	加入している	381 (100%)	21 (5.5%)	180 (47.2%)	80 (21.0%)	98 (25.7%)	2 (0.5%)
	加入していない	297 (100%)	22 (7.4%)	121 (40.7%)	68 (22.9%)	84 (28.3%)	2 (0.7%)

図表 2-51 まだ食べられる食品の廃棄（属性別クロス集計）グラフ

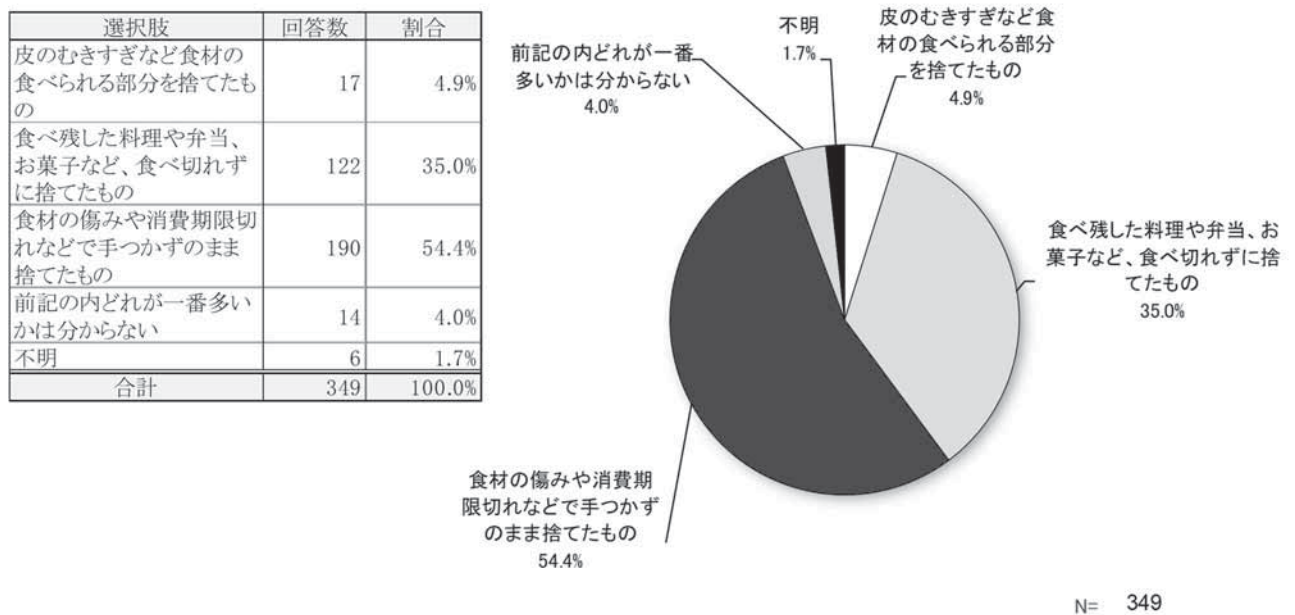


②発生する主な食品ロス

問 6(2) (1)で「1 よくある、2 たまにある」と回答した方にお聞きします。あなたの家庭からやむを得ず発生する食品ロスのうち、一番多いものはどれですか。

「消費期限切れ等による手つかずのまま捨てたもの」が最も多く 54.4%であった。次いで多いのが食べ残しで 35.0%である。

図表 2-52 発生する主な食品ロス



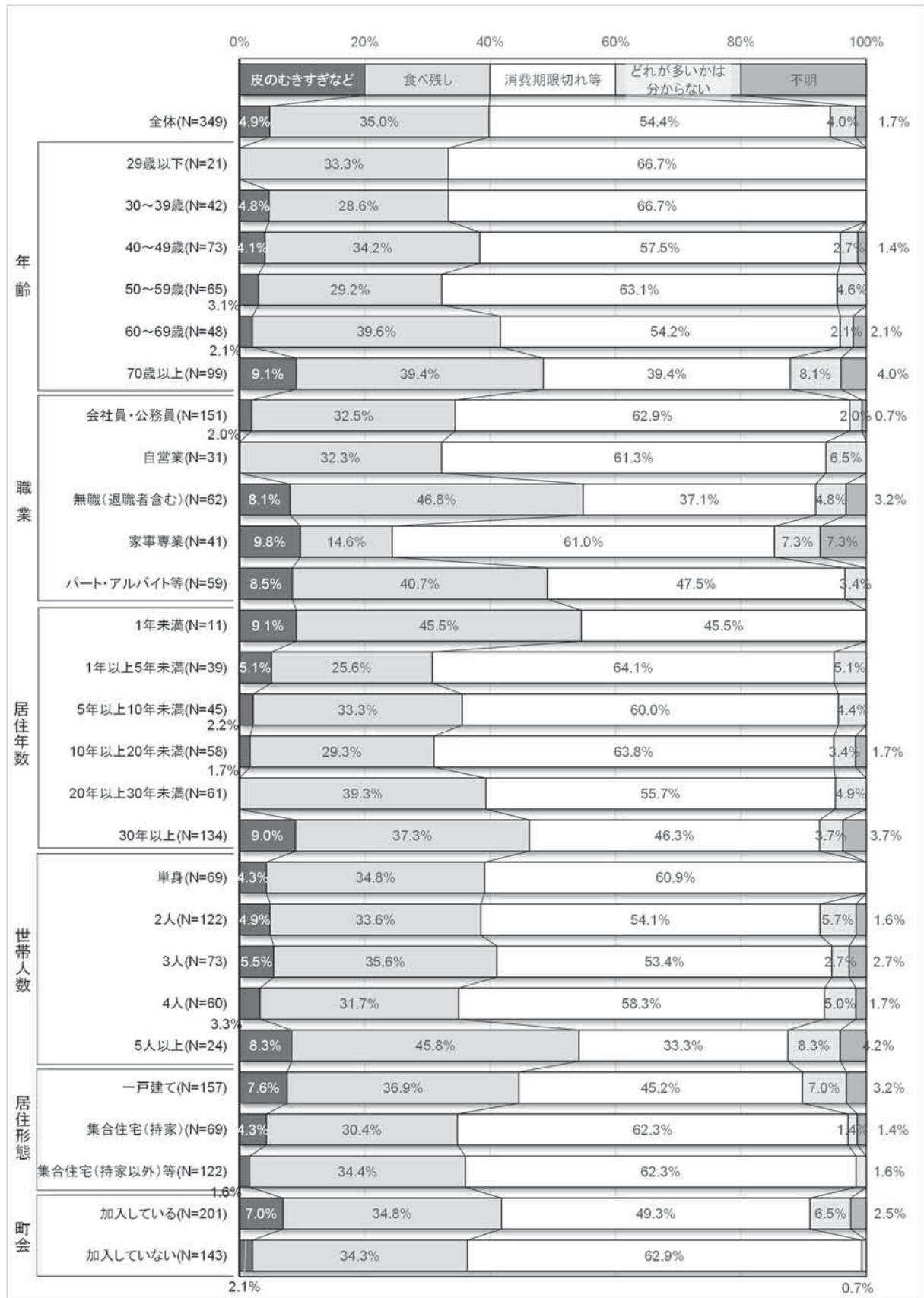
図表 2-53 は、属性別クロス集計結果である。(グラフ：図表 2-54)

消費期限切れ等による手つかず食品の廃棄は、年齢別では 20 代、30 代、世帯人数別では単身世帯に多い傾向が見られる。

図表 2-53 発生する主な食品ロス（属性別クロス集計）

		回答数	問6(2) 発生する主な食品ロス			
			皮のむきすぎ など	食べ残し	消費期限切 れ等	どれが多いか は分からない
全体		349 (100%)	17 (4.9%)	122 (35.0%)	190 (54.4%)	14 (4.0%)
年 齢	29歳以下	21 (100%)	0 (0.0%)	7 (33.3%)	14 (66.7%)	0 (0.0%)
	30～39歳	42 (100%)	2 (4.8%)	12 (28.6%)	28 (66.7%)	0 (0.0%)
	40～49歳	73 (100%)	3 (4.1%)	25 (34.2%)	42 (57.5%)	2 (2.7%)
	50～59歳	65 (100%)	2 (3.1%)	19 (29.2%)	41 (63.1%)	3 (4.6%)
	60～69歳	48 (100%)	1 (2.1%)	19 (39.6%)	26 (54.2%)	1 (2.1%)
	70歳以上	99 (100%)	9 (9.1%)	39 (39.4%)	39 (39.4%)	8 (8.1%)
						4 (4.0%)
職 業	会社員・公務員	151 (100%)	3 (2.0%)	49 (32.5%)	95 (62.9%)	3 (2.0%)
	自営業	31 (100%)	0 (0.0%)	10 (32.3%)	19 (61.3%)	2 (6.5%)
	無職(退職者含む)	62 (100%)	5 (8.1%)	29 (46.8%)	23 (37.1%)	3 (4.8%)
	家事専業	41 (100%)	4 (9.8%)	6 (14.6%)	25 (61.0%)	3 (7.3%)
	パート・アルバイト等	59 (100%)	5 (8.5%)	24 (40.7%)	28 (47.5%)	2 (3.4%)
居 住 年 数	1年未満	11 (100%)	1 (9.1%)	5 (45.5%)	5 (45.5%)	0 (0.0%)
	1年以上5年未満	39 (100%)	2 (5.1%)	10 (25.6%)	25 (64.1%)	2 (5.1%)
	5年以上10年未満	45 (100%)	1 (2.2%)	15 (33.3%)	27 (60.0%)	2 (4.4%)
	10年以上20年未満	58 (100%)	1 (1.7%)	17 (29.3%)	37 (63.8%)	2 (3.4%)
	20年以上30年未満	61 (100%)	0 (0.0%)	24 (39.3%)	34 (55.7%)	3 (4.9%)
	30年以上	134 (100%)	12 (9.0%)	50 (37.3%)	62 (46.3%)	5 (3.7%)
						5 (3.7%)
世 帯 人 数	単身	69 (100%)	3 (4.3%)	24 (34.8%)	42 (60.9%)	0 (0.0%)
	2人	122 (100%)	6 (4.9%)	41 (33.6%)	66 (54.1%)	7 (5.7%)
	3人	73 (100%)	4 (5.5%)	26 (35.6%)	39 (53.4%)	2 (2.7%)
	4人	60 (100%)	2 (3.3%)	19 (31.7%)	35 (58.3%)	3 (5.0%)
	5人以上	24 (100%)	2 (8.3%)	11 (45.8%)	8 (33.3%)	2 (8.3%)
住 居 形 態	一戸建て	157 (100%)	12 (7.6%)	58 (36.9%)	71 (45.2%)	11 (7.0%)
	集合住宅(持家)	69 (100%)	3 (4.3%)	21 (30.4%)	43 (62.3%)	1 (1.4%)
	集合住宅(持家以外)等	122 (100%)	2 (1.6%)	42 (34.4%)	76 (62.3%)	2 (1.6%)
町 加 会 入 の	加入している	201 (100%)	14 (7.0%)	70 (34.8%)	99 (49.3%)	13 (6.5%)
	加入していない	143 (100%)	3 (2.1%)	49 (34.3%)	90 (62.9%)	1 (0.7%)

図表 2-54 発生する主な食品ロス（属性別クロス集計）グラフ



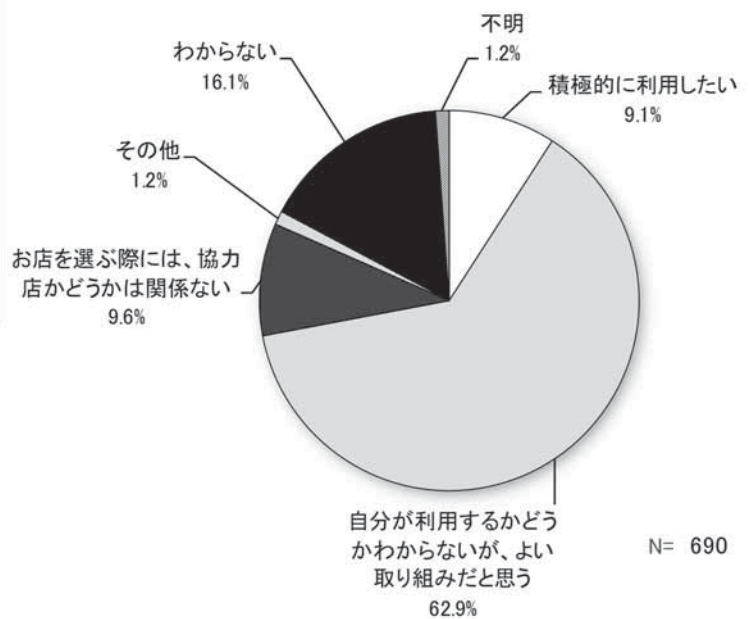
③「なかの☆もったいない ぱくぱくパートナーズ」について

問 6(3) あなたは、「なかの☆もったいない ぱくぱくパートナーズ」についてどう思いますか。

ぱくぱくパートナーズについて、9.1%が「積極的に利用したい」と回答している一方で、「お店を選ぶ際には、協力店かどうかは関係ない」との回答も 9.6%あった。

図表 2-55 「なかの☆もったいない ぱくぱくパートナーズ」について

選択肢	回答数	割合
積極的に利用したい	63	9.1%
自分が利用するかどうかかわからないが、よい取り組みだと思う	434	62.9%
お店を選ぶ際には、協力店かどうかは関係ない	66	9.6%
その他	8	1.2%
わからない	111	16.1%
不明	8	1.2%
合計	690	100.0%



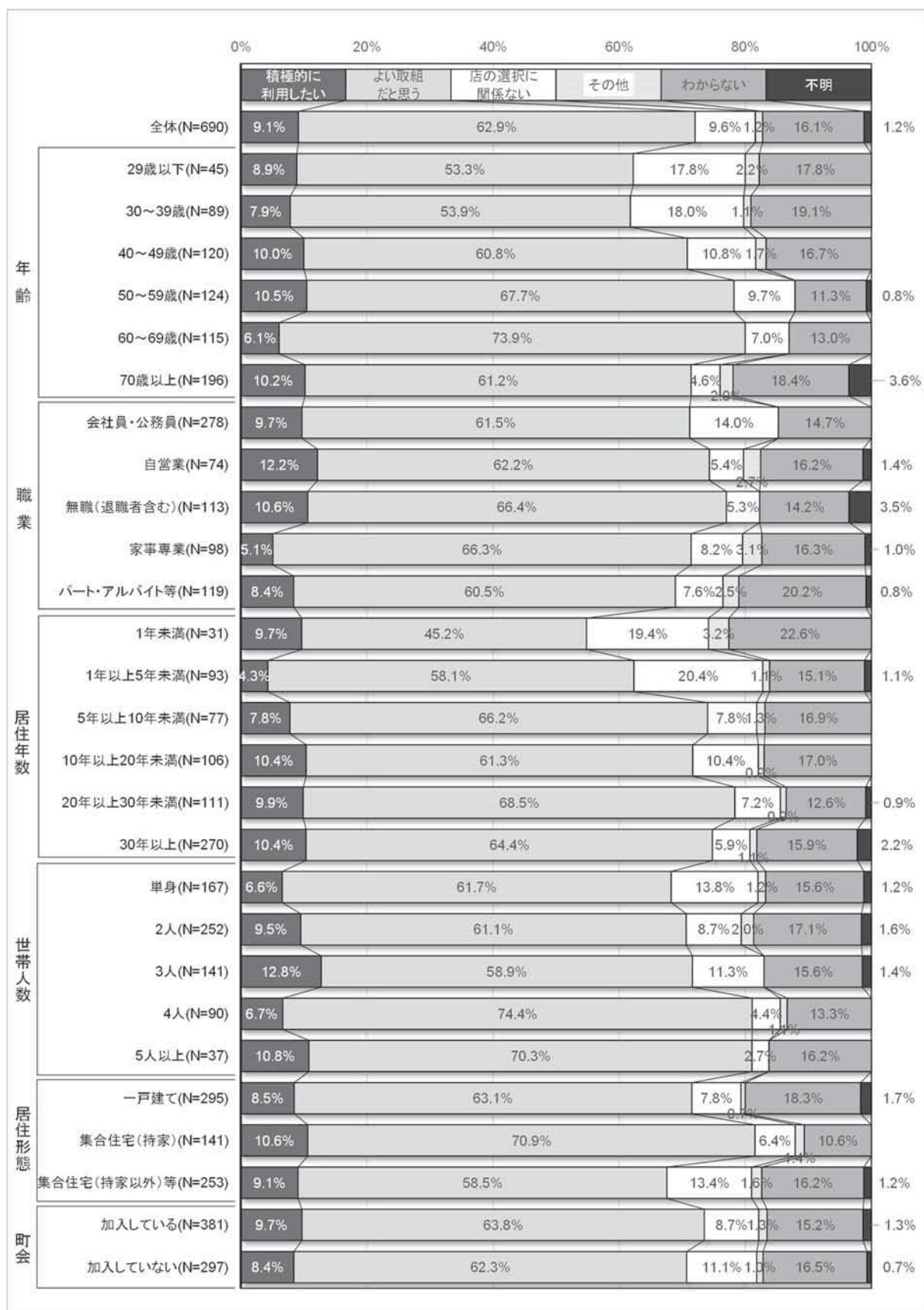
図表 2-56 は、属性別クロス集計結果である。(グラフ：図表 2-57)

「お店を選ぶ際には、協力店かどうかは関係ない」とする回答は、年齢別には 20 代、30 代、居住年数別には 5 年未満の層に多い傾向が見られる。

図表 2-56 「なかの☆もったいない ぱくぱくパートナーズ」について（属性別クロス集計）

		回答数	問6(3)「なかの☆もったいないぱくぱくパートナーズ」について					
			積極的に利用したい	よい取り組みだと思う	店の選択に協力店は関係ない	その他	わからない	不明
全体		690 (100%)	63 (9.1%)	434 (62.9%)	66 (9.6%)	8 (1.2%)	111 (16.1%)	8 (1.2%)
年齢	29歳以下	45 (100%)	4 (8.9%)	24 (53.3%)	8 (17.8%)	1 (2.2%)	8 (17.8%)	0 (0.0%)
	30～39歳	89 (100%)	7 (7.9%)	48 (53.9%)	16 (18.0%)	1 (1.1%)	17 (19.1%)	0 (0.0%)
	40～49歳	120 (100%)	12 (10.0%)	73 (60.8%)	13 (10.8%)	2 (1.7%)	20 (16.7%)	0 (0.0%)
	50～59歳	124 (100%)	13 (10.5%)	84 (67.7%)	12 (9.7%)	0 (0.0%)	14 (11.3%)	1 (0.8%)
	60～69歳	115 (100%)	7 (6.1%)	85 (73.9%)	8 (7.0%)	0 (0.0%)	15 (13.0%)	0 (0.0%)
	70歳以上	196 (100%)	20 (10.2%)	120 (61.2%)	9 (4.6%)	4 (2.0%)	36 (18.4%)	7 (3.6%)
	職業	会社員・公務員	278 (100%)	27 (9.7%)	171 (61.5%)	39 (14.0%)	0 (0.0%)	41 (14.7%)
自営業		74 (100%)	9 (12.2%)	46 (62.2%)	4 (5.4%)	2 (2.7%)	12 (16.2%)	1 (1.4%)
無職(退職者含む)		113 (100%)	12 (10.6%)	75 (66.4%)	6 (5.3%)	0 (0.0%)	16 (14.2%)	4 (3.5%)
家事専業		98 (100%)	5 (5.1%)	65 (66.3%)	8 (8.2%)	3 (3.1%)	16 (16.3%)	1 (1.0%)
パート・アルバイト等		119 (100%)	10 (8.4%)	72 (60.5%)	9 (7.6%)	3 (2.5%)	24 (20.2%)	1 (0.8%)
居住年数	1年未満	31 (100%)	3 (9.7%)	14 (45.2%)	6 (19.4%)	1 (3.2%)	7 (22.6%)	0 (0.0%)
	1年以上5年未満	93 (100%)	4 (4.3%)	54 (58.1%)	19 (20.4%)	1 (1.1%)	14 (15.1%)	1 (1.1%)
	5年以上10年未満	77 (100%)	6 (7.8%)	51 (66.2%)	6 (7.8%)	1 (1.3%)	13 (16.9%)	0 (0.0%)
	10年以上20年未満	106 (100%)	11 (10.4%)	65 (61.3%)	11 (10.4%)	1 (0.9%)	18 (17.0%)	0 (0.0%)
	20年以上30年未満	111 (100%)	11 (9.9%)	76 (68.5%)	8 (7.2%)	1 (0.9%)	14 (12.6%)	1 (0.9%)
	30年以上	270 (100%)	28 (10.4%)	174 (64.4%)	16 (5.9%)	3 (1.1%)	43 (15.9%)	6 (2.2%)
	世帯人数	単身	167 (100%)	11 (6.6%)	103 (61.7%)	23 (13.8%)	2 (1.2%)	26 (15.6%)
2人		252 (100%)	24 (9.5%)	154 (61.1%)	22 (8.7%)	5 (2.0%)	43 (17.1%)	4 (1.6%)
3人		141 (100%)	18 (12.8%)	83 (58.9%)	16 (11.3%)	0 (0.0%)	22 (15.6%)	2 (1.4%)
4人		90 (100%)	6 (6.7%)	67 (74.4%)	4 (4.4%)	1 (1.1%)	12 (13.3%)	0 (0.0%)
5人以上		37 (100%)	4 (10.8%)	26 (70.3%)	1 (2.7%)	0 (0.0%)	6 (16.2%)	0 (0.0%)
住居形態	一戸建て	295 (100%)	25 (8.5%)	186 (63.1%)	23 (7.8%)	2 (0.7%)	54 (18.3%)	5 (1.7%)
	集合住宅(持家)	141 (100%)	15 (10.6%)	100 (70.9%)	9 (6.4%)	2 (1.4%)	15 (10.6%)	0 (0.0%)
	集合住宅(持家以外)等	253 (100%)	23 (9.1%)	148 (58.5%)	34 (13.4%)	4 (1.6%)	41 (16.2%)	3 (1.2%)
町会への加入	加入している	381 (100%)	37 (9.7%)	243 (63.8%)	33 (8.7%)	5 (1.3%)	58 (15.2%)	5 (1.3%)
	加入していない	297 (100%)	25 (8.4%)	185 (62.3%)	33 (11.1%)	3 (1.0%)	49 (16.5%)	2 (0.7%)

図表 2-57 「なかの☆もったいない ぱくぱくパートナーズ」について（属性別クロス集計）
グラフ



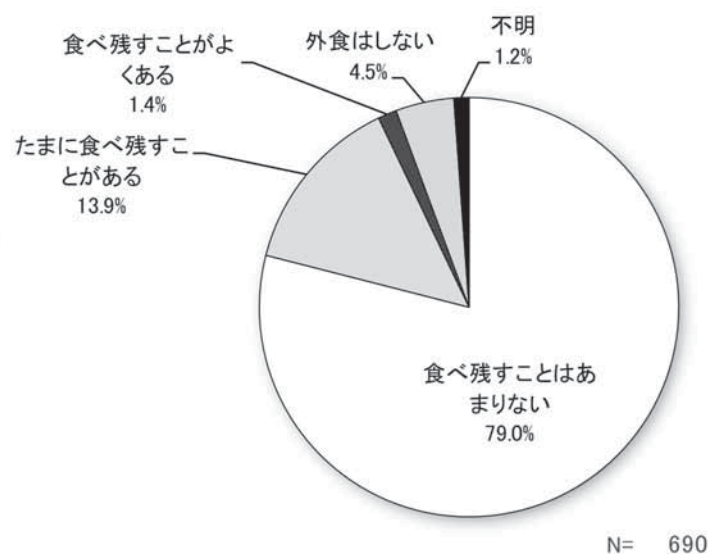
④ 外食時の食べ残しについて

問 6(4) あなたは、外食時に食べ残さないようにしていますか。

外食時の食べ残しについては、「あまりない」が 79.0%と最も多くなっている。「たまに食べ残すことがある」「食べ残すことがよくある」が合わせて 15.4%であった。

図表 2-58 外食時の食べ残しについて

選択肢	回答数	割合
食べ残すことはあまりない	545	79.0%
たまに食べ残すことがある	96	13.9%
食べ残すことがよくある	10	1.4%
外食はしない	31	4.5%
不明	8	1.2%
合計	690	100.0%

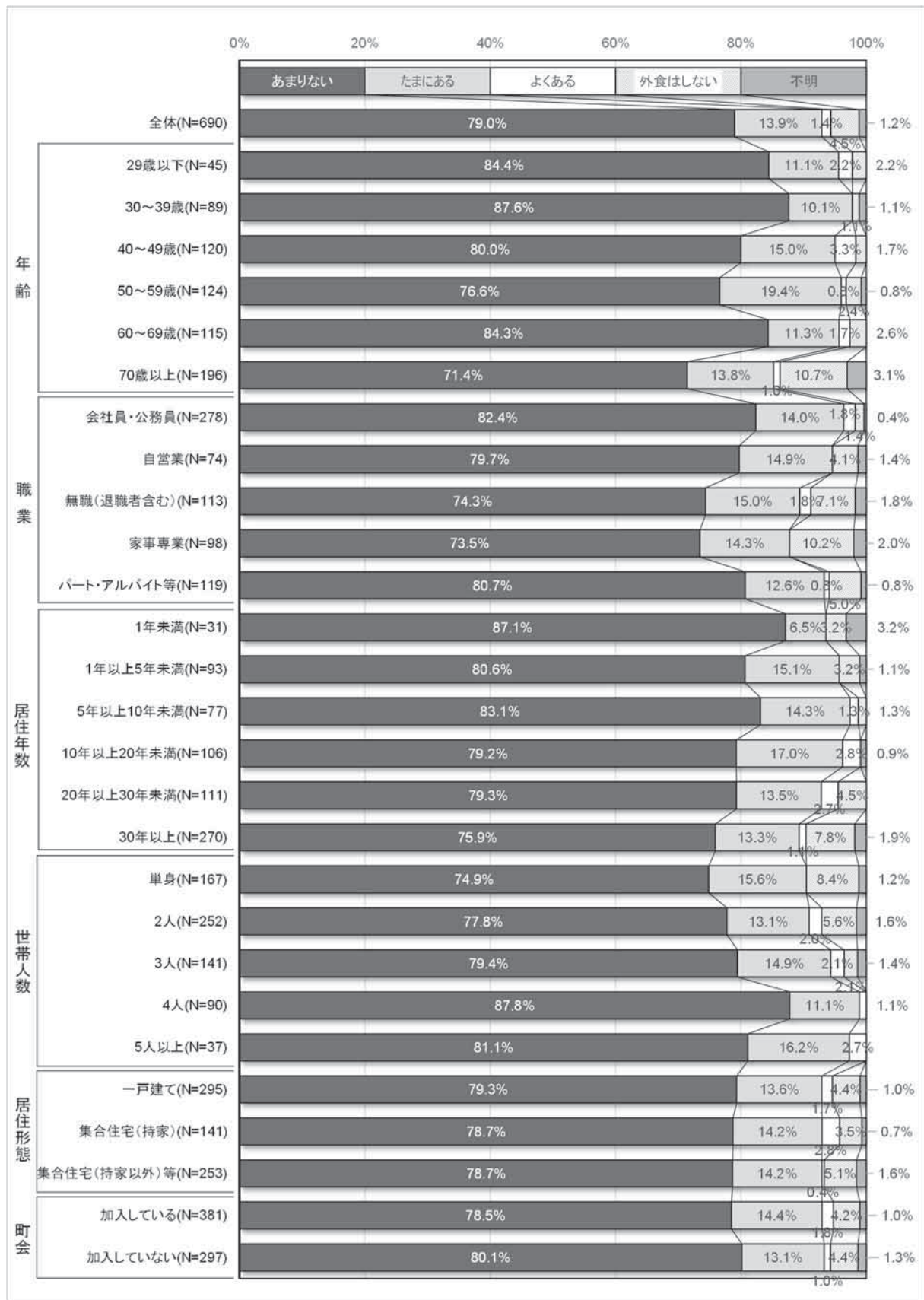


図表 2-59 は、属性別のクロス集計結果である。(グラフ：図表 2-60)
属性による傾向は見られない。

図表 2-59 外食時の食べ残しについて（属性別クロス集計）

		回答数	問6(4) 外食時の食べ残しについて				
			あまりない	たまにある	よくある	外食はしない	不明
全体		690 (100%)	545 (79.0%)	96 (13.9%)	10 (1.4%)	31 (4.5%)	8 (1.2%)
年 齢	29歳以下	45 (100%)	38 (84.4%)	5 (11.1%)	1 (2.2%)	1 (2.2%)	0 (0.0%)
	30～39歳	89 (100%)	78 (87.6%)	9 (10.1%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)	1 (1.1%)
	40～49歳	120 (100%)	96 (80.0%)	18 (15.0%)	4 (3.3%)	2 (1.7%)	0 (0.0%)
	50～59歳	124 (100%)	95 (76.6%)	24 (19.4%)	1 (0.8%)	3 (2.4%)	1 (0.8%)
	60～69歳	115 (100%)	97 (84.3%)	13 (11.3%)	2 (1.7%)	3 (2.6%)	0 (0.0%)
	70歳以上	196 (100%)	140 (71.4%)	27 (13.8%)	2 (1.0%)	21 (10.7%)	6 (3.1%)
職 業	会社員・公務員	278 (100%)	229 (82.4%)	39 (14.0%)	5 (1.8%)	4 (1.4%)	1 (0.4%)
	自営業	74 (100%)	59 (79.7%)	11 (14.9%)	0 (0.0%)	3 (4.1%)	1 (1.4%)
	無職(退職者含む)	113 (100%)	84 (74.3%)	17 (15.0%)	2 (1.8%)	8 (7.1%)	2 (1.8%)
	家事専業	98 (100%)	72 (73.5%)	14 (14.3%)	0 (0.0%)	10 (10.2%)	2 (2.0%)
	パート・アルバイト等	119 (100%)	96 (80.7%)	15 (12.6%)	1 (0.8%)	6 (5.0%)	1 (0.8%)
居 住 年 数	1年未満	31 (100%)	27 (87.1%)	2 (6.5%)	0 (0.0%)	1 (3.2%)	1 (3.2%)
	1年以上5年未満	93 (100%)	75 (80.6%)	14 (15.1%)	0 (0.0%)	3 (3.2%)	1 (1.1%)
	5年以上10年未満	77 (100%)	64 (83.1%)	11 (14.3%)	1 (1.3%)	1 (1.3%)	0 (0.0%)
	10年以上20年未満	106 (100%)	84 (79.2%)	18 (17.0%)	3 (2.8%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)
	20年以上30年未満	111 (100%)	88 (79.3%)	15 (13.5%)	3 (2.7%)	5 (4.5%)	0 (0.0%)
	30年以上	270 (100%)	205 (75.9%)	36 (13.3%)	3 (1.1%)	21 (7.8%)	5 (1.9%)
世 帯 人 数	単身	167 (100%)	125 (74.9%)	26 (15.6%)	0 (0.0%)	14 (8.4%)	2 (1.2%)
	2人	252 (100%)	196 (77.8%)	33 (13.1%)	5 (2.0%)	14 (5.6%)	4 (1.6%)
	3人	141 (100%)	112 (79.4%)	21 (14.9%)	3 (2.1%)	3 (2.1%)	2 (1.4%)
	4人	90 (100%)	79 (87.8%)	10 (11.1%)	1 (1.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	5人以上	37 (100%)	30 (81.1%)	6 (16.2%)	1 (2.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
住 居 形 態	一戸建て	295 (100%)	234 (79.3%)	40 (13.6%)	5 (1.7%)	13 (4.4%)	3 (1.0%)
	集合住宅(持家)	141 (100%)	111 (78.7%)	20 (14.2%)	4 (2.8%)	5 (3.5%)	1 (0.7%)
	集合住宅(持家以外)等	253 (100%)	199 (78.7%)	36 (14.2%)	1 (0.4%)	13 (5.1%)	4 (1.6%)
町 加 会 入 へ の	加入している	381 (100%)	299 (78.5%)	55 (14.4%)	7 (1.8%)	16 (4.2%)	4 (1.0%)
	加入していない	297 (100%)	238 (80.1%)	39 (13.1%)	3 (1.0%)	13 (4.4%)	4 (1.3%)

図表 2-60 外食時の食べ残しについて（属性別クロス集計）グラフ

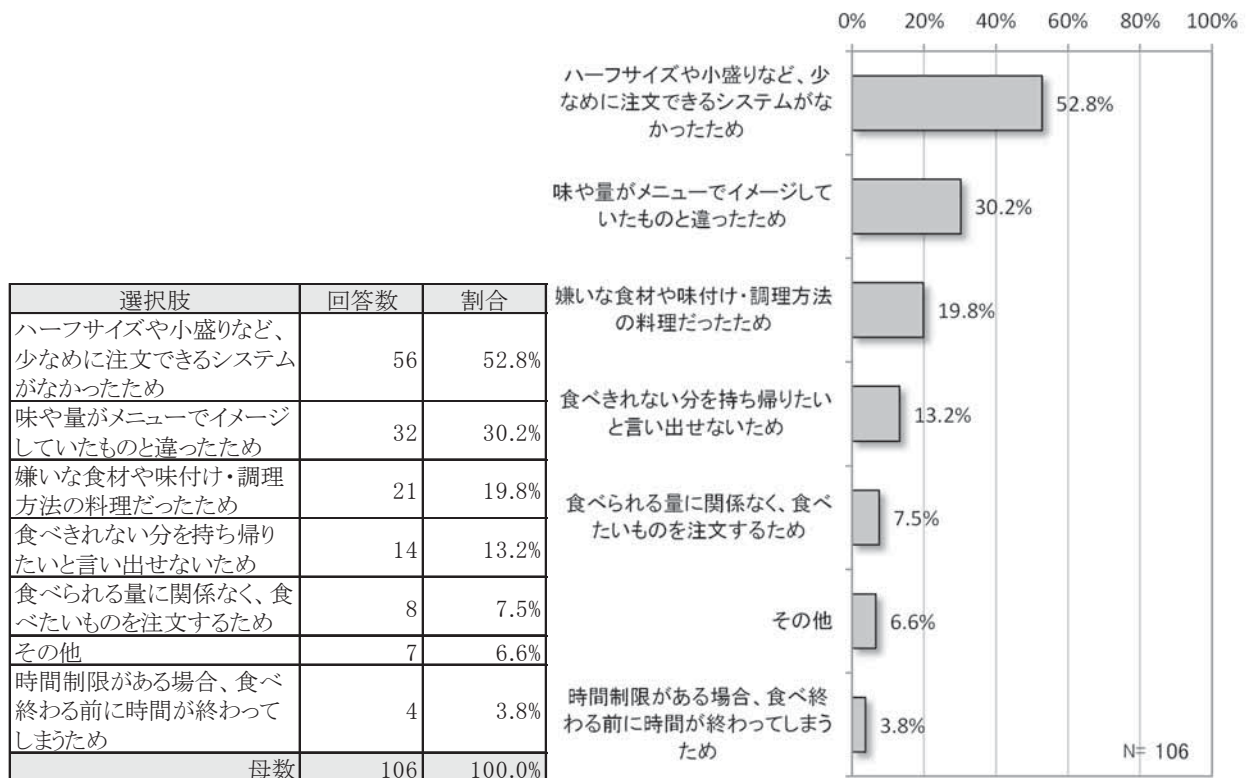


⑤ 外食で食べ残す理由

問 6(5) 上記(4)で「2 たまに食べ残すことがある、3 食べ残すことがよくある」と回答した方にお聞きします。外食時に食べ残している理由は何ですか。

外食時に食べ残す要因としては、「ハーフサイズや小盛りなど、少なめに注文できるシステムがなかったため」が最も多く 52.8%であった。

図表 2-61 外食で食べ残す理由



図表 2-62 は属性別クロス集計結果である。

なお、限定質問で母数が 106 と少ないため参考値とする。

図表 2-62 外食で食べ残す理由（属性別クロス集計）

		回答数	問6(5) 外食で食べ残す理由						
			嫌いな料理だった	少なめに注文できない	メニューでイメージしていたものと違う	食べたいものを注文するため	食べ終わる前に時間制限が来る	持ち帰りたいたいと言えない	その他
全体		106 (100%)	21 (19.8%)	56 (52.8%)	32 (30.2%)	8 (7.5%)	4 (3.8%)	14 (13.2%)	7 (6.6%)
年 齢	29歳以下	6 (100%)	0 (0.0%)	5 (83.3%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	30～39歳	9 (100%)	2 (22.2%)	2 (22.2%)	4 (44.4%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	2 (22.2%)	0 (0.0%)
	40～49歳	22 (100%)	5 (22.7%)	10 (45.5%)	7 (31.8%)	1 (4.5%)	1 (4.5%)	1 (4.5%)	2 (9.1%)
	50～59歳	25 (100%)	10 (40.0%)	13 (52.0%)	4 (16.0%)	0 (0.0%)	1 (4.0%)	6 (24.0%)	2 (8.0%)
	60～69歳	15 (100%)	2 (13.3%)	8 (53.3%)	6 (40.0%)	1 (6.7%)	1 (6.7%)	1 (6.7%)	1 (6.7%)
	70歳以上	29 (100%)	2 (6.9%)	18 (62.1%)	11 (37.9%)	3 (10.3%)	0 (0.0%)	4 (13.8%)	2 (6.9%)
職 業	会社員・公務員	44 (100%)	12 (27.3%)	18 (40.9%)	13 (29.5%)	5 (11.4%)	2 (4.5%)	4 (9.1%)	3 (6.8%)
	自営業	11 (100%)	2 (18.2%)	6 (54.5%)	3 (27.3%)	2 (18.2%)	0 (0.0%)	2 (18.2%)	2 (18.2%)
	無職(退職者含む)	19 (100%)	1 (5.3%)	13 (68.4%)	8 (42.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (15.8%)	0 (0.0%)
	家事専業	14 (100%)	3 (21.4%)	6 (42.9%)	5 (35.7%)	0 (0.0%)	2 (14.3%)	4 (28.6%)	1 (7.1%)
	パート・アルバイト等	16 (100%)	3 (18.8%)	11 (68.8%)	3 (18.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)
居 住 年 数	1年未満	2 (100%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	1年以上5年未満	14 (100%)	2 (14.3%)	6 (42.9%)	2 (14.3%)	1 (7.1%)	3 (21.4%)	3 (21.4%)	1 (7.1%)
	5年以上10年未満	12 (100%)	3 (25.0%)	5 (41.7%)	5 (41.7%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)	2 (16.7%)	1 (8.3%)
	10年以上20年未満	21 (100%)	7 (33.3%)	12 (57.1%)	5 (23.8%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	1 (4.8%)	2 (9.5%)
	20年以上30年未満	18 (100%)	3 (16.7%)	11 (61.1%)	6 (33.3%)	2 (11.1%)	0 (0.0%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)
	30年以上	39 (100%)	6 (15.4%)	20 (51.3%)	14 (35.9%)	3 (7.7%)	1 (2.6%)	7 (17.9%)	3 (7.7%)
世 帯 人 数	単身	26 (100%)	7 (26.9%)	11 (42.3%)	6 (23.1%)	0 (0.0%)	2 (7.7%)	5 (19.2%)	3 (11.5%)
	2人	38 (100%)	6 (15.8%)	21 (55.3%)	11 (28.9%)	5 (13.2%)	1 (2.6%)	4 (10.5%)	2 (5.3%)
	3人	24 (100%)	5 (20.8%)	12 (50.0%)	11 (45.8%)	3 (12.5%)	1 (4.2%)	1 (4.2%)	1 (4.2%)
	4人	11 (100%)	3 (27.3%)	8 (72.7%)	2 (18.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (27.3%)	1 (9.1%)
	5人以上	7 (100%)	0 (0.0%)	4 (57.1%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)
住 居 形 態	一戸建て	45 (100%)	7 (15.6%)	22 (48.9%)	18 (40.0%)	3 (6.7%)	2 (4.4%)	5 (11.1%)	3 (6.7%)
	集合住宅(持家)	24 (100%)	6 (25.0%)	17 (70.8%)	6 (25.0%)	3 (12.5%)	1 (4.2%)	2 (8.3%)	1 (4.2%)
	集合住宅(持家以外)等	37 (100%)	8 (21.6%)	17 (45.9%)	8 (21.6%)	2 (5.4%)	1 (2.7%)	7 (18.9%)	3 (8.1%)
町 加 入 会 入 への	加入している	62 (100%)	10 (16.1%)	35 (56.5%)	19 (30.6%)	6 (9.7%)	1 (1.6%)	6 (9.7%)	5 (8.1%)
	加入していない	42 (100%)	11 (26.2%)	19 (45.2%)	13 (31.0%)	2 (4.8%)	3 (7.1%)	8 (19.0%)	2 (4.8%)

(6) ごみ減量・資源化の取り組みについて

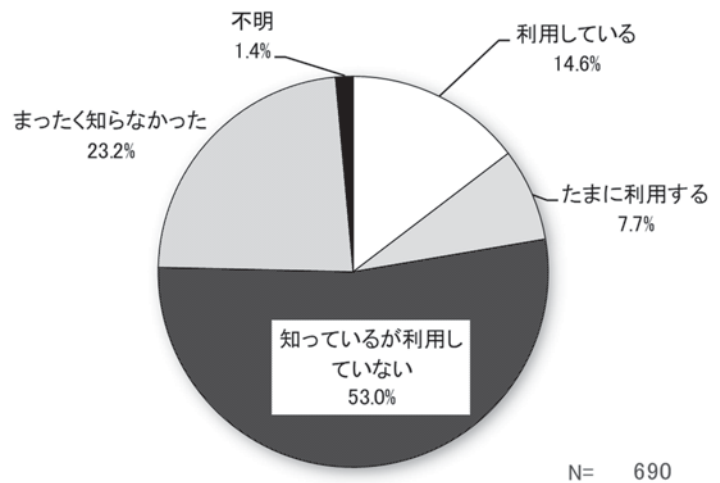
① ペットボトル自動回収機の利用

問 7(1) あなたの家庭では、ペットボトル自動回収機を利用していますか。

「利用している」「たまに利用する」を合わせると 22.3%であり、前回の調査結果（図表 2-64）とほぼ同様の傾向であるが、「まったく知らなかった」が 28.8%から 23.2%と減少傾向が見られた。

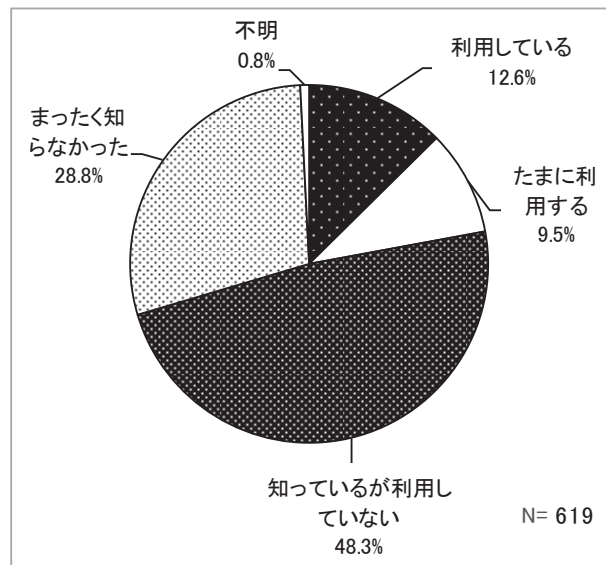
図表 2-63 ペットボトル自動回収機の利用

選択肢	回答数	割合
利用している	101	14.6%
たまに利用する	53	7.7%
知っているが利用していない	366	53.0%
まったく知らなかった	160	23.2%
不明	10	1.4%
合計	690	100.0%



図表 2-64 （参考）ペットボトル破碎回収機の利用（前回令和元年度調査）

選択肢	回答数	割合
利用している	78	12.6%
たまに利用する	59	9.5%
知っているが利用していない	299	48.3%
まったく知らなかった	178	28.8%
不明	5	0.8%
合計	619	100.0%



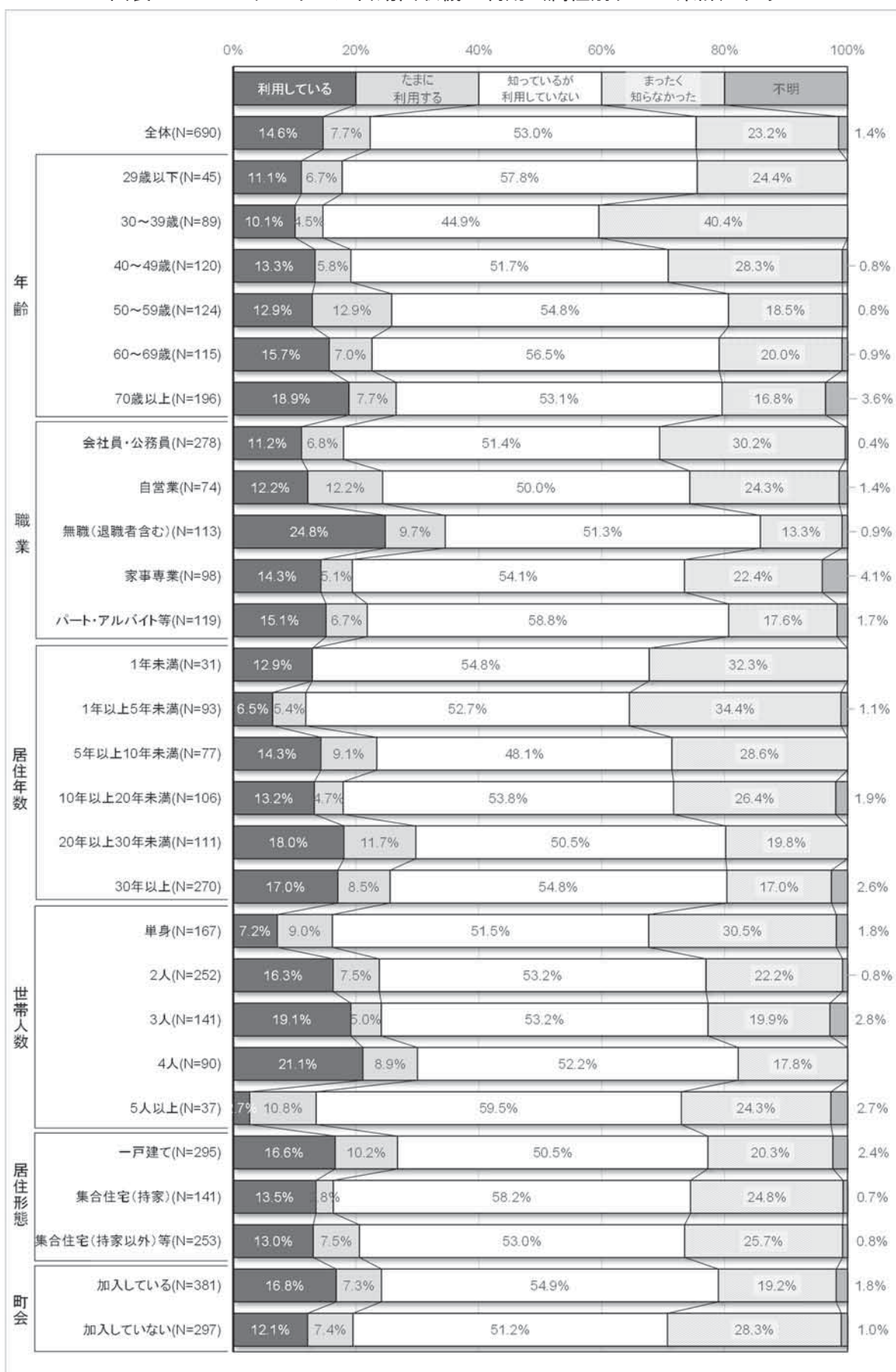
図表 2-65 は、属性別クロス集計結果である。(グラフ：図表 2-66)

「まったく知らなかった」という回答の割合は年齢別では 30 代、居住年数では 5 年未満、世帯人数別では単身世帯に多いという傾向が見られる。

図表 2-65 ペットボトル自動回収機の利用（属性別クロス集計）

		回答数	問7(1) ペットボトル破砕回収機の利用				
			利用している	たまに 利用する	知っているが 利用していない	まったく 知らなかった	不明
全体		690 (100%)	101 (14.6%)	53 (7.7%)	366 (53.0%)	160 (23.2%)	10 (1.4%)
年 齢	29歳以下	45 (100%)	5 (11.1%)	3 (6.7%)	26 (57.8%)	11 (24.4%)	0 (0.0%)
	30～39歳	89 (100%)	9 (10.1%)	4 (4.5%)	40 (44.9%)	36 (40.4%)	0 (0.0%)
	40～49歳	120 (100%)	16 (13.3%)	7 (5.8%)	62 (51.7%)	34 (28.3%)	0 (0.8%)
	50～59歳	124 (100%)	16 (12.9%)	16 (12.9%)	68 (54.8%)	23 (18.5%)	1 (0.8%)
	60～69歳	115 (100%)	18 (15.7%)	8 (7.0%)	65 (56.5%)	23 (20.0%)	1 (0.9%)
	70歳以上	196 (100%)	37 (18.9%)	15 (7.7%)	104 (53.1%)	33 (16.8%)	7 (3.6%)
職 業	会社員・公務員	278 (100%)	31 (11.2%)	19 (6.8%)	143 (51.4%)	84 (30.2%)	1 (0.4%)
	自営業	74 (100%)	9 (12.2%)	9 (12.2%)	37 (50.0%)	18 (24.3%)	1 (1.4%)
	無職(退職者 含む)	113 (100%)	28 (24.8%)	11 (9.7%)	58 (51.3%)	15 (13.3%)	1 (0.9%)
	家事専業	98 (100%)	14 (14.3%)	5 (5.1%)	53 (54.1%)	22 (22.4%)	4 (4.1%)
	パート・アルバイト等	119 (100%)	18 (15.1%)	8 (6.7%)	70 (58.8%)	21 (17.6%)	2 (1.7%)
居 住 年 数	1年未満	31 (100%)	4 (12.9%)	0 (0.0%)	17 (54.8%)	10 (32.3%)	0 (0.0%)
	1年以上5年 未満	93 (100%)	6 (6.5%)	5 (5.4%)	49 (52.7%)	32 (34.4%)	1 (1.1%)
	5年以上10年 未満	77 (100%)	11 (14.3%)	7 (9.1%)	37 (48.1%)	22 (28.6%)	0 (0.0%)
	10年以上20 年未満	106 (100%)	14 (13.2%)	5 (4.7%)	57 (53.8%)	28 (26.4%)	2 (1.9%)
	20年以上30 年未満	111 (100%)	20 (18.0%)	13 (11.7%)	56 (50.5%)	22 (19.8%)	0 (0.0%)
	30年以上	270 (100%)	46 (17.0%)	23 (8.5%)	148 (54.8%)	46 (17.0%)	7 (2.6%)
世 帯 人 数	単身	167 (100%)	12 (7.2%)	15 (9.0%)	86 (51.5%)	51 (30.5%)	3 (1.8%)
	2人	252 (100%)	41 (16.3%)	19 (7.5%)	134 (53.2%)	56 (22.2%)	2 (0.8%)
	3人	141 (100%)	27 (19.1%)	7 (5.0%)	75 (53.2%)	28 (19.9%)	4 (2.8%)
	4人	90 (100%)	19 (21.1%)	8 (8.9%)	47 (52.2%)	16 (17.8%)	0 (0.0%)
	5人以上	37 (100%)	1 (2.7%)	4 (10.8%)	22 (59.5%)	9 (24.3%)	1 (2.7%)
住 居 形 態	一戸建て	295 (100%)	49 (16.6%)	30 (10.2%)	149 (50.5%)	60 (20.3%)	7 (2.4%)
	集合住宅(持 家)	141 (100%)	19 (13.5%)	4 (2.8%)	82 (58.2%)	35 (24.8%)	1 (0.7%)
	集合住宅(持 家以外)等	253 (100%)	33 (13.0%)	19 (7.5%)	134 (53.0%)	65 (25.7%)	2 (0.8%)
町 加 会 入 へ の	加入している	381 (100%)	64 (16.8%)	28 (7.3%)	209 (54.9%)	73 (19.2%)	7 (1.8%)
	加入していない	297 (100%)	36 (12.1%)	22 (7.4%)	152 (51.2%)	84 (28.3%)	3 (1.0%)

図表 2-66 ペットボトル自動回収機の利用（属性別クロス集計）グラフ



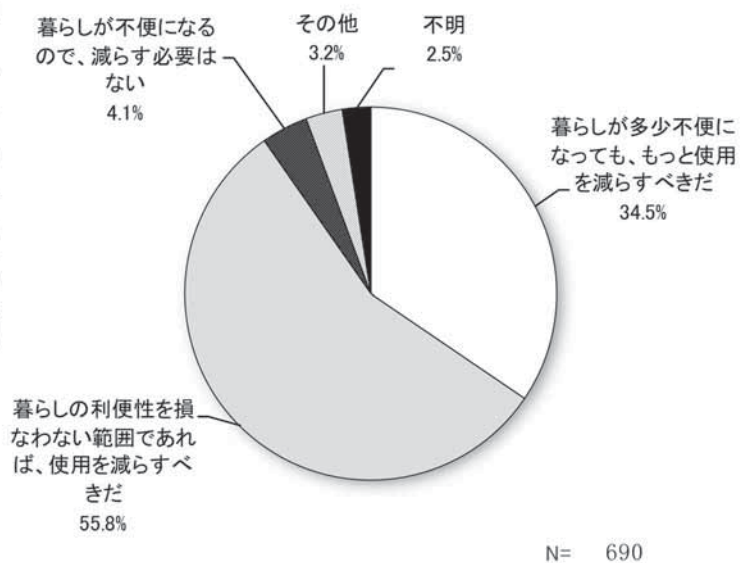
②プラスチックの使用削減について

問 7(2) 令和 4 年 4 月にプラスチック資源循環促進法が施行され、販売店や飲食店などの企業にも、使い捨てストローや食器などの使い捨てプラスチック類を減らす取組が義務づけられました。あなたは、使い捨てのプラスチックを減らす取組についてどう思われますか。

「暮らしの利便性を損なわない範囲であれば、使用を減らすべきだ」とする意見が 55.8%と最も多くなっている。

図表 2-67 プラスチックの使用削減について

選択肢	回答数	割合
暮らしが多少不便になっても、もっと使用を減らすべきだ	238	34.5%
暮らしの利便性を損なわない範囲であれば、使用を減らすべきだ	385	55.8%
暮らしが不便になるので、減らす必要はない	28	4.1%
その他	22	3.2%
不明	17	2.5%
合計	690	100.0%



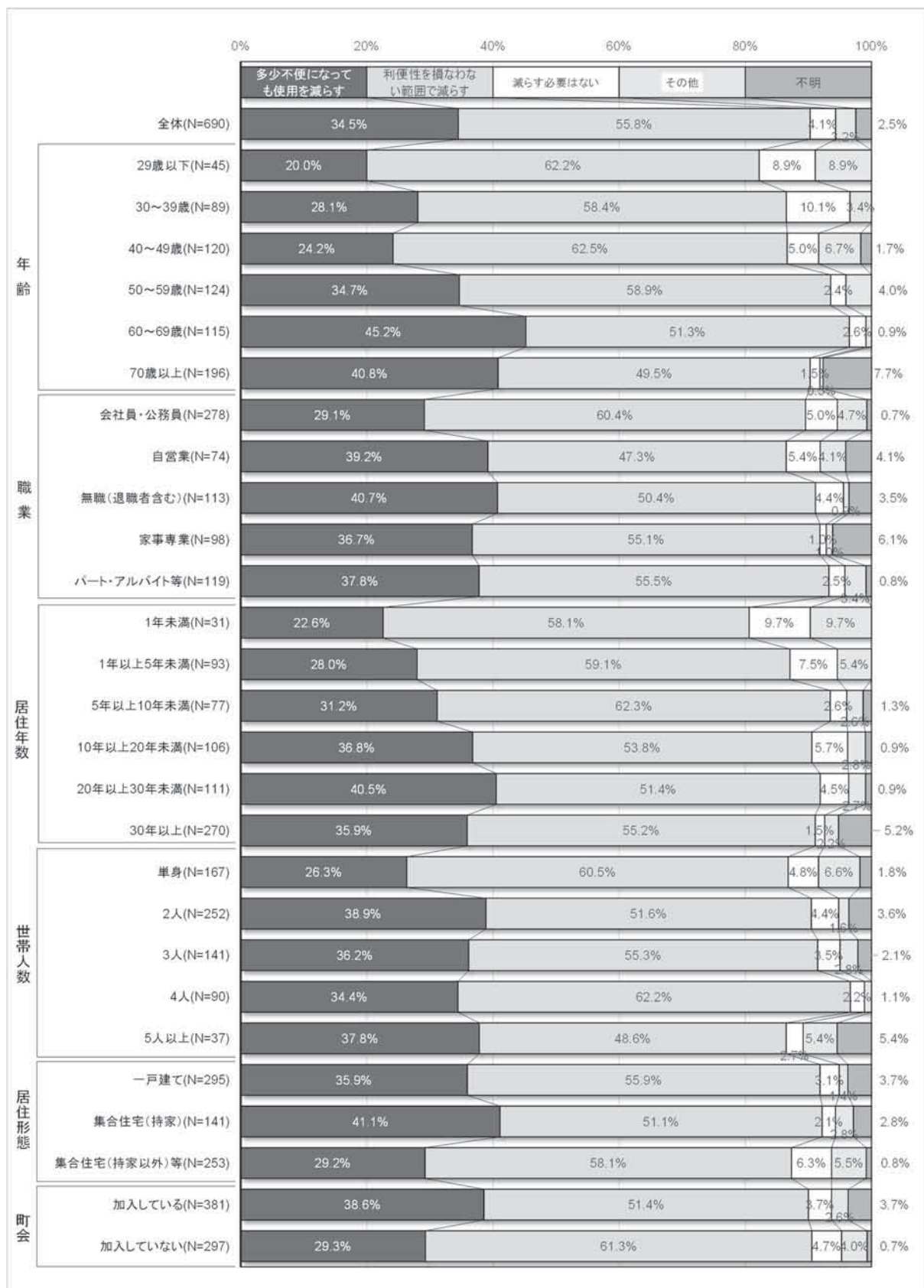
図表 2-68 は、属性別クロス集計結果である。(グラフ：図表 2-69)

「暮らしが多少不便になっても、もっと使用を減らすべき」という意見は、若年層よりも高年層に多い傾向が見られる。また、「暮らしが不便になるので、減らす必要はない」という意見は居住年数 5 年未満の層に多いという傾向が見られる。

図表 2-68 プラスチックの使用削減について（属性別クロス集計）

		回答数	問7(2) プラスチックの使用削減について				
			多少不便になっても使用を減らす	利便性を損なわない範囲で減らす	減らす必要はない	その他	不明
全体		690 (100%)	238 (34.5%)	385 (55.8%)	28 (4.1%)	22 (3.2%)	17 (2.5%)
年 齢	29歳以下	45 (100%)	9 (20.0%)	28 (62.2%)	4 (8.9%)	4 (8.9%)	0 (0.0%)
	30～39歳	89 (100%)	25 (28.1%)	52 (58.4%)	9 (10.1%)	3 (3.4%)	0 (0.0%)
	40～49歳	120 (100%)	29 (24.2%)	75 (62.5%)	6 (5.0%)	8 (6.7%)	2 (1.7%)
	50～59歳	124 (100%)	43 (34.7%)	73 (58.9%)	3 (2.4%)	5 (4.0%)	0 (0.0%)
	60～69歳	115 (100%)	52 (45.2%)	59 (51.3%)	3 (2.6%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)
	70歳以上	196 (100%)	80 (40.8%)	97 (49.5%)	3 (1.5%)	1 (0.5%)	15 (7.7%)
	職 業	会社員・公務員	278 (100%)	81 (29.1%)	168 (60.4%)	14 (5.0%)	13 (4.7%)
自営業		74 (100%)	29 (39.2%)	35 (47.3%)	4 (5.4%)	3 (4.1%)	3 (4.1%)
無職(退職者含む)		113 (100%)	46 (40.7%)	57 (50.4%)	5 (4.4%)	1 (0.9%)	4 (3.5%)
家事専業		98 (100%)	36 (36.7%)	54 (55.1%)	1 (1.0%)	1 (1.0%)	6 (6.1%)
パート・アルバイト等		119 (100%)	45 (37.8%)	66 (55.5%)	3 (2.5%)	4 (3.4%)	1 (0.8%)
1年未満		31 (100%)	7 (22.6%)	18 (58.1%)	3 (9.7%)	3 (9.7%)	0 (0.0%)
居 住 年 数	1年以上5年未満	93 (100%)	26 (28.0%)	55 (59.1%)	7 (7.5%)	5 (5.4%)	0 (0.0%)
	5年以上10年未満	77 (100%)	24 (31.2%)	48 (62.3%)	2 (2.6%)	2 (2.6%)	1 (1.3%)
	10年以上20年未満	106 (100%)	39 (36.8%)	57 (53.8%)	6 (5.7%)	3 (2.8%)	1 (0.9%)
	20年以上30年未満	111 (100%)	45 (40.5%)	57 (51.4%)	5 (4.5%)	3 (2.7%)	1 (0.9%)
	30年以上	270 (100%)	97 (35.9%)	149 (55.2%)	4 (1.5%)	6 (2.2%)	14 (5.2%)
	世 帯 人 数	単身	167 (100%)	44 (26.3%)	101 (60.5%)	8 (4.8%)	11 (6.6%)
2人		252 (100%)	98 (38.9%)	130 (51.6%)	11 (4.4%)	4 (1.6%)	9 (3.6%)
3人		141 (100%)	51 (36.2%)	78 (55.3%)	5 (3.5%)	4 (2.8%)	3 (2.1%)
4人		90 (100%)	31 (34.4%)	56 (62.2%)	2 (2.2%)	1 (1.1%)	0 (0.0%)
5人以上		37 (100%)	14 (37.8%)	18 (48.6%)	1 (2.7%)	2 (5.4%)	2 (5.4%)
住 居 形 態		一戸建て	295 (100%)	106 (35.9%)	165 (55.9%)	9 (3.1%)	4 (1.4%)
	集合住宅(持家)	141 (100%)	58 (41.1%)	72 (51.1%)	3 (2.1%)	4 (2.8%)	4 (2.8%)
	集合住宅(持家以外)等	253 (100%)	74 (29.2%)	147 (58.1%)	16 (6.3%)	14 (5.5%)	2 (0.8%)
町 加 会 入 へ の	加入している	381 (100%)	147 (38.6%)	196 (51.4%)	14 (3.7%)	10 (2.6%)	14 (3.7%)
	加入していない	297 (100%)	87 (29.3%)	182 (61.3%)	14 (4.7%)	12 (4.0%)	2 (0.7%)

図表 2-69 プラスチックの使用削減について（属性別クロス集計）グラフ



③区に望む取組

問 7(3) ごみ減量・リサイクルをさらに進めるために、区にどのような取組を行ってほしいですか。

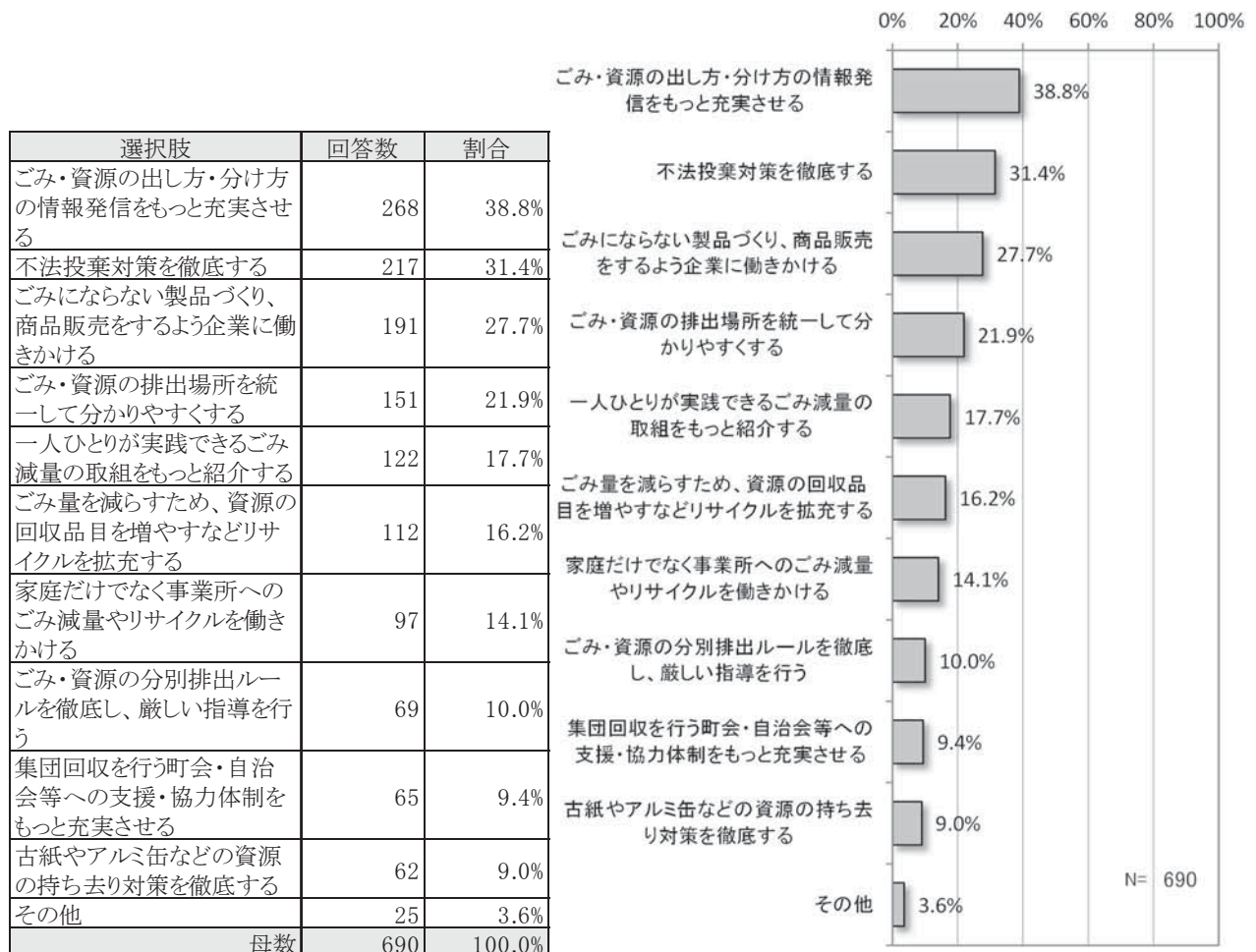
「ごみ・資源の出し方・分け方の情報発信を充実」が最も多く 38.8%、次いで「不法投棄対策を徹底する」31.4%、「ごみにならない製品づくり、商品販売をするよう企業に働きかける」27.7%などとなっている。

「その他」の内容としては、

- ・外国の方へのごみ減量、リサイクルの重要性の徹底周知
- ・ポイ捨てへの罰金
- ・持ち込みできるリサイクル場の設置（世田谷区のように）
- ・ごみの分別をシンプルにする

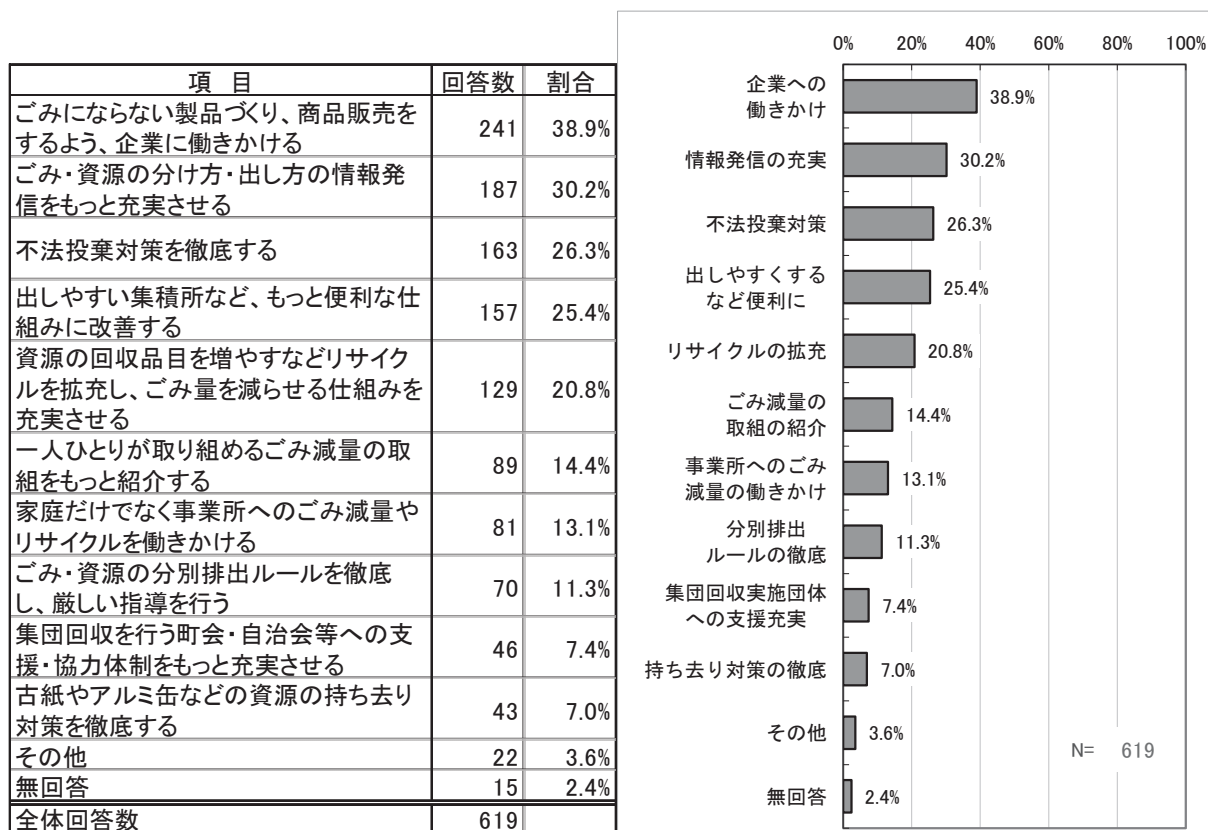
などがあった。

図表 2-70 区に望む取組



なお、前回の調査結果（図表 2-71）では「企業への働きかけ」38.9%が最も多く、「ごみ・資源の出し方・分け方の情報発信を充実」30.2%であった。令和 6 年 4 月の資源プラスチックの分別導入などが影響しているものと考えられる。

図表 2-71 （参考）区に望む取組（前回令和元年度調査）



図表 2-72 は、属性別クロス集計結果である。

「ごみ・資源の出し方・分け方の情報発信をもっと充実させる」という意見は、世帯人数別には 4 人世帯が突出して多くなっている。

また、「ごみ・資源の排出場所を統一して分かりやすくする」という意見は、年齢別では 20 代、30 代に多く、居住形態別では集合住宅（持家以外）等が多くなっている。

図表 2-72 区に望む取組（属性別クロス集計結果）

		回答数	問7(3) 区に望む取組										
			ごみ・資源の排出場所を統一	資源の回収品目を増やすなど拡充	出し方・分け方の情報発信の充実	分別排出ルールの徹底	資源の持ち取り対策を徹底	不法投棄対策を徹底	ごみにならない製品等企業に働きかけ	実践できる減量の取組の紹介	事業所へごみ減量等を働きかけ	集団回収への支援等の充実	その他
全体		690 (100%)	151 (21.9%)	112 (16.2%)	268 (38.8%)	69 (10.0%)	62 (9.0%)	217 (31.4%)	191 (27.7%)	122 (17.7%)	97 (14.1%)	65 (9.4%)	25 (3.6%)
年齢	29歳以下	45 (100%)	13 (28.9%)	4 (8.9%)	17 (37.8%)	1 (2.2%)	1 (2.2%)	16 (35.6%)	7 (15.6%)	11 (24.4%)	7 (15.6%)	3 (6.7%)	2 (4.4%)
	30～39歳	89 (100%)	28 (31.5%)	13 (14.6%)	33 (37.1%)	10 (11.2%)	6 (6.7%)	33 (37.1%)	17 (19.1%)	14 (15.7%)	15 (16.9%)	10 (11.2%)	7 (7.9%)
	40～49歳	120 (100%)	30 (25.0%)	19 (15.8%)	51 (42.5%)	12 (10.0%)	9 (7.5%)	35 (29.2%)	41 (34.2%)	27 (22.5%)	23 (19.2%)	6 (5.0%)	7 (5.8%)
	50～59歳	124 (100%)	32 (25.8%)	13 (10.5%)	46 (37.1%)	9 (7.3%)	5 (4.0%)	48 (38.7%)	40 (32.3%)	23 (18.5%)	11 (8.9%)	12 (9.7%)	4 (3.2%)
	60～69歳	115 (100%)	19 (16.5%)	24 (20.9%)	51 (44.3%)	11 (9.6%)	17 (14.8%)	36 (31.3%)	37 (32.2%)	20 (17.4%)	15 (13.0%)	10 (8.7%)	3 (2.6%)
	70歳以上	196 (100%)	29 (14.8%)	39 (19.9%)	69 (35.2%)	26 (13.3%)	24 (12.2%)	48 (24.5%)	49 (25.0%)	27 (13.8%)	26 (13.3%)	24 (12.2%)	2 (1.0%)
職業	会社員・公務員	278 (100%)	85 (30.6%)	45 (16.2%)	111 (39.9%)	22 (7.9%)	15 (5.4%)	99 (35.6%)	80 (28.8%)	50 (18.0%)	43 (15.5%)	23 (8.3%)	16 (5.8%)
	自営業	74 (100%)	13 (17.6%)	12 (16.2%)	32 (43.2%)	9 (12.2%)	2 (2.7%)	22 (29.7%)	22 (29.7%)	20 (27.0%)	10 (13.5%)	8 (10.8%)	2 (2.7%)
	無職(退職者含む)	113 (100%)	12 (10.6%)	18 (15.9%)	41 (36.3%)	9 (8.0%)	17 (15.0%)	31 (27.4%)	33 (29.2%)	14 (12.4%)	20 (17.7%)	9 (8.0%)	3 (2.7%)
	家事専業	98 (100%)	17 (17.3%)	23 (23.5%)	33 (33.7%)	11 (11.2%)	8 (8.2%)	29 (29.6%)	28 (28.6%)	16 (16.3%)	11 (11.2%)	13 (13.3%)	1 (1.0%)
	パート・アルバイト等	119 (100%)	22 (18.5%)	12 (10.1%)	46 (38.7%)	18 (15.1%)	19 (16.0%)	35 (29.4%)	27 (22.7%)	21 (17.6%)	13 (10.9%)	12 (10.1%)	3 (2.5%)
居住年数	1年未満	31 (100%)	8 (25.8%)	4 (12.9%)	9 (29.0%)	0 (0.0%)	3 (9.7%)	3 (9.7%)	6 (19.4%)	9 (29.0%)	6 (19.4%)	3 (9.7%)	3 (9.7%)
	1年以上5年未満	93 (100%)	32 (34.4%)	12 (12.9%)	30 (32.3%)	11 (11.8%)	5 (5.4%)	34 (36.6%)	19 (20.4%)	21 (22.6%)	16 (17.2%)	11 (11.8%)	4 (4.3%)
	5年以上10年未満	77 (100%)	20 (26.0%)	13 (16.9%)	33 (42.9%)	7 (9.1%)	3 (3.9%)	27 (35.1%)	23 (29.9%)	18 (23.4%)	16 (20.8%)	8 (10.4%)	3 (3.9%)
	10年以上20年未満	106 (100%)	24 (22.6%)	14 (13.2%)	44 (41.5%)	9 (8.5%)	12 (11.3%)	32 (30.2%)	40 (37.7%)	19 (17.9%)	17 (16.0%)	4 (3.8%)	4 (3.8%)
	20年以上30年未満	111 (100%)	28 (25.2%)	20 (18.0%)	45 (40.5%)	11 (9.9%)	11 (9.9%)	36 (32.4%)	30 (27.0%)	16 (14.4%)	3 (2.7%)	9 (8.1%)	3 (2.7%)
	30年以上	270 (100%)	39 (14.4%)	48 (17.8%)	106 (39.3%)	31 (11.5%)	28 (10.4%)	84 (31.1%)	73 (27.0%)	39 (14.4%)	39 (14.4%)	30 (11.1%)	8 (3.0%)
世帯人数	単身	167 (100%)	48 (28.7%)	23 (13.8%)	61 (36.5%)	16 (9.6%)	18 (10.8%)	48 (28.7%)	48 (28.7%)	37 (22.2%)	21 (12.6%)	20 (12.0%)	8 (4.8%)
	2人	252 (100%)	51 (20.2%)	44 (17.5%)	100 (39.7%)	22 (8.7%)	21 (8.3%)	81 (32.1%)	76 (30.2%)	43 (17.1%)	31 (12.3%)	22 (8.7%)	5 (2.0%)
	3人	141 (100%)	24 (17.0%)	24 (17.0%)	44 (31.2%)	12 (8.5%)	15 (10.6%)	54 (38.3%)	34 (24.1%)	15 (10.6%)	26 (18.4%)	11 (7.8%)	7 (5.0%)
	4人	90 (100%)	20 (22.2%)	10 (11.1%)	48 (53.3%)	13 (14.4%)	4 (4.4%)	23 (25.6%)	24 (26.7%)	20 (22.2%)	12 (13.3%)	10 (11.1%)	2 (2.2%)
	5人以上	37 (100%)	8 (21.6%)	10 (27.0%)	14 (37.8%)	5 (13.5%)	4 (10.8%)	10 (27.0%)	9 (24.3%)	7 (18.9%)	6 (16.2%)	2 (5.4%)	3 (8.1%)
住居形態	一戸建て	295 (100%)	56 (19.0%)	46 (15.6%)	112 (38.0%)	39 (13.2%)	29 (9.8%)	96 (32.5%)	84 (28.5%)	47 (15.9%)	41 (13.9%)	29 (9.8%)	8 (2.7%)
	集合住宅(持家)	141 (100%)	22 (15.6%)	20 (14.2%)	61 (43.3%)	12 (8.5%)	13 (9.2%)	44 (31.2%)	45 (31.9%)	31 (22.0%)	17 (12.1%)	9 (6.4%)	4 (2.8%)
	集合住宅(持家以外)等	253 (100%)	73 (28.9%)	46 (18.2%)	94 (37.2%)	18 (7.1%)	20 (7.9%)	76 (30.0%)	62 (24.5%)	44 (17.4%)	39 (15.4%)	27 (10.7%)	13 (5.1%)
町加会入への	加入している	381 (100%)	61 (16.0%)	59 (15.5%)	152 (39.9%)	43 (11.3%)	38 (10.0%)	124 (32.5%)	108 (28.3%)	58 (15.2%)	42 (11.0%)	35 (9.2%)	13 (3.4%)
	加入していない	297 (100%)	87 (29.3%)	51 (17.2%)	114 (38.4%)	26 (8.8%)	23 (7.7%)	89 (30.0%)	80 (26.9%)	60 (20.2%)	53 (17.8%)	29 (9.8%)	12 (4.0%)

第3章 事業所アンケート調査

1 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、一般廃棄物処理基本計画改定の基礎資料として、事業者のごみ・資源の処理方法やごみ減量・リサイクルへの取り組み実態等を把握することを目的とする。

(2) 調査対象

区に事業系ごみの集積所収集の届け出を行っている事業所から無作為に 1,000 事業所を抽出した。

(3) 調査方法

調査票の送付は郵送により行った。回答は郵送、またはインターネット上の回答フォームへの入力とした。後日、ご協力へのお礼とご回答のお願いをはがきで郵送した。

(4) 調査期間

令和6年7月26日～8月9日

(5) 回収状況

発送数は 1,000 通、宛先不明等で 79 通が返送されたため有効発送数は 921 通である。有効回答数は 409 通（郵送回答 321 件、ネット回答 88 件）で、回答率は 44.4%である。

(6) 集計結果の留意事項

回答者の属性別のクロス集計は、有効回答数が極端に少なくなることを避けるため、集計表は、業種、建物形態、従業者数の各カテゴリーをある程度統合した上で行った。

上段が回答者数、下段が構成比を示している。

なお、構成比の合計値は四捨五入の関係で 100%にならない項目がある。

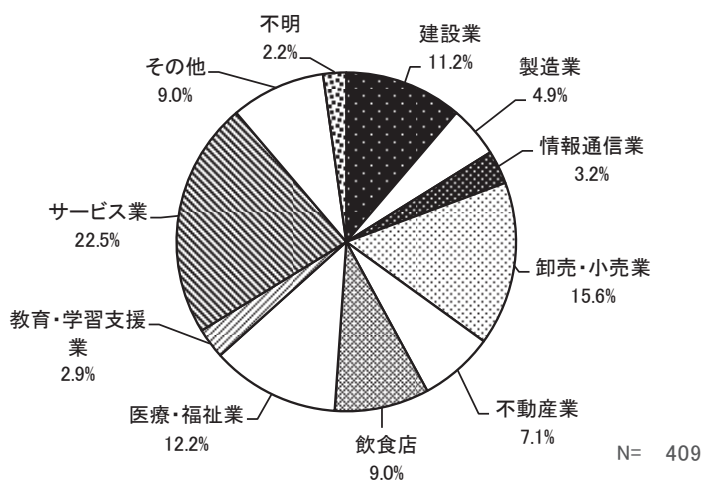
2 回答事業所の属性

(1) 業種

サービス業が最も多く 22.5%、次いで卸売・小売業が 15.6%、医療・福祉 12.2%などであった。

図表 3-1 業種

選択肢	回答数	割合
建設業	46	11.2%
製造業	20	4.9%
情報通信業	13	3.2%
卸売・小売業	64	15.6%
不動産業	29	7.1%
飲食店	37	9.0%
医療・福祉業	50	12.2%
教育・学習支援業	12	2.9%
サービス業	92	22.5%
その他	37	9.0%
不明	9	2.2%
合計	409	100.0%

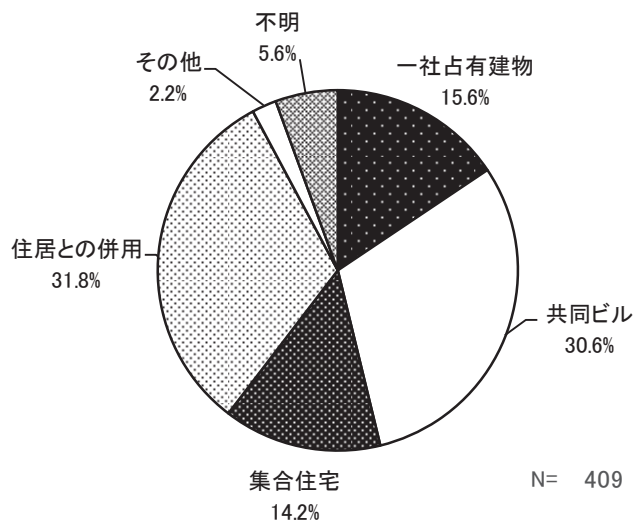


(2) 建物の形態

「住居との併用」 31.8%、「共同ビル」 30.6%などであった。

図表 3-2 建物の形態

選択肢	回答数	割合
一社占有建物	64	15.6%
共同ビル	125	30.6%
集合住宅	58	14.2%
住居との併用	130	31.8%
その他	9	2.2%
不明	23	5.6%
合計	409	100.0%

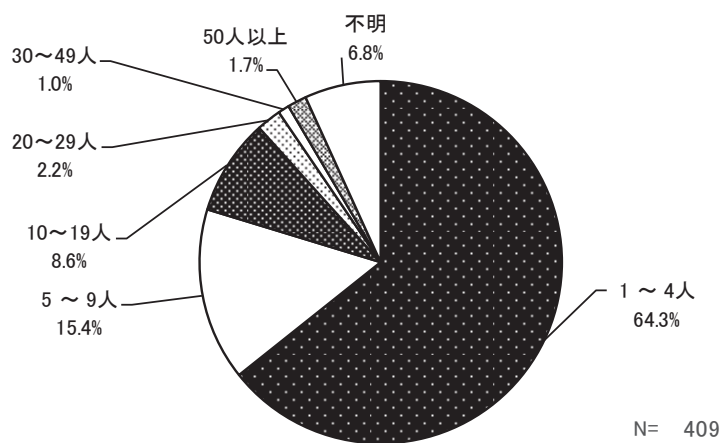


(3) 従業者数

「1～4人」が最も多く 64.3%、「5～9人」が 15.4%、「10～19人」が 8.6%などであった。

図表 3-3 従業者数

選択肢	回答数	割合
1～4人	263	64.3%
5～9人	63	15.4%
10～19人	35	8.6%
20～29人	9	2.2%
30～49人	4	1.0%
50人以上	7	1.7%
不明	28	6.8%
合計	409	100.0%



3 調査結果

(1) 事業者責任について

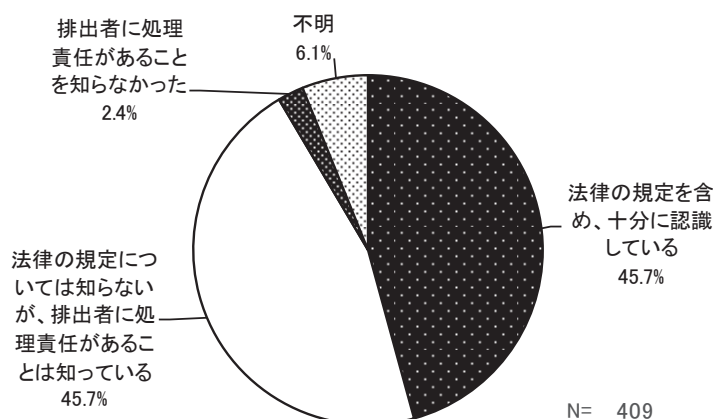
問 1 廃棄物の処理及び清掃に関する法律では、「事業者の排出者責任」について定められています。あなたの事業所ではそのことをご存じでしたか。

45.7%が「法律の規定を含め、十分に認識している」と回答している。「排出者に処理責任があることを知らなかった」という回答は2.4%であった。

前回の調査結果と比較すると（図表 3-5）、「十分認識している」は36.0%から45.7%に約10ポイント増加している。

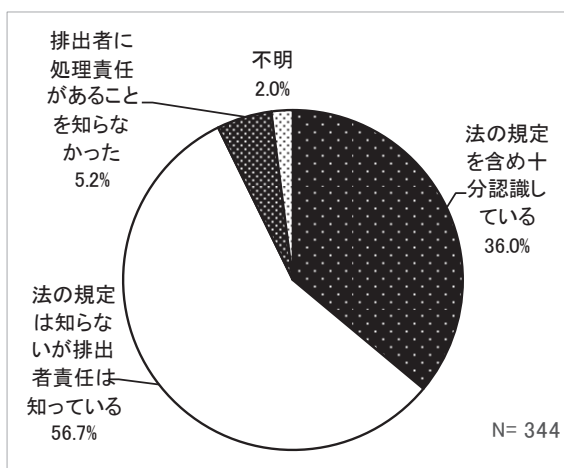
図表 3-4 事業者責任について

選択肢	回答数	割合
法律の規定を含め、十分に認識している	187	45.7%
法律の規定については知らないが、排出者に処理責任があることは知っている	187	45.7%
排出者に処理責任があることを知らなかった	10	2.4%
不明	25	6.1%
合計	409	100.0%



図表 3-5 （参考）事業者責任について（前回令和元年度調査）

選択肢	回答数	割合
法の規定を含め十分認識している	124	36.0%
法の規定は知らないが排出者責任は知っている	195	56.7%
排出者に処理責任があることを知らなかった	18	5.2%
不明	7	2.0%
合計	344	100.0%



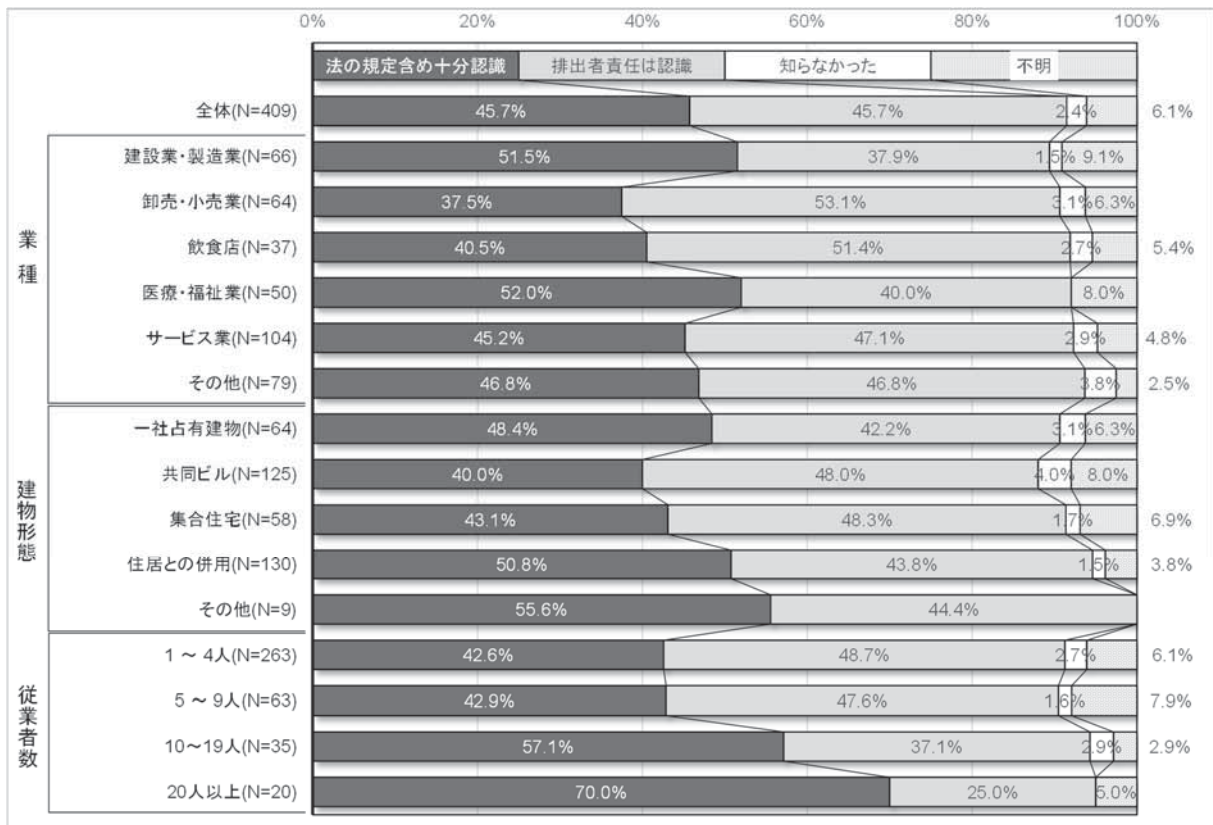
図表 3-6 は、属性別クロス集計結果である。

「十分に認識している」という回答は、業種では「建設・製造業」「医療・福祉業」が高くなっており、建物形態別では「住居との併用」にて高くなっている。

また、従業員規模別では5人未満の規模の事業所における「十分に認識している」という回答が低くなっている。

図表 3-6 事業者責任について（属性別クロス集計結果）

		回答数	問1 排出者責任について			
			法の規定含め十分認識	排出者責任は認識	知らなかった	不明
全体		409 (100%)	187 (45.7%)	187 (45.7%)	10 (2.4%)	25 (6.1%)
業種	建設業・製造業	66 (100%)	34 (51.5%)	25 (37.9%)	1 (1.5%)	6 (9.1%)
	卸売・小売業	64 (100%)	24 (37.5%)	34 (53.1%)	2 (3.1%)	4 (6.3%)
	飲食店	37 (100%)	15 (40.5%)	19 (51.4%)	1 (2.7%)	2 (5.4%)
	医療・福祉業	50 (100%)	26 (52.0%)	20 (40.0%)	0 (0.0%)	4 (8.0%)
	サービス業	104 (100%)	47 (45.2%)	49 (47.1%)	3 (2.9%)	5 (4.8%)
	その他	79 (100%)	37 (46.8%)	37 (46.8%)	3 (3.8%)	2 (2.5%)
	建物形態					
建物形態	一社占有建物	64 (100%)	31 (48.4%)	27 (42.2%)	2 (3.1%)	4 (6.3%)
	共同ビル	125 (100%)	50 (40.0%)	60 (48.0%)	5 (4.0%)	10 (8.0%)
	集合住宅	58 (100%)	25 (43.1%)	28 (48.3%)	1 (1.7%)	4 (6.9%)
	住居との併用	130 (100%)	66 (50.8%)	57 (43.8%)	2 (1.5%)	5 (3.8%)
	その他	9 (100%)	5 (55.6%)	4 (44.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
従業者数	1～4人	263 (100%)	112 (42.6%)	128 (48.7%)	7 (2.7%)	16 (6.1%)
	5～9人	63 (100%)	27 (42.9%)	30 (47.6%)	1 (1.6%)	5 (7.9%)
	10～19人	35 (100%)	20 (57.1%)	13 (37.1%)	1 (2.9%)	1 (2.9%)
	20人以上	20 (100%)	14 (70.0%)	5 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (5.0%)



(2) ごみの排出・処理状況

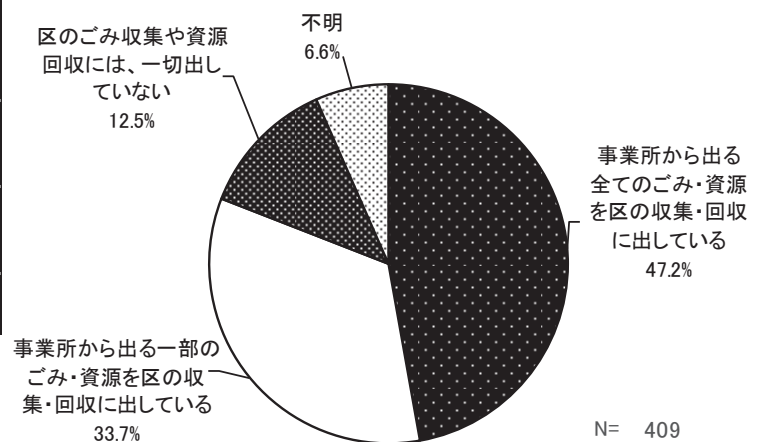
①区収集への排出

問 2(1) 「燃やすごみ」や「陶器・ガラス・金属ごみ」、または「びん・缶・ペットボトル」といった資源を、区のごみ収集・資源回収に出していますか。

「事業所から出る全てのごみ・資源を区の収集・回収に出している」との回答は 47.2% であった。前回の調査結果（図表 3-8）と比較しても大きな傾向の違いは出ていない。

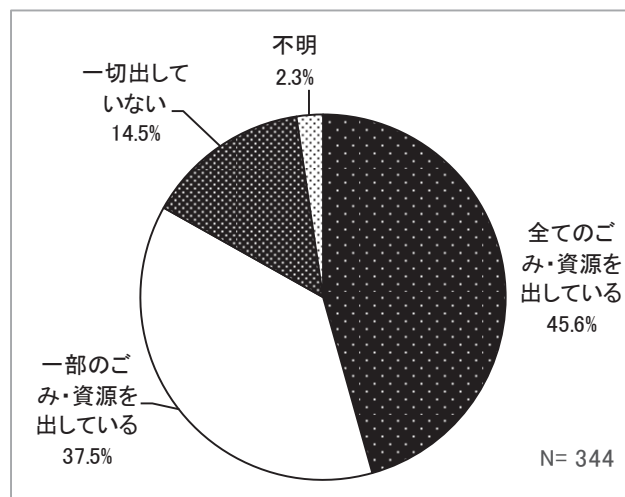
図表 3-7 区収集への排出

選択肢	回答数	割合
事業所から出る全てのごみ・資源を区の収集・回収に出している	193	47.2%
事業所から出る一部のごみ・資源を区の収集・回収に出している	138	33.7%
区のごみ収集や資源回収には、一切出していない	51	12.5%
不明	27	6.6%
合計	409	100.0%



図表 3-8 （参考）区収集への排出（前回令和元年度調査）

選択肢	回答数	割合
全てのごみ・資源を出している	157	45.6%
一部のごみ・資源を出している	129	37.5%
一切出していない	50	14.5%
不明	8	2.3%
合計	344	100.0%

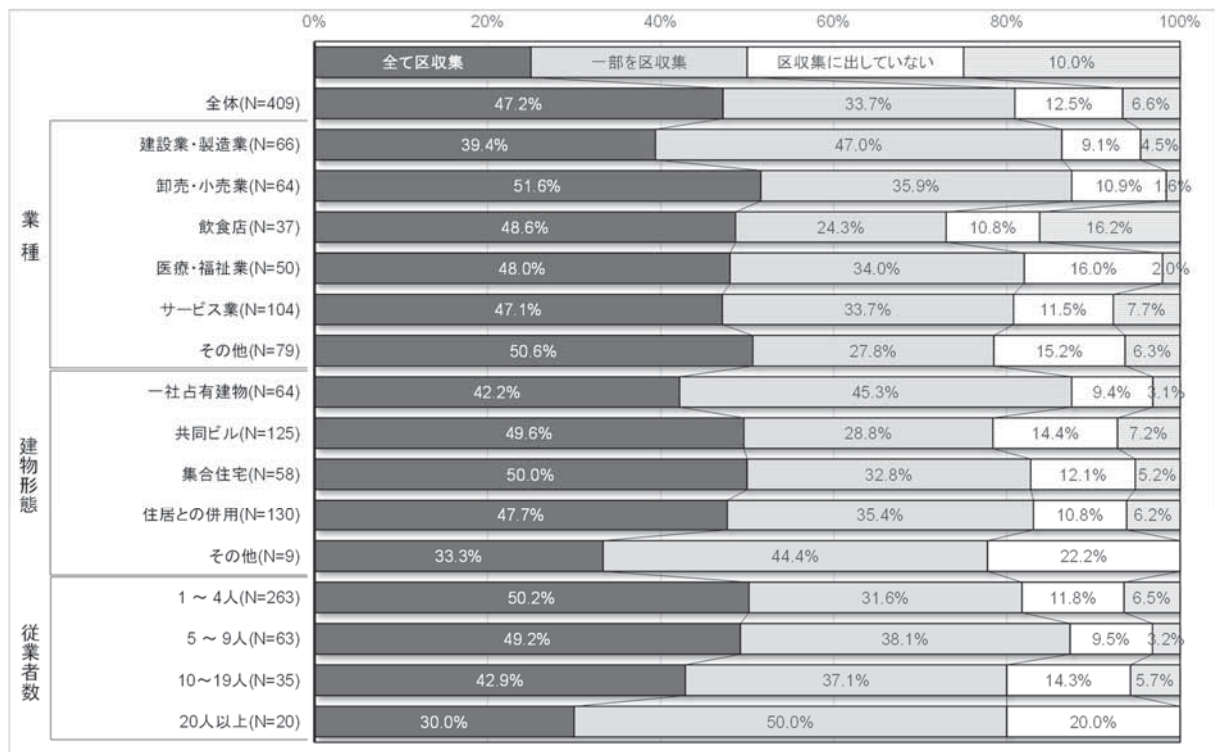


図表 3-9 は属性別クロス集計結果である。

従業者数が少ないほど「全てのごみ・資源を出している」割合が高くなっていく等の傾向が見られる。

図表 3-9 区収集への排出（属性別のクロス集計結果）

		回答数	問2(1) 区収集への排出			
			全て区収集	一部を区収集	区収集に出していない	不明
全体		409 (100%)	193 (47.2%)	138 (33.7%)	51 (12.5%)	27 (6.6%)
業 種	建設業・製造業	66 (100%)	26 (39.4%)	31 (47.0%)	6 (9.1%)	3 (4.5%)
	卸売・小売業	64 (100%)	33 (51.6%)	23 (35.9%)	7 (10.9%)	1 (1.6%)
	飲食店	37 (100%)	18 (48.6%)	9 (24.3%)	4 (10.8%)	6 (16.2%)
	医療・福祉業	50 (100%)	24 (48.0%)	17 (34.0%)	8 (16.0%)	1 (2.0%)
	サービス業	104 (100%)	49 (47.1%)	35 (33.7%)	12 (11.5%)	8 (7.7%)
	その他	79 (100%)	40 (50.6%)	22 (27.8%)	12 (15.2%)	5 (6.3%)
建 物 形 態	一社占有建物	64 (100%)	27 (42.2%)	29 (45.3%)	6 (9.4%)	2 (3.1%)
	共同ビル	125 (100%)	62 (49.6%)	36 (28.8%)	18 (14.4%)	9 (7.2%)
	集合住宅	58 (100%)	29 (50.0%)	19 (32.8%)	7 (12.1%)	3 (5.2%)
	住居との併用	130 (100%)	62 (47.7%)	46 (35.4%)	14 (10.8%)	8 (6.2%)
	その他	9 (100%)	3 (33.3%)	4 (44.4%)	2 (22.2%)	0 (0.0%)
従 業 者 数	1～4人	263 (100%)	132 (50.2%)	83 (31.6%)	31 (11.8%)	17 (6.5%)
	5～9人	63 (100%)	31 (49.2%)	24 (38.1%)	6 (9.5%)	2 (3.2%)
	10～19人	35 (100%)	15 (42.9%)	13 (37.1%)	5 (14.3%)	2 (5.7%)
	20人以上	20 (100%)	6 (30.0%)	10 (50.0%)	4 (20.0%)	0 (0.0%)



② 1週間当たりの排出量

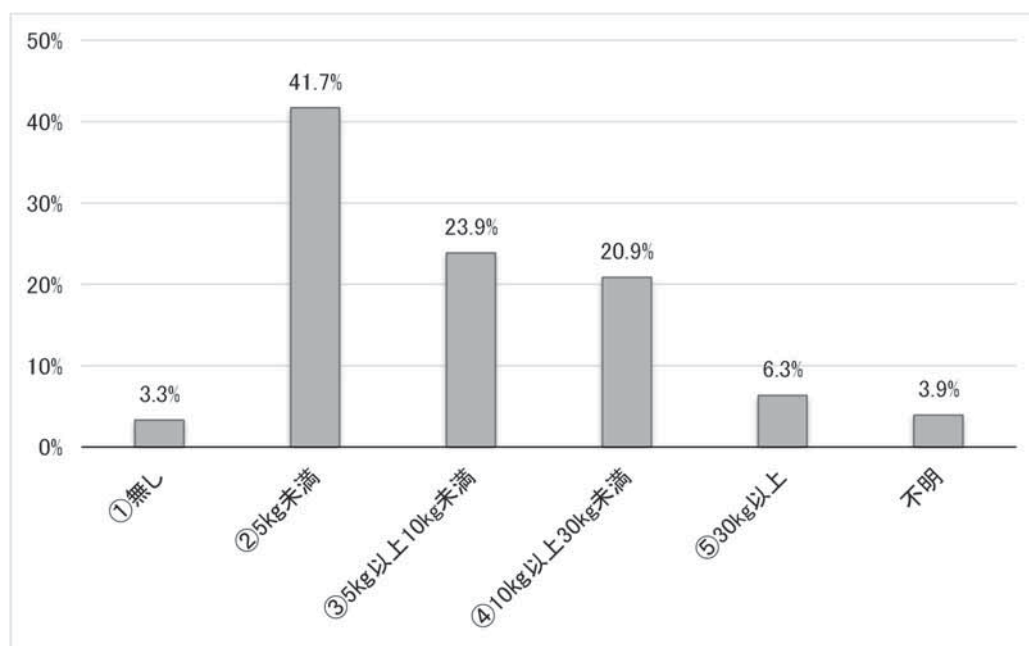
問 2(2) 上記 (1) で 1、2 と回答した方にお聞きします。一週間あたりのごみや資源の量は、どの程度ですか。ごみや資源の種類ごとに、下表に概算の数字でお答えください。

【燃やすごみ】

燃やすごみ（可燃ごみ）の一週間あたりの排出量の分布は下図のとおり、「5 kg未満」が最も多く（41.7%）になっている。

図表 3-10 可燃ごみの一週間あたり排出量

排出量 kg/週	燃やすごみ		
	回答数	割合	割合の累計
①無し	11	3.3%	3.3%
②5kg未満	138	41.7%	45.0%
③5kg以上10kg未満	79	23.9%	68.9%
④10kg以上30kg未満	69	20.9%	89.7%
⑤30kg以上	21	6.3%	96.1%
不明	13	3.9%	
合計	331	100.0%	

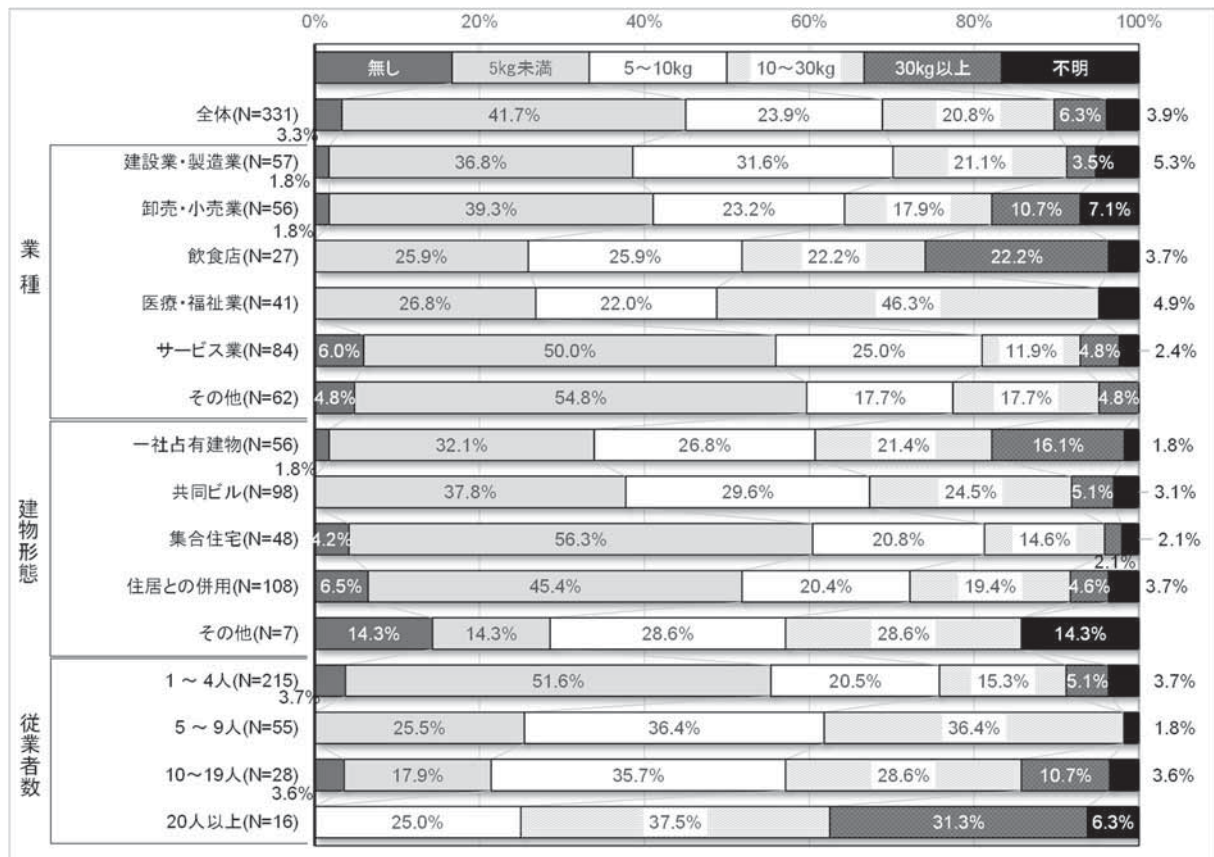


図表 3-11 は、属性別クロス集計結果である。

業種別に見ると、「飲食店」は週 30 kg 以上が 22.2% と他業種よりも多くなっている。また、「サービス業」「その他」はいずれも週 5 kg 未満の排出が約半数を占めている。

図表 3-11 可燃ごみの一週間あたり排出量分布（属性別クロス集計）

		回答数	問2(2) 週当たり可燃ごみ排出量					
			①無し	②5kg未満	③5kg以上 10kg未満	④10kg以上 30kg未満	⑤30kg以上	不明
全体		331 (100%)	11 (3.3%)	138 (41.7%)	79 (23.9%)	69 (20.8%)	21 (6.3%)	13 (3.9%)
業 種	建設業・製造業	57 (100%)	1 (1.8%)	21 (36.8%)	18 (31.6%)	12 (21.1%)	2 (3.5%)	3 (5.3%)
	卸売・小売業	56 (100%)	1 (1.8%)	22 (39.3%)	13 (23.2%)	10 (17.9%)	6 (10.7%)	4 (7.1%)
	飲食店	27 (100%)	0 (0.0%)	7 (25.9%)	7 (25.9%)	6 (22.2%)	6 (22.2%)	1 (3.7%)
	医療・福祉業	41 (100%)	0 (0.0%)	11 (26.8%)	9 (22.0%)	19 (46.3%)	0 (0.0%)	2 (4.9%)
	サービス業	84 (100%)	5 (6.0%)	42 (50.0%)	21 (25.0%)	10 (11.9%)	4 (4.8%)	2 (2.4%)
	その他	62 (100%)	3 (4.8%)	34 (54.8%)	11 (17.7%)	11 (17.7%)	3 (4.8%)	0 (0.0%)
建 物 形 態	一社占有建物	56 (100%)	1 (1.8%)	18 (32.1%)	15 (26.8%)	12 (21.4%)	9 (16.1%)	1 (1.8%)
	共同ビル	98 (100%)	0 (0.0%)	37 (37.8%)	29 (29.6%)	24 (24.5%)	5 (5.1%)	3 (3.1%)
	集合住宅	48 (100%)	2 (4.2%)	27 (56.3%)	10 (20.8%)	7 (14.6%)	1 (2.1%)	1 (2.1%)
	住居との併用	108 (100%)	7 (6.5%)	49 (45.4%)	22 (20.4%)	21 (19.4%)	5 (4.6%)	4 (3.7%)
	その他	7 (100%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)
従 業 者 数	1 ～ 4人	215 (100%)	8 (3.7%)	111 (51.6%)	44 (20.5%)	33 (15.3%)	11 (5.1%)	8 (3.7%)
	5 ～ 9人	55 (100%)	0 (0.0%)	14 (25.5%)	20 (36.4%)	20 (36.4%)	0 (0.0%)	1 (1.8%)
	10～19人	28 (100%)	1 (3.6%)	5 (17.9%)	10 (35.7%)	8 (28.6%)	3 (10.7%)	1 (3.6%)
	20人以上	16 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (25.0%)	6 (37.5%)	5 (31.3%)	1 (6.3%)

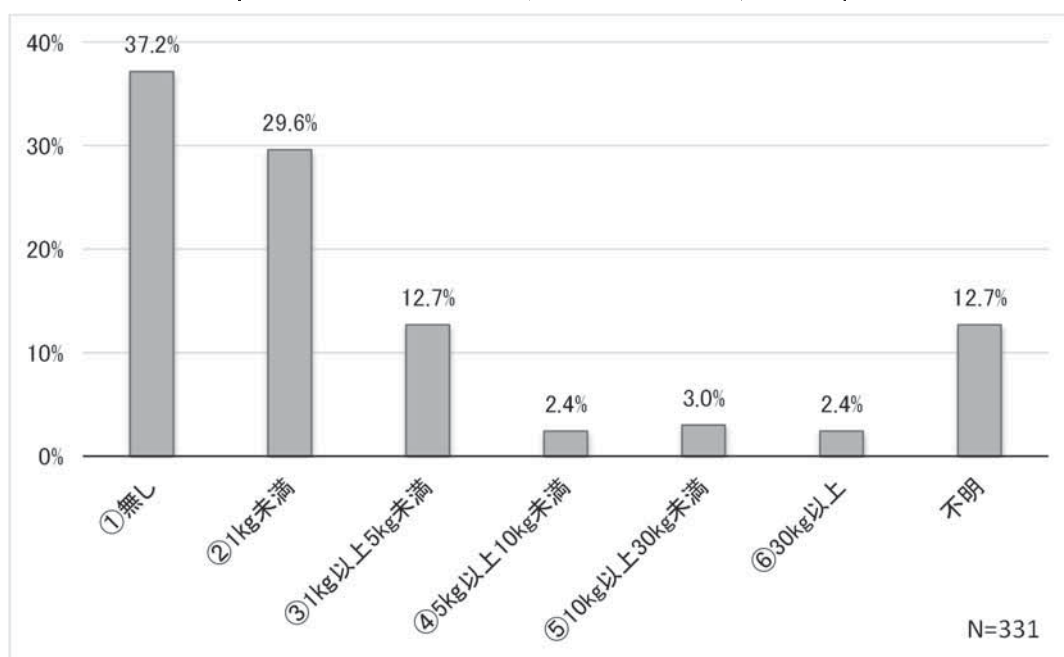


【生ごみ】

図表 3-12 は、生ごみの排出量（可燃ごみ中の比率に回答があったものについて、可燃ごみ量に生ごみ比率を乗じて算出したもの）の分布である。「無し（0%の回答）」が最も多く 37.2%、次いで 1 kg未満 29.6%等となっている。

図表 3-12 生ごみの一週間あたり排出量分布

排出量 kg/週	燃やすごみ		
	回答数	割合	割合の累計
①無し	123	37.2%	37.2%
②1kg未満	98	29.6%	66.8%
③1kg以上5kg未満	42	12.7%	79.5%
④5kg以上10kg未満	8	2.4%	81.9%
⑤10kg以上30kg未満	10	3.0%	84.9%
⑥30kg以上	8	2.4%	87.3%
不明	42	12.7%	
合計	331	100.0%	

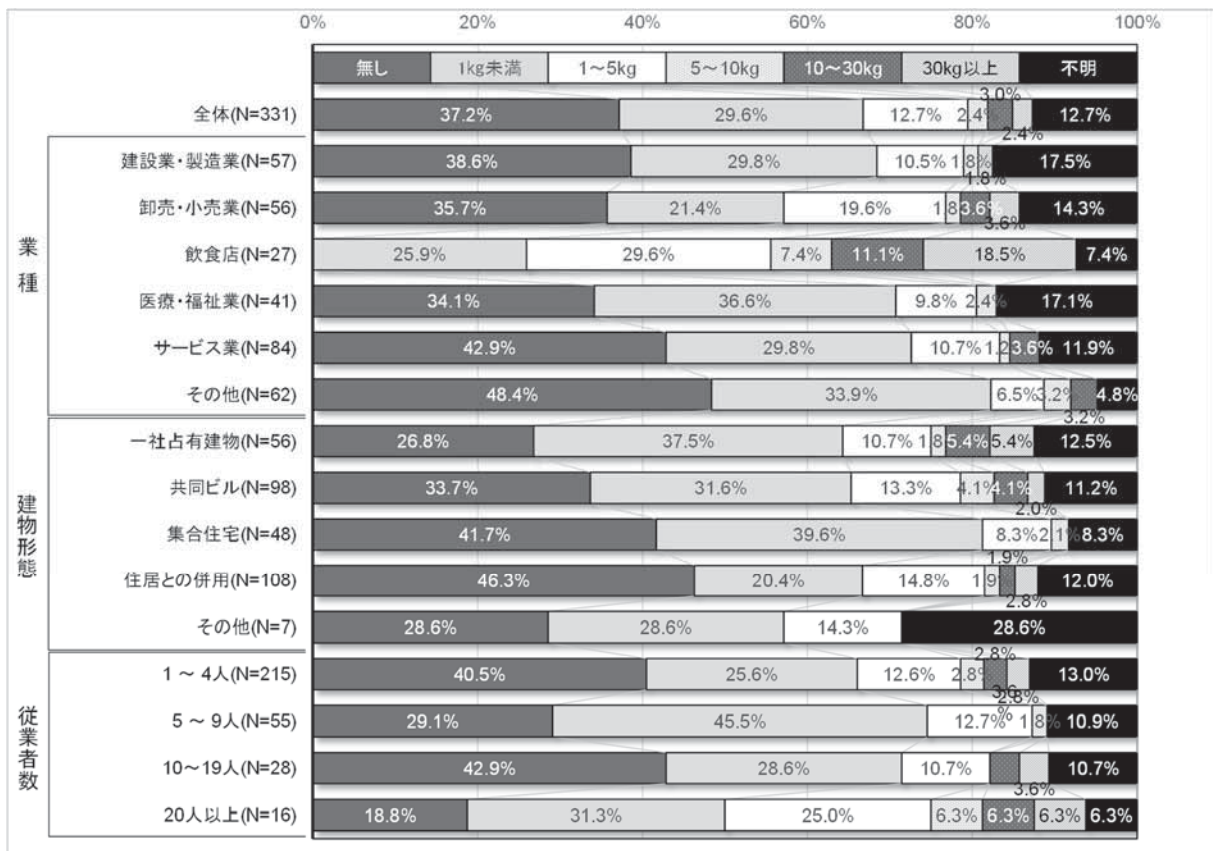


図表 3-13 は、属性別クロス集計結果である。

飲食店においては、週 30 kg以上の排出が 18.5%となっている。

図表 3-13 生ごみの一週間あたり排出量分布（属性別クロス集計）

		回答数	問2(2) 可燃ごみ中の生ごみ排出量					
			①無し	②1kg未満	③1kg以上 5kg未満	④5kg以上 10kg未満	⑤10kg以上 30kg未満	⑥30kg以上
全体		331 (100%)	123 (37.2%)	98 (29.6%)	42 (12.7%)	8 (2.4%)	10 (3.0%)	8 (2.4%)
業 種	建設業・製造業	57 (100%)	22 (38.6%)	17 (29.8%)	6 (10.5%)	1 (1.8%)	0 (0.0%)	1 (1.8%)
	卸売・小売業	56 (100%)	20 (35.7%)	12 (21.4%)	11 (19.6%)	1 (1.8%)	2 (3.6%)	2 (3.6%)
	飲食店	27 (100%)	0 (0.0%)	7 (25.9%)	8 (29.6%)	2 (7.4%)	3 (11.1%)	5 (18.5%)
	医療・福祉業	41 (100%)	14 (34.1%)	15 (36.6%)	4 (9.8%)	1 (2.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	サービス業	84 (100%)	36 (42.9%)	25 (29.8%)	9 (10.7%)	1 (1.2%)	3 (3.6%)	0 (0.0%)
	その他	62 (100%)	30 (48.4%)	21 (33.9%)	4 (6.5%)	2 (3.2%)	2 (3.2%)	0 (0.0%)
建 物 形 態	一社占有建物	56 (100%)	15 (26.8%)	21 (37.5%)	6 (10.7%)	1 (1.8%)	3 (5.4%)	3 (5.4%)
	共同ビル	98 (100%)	33 (33.7%)	31 (31.6%)	13 (13.3%)	4 (4.1%)	4 (4.1%)	2 (2.0%)
	集合住宅	48 (100%)	20 (41.7%)	19 (39.6%)	4 (8.3%)	1 (2.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	住居との併用	108 (100%)	50 (46.3%)	22 (20.4%)	16 (14.8%)	2 (1.9%)	2 (1.9%)	3 (2.8%)
	その他	7 (100%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
従 業 者 数	1～4人	215 (100%)	87 (40.5%)	55 (25.6%)	27 (12.6%)	6 (2.8%)	6 (2.8%)	6 (2.8%)
	5～9人	55 (100%)	16 (29.1%)	25 (45.5%)	7 (12.7%)	1 (1.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	10～19人	28 (100%)	12 (42.9%)	8 (28.6%)	3 (10.7%)	0 (0.0%)	1 (3.6%)	1 (3.6%)
	20人以上	16 (100%)	3 (18.8%)	5 (31.3%)	4 (25.0%)	1 (6.3%)	1 (6.3%)	1 (6.3%)

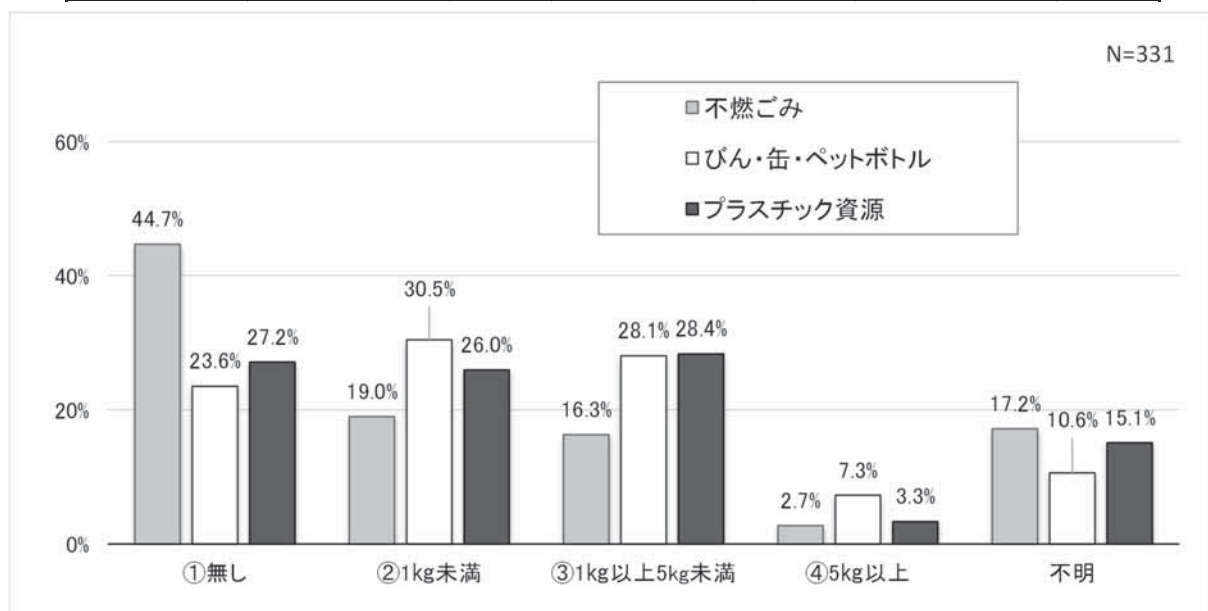


【可燃ごみ以外】

図表 3-14 は、「陶器・ガラス・金属ごみ」（不燃ごみ）、「びん・缶・ペットボトル」、「資源プラスチック」の一週間あたり排出量の分布である。

図表 3-14 一週間あたり排出量分布（可燃ごみ以外）

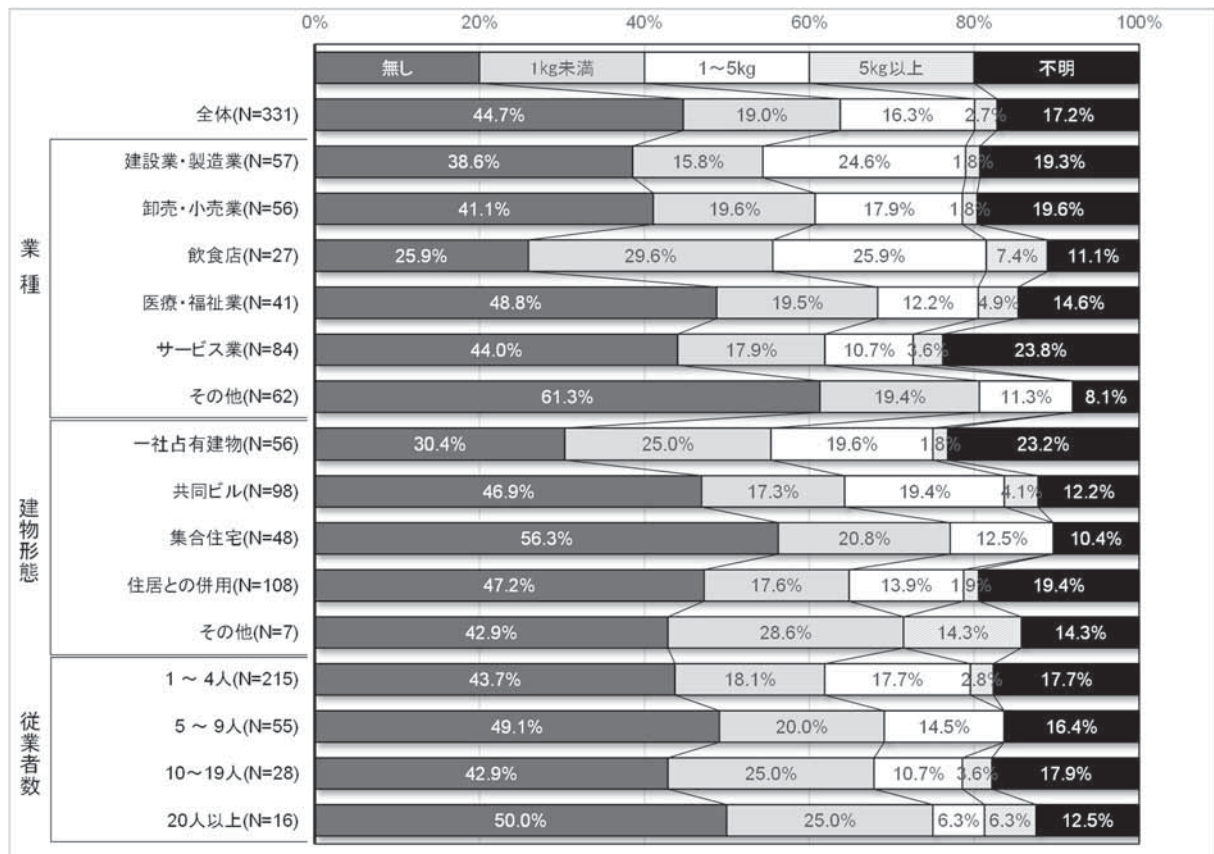
排出量 kg/週	不燃ごみ			びん・缶・ペットボトル			プラスチック資源		
	回答数	割合	割合の累計	回答数	割合	割合の累計	回答数	割合	割合の累計
①無し	148	44.7%	44.7%	78	23.6%	23.6%	90	27.2%	27.2%
②1kg未満	63	19.0%	63.7%	101	30.5%	54.1%	86	26.0%	53.2%
③1kg以上5kg未満	54	16.3%	80.1%	93	28.1%	82.2%	94	28.4%	81.6%
④5kg以上	9	2.7%	82.8%	24	7.3%	89.4%	11	3.3%	84.9%
不明	57	17.2%	100.0%	35	10.6%	100.0%	50	15.1%	100.0%
合計	331	100.0%		331	100.0%		331	100.0%	



図表 3-15～図表 3-17 は、不燃ごみ排出量の属性別クロス集計結果、びん・缶・ペットボトル排出量の属性別クロス集計結果、資源プラスチック排出量の属性別クロス集計結果である。

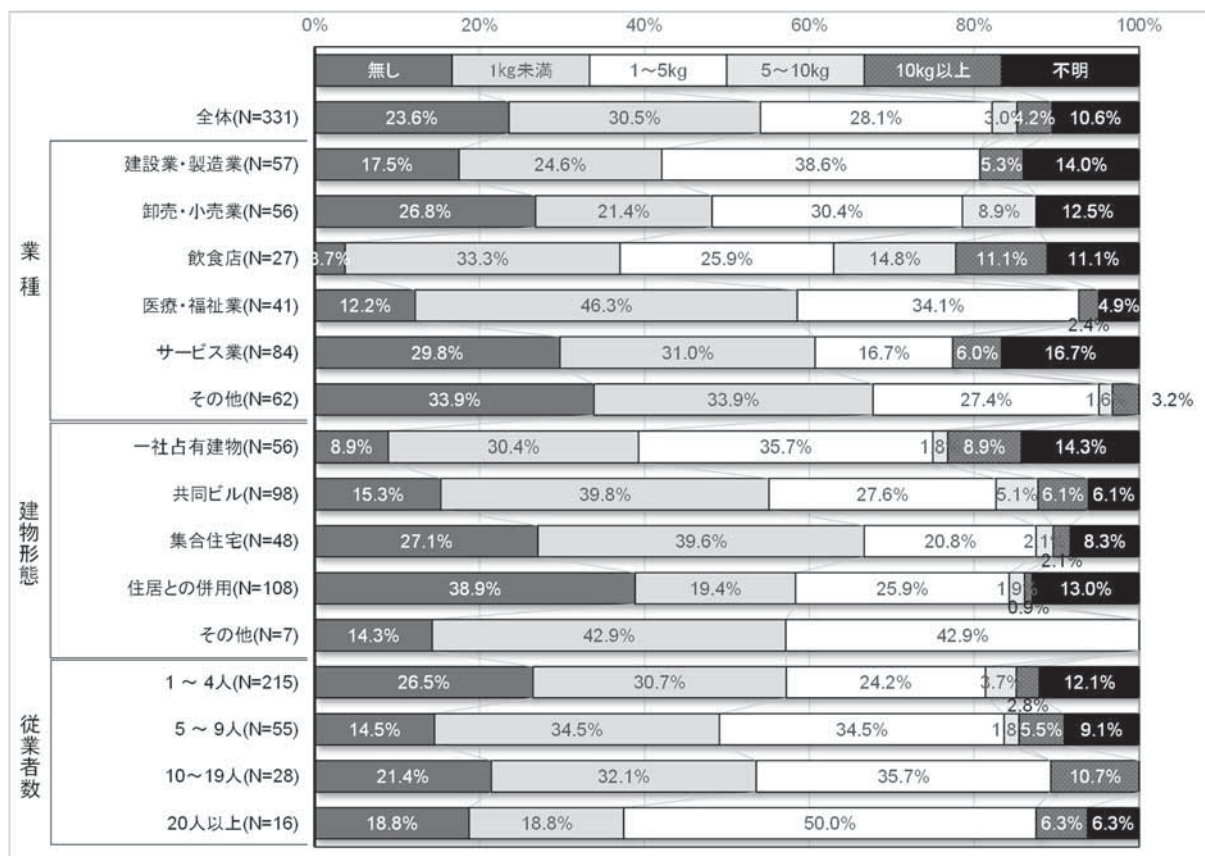
図表 3-15 不燃ごみの一週間あたり排出量分布（属性別クロス集計）

		回答数	問2(2) 週当たり不燃ごみ排出量				
			①無し	②1kg未満	③1kg以上 5kg未満	④5kg以上	不明
全体		331 (100%)	148 (44.7%)	63 (19.0%)	54 (16.3%)	9 (2.7%)	57 (17.2%)
業 種	建設業・製造業	57 (100%)	22 (38.6%)	9 (15.8%)	14 (24.6%)	1 (1.8%)	11 (19.3%)
	卸売・小売業	56 (100%)	23 (41.1%)	11 (19.6%)	10 (17.9%)	1 (1.8%)	11 (19.6%)
	飲食店	27 (100%)	7 (25.9%)	8 (29.6%)	7 (25.9%)	2 (7.4%)	3 (11.1%)
	医療・福祉業	41 (100%)	20 (48.8%)	8 (19.5%)	5 (12.2%)	2 (4.9%)	6 (14.6%)
	サービス業	84 (100%)	37 (44.0%)	15 (17.9%)	9 (10.7%)	3 (3.6%)	20 (23.8%)
	その他	62 (100%)	38 (61.3%)	12 (19.4%)	7 (11.3%)	0 (0.0%)	5 (8.1%)
建 物 形 態	一社占有建物	56 (100%)	17 (30.4%)	14 (25.0%)	11 (19.6%)	1 (1.8%)	13 (23.2%)
	共同ビル	98 (100%)	46 (46.9%)	17 (17.3%)	19 (19.4%)	4 (4.1%)	12 (12.2%)
	集合住宅	48 (100%)	27 (56.3%)	10 (20.8%)	6 (12.5%)	0 (0.0%)	5 (10.4%)
	住居との併用	108 (100%)	51 (47.2%)	19 (17.6%)	15 (13.9%)	2 (1.9%)	21 (19.4%)
	その他	7 (100%)	3 (42.9%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)
従 業 者 数	1～4人	215 (100%)	94 (43.7%)	39 (18.1%)	38 (17.7%)	6 (2.8%)	38 (17.7%)
	5～9人	55 (100%)	27 (49.1%)	11 (20.0%)	8 (14.5%)	0 (0.0%)	9 (16.4%)
	10～19人	28 (100%)	12 (42.9%)	7 (25.0%)	3 (10.7%)	1 (3.6%)	5 (17.9%)
	20人以上	16 (100%)	8 (50.0%)	4 (25.0%)	1 (6.3%)	1 (6.3%)	2 (12.5%)



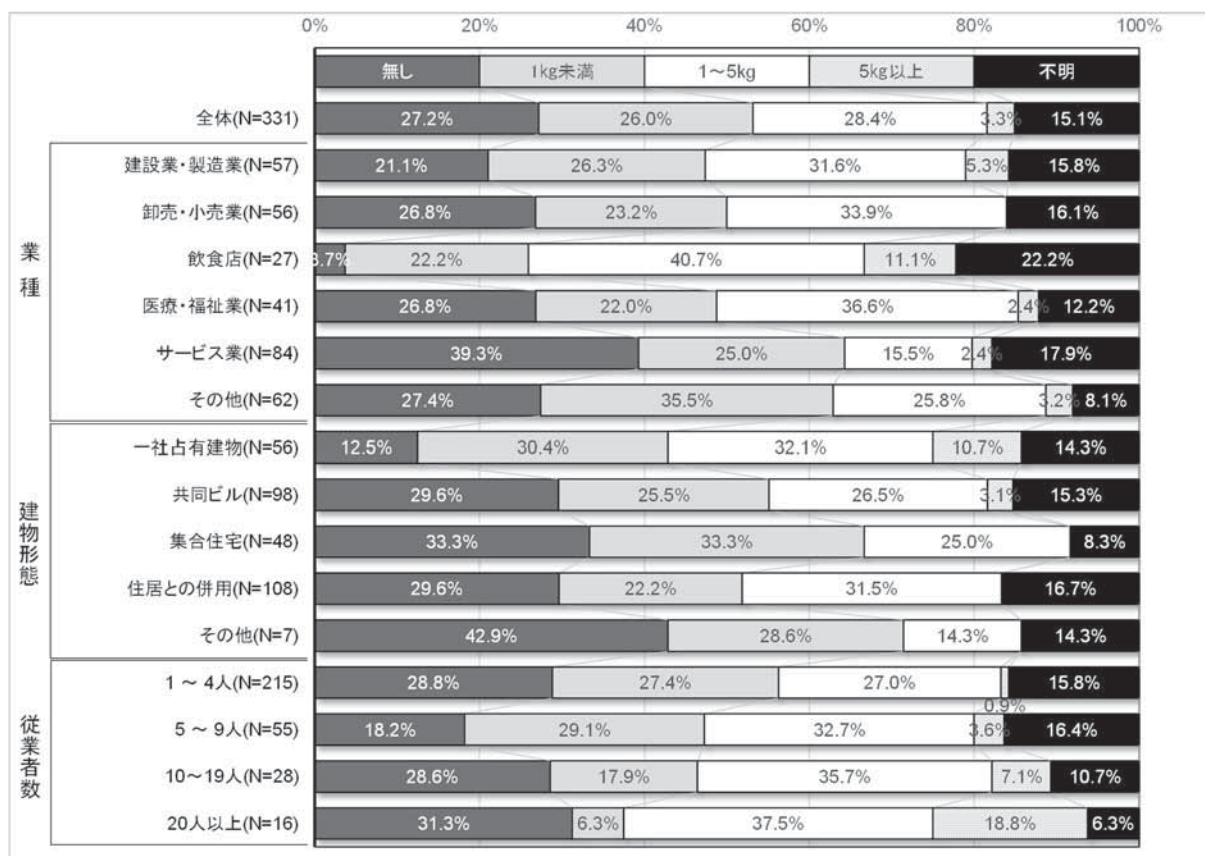
図表 3-16 びん・缶・ペットボトルごみの一週間あたり排出量分布（属性別クロス集計）

		回答数	問2(2) 週当たりびん・缶・ペットボトル排出量					
			①無し	②1kg未満	③1kg以上 5kg未満	④5kg以上 10kg未満	⑤10kg以上	不明
全体		331 (100%)	78 (23.6%)	101 (30.5%)	93 (28.1%)	10 (3.0%)	14 (4.2%)	35 (10.6%)
業 種	建設業・製造業	57 (100%)	10 (17.5%)	14 (24.6%)	22 (38.6%)	0 (0.0%)	3 (5.3%)	8 (14.0%)
	卸売・小売業	56 (100%)	15 (26.8%)	12 (21.4%)	17 (30.4%)	5 (8.9%)	0 (0.0%)	7 (12.5%)
	飲食店	27 (100%)	1 (3.7%)	9 (33.3%)	7 (25.9%)	4 (14.8%)	3 (11.1%)	3 (11.1%)
	医療・福祉業	41 (100%)	5 (12.2%)	19 (46.3%)	14 (34.1%)	0 (0.0%)	1 (2.4%)	2 (4.9%)
	サービス業	84 (100%)	25 (29.8%)	26 (31.0%)	14 (16.7%)	0 (0.0%)	5 (6.0%)	14 (16.7%)
	その他	62 (100%)	21 (33.9%)	21 (33.9%)	17 (27.4%)	1 (1.6%)	2 (3.2%)	0 (0.0%)
建 物 形 態	一社占有建物	56 (100%)	5 (8.9%)	17 (30.4%)	20 (35.7%)	1 (1.8%)	5 (8.9%)	8 (14.3%)
	共同ビル	98 (100%)	15 (15.3%)	39 (39.8%)	27 (27.6%)	5 (5.1%)	6 (6.1%)	6 (6.1%)
	集合住宅	48 (100%)	13 (27.1%)	19 (39.6%)	10 (20.8%)	1 (2.1%)	1 (2.1%)	4 (8.3%)
	住居との併用	108 (100%)	42 (38.9%)	21 (19.4%)	28 (25.9%)	2 (1.9%)	1 (0.9%)	14 (13.0%)
	その他	7 (100%)	1 (14.3%)	3 (42.9%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
従 業 者 数	1～4人	215 (100%)	57 (26.5%)	66 (30.7%)	52 (24.2%)	8 (3.7%)	6 (2.8%)	26 (12.1%)
	5～9人	55 (100%)	8 (14.5%)	19 (34.5%)	19 (34.5%)	1 (1.8%)	3 (5.5%)	5 (9.1%)
	10～19人	28 (100%)	6 (21.4%)	9 (32.1%)	10 (35.7%)	0 (0.0%)	3 (10.7%)	0 (0.0%)
	20人以上	16 (100%)	3 (18.8%)	3 (18.8%)	8 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (6.3%)	1 (6.3%)



図表 3-17 資源プラスチックの一週間あたり排出量分布（属性別クロス集計）

		回答数	問2(2) 週当たり資源プラスチック排出量				
			①無し	②1kg未満	③1kg以上 5kg未満	④5kg以上	不明
全体		331 (100%)	90 (27.2%)	86 (26.0%)	94 (28.4%)	11 (3.3%)	50 (15.1%)
業 種	建設業・製造業	57 (100%)	12 (21.1%)	15 (26.3%)	18 (31.6%)	3 (5.3%)	9 (15.8%)
	卸売・小売業	56 (100%)	15 (26.8%)	13 (23.2%)	19 (33.9%)	0 (0.0%)	9 (16.1%)
	飲食店	27 (100%)	1 (3.7%)	6 (22.2%)	11 (40.7%)	3 (11.1%)	6 (22.2%)
	医療・福祉業	41 (100%)	11 (26.8%)	9 (22.0%)	15 (36.6%)	1 (2.4%)	5 (12.2%)
	サービス業	84 (100%)	33 (39.3%)	21 (25.0%)	13 (15.5%)	2 (2.4%)	15 (17.9%)
	その他	62 (100%)	17 (27.4%)	22 (35.5%)	16 (25.8%)	2 (3.2%)	5 (8.1%)
建 物 形 態	一社占有建物	56 (100%)	7 (12.5%)	17 (30.4%)	18 (32.1%)	6 (10.7%)	8 (14.3%)
	共同ビル	98 (100%)	29 (29.6%)	25 (25.5%)	26 (26.5%)	3 (3.1%)	15 (15.3%)
	集合住宅	48 (100%)	16 (33.3%)	16 (33.3%)	12 (25.0%)	0 (0.0%)	4 (8.3%)
	住居との併用	108 (100%)	32 (29.6%)	24 (22.2%)	34 (31.5%)	0 (0.0%)	18 (16.7%)
	その他	7 (100%)	3 (42.9%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)
従 業 者 数	1～4人	215 (100%)	62 (28.8%)	59 (27.4%)	58 (27.0%)	2 (0.9%)	34 (15.8%)
	5～9人	55 (100%)	10 (18.2%)	16 (29.1%)	18 (32.7%)	2 (3.6%)	9 (16.4%)
	10～19人	28 (100%)	8 (28.6%)	5 (17.9%)	10 (35.7%)	2 (7.1%)	3 (10.7%)
	20人以上	16 (100%)	5 (31.3%)	1 (6.3%)	6 (37.5%)	3 (18.8%)	1 (6.3%)



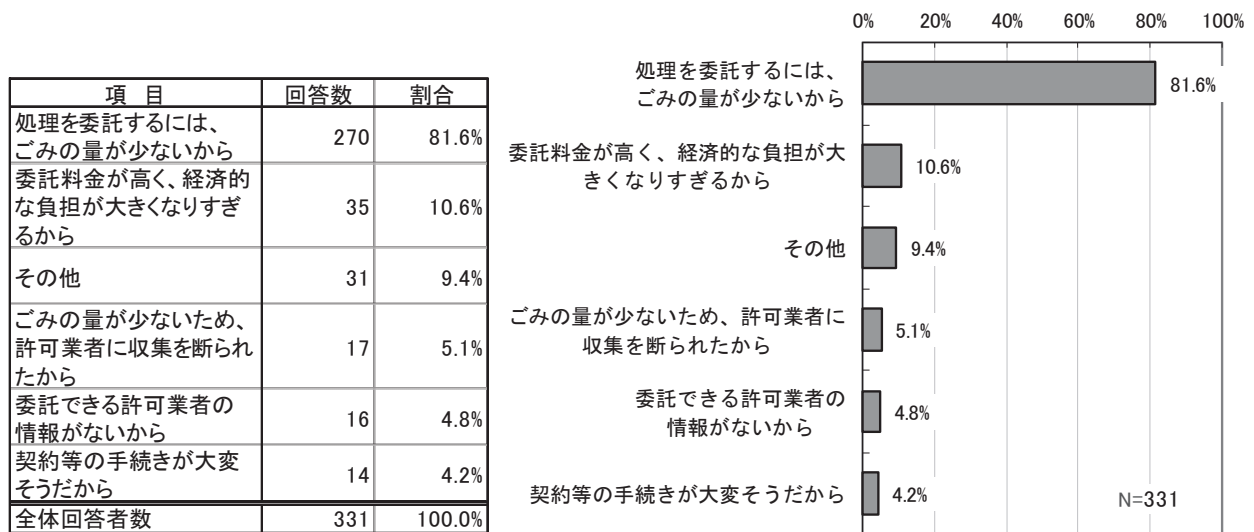
③廃棄物処理業者に委託しない理由

問 2(3) 上記(1)で 1、2 と回答した方にお聞きします。廃棄物処理業者に委託せずに区の収集を利用する理由をお答えください。

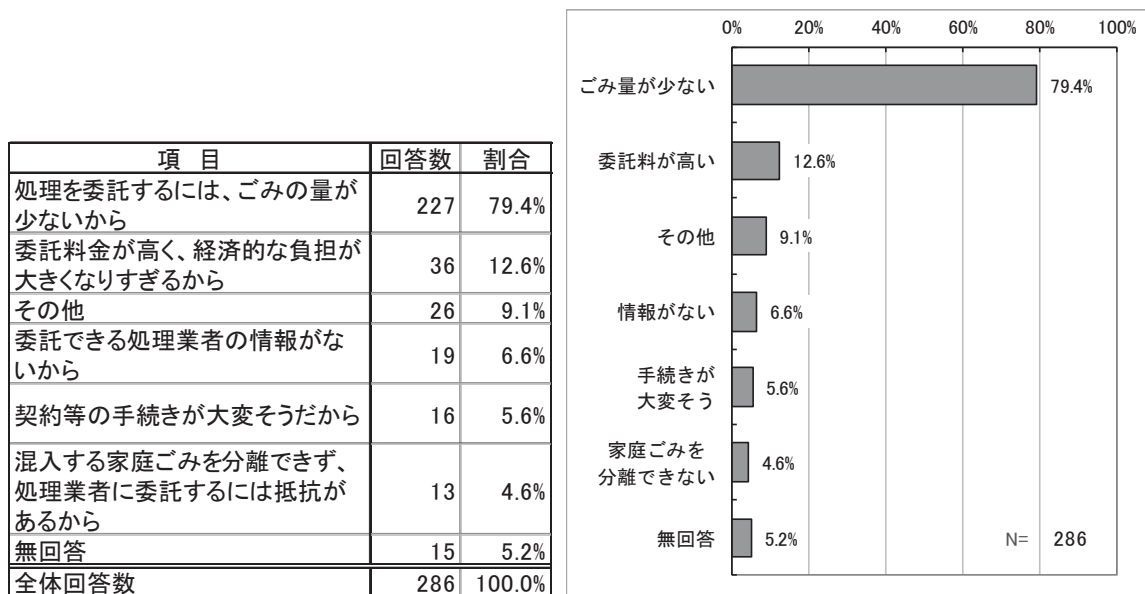
廃棄物処理業者に委託しない理由としては、「処理を委託するには、ごみの量が少ないから」が 81.6%と大部分を占めている。前回の調査結果（図表 3-19）とは選択肢を一部変更しているものの、ほぼ同様の傾向が見られる。

なお、「その他」の具体的記入例としては、「業者に直接持ち込みしている」「書類について溶解サービスを使っているため」「産廃業者に委託しているため」などがあつた。

図表 3-18 廃棄物処理業者に委託しない理由



図表 3-19 （参考）廃棄物処理業者に委託しない理由（前回令和元年度調査）



図表 3-20 は、属性別クロス集計結果である。
属性による際だった傾向は特に見られない。

図表 3-20 廃棄物処理業者に委託しない理由（属性別クロス集計）

		回答数	問2(3) 廃棄物処理業者に委託しない理由					
			手続きが大変 そう	ごみの量が少 ない	許可業者に 断られた	許可業者の 情報がない	経済的な負 担が大きい	その他
全体		331 (100%)	14 (4.2%)	270 (81.6%)	17 (5.1%)	16 (4.8%)	35 (10.6%)	31 (9.4%)
業 種	建設業・製造業	57 (100%)	1 (1.8%)	47 (82.5%)	3 (5.3%)	3 (5.3%)	5 (8.8%)	7 (12.3%)
	卸売・小売業	56 (100%)	2 (3.6%)	48 (85.7%)	1 (1.8%)	3 (5.4%)	3 (5.4%)	3 (5.4%)
	飲食店	27 (100%)	4 (14.8%)	21 (77.8%)	0 (0.0%)	3 (11.1%)	5 (18.5%)	2 (7.4%)
	医療・福祉業	41 (100%)	1 (2.4%)	35 (85.4%)	2 (4.9%)	2 (4.9%)	6 (14.6%)	3 (7.3%)
	サービス業	84 (100%)	4 (4.8%)	66 (78.6%)	9 (10.7%)	3 (3.6%)	8 (9.5%)	10 (11.9%)
	その他	62 (100%)	2 (3.2%)	52 (83.9%)	2 (3.2%)	2 (3.2%)	8 (12.9%)	4 (6.5%)
建 物 形 態	一社占有建物	56 (100%)	3 (5.4%)	42 (75.0%)	6 (10.7%)	3 (5.4%)	7 (12.5%)	8 (14.3%)
	共同ビル	98 (100%)	6 (6.1%)	83 (84.7%)	4 (4.1%)	7 (7.1%)	10 (10.2%)	6 (6.1%)
	集合住宅	48 (100%)	1 (2.1%)	42 (87.5%)	3 (6.3%)	1 (2.1%)	6 (12.5%)	4 (8.3%)
	住居との併用	108 (100%)	3 (2.8%)	88 (81.5%)	4 (3.7%)	3 (2.8%)	11 (10.2%)	11 (10.2%)
	その他	7 (100%)	0 (0.0%)	7 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
従 業 者 数	1～4人	215 (100%)	10 (4.7%)	177 (82.3%)	11 (5.1%)	8 (3.7%)	16 (7.4%)	18 (8.4%)
	5～9人	55 (100%)	2 (3.6%)	49 (89.1%)	3 (5.5%)	3 (5.5%)	7 (12.7%)	4 (7.3%)
	10～19人	28 (100%)	2 (7.1%)	23 (82.1%)	2 (7.1%)	4 (14.3%)	6 (21.4%)	3 (10.7%)
	20人以上	16 (100%)	0 (0.0%)	10 (62.5%)	1 (6.3%)	1 (6.3%)	5 (31.3%)	3 (18.8%)

(3) ごみ減量について

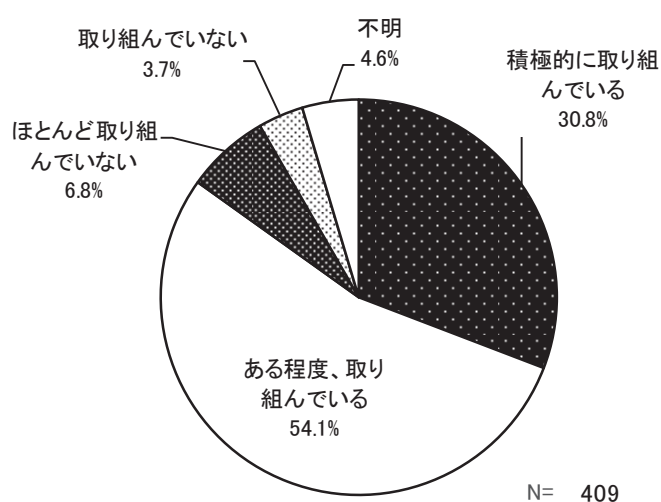
①ごみ減量・リサイクルに関する取り組み

問 3(1) あなたの事業所のごみ減量・リサイクルに関する取組についてお聞きます。

「積極的に取り組んでいる」「ある程度、取り組んでいる」を合わせると **84.8%**と、多くの事業所は取り組みを行っていると回答している。

図表 3-21 事業所におけるごみ減量・リサイクルに関する取り組み

選択肢	回答数	割合
積極的に取り組んでいる	126	30.8%
ある程度、取り組んでいる	221	54.0%
ほとんど取り組んでいない	28	6.8%
取り組んでいない	15	3.7%
不明	19	4.6%
合計	409	100.0%

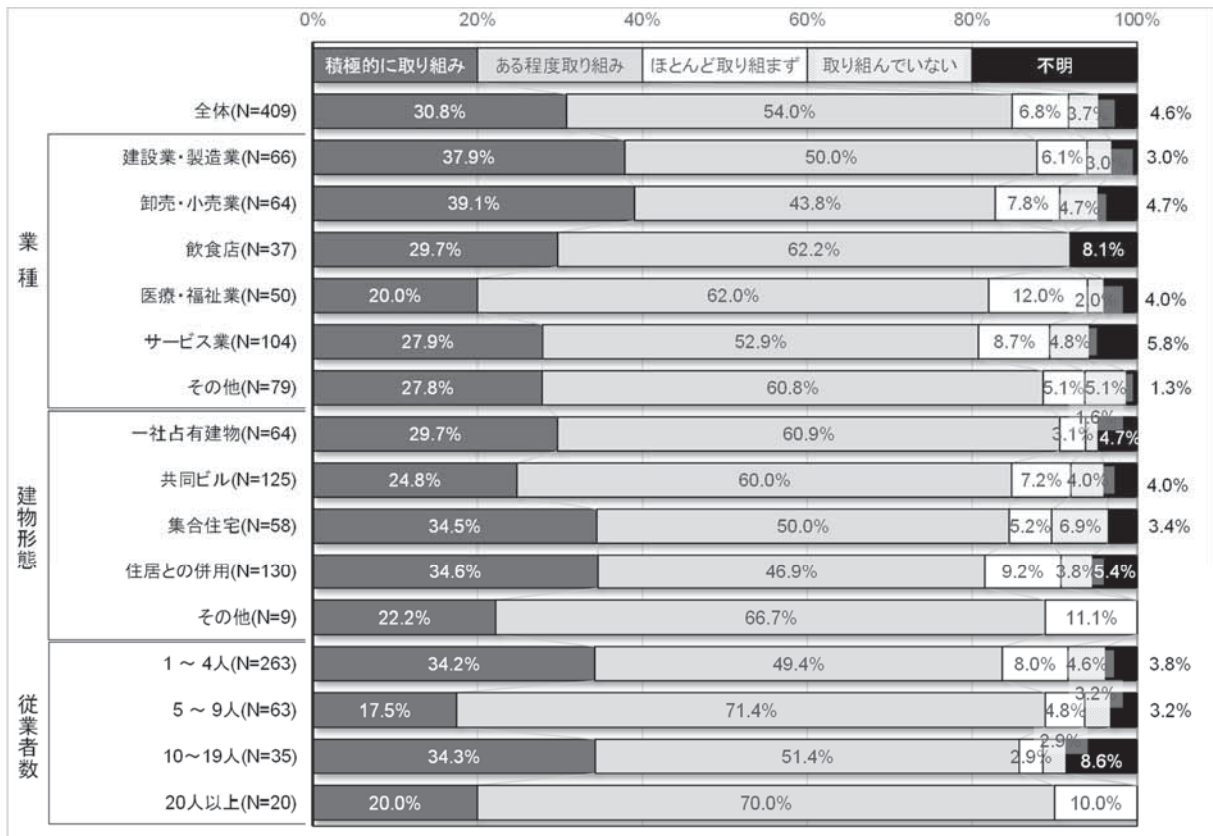


図表 3-22 は、属性別クロス集計結果である。

「積極的に取り組んでいる」とする回答割合は、業種別では「建設業・製造業」**37.9%**、「卸売・小売業」**39.1%**と他業種よりも高くなっている。他方、「医療・福祉業」は**20.0%**と他業種と比較して低くなっている。

図表 3-22 事業所におけるごみ減量・リサイクルに関する取り組み（属性別クロス集計）

		回答数	問3(1) ごみ減量・リサイクルに関する取り組み				
			積極的に取り組み	ある程度取り組み	ほとんど取り組み 組まず	取り組んでいない	不明
全体		409 (100%)	126 (30.8%)	221 (54.0%)	28 (6.8%)	15 (3.7%)	19 (4.6%)
業 種	建設業・製造業	66 (100%)	25 (37.9%)	33 (50.0%)	4 (6.1%)	2 (3.0%)	2 (3.0%)
	卸売・小売業	64 (100%)	25 (39.1%)	28 (43.8%)	5 (7.8%)	3 (4.7%)	3 (4.7%)
	飲食店	37 (100%)	11 (29.7%)	23 (62.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (8.1%)
	医療・福祉業	50 (100%)	10 (20.0%)	31 (62.0%)	6 (12.0%)	1 (2.0%)	2 (4.0%)
	サービス業	104 (100%)	29 (27.9%)	55 (52.9%)	9 (8.7%)	5 (4.8%)	6 (5.8%)
	その他	79 (100%)	22 (27.8%)	48 (60.8%)	4 (5.1%)	4 (5.1%)	1 (1.3%)
建 物 形 態	一社占有建物	64 (100%)	19 (29.7%)	39 (60.9%)	2 (3.1%)	1 (1.6%)	3 (4.7%)
	共同ビル	125 (100%)	31 (24.8%)	75 (60.0%)	9 (7.2%)	5 (4.0%)	5 (4.0%)
	集合住宅	58 (100%)	20 (34.5%)	29 (50.0%)	3 (5.2%)	4 (6.9%)	2 (3.4%)
	住居との併用	130 (100%)	45 (34.6%)	61 (46.9%)	12 (9.2%)	5 (3.8%)	7 (5.4%)
	その他	9 (100%)	2 (22.2%)	6 (66.7%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
従 業 者 数	1～4人	263 (100%)	90 (34.2%)	130 (49.4%)	21 (8.0%)	12 (4.6%)	10 (3.8%)
	5～9人	63 (100%)	11 (17.5%)	45 (71.4%)	3 (4.8%)	2 (3.2%)	2 (3.2%)
	10～19人	35 (100%)	12 (34.3%)	18 (51.4%)	1 (2.9%)	1 (2.9%)	3 (8.6%)
	20人以上	20 (100%)	4 (20.0%)	14 (70.0%)	2 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

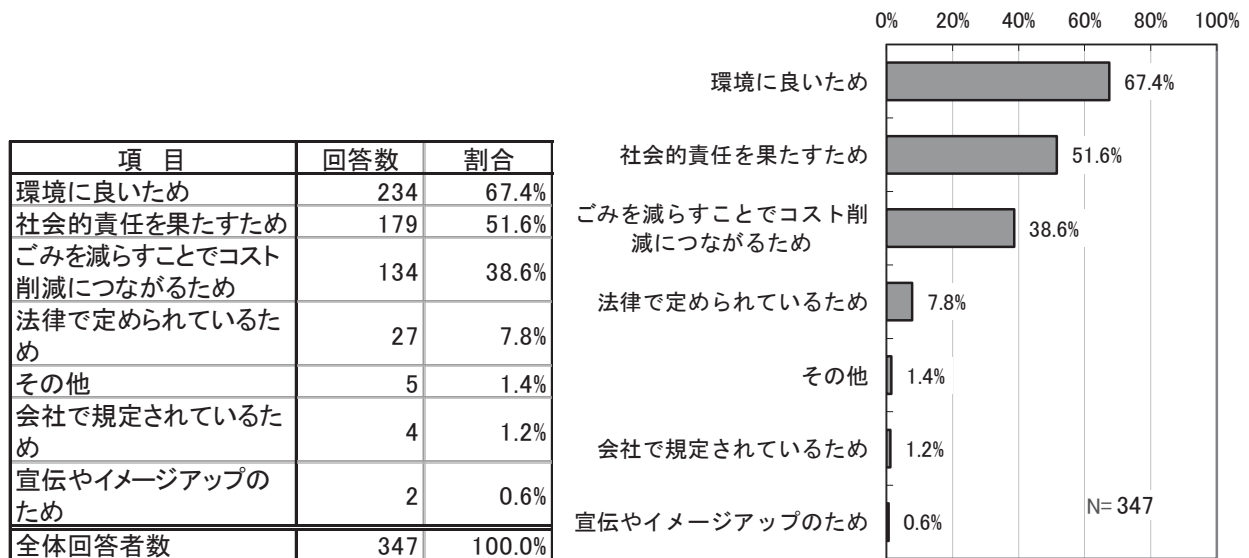


②ごみ減量・リサイクルに取り組む理由

問 3(2) 上記(1)で 1、2 と回答した方にお聞きします。あなたの事業所で、ごみ減量・リサイクルに取り組む主な理由は何ですか。

「環境に良いため」が最も多く 67.4%、次いで「社会的責任を果たすため」51.6%、「コスト削減につながるため」38.6%などとなっている。

図表 3-23 ごみ減量・リサイクルに取り組む理由



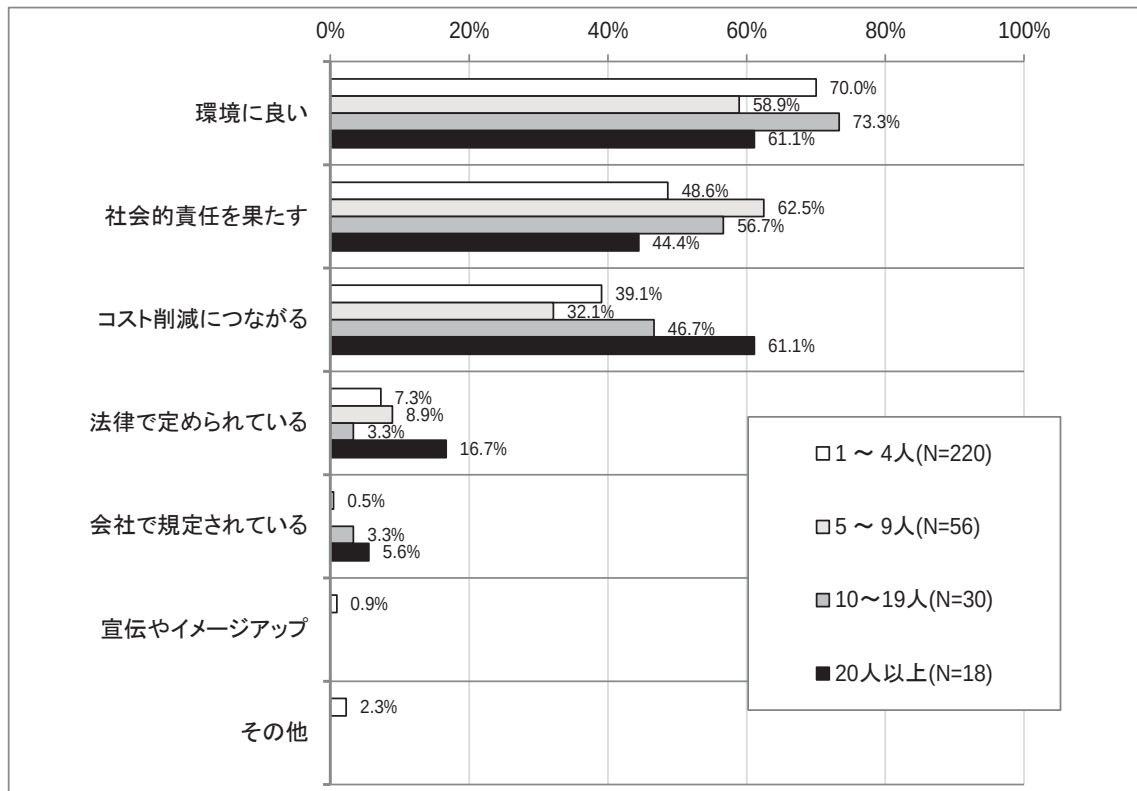
図表 3-24 は、属性別クロス集計結果である。

従業者数別に見ると、「コスト削減につながる」という回答割合は、従業者数 20 人以上の事業所で 61.1%と高くなっているといった傾向が見られる。

図表 3-24 ごみ減量・リサイクルに取り組む理由（属性別クロス集計）

		回答数	問3(2) ごみ減量・リサイクルに取り組む理由					
			環境に良い	社会的責任を果たす	コスト削減につながる	法律で定められている	会社で規定されている	宣伝やイメージアップ
全体		347 (100%)	234 (67.4%)	179 (51.6%)	134 (38.6%)	27 (7.8%)	4 (1.2%)	2 (0.6%)
業 種	建設業・製造業	58 (100%)	40 (69.0%)	27 (46.6%)	28 (48.3%)	2 (3.4%)	1 (1.7%)	0 (0.0%)
	卸売・小売業	53 (100%)	39 (73.6%)	31 (58.5%)	19 (35.8%)	2 (3.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	飲食店	34 (100%)	24 (70.6%)	17 (50.0%)	15 (44.1%)	4 (11.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	医療・福祉業	41 (100%)	26 (63.4%)	16 (39.0%)	16 (39.0%)	6 (14.6%)	1 (2.4%)	0 (0.0%)
	サービス業	84 (100%)	57 (67.9%)	42 (50.0%)	35 (41.7%)	9 (10.7%)	0 (0.0%)	2 (2.4%)
	その他	70 (100%)	46 (65.7%)	43 (61.4%)	20 (28.6%)	3 (4.3%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)
	その他	70 (100%)	46 (65.7%)	43 (61.4%)	20 (28.6%)	3 (4.3%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)
建 物 形 態	一社占有建物	58 (100%)	38 (65.5%)	41 (70.7%)	27 (46.6%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	0 (0.0%)
	共同ビル	106 (100%)	72 (67.9%)	51 (48.1%)	42 (39.6%)	8 (7.5%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)
	集合住宅	49 (100%)	32 (65.3%)	21 (42.9%)	19 (38.8%)	5 (10.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	住居との併用	106 (100%)	73 (68.9%)	53 (50.0%)	39 (36.8%)	10 (9.4%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)
	その他	8 (100%)	6 (75.0%)	3 (37.5%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)
従 業 者 数	1～4人	220 (100%)	154 (70.0%)	107 (48.6%)	86 (39.1%)	16 (7.3%)	1 (0.5%)	2 (0.9%)
	5～9人	56 (100%)	33 (58.9%)	35 (62.5%)	18 (32.1%)	5 (8.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	10～19人	30 (100%)	22 (73.3%)	17 (56.7%)	14 (46.7%)	1 (3.3%)	1 (3.3%)	0 (0.0%)
	20人以上	18 (100%)	11 (61.1%)	8 (44.4%)	11 (61.1%)	3 (16.7%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)

図表 3-25 ごみ減量・リサイクルに取り組む理由（従業者数別クロス集計）

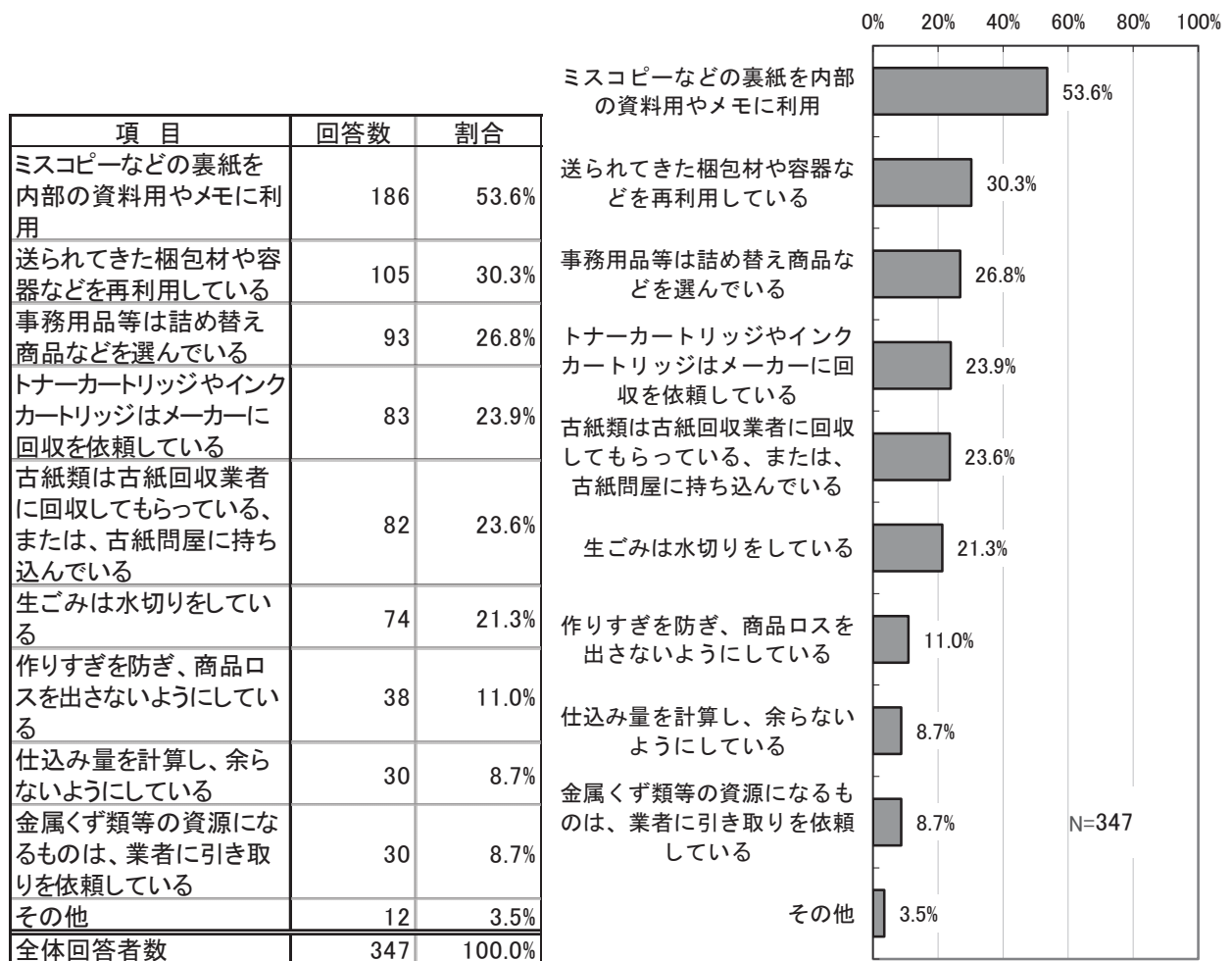


③実践している取り組み内容

問 3(3) 上記(1)で 1～2 と回答した方にお聞きします。あなたの事業所で実践しているごみ減量の取組をお選びください。

「ミスコピーなどの裏紙の利用」が最も多く 53.6%となっている。

図表 3-26 実践しているごみ減量・リサイクルの取り組み内容



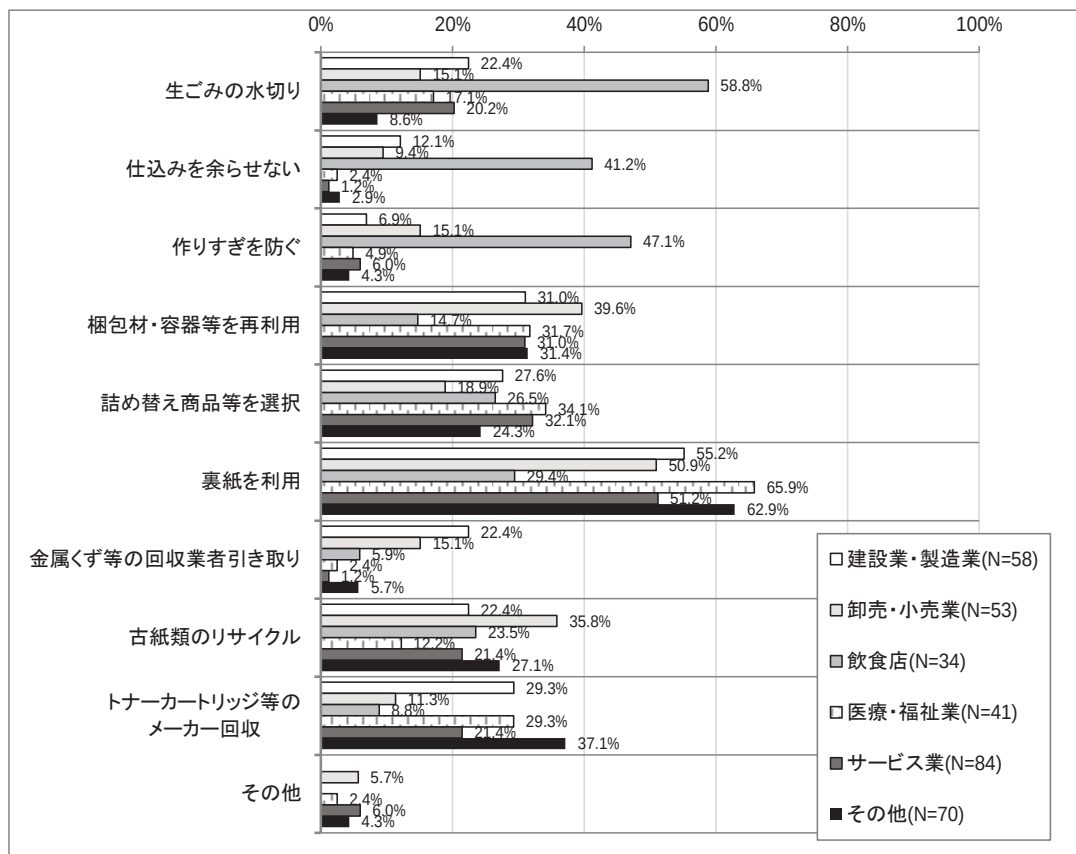
図表 3-27 は、属性別クロス集計結果である

業種別に見ると（グラフ：図表 3-28）、飲食店における生ごみ減量の取り組みの実践割合は、「生ごみの水切り」58.8%、「仕込みを余らせない」41.2%、「作りすぎを防ぐ」47.1%であった。

図表 3-27 実践しているごみ減量・リサイクルの取り組み内容（属性別クロス集計）

		回答数	問3(3) 実践している取り組み内容									
			生ごみの水切り	仕込みを余らせない	作りすぎを防ぐ	梱包材・容器等を再利用	詰め替え商品等を選択	裏紙を利用	金属くず等の回収業者引き取り	古紙類のリサイクル	トナーカートリッジ等のメーカー回収	その他
全体		347 (100%)	74 (21.3%)	30 (8.6%)	38 (11.0%)	105 (30.3%)	93 (26.8%)	186 (53.6%)	30 (8.6%)	82 (23.6%)	83 (23.9%)	12 (3.5%)
業 種	建設業・製造業	58 (100%)	13 (22.4%)	7 (12.1%)	4 (6.9%)	18 (31.0%)	16 (27.6%)	32 (55.2%)	13 (22.4%)	13 (22.4%)	17 (29.3%)	0 (0.0%)
	卸売・小売業	53 (100%)	8 (15.1%)	5 (9.4%)	8 (15.1%)	21 (39.6%)	10 (18.9%)	27 (50.9%)	8 (15.1%)	19 (35.8%)	6 (11.3%)	3 (5.7%)
	飲食店	34 (100%)	20 (58.8%)	14 (41.2%)	16 (47.1%)	5 (14.7%)	9 (26.5%)	10 (29.4%)	2 (5.9%)	8 (23.5%)	3 (8.8%)	0 (0.0%)
	医療・福祉業	41 (100%)	7 (17.1%)	1 (2.4%)	2 (4.9%)	13 (31.7%)	14 (34.1%)	27 (65.9%)	1 (2.4%)	5 (12.2%)	12 (29.3%)	1 (2.4%)
	サービス業	84 (100%)	17 (20.2%)	1 (1.2%)	5 (6.0%)	26 (31.0%)	27 (32.1%)	43 (51.2%)	1 (1.2%)	18 (21.4%)	18 (21.4%)	5 (6.0%)
	その他	70 (100%)	6 (8.6%)	2 (2.9%)	3 (4.3%)	22 (31.4%)	17 (24.3%)	44 (62.9%)	4 (5.7%)	19 (27.1%)	26 (37.1%)	3 (4.3%)
建 物 形 態	一社占有建物	58 (100%)	14 (24.1%)	2 (3.4%)	4 (6.9%)	16 (27.6%)	14 (24.1%)	33 (56.9%)	8 (13.8%)	15 (25.9%)	18 (31.0%)	4 (6.9%)
	共同ビル	106 (100%)	24 (22.6%)	11 (10.4%)	17 (16.0%)	30 (28.3%)	41 (38.7%)	57 (53.8%)	7 (6.6%)	20 (18.9%)	21 (19.8%)	1 (0.9%)
	集合住宅	49 (100%)	8 (16.3%)	2 (4.1%)	7 (14.3%)	19 (38.8%)	17 (34.7%)	27 (55.1%)	5 (10.2%)	10 (20.4%)	19 (38.8%)	3 (6.1%)
	住居との併用	106 (100%)	17 (16.0%)	12 (11.3%)	7 (6.6%)	32 (30.2%)	17 (16.0%)	55 (51.9%)	9 (8.5%)	33 (31.1%)	17 (16.0%)	4 (3.8%)
	その他	8 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)	6 (75.0%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	3 (37.5%)	0 (0.0%)
従 業 者 数	1～4人	220 (100%)	40 (18.2%)	22 (10.0%)	28 (12.7%)	67 (30.5%)	56 (25.5%)	102 (46.4%)	19 (8.6%)	53 (24.1%)	45 (20.5%)	10 (4.5%)
	5～9人	56 (100%)	11 (19.6%)	3 (5.4%)	4 (7.1%)	21 (37.5%)	17 (30.4%)	40 (71.4%)	2 (3.6%)	10 (17.9%)	15 (26.8%)	0 (0.0%)
	10～19人	30 (100%)	8 (26.7%)	0 (0.0%)	1 (3.3%)	7 (23.3%)	11 (36.7%)	22 (73.3%)	3 (10.0%)	5 (16.7%)	11 (36.7%)	1 (3.3%)
	20人以上	18 (100%)	5 (27.8%)	1 (5.6%)	1 (5.6%)	5 (27.8%)	7 (38.9%)	13 (72.2%)	4 (22.2%)	9 (50.0%)	7 (38.9%)	1 (5.6%)

図表 3-28 実践しているごみ減量・リサイクルの取り組み内容（業種別クロス集計）



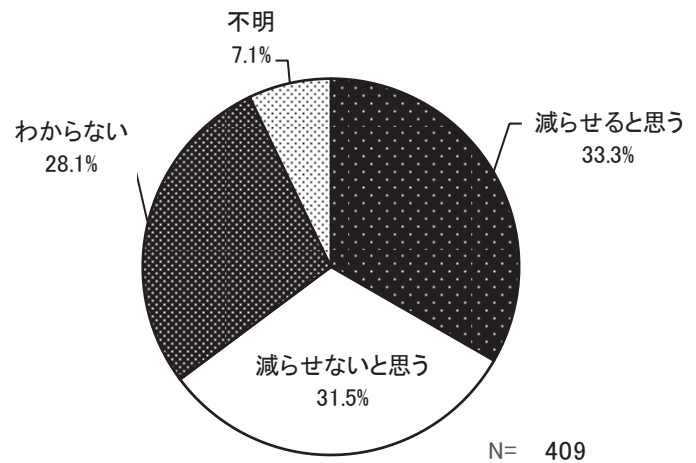
④ごみ排出量を減らす余地

問 3(4) あなたの事業所から排出するごみの量について、今後減らす余地があると思いますか。

「減らせると思う」33.3%、「減らせないと思う」31.5%とほぼ同じ割合となっている。前回の調査結果（図表 3-30）と比較すると「減らせると思う」という回答がやや増えているものの、ほぼ同様の傾向が見られる。

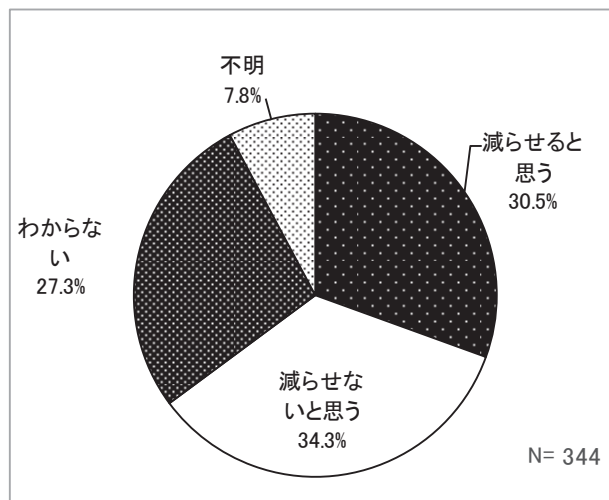
図表 3-29 ごみ減量の余地の有無

選択肢	回答数	割合
減らせると思う	136	33.3%
減らせないと思う	129	31.5%
わからない	115	28.1%
不明	29	7.1%
合計	409	100.0%



図表 3-30 （参考）ごみ減量の余地の有無（前回令和元年度調査）

選択肢	回答数	割合
減らせると思う	105	30.5%
減らせないと思う	118	34.3%
わからない	94	27.3%
不明	27	7.8%
合計	344	100.0%

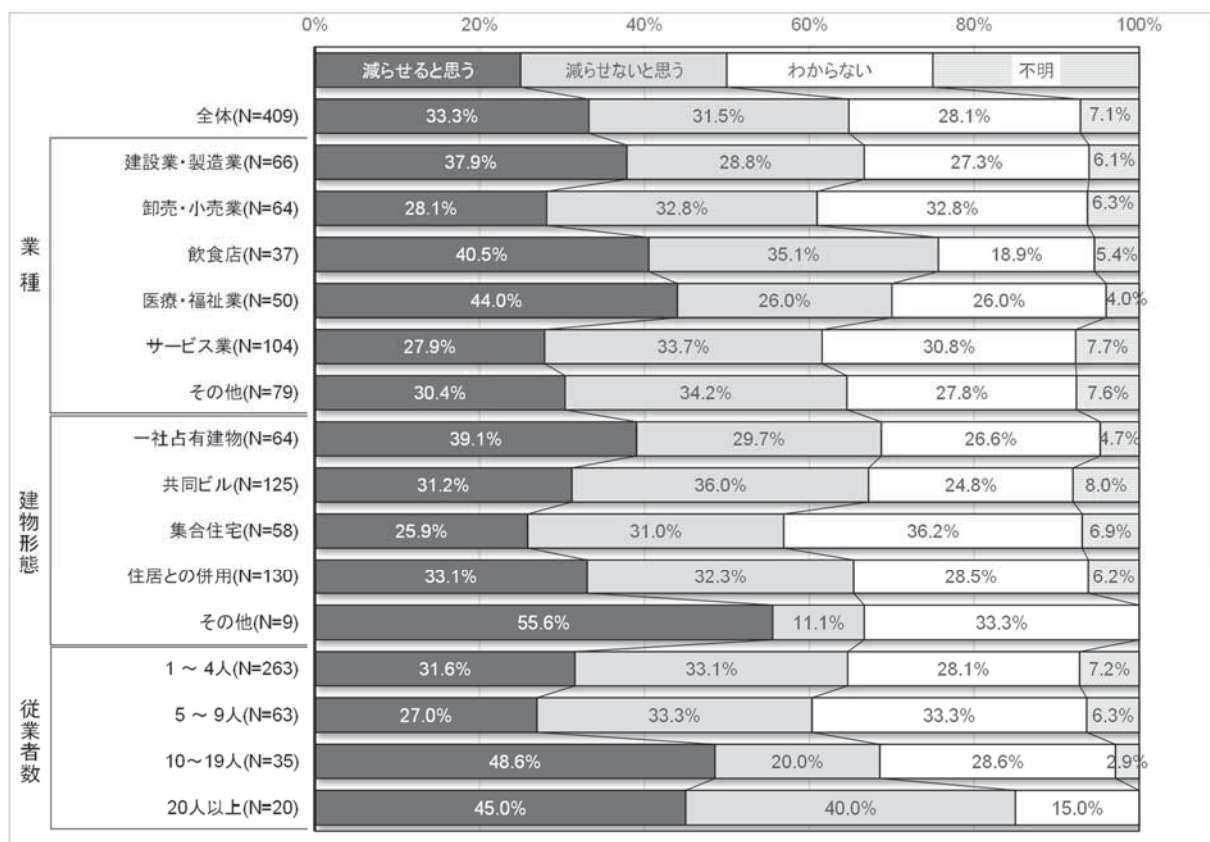


図表 3-31 は、属性別クロス集計結果である。

業種別では「飲食店」「医療・福祉業」が「減らせると思う」という回答が40%を超え他の業種よりも多くなっている。また、従業者規模別では、従業者数10人以上と多くなると、「減らせると思う」と回答する割合が高くなっている。

図表 3-31 ごみ減量の余地の有無（属性別クロス集計）

		回答数	問3(4) ごみ排出量を減らす余地			
			減らせると 思う	減らせないと 思う	わからない	不明
全体		409 (100%)	136 (33.3%)	129 (31.5%)	115 (28.1%)	29 (7.1%)
業 種	建設業・製造業	66 (100%)	25 (37.9%)	19 (28.8%)	18 (27.3%)	4 (6.1%)
	卸売・小売業	64 (100%)	18 (28.1%)	21 (32.8%)	21 (32.8%)	4 (6.3%)
	飲食店	37 (100%)	15 (40.5%)	13 (35.1%)	7 (18.9%)	2 (5.4%)
	医療・福祉業	50 (100%)	22 (44.0%)	13 (26.0%)	13 (26.0%)	2 (4.0%)
	サービス業	104 (100%)	29 (27.9%)	35 (33.7%)	32 (30.8%)	8 (7.7%)
	その他	79 (100%)	24 (30.4%)	27 (34.2%)	22 (27.8%)	6 (7.6%)
建 物 形 態	一社占有建物	64 (100%)	25 (39.1%)	19 (29.7%)	17 (26.6%)	3 (4.7%)
	共同ビル	125 (100%)	39 (31.2%)	45 (36.0%)	31 (24.8%)	10 (8.0%)
	集合住宅	58 (100%)	15 (25.9%)	18 (31.0%)	21 (36.2%)	4 (6.9%)
	住居との併用	130 (100%)	43 (33.1%)	42 (32.3%)	37 (28.5%)	8 (6.2%)
	その他	9 (100%)	5 (55.6%)	1 (11.1%)	3 (33.3%)	0 (0.0%)
従 業 者 数	1～4人	263 (100%)	83 (31.6%)	87 (33.1%)	74 (28.1%)	19 (7.2%)
	5～9人	63 (100%)	17 (27.0%)	21 (33.3%)	21 (33.3%)	4 (6.3%)
	10～19人	35 (100%)	17 (48.6%)	7 (20.0%)	10 (28.6%)	1 (2.9%)
	20人以上	20 (100%)	9 (45.0%)	8 (40.0%)	3 (15.0%)	0 (0.0%)



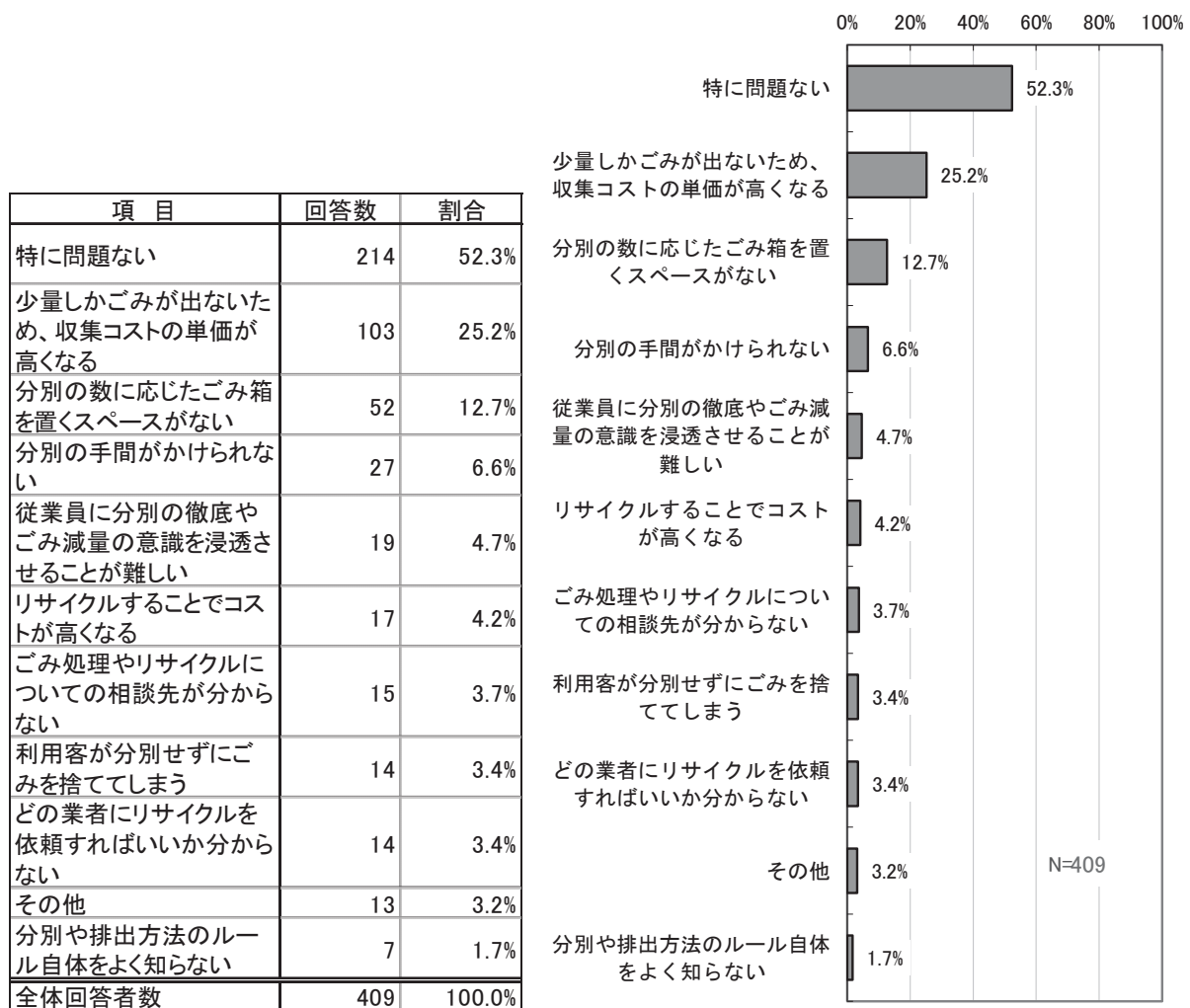
⑤ごみ減量・リサイクルを進めていく上での問題点

問 3(5) あなたの事業所で、ごみ減量・リサイクルを進めていくうえでの主な問題点は何ですか。

「特に問題ない」が 52.3%と最も多い。

その他問題点としては、「少量しかごみが出ないため、収集コストの単価が高くなる」が 25.2%、「分別の数に応じたごみ箱を置くスペースがない」12.7%等であった。

図表 3-32 ごみ減量・リサイクルを進めていく上での問題点



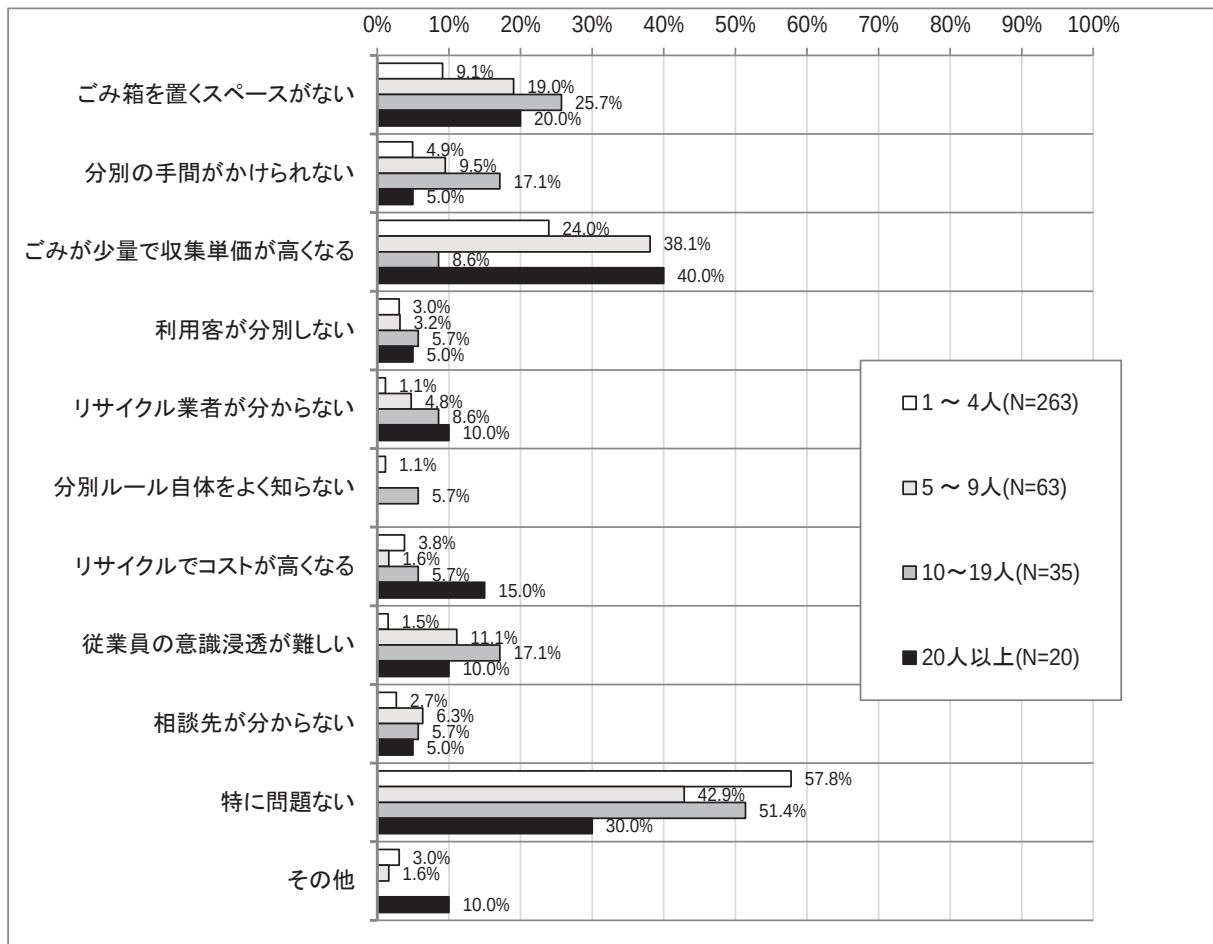
図表 3-33 は、属性別クロス集計結果である。

従業者数別に見ると（グラフ：図表 3-34）、従業者数 20 人以上の事業所は、「ごみが少量で収集単価が高くなる」「リサイクル業者がわからない」「リサイクルすることでコストが高くなる」といった項目で他業種よりも回答割合が高くなっている。

図表 3-33 ごみ減量・リサイクルを進めていく上での問題点（属性別クロス集計）

		問3(5) ごみ減量・リサイクルを進めていく上での問題点											
		回答数	ごみ箱を置くスペースがない	分別の手間がかけられない	ごみが少量で収集単価が高くなる	利用客が分別しない	リサイクル業者が分からない	分別ルール自体をよく知らない	リサイクルでコストが高くなる	従業員の意識浸透が難しい	相談先が分からない	特に問題ない	その他
全体		409 (100%)	52 (12.7%)	27 (6.6%)	103 (25.2%)	14 (3.4%)	14 (3.4%)	7 (1.7%)	17 (4.2%)	19 (4.6%)	15 (3.7%)	214 (52.3%)	13 (3.2%)
業 種	建設業・製造業	66 (100%)	8 (12.1%)	4 (6.1%)	10 (15.2%)	1 (1.5%)	3 (4.5%)	1 (1.5%)	5 (7.6%)	3 (4.5%)	2 (3.0%)	41 (62.1%)	1 (1.5%)
	卸売・小売業	64 (100%)	7 (10.9%)	6 (9.4%)	16 (25.0%)	4 (6.3%)	1 (1.6%)	2 (3.1%)	3 (4.7%)	2 (3.1%)	2 (3.1%)	35 (54.7%)	3 (4.7%)
	飲食店	37 (100%)	6 (16.2%)	3 (8.1%)	11 (29.7%)	0 (0.0%)	3 (8.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (8.1%)	3 (8.1%)	18 (48.6%)	1 (2.7%)
	医療・福祉業	50 (100%)	13 (26.0%)	4 (8.0%)	9 (18.0%)	2 (4.0%)	2 (4.0%)	0 (0.0%)	3 (6.0%)	2 (4.0%)	1 (2.0%)	24 (48.0%)	2 (4.0%)
	サービス業	104 (100%)	14 (13.5%)	7 (6.7%)	34 (32.7%)	5 (4.8%)	0 (0.0%)	3 (2.9%)	2 (1.9%)	7 (6.7%)	4 (3.8%)	53 (51.0%)	4 (3.8%)
	その他	79 (100%)	4 (5.1%)	3 (3.8%)	21 (26.6%)	2 (2.5%)	4 (5.1%)	1 (1.3%)	3 (3.8%)	2 (2.5%)	2 (2.5%)	41 (51.9%)	2 (2.5%)
	建 物 形 態	一社占有建物	64 (100%)	10 (15.6%)	5 (7.8%)	16 (25.0%)	4 (6.3%)	5 (7.8%)	1 (1.6%)	4 (6.3%)	2 (3.1%)	3 (4.7%)	33 (51.6%)
共同ビル		125 (100%)	24 (19.2%)	9 (7.2%)	36 (28.8%)	1 (0.8%)	4 (3.2%)	2 (1.6%)	4 (3.2%)	10 (8.0%)	5 (4.0%)	64 (51.2%)	6 (4.8%)
集合住宅		58 (100%)	4 (6.9%)	3 (5.2%)	18 (31.0%)	1 (1.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	3 (5.2%)	2 (3.4%)	32 (55.2%)	0 (0.0%)
住居との併用		130 (100%)	10 (7.7%)	8 (6.2%)	29 (22.3%)	7 (5.4%)	3 (2.3%)	3 (2.3%)	6 (4.6%)	4 (3.1%)	3 (2.3%)	72 (55.4%)	4 (3.1%)
その他		9 (100%)	2 (22.2%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	5 (55.6%)	0 (0.0%)
従 業 者 数	1～4人	263 (100%)	24 (9.1%)	13 (4.9%)	63 (24.0%)	8 (3.0%)	3 (1.1%)	3 (1.1%)	10 (3.8%)	4 (1.5%)	7 (2.7%)	152 (57.8%)	8 (3.0%)
	5～9人	63 (100%)	12 (19.0%)	6 (9.5%)	24 (38.1%)	2 (3.2%)	3 (4.8%)	0 (0.0%)	1 (1.6%)	7 (11.1%)	4 (6.3%)	27 (42.9%)	1 (1.6%)
	10～19人	35 (100%)	9 (25.7%)	6 (17.1%)	3 (8.6%)	2 (5.7%)	3 (8.6%)	2 (5.7%)	2 (5.7%)	6 (17.1%)	2 (5.7%)	18 (51.4%)	0 (0.0%)
	20人以上	20 (100%)	4 (20.0%)	1 (5.0%)	8 (40.0%)	1 (5.0%)	2 (10.0%)	0 (0.0%)	3 (15.0%)	2 (10.0%)	1 (5.0%)	6 (30.0%)	2 (10.0%)

図表 3-34 ごみ減量・リサイクルを進めていく上での問題点（従業員数別クロス集計）

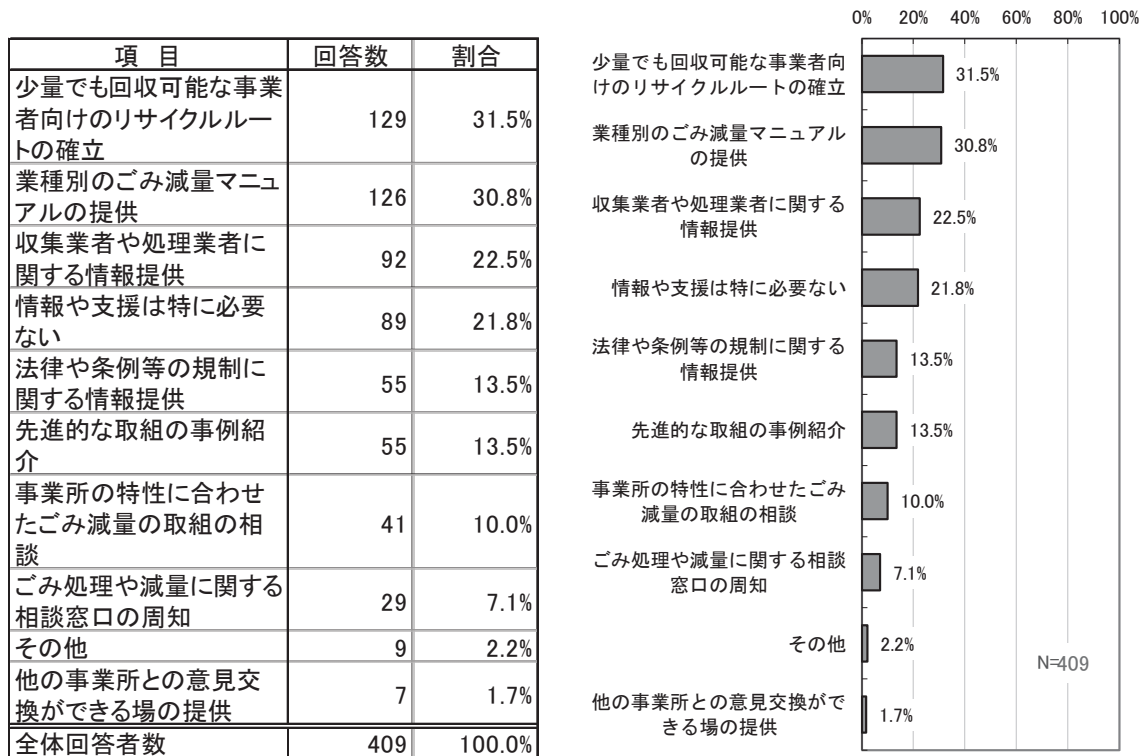


⑥ごみ減量・リサイクルを進める上で必要な情報・支援

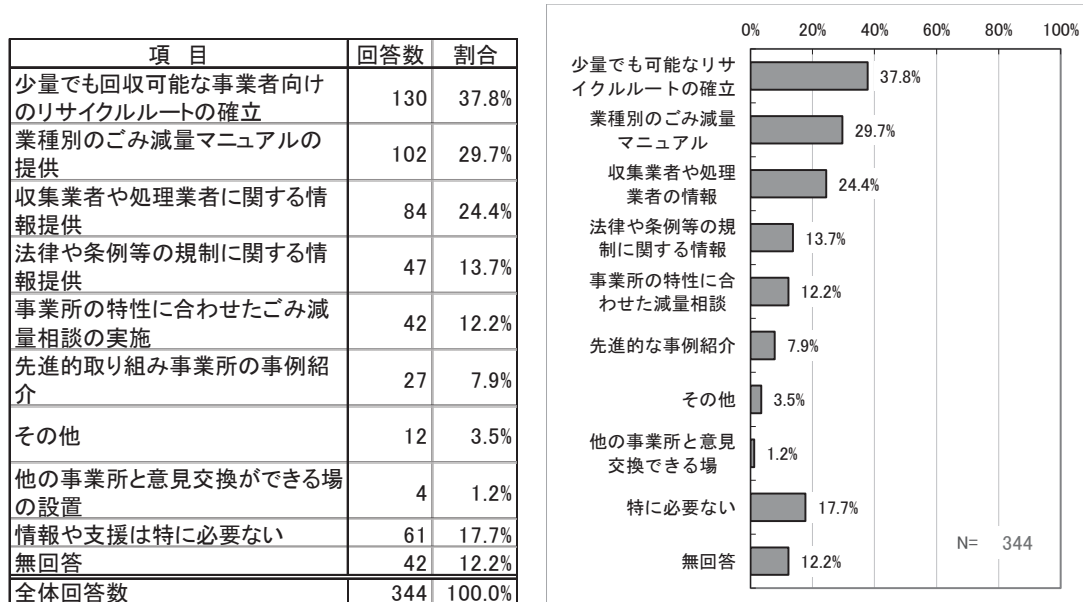
問 3(6) ごみの減量・リサイクルを進めるためにどのような情報や支援が必要だと思いますか。

「少量でも回収可能な事業者向けのリサイクルルートの確立」が最も多く 31.5%、次いでほぼ同じ比率で「業種別のごみ減量マニュアルの提供」30.8%等となっており、前回の調査結果（図表 3-36）とほぼ同様の傾向となっている。

図表 3-35 ごみ減量・リサイクルを進める上で必要な情報・支援



図表 3-36 （参考）必要な情報・支援（前回令和元年度調査）



図表 3-37 は、属性別クロス集計結果である。

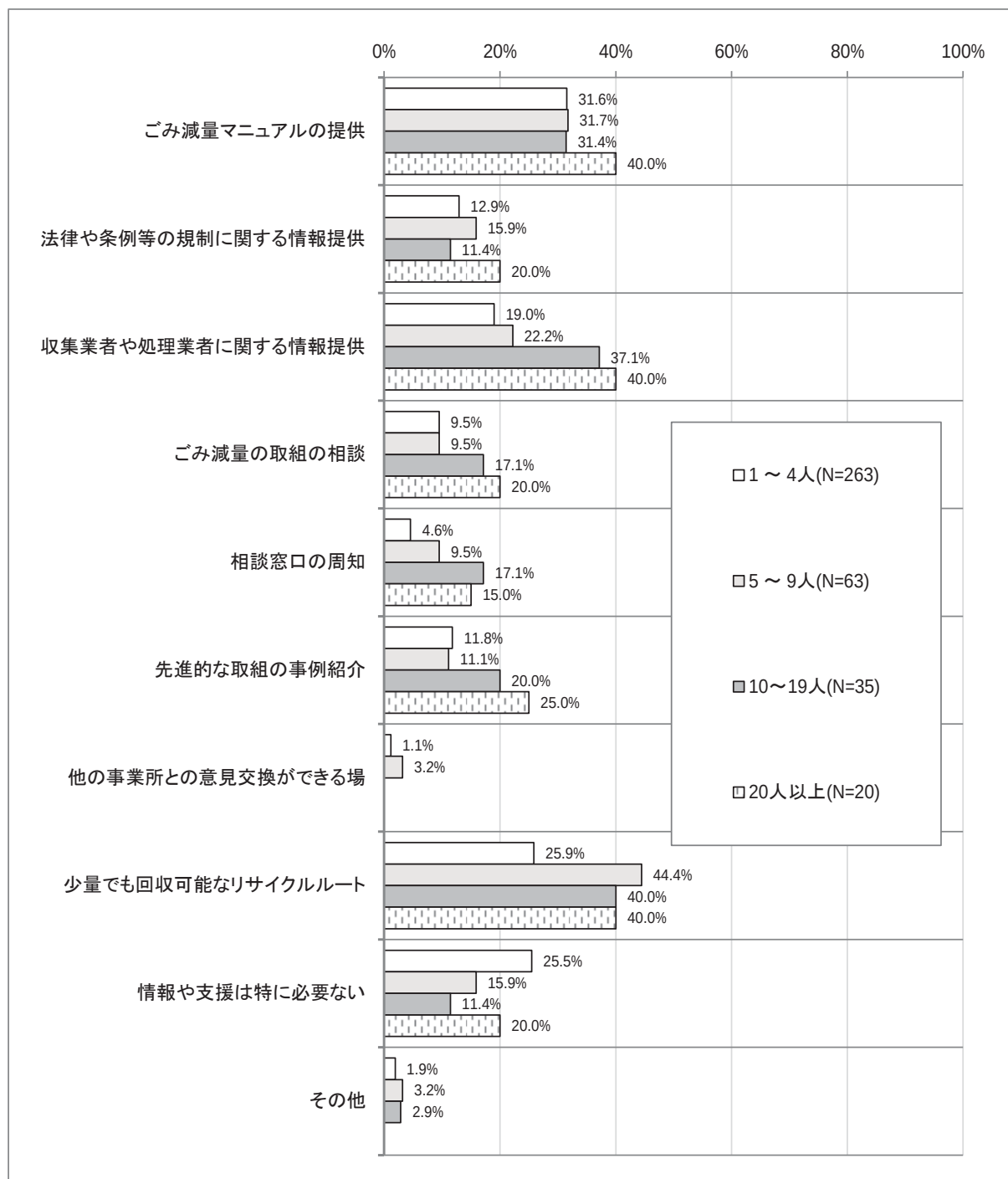
従業者数別に見ると（グラフ：図表 3-38）、従業者数 20 人以上の事業所は「ごみ減量マニュアルの提供」「法律や条例等の規則に関する情報提供」「収集業者処理業者に関する情報提供」「先進的な取り組みの事例紹介」といった、多様な情報を求める割合が高くなっている。

他方、「少量でも回収可能なリサイクルルート」に関しては、従業者数 5～9 人の事業所の回答割合 44.4%と高くなっている。

図表 3-37 ごみ減量・リサイクルを進める上で必要な情報・支援（属性別クロス集計）

		問3(6) ごみ減量・リサイクルを進める上で必要な情報・支援										
		回答数	ごみ減量マ ニュアルの提 供	法律や条例 等の規制に 関する情報 提供	収集業者や 処理業者に 関する情報 提供	ごみ減量の 取組の相談	相談窓口の 周知	先進的な取 組の事例紹 介	他の事業所 との意見交 換ができる場	少量でも回 収可能なリ サイクルル ート	情報や支援 は特に必要 ない	その他
全体		409 (100%)	126 (30.8%)	55 (13.4%)	92 (22.5%)	41 (10.0%)	29 (7.1%)	55 (13.4%)	7 (1.7%)	129 (31.5%)	89 (21.8%)	9 (2.2%)
業 種	建設業・製造 業	66 (100%)	20 (30.3%)	12 (18.2%)	21 (31.8%)	5 (7.6%)	3 (4.5%)	8 (12.1%)	1 (1.5%)	21 (31.8%)	13 (19.7%)	1 (1.5%)
	卸売・小売業	64 (100%)	19 (29.7%)	9 (14.1%)	13 (20.3%)	9 (14.1%)	6 (9.4%)	8 (12.5%)	1 (1.6%)	17 (26.6%)	16 (25.0%)	0 (0.0%)
	飲食店	37 (100%)	9 (24.3%)	3 (8.1%)	8 (21.6%)	3 (8.1%)	5 (13.5%)	5 (13.5%)	1 (2.7%)	15 (40.5%)	5 (13.5%)	1 (2.7%)
	医療・福祉業	50 (100%)	20 (40.0%)	7 (14.0%)	14 (28.0%)	9 (18.0%)	6 (12.0%)	11 (22.0%)	0 (0.0%)	14 (28.0%)	6 (12.0%)	2 (4.0%)
	サービス業	104 (100%)	39 (37.5%)	14 (13.5%)	23 (22.1%)	11 (10.6%)	7 (6.7%)	12 (11.5%)	1 (1.0%)	33 (31.7%)	22 (21.2%)	1 (1.0%)
	その他	79 (100%)	19 (24.1%)	10 (12.7%)	12 (15.2%)	4 (5.1%)	2 (2.5%)	11 (13.9%)	3 (3.8%)	27 (34.2%)	25 (31.6%)	4 (5.1%)
	建物形 態	一社占有建物	64 (100%)	25 (39.1%)	11 (17.2%)	19 (29.7%)	7 (10.9%)	10 (15.6%)	15 (23.4%)	2 (3.1%)	21 (32.8%)	8 (12.5%)
	共同ビル	125 (100%)	38 (30.4%)	17 (13.6%)	28 (22.4%)	10 (8.0%)	9 (7.2%)	14 (11.2%)	2 (1.6%)	39 (31.2%)	27 (21.6%)	4 (3.2%)
	集合住宅	58 (100%)	16 (27.6%)	3 (5.2%)	9 (15.5%)	5 (8.6%)	1 (1.7%)	4 (6.9%)	0 (0.0%)	18 (31.0%)	17 (29.3%)	1 (1.7%)
	住居との併用	130 (100%)	37 (28.5%)	22 (16.9%)	29 (22.3%)	16 (12.3%)	7 (5.4%)	18 (13.8%)	2 (1.5%)	40 (30.8%)	32 (24.6%)	3 (2.3%)
	その他	9 (100%)	6 (66.7%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	2 (22.2%)	0 (0.0%)	2 (22.2%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)
従 業 者 数	1～4人	263 (100%)	83 (31.6%)	34 (12.9%)	50 (19.0%)	25 (9.5%)	12 (4.6%)	31 (11.8%)	3 (1.1%)	68 (25.9%)	67 (25.5%)	5 (1.9%)
	5～9人	63 (100%)	20 (31.7%)	10 (15.9%)	14 (22.2%)	6 (9.5%)	6 (9.5%)	7 (11.1%)	2 (3.2%)	28 (44.4%)	10 (15.9%)	2 (3.2%)
	10～19人	35 (100%)	11 (31.4%)	4 (11.4%)	13 (37.1%)	6 (17.1%)	6 (17.1%)	7 (20.0%)	0 (0.0%)	14 (40.0%)	4 (11.4%)	1 (2.9%)
	20人以上	20 (100%)	8 (40.0%)	4 (20.0%)	8 (40.0%)	4 (20.0%)	3 (15.0%)	5 (25.0%)	0 (0.0%)	8 (40.0%)	4 (20.0%)	0 (0.0%)

図表 3-38 ごみ減量・リサイクルを進める上で必要な情報・支援（従業員数別クロス集計）



(4) 食品ロス削減について

①食品ロス発生の有無

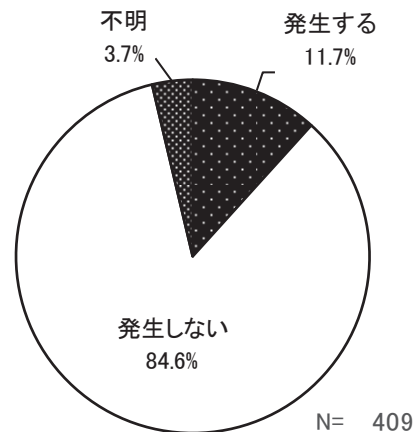
問 4(1) あなたの事業所では、事業に伴い食品ロス（期限切れ食品や食べ残しなどまだ食べられるのに捨てられる食品廃棄物）は発生しますか。

食品ロスが発生すると回答した事業所は **11.7%（48 件）** であった。

図表 3-40 は、業種別クロス集計結果である。食品ロスが発生すると回答した **48 件** の内 **22 件** が飲食店であった。

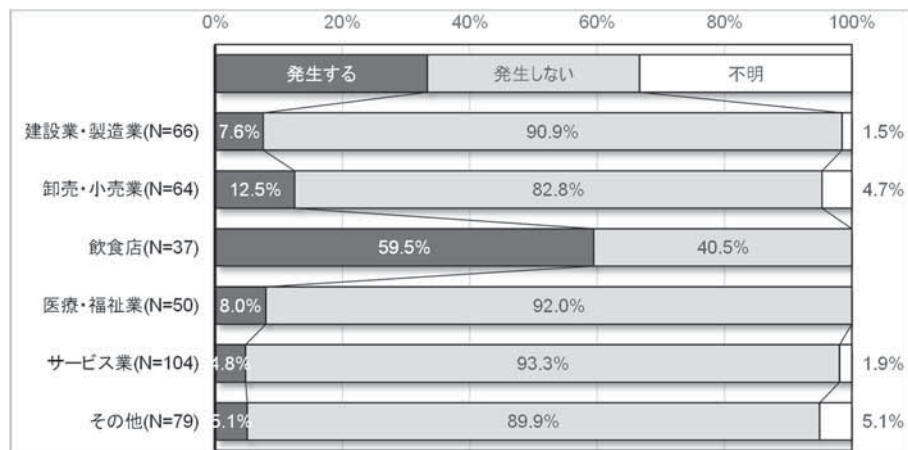
図表 3-39 食品ロス発生の有無

選択肢	回答数	割合
発生する	48	11.7%
発生しない	346	84.6%
不明	15	3.7%
合計	409	100.0%



図表 3-40 食品ロス発生の有無（業種別クロス集計）

		回答数	問4(1) 食品ロス発生の有無		
			発生する	発生しない	不明
全体		409 (100%)	48 (11.7%)	346 (84.6%)	15 (3.7%)
業 種	建設業・製造業	66 (100%)	5 (7.6%)	60 (90.9%)	1 (1.5%)
	卸売・小売業	64 (100%)	8 (12.5%)	53 (82.8%)	3 (4.7%)
	飲食店	37 (100%)	22 (59.5%)	15 (40.5%)	0 (0.0%)
	医療・福祉業	50 (100%)	4 (8.0%)	46 (92.0%)	0 (0.0%)
	サービス業	104 (100%)	5 (4.8%)	97 (93.3%)	2 (1.9%)
	その他	79 (100%)	4 (5.1%)	71 (89.9%)	4 (5.1%)



②発生する食品ロスの種類

問 4(2) あなたの事業所ではどのような食品ロスが発生していますか。

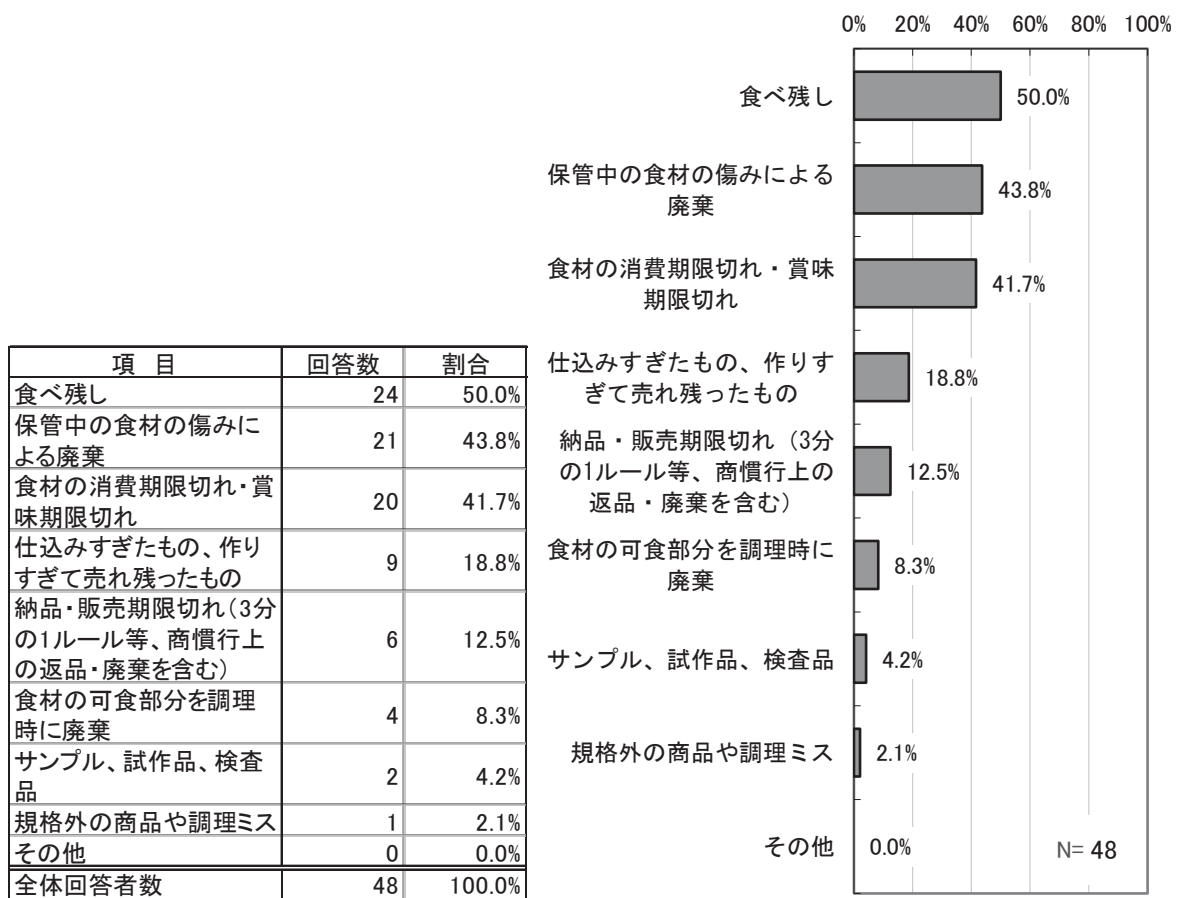
以降は「食品ロスが発生する」と回答した 48 件を対象とした限定質問である。

発生する食品ロスの種類としては、「食べ残し」50.0%、「保管中の食材の傷みによる廃棄」43.8%、「食材の消費期限切れ・賞味期限切れ」41.7%が多くなっている。

1／3ルール等、納品・販売期限切れという回答も 12.5%あった。

なお、母数が 48 と少ないため、クロス集計は実施していない。

図表 3-41 発生する食品ロスの種類



③食品ロス削減のための取り組み

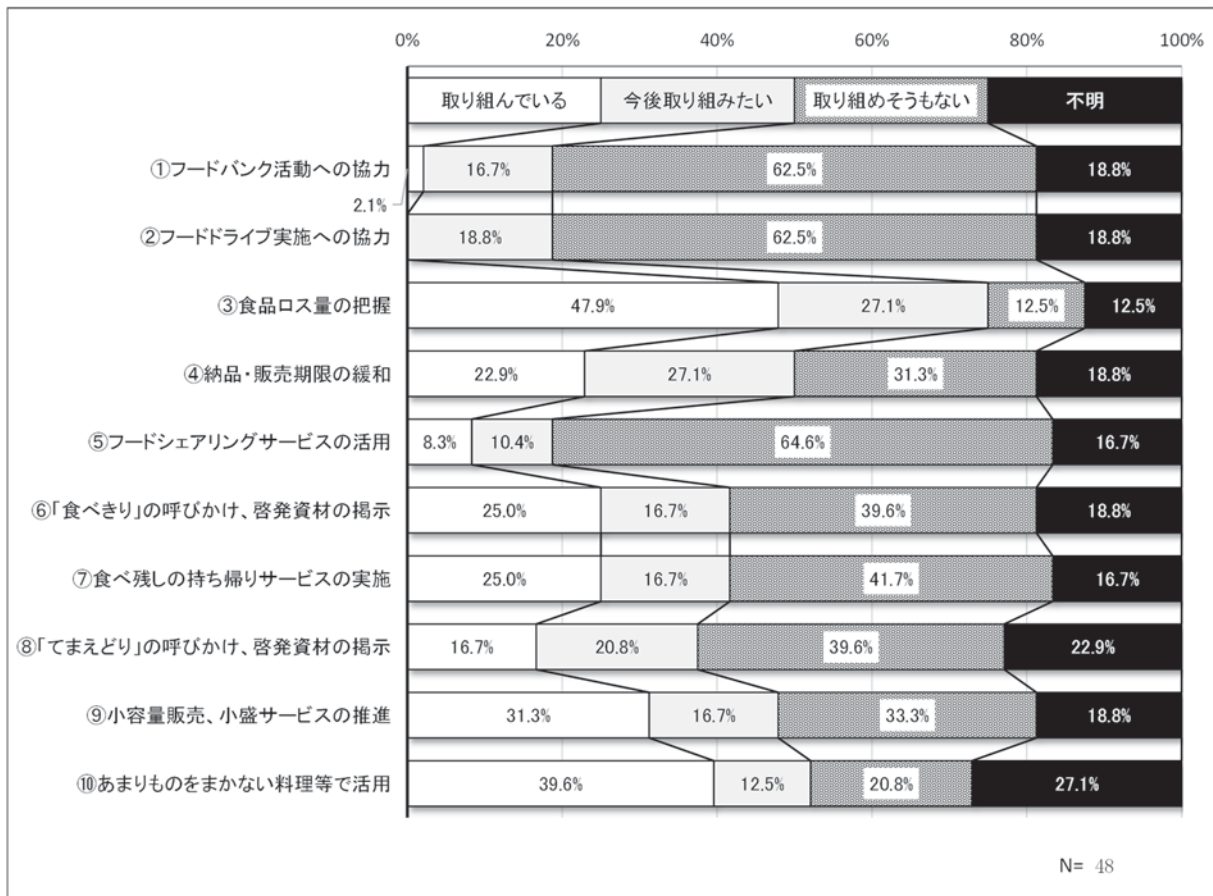
問 4(3) 食品ロスを減らすために取り組んでいることがあればお答えください。

実際に取り組んでいることとしては、「③食品ロス量の把握」47.9%、「⑩あまりものをまかない料理等で活用」39.6%、「⑨小容量販売、小盛サービスの推進」31.3%などとなっている。

今後取り組んでみたいものとしては、「④納品・販売期限の緩和」「⑤フードシェアリングサービスの活用」（ともに 27.1%）、「①フードバンク活動への協力」25.0%といったものが多くなっている。

図表 3-42 食品ロス削減のための取り組み

	取り組んでいる	今後取り組みたい	取り組みそうもない	不明	合計
	回答数(比率)	回答数(比率)	回答数(比率)	回答数(比率)	回答数(比率)
①フードバンク活動への協力	1 (2.1%)	8 (16.7%)	30 (62.5%)	9 (18.8%)	48 (100%)
②フードドライブ実施への協力	0 (0.0%)	9 (18.8%)	30 (62.5%)	9 (18.8%)	48 (100%)
③食品ロス量の把握	23 (47.9%)	13 (27.1%)	6 (12.5%)	6 (12.5%)	48 (100%)
④納品・販売期限の緩和	11 (22.9%)	13 (27.1%)	15 (31.3%)	9 (18.8%)	48 (100%)
⑤フードシェアリングサービスの活用	4 (8.3%)	5 (10.4%)	31 (64.6%)	8 (16.7%)	48 (100%)
⑥「食べきり」の呼びかけ、啓発資材の掲示	12 (25.0%)	8 (16.7%)	19 (39.6%)	9 (18.8%)	48 (100%)
⑦食べ残しの持ち帰りサービスの実施	12 (25.0%)	8 (16.7%)	20 (41.7%)	8 (16.7%)	48 (100%)
⑧「てまえどり」の呼びかけ、啓発資材の掲示	8 (16.7%)	10 (20.8%)	19 (39.6%)	11 (22.9%)	48 (100%)
⑨小容量販売、小盛サービスの推進	15 (31.3%)	8 (16.7%)	16 (33.3%)	9 (18.8%)	48 (100%)
⑩あまりものをまかない料理等で活用	19 (39.6%)	6 (12.5%)	10 (20.8%)	13 (27.1%)	48 (100%)



④「なかの☆もったいない ぱくぱくパートナーズ」について

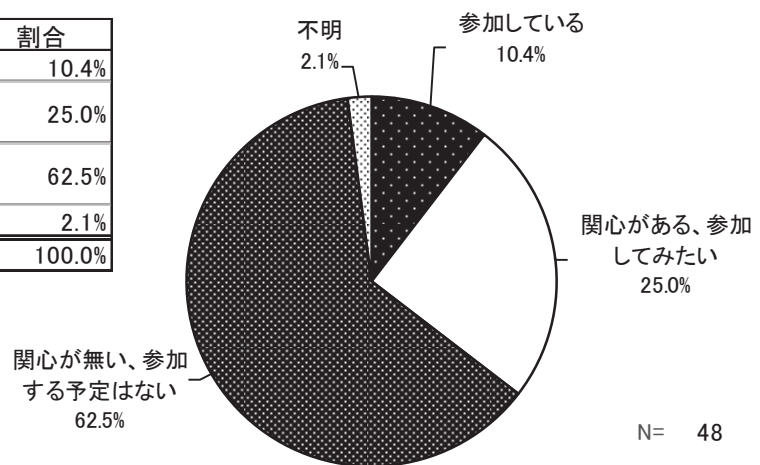
問 4(4) 区では、食べ残しの削減や見切り品の積極販売など食品ロス削減に取り組む食品ロス削減協力店登録事業「なかの☆もったいない ぱくぱくパートナーズ」を実施し、認定店を区ホームページで紹介するなどしています。

「なかの☆もったいない ぱくぱくパートナーズ」について、あなたの事業所にあてはまるものをお答えください。

「参加している」が 10.4% (5 件)、「関心がある、参加してみたい」が 25.0% (12 件)であった。

図表 3-43 「なかの☆もったいない ぱくぱくパートナーズ」について

選択肢	回答数	割合
参加している	5	10.4%
関心がある、参加してみたい	12	25.0%
関心が無い、参加する予定はない	30	62.5%
不明	1	2.1%
合計	48	100.0%



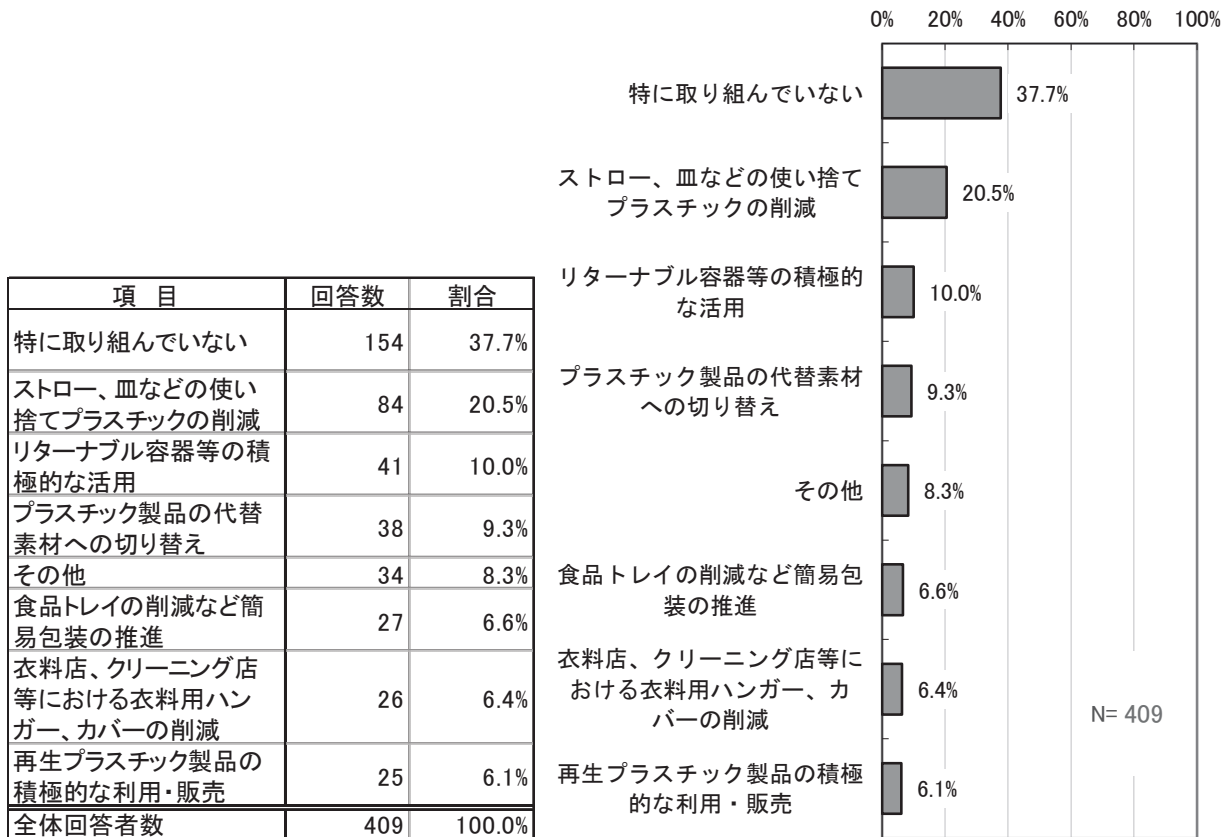
(5) プラスチックの削減について

問5 あなたの事業所でプラスチック削減のために取り組んでいることがあればお答えください。

「特に取り組んでいない」が最も多く 37.7%であったほか、実際の取組としては「ストロー、皿などの使い捨てプラスチックの削減」が 20.5%で最も多く、次いで「リターナブル容器等の積極的な活用」10.0%、「プラスチック製品の代替素材への切り替え」9.3%などであった。

「その他」の内容としては記述のあった 34 件の内、20 件は「プラスチックごみは発生しない」という内容であったが、その他、「マイ箸やマイボトル等の利用」「仕入れ時にごみになりそうな梱包材は入れない」「リサイクル機器で破碎している」などであった。

図表 3-44 プラスチック削減の取り組み



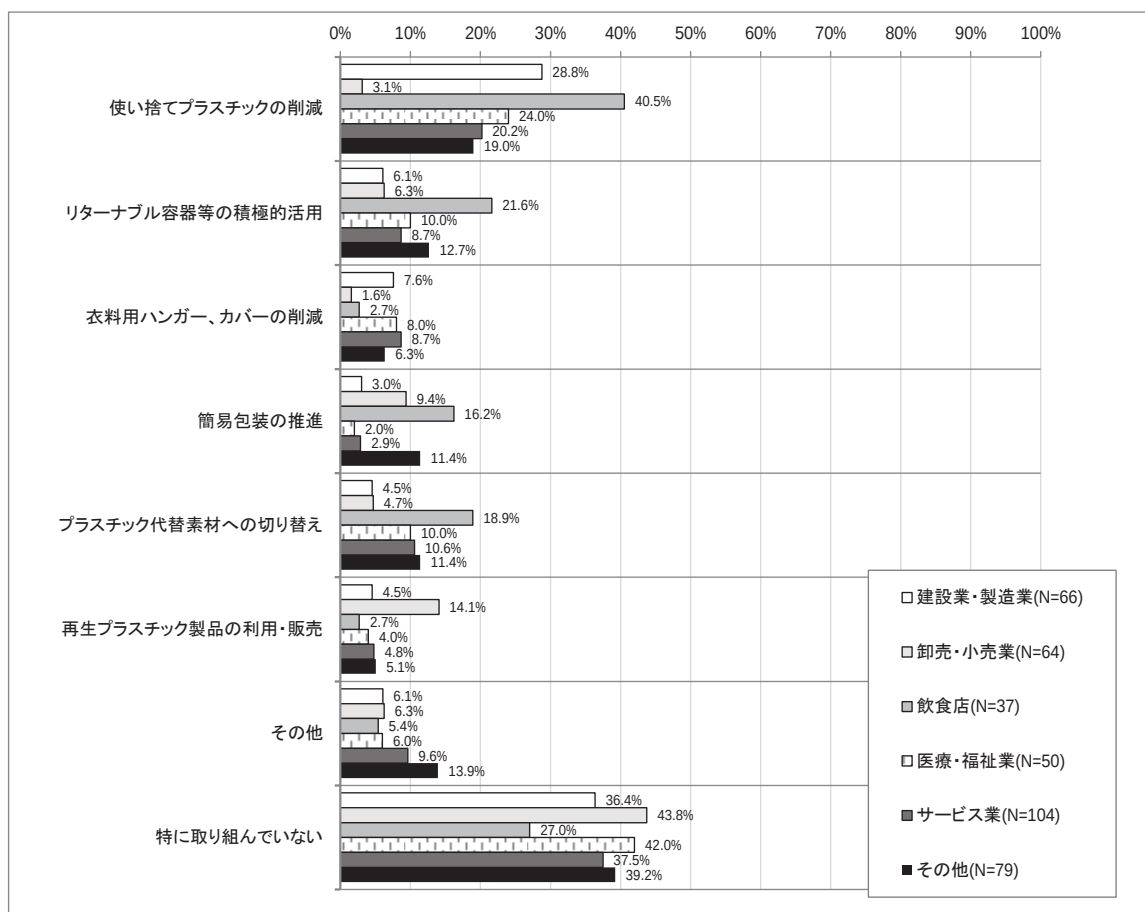
図表 3-45 は、属性別クロス集計結果である。

業種別に見ると（グラフ：図表 3-46）、飲食店では「使い捨てプラスチックの削減」や「リターナブル容器の積極的活用」「簡易包装の推進」といった取り組みが比較的多く取り組まれている。卸売・小売業では「再生プラスチック製品の利用・販売」を実施しているとの回答が 14.1%であった。

図表 3-45 プラスチック削減の取り組み（属性別クロス集計）

		回答数	問5 プラスチックの削減について							
			使い捨てプラスチックの削減	リターナブル容器等の積極的活用	衣料用ハンガー、カバーの削減	簡易包装の推進	プラスチック代替素材への切り替え	再生プラスチック製品の利用・販売	その他	特に取り組んでいない
全体		409 (100%)	84 (20.5%)	41 (10.0%)	26 (6.4%)	27 (6.6%)	38 (9.3%)	25 (6.1%)	34 (8.3%)	154 (37.7%)
業種	建設業・製造業	66 (100%)	19 (28.8%)	4 (6.1%)	5 (7.6%)	2 (3.0%)	3 (4.5%)	3 (4.5%)	4 (6.1%)	24 (36.4%)
	卸売・小売業	64 (100%)	2 (3.1%)	4 (6.3%)	1 (1.6%)	6 (9.4%)	3 (4.7%)	9 (14.1%)	4 (6.3%)	28 (43.8%)
	飲食店	37 (100%)	15 (40.5%)	8 (21.6%)	1 (2.7%)	6 (16.2%)	7 (18.9%)	1 (2.7%)	2 (5.4%)	10 (27.0%)
	医療・福祉業	50 (100%)	12 (24.0%)	5 (10.0%)	4 (8.0%)	1 (2.0%)	5 (10.0%)	2 (4.0%)	3 (6.0%)	21 (42.0%)
	サービス業	104 (100%)	21 (20.2%)	9 (8.7%)	9 (8.7%)	3 (2.9%)	11 (10.6%)	5 (4.8%)	10 (9.6%)	39 (37.5%)
	その他	79 (100%)	15 (19.0%)	10 (12.7%)	5 (6.3%)	9 (11.4%)	9 (11.4%)	4 (5.1%)	11 (13.9%)	31 (39.2%)
	建物形態	一社占有建物	64 (100%)	16 (25.0%)	6 (9.4%)	5 (7.8%)	4 (6.3%)	4 (6.3%)	6 (9.4%)	4 (6.3%)
	共同ビル	125 (100%)	32 (25.6%)	11 (8.8%)	4 (3.2%)	8 (6.4%)	15 (12.0%)	9 (7.2%)	8 (6.4%)	50 (40.0%)
	集合住宅	58 (100%)	13 (22.4%)	4 (6.9%)	2 (3.4%)	5 (8.6%)	5 (8.6%)	4 (6.9%)	10 (17.2%)	24 (41.4%)
	住居との併用	130 (100%)	18 (13.8%)	19 (14.6%)	13 (10.0%)	9 (6.9%)	13 (10.0%)	5 (3.8%)	11 (8.5%)	45 (34.6%)
	その他	9 (100%)	2 (22.2%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (55.6%)
従業員数	1～4人	263 (100%)	50 (19.0%)	26 (9.9%)	20 (7.6%)	19 (7.2%)	23 (8.7%)	12 (4.6%)	21 (8.0%)	103 (39.2%)
	5～9人	63 (100%)	13 (20.6%)	8 (12.7%)	1 (1.6%)	2 (3.2%)	5 (7.9%)	6 (9.5%)	7 (11.1%)	24 (38.1%)
	10～19人	35 (100%)	11 (31.4%)	3 (8.6%)	4 (11.4%)	4 (11.4%)	7 (20.0%)	3 (8.6%)	3 (8.6%)	12 (34.3%)
	20人以上	20 (100%)	8 (40.0%)	2 (10.0%)	0 (0.0%)	1 (5.0%)	1 (5.0%)	2 (10.0%)	1 (5.0%)	6 (30.0%)

図表 3-46 プラスチック削減の取り組み（業種別クロス集計）



第4章 ごみ組成分析調査

1 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、一般廃棄物処理基本計画の改定及び今後の排出指導や新たなごみ減量施策を検討する基礎資料として、区内の家庭から排出された燃やすごみと陶器・ガラス・金属ごみの組成を調査し、分別状況や排出割合を分析することを目的に実施した。

(2) 調査の対象地域及び期間

ア 調査の対象地域

調査対象には、住居形態の特性に基づいて、①家族向け集合住宅の多い地域、②単身者向け集合住宅の多い地域、③戸建住宅の多い地域、④戸建住宅の多い地域の戸別収集、⑤商業地域の5つに区分して、それぞれの区分から2地域ずつ合計10地域を選定し、各集積所に排出される燃やすごみ、陶器・ガラス・金属ごみを対象とした。

また、区内の食品ロス発生状況を把握することにより、食品ロス削減に向けた普及啓発等の取組を推進するため、燃やすごみに含まれる食品ロスについても調査を行った。

なお、今回の調査は家庭ごみを対象とするので、事業系有料ごみ処理券が貼付されているもの及び明らかに事業系と判断できるごみについては除外した。

イ 調査の期間

調査期間は、令和6年6月3日(月)から14日(金)までのうち、6月9日(日)を除く11日間とした。

図表 4-1 調査対象地域及び調査日程

地域特性	町丁目名	燃やすごみ	陶器・ガラス・金属ごみ
①家族向け集合住宅の多い地域	中野6丁目	6月3日(月)	6月14日(金)
		6月6日(木)	
	新井2丁目	6月4日(火)	6月8日(土)
		6月7日(金)	
②単身者向け集合住宅の多い地域	東中野2丁目	6月3日(月)	6月4日(火)
		6月6日(木)	
	本町2丁目	6月10日(月)	6月11日(火)
		6月13日(木)	
③戸建住宅の多い地域	鷺宮5丁目	6月4日(火)	6月12日(水)
		6月7日(金)	
	弥生町5丁目	6月5日(水)	6月6日(木)
		6月8日(土)	
④戸建住宅の多い地域の戸別収集	鷺宮6丁目	6月11日(火)	6月12日(水)
		6月14日(金)	
	沼袋4丁目	6月8日(土)	6月10日(月)
		6月12日(水)	
⑤商業地域	鷺宮3丁目	6月11日(火)	6月5日(水)
		6月14日(金)	
	本町4丁目	6月10日(月)	6月7日(金)
		6月13日(木)	

(3) 調査内容

分析したサンプル量は、燃やすごみが 1,990.72kg、陶器・ガラス・金属ごみが 603.27kg であった。

図表 4-2 調査サンプル量

単位:kg

地域特性	町丁目名	燃やすごみ			陶器・ガラス・ 金属ごみ
		週前半	週後半	合計	
①家族向け集合住宅の 多い地域	中野6丁目	100.25	112.13	212.38	95.90
	新井2丁目	101.19	101.82	203.01	41.88
②単身者向け集合住宅 の多い地域	東中野2丁目	100.30	112.99	213.28	51.18
	本町2丁目	49.06	79.99	129.05	53.56
③戸建住宅の多い地域	鷺宮5丁目	100.57	106.42	206.99	36.10
	弥生町5丁目	100.16	113.28	213.44	50.42
④戸建住宅の多い地域 の戸別収集	鷺宮6丁目	107.99	100.99	208.98	48.10
	沼袋4丁目	102.82	102.13	204.95	75.68
⑤商業地域	鷺宮3丁目	86.08	102.18	188.26	78.70
	本町4丁目	109.50	100.88	210.39	71.74
合計		957.91	1,032.81	1,990.72	603.27

(4) 分析場所

中野区清掃事務所南中野事業所（中野区弥生町六丁目1番3号）

(5) 調査方法

調査は次の①～⑥の手順で行った。調査結果を基に組成割合、分別適合割合を算定した。

①ごみの受け入れ

集積所で採取したごみを受入れる。

②事業系ごみの抽出

事業系有料ごみ処理券が貼付されているもしくは事業系と判断できるごみを抽出して除外する。

③簡易縮分（無作為に袋を抽出して分析量を減らす方法）

燃やすごみ 100kg、陶器・ガラス・金属ごみ 50kg、プラスチック製容器包装 50kg を目安に簡易縮分で分析量を調整する。

④組成分析

破袋して全量を分類項目（図表 4-3）に従って 42 種に分類する。

⑤組成ごとの重量測定

分類項目ごとに重量を測定する。

⑥サンプルの廃棄

分別した状態で区に引き渡し、区が処分する。

(6) 分類項目

本調査の分類項目（42種）は、図表 4-3 である。当該図表において、排出段階での資源化可能物として「●」印を付した品目は、当該品目を集積所または拠点にて、資源として回収していることを表す。

また、ごみを排出するために使用したレジ袋やポリ袋（外袋）については、袋による回収を実施しているために必然的に使用されるものであることから、素材別に No.40～42 の「ごみ排出時外装」として区分した。

なお、中野区では、陶器・ガラス・金属ごみについて、収集した全量を対象に選別して資源化を行っており、その過程では「●」が付されていない品目についても資源化が可能なものがある。

(7) 集計結果の留意事項

端数処理の関係上、小計と内訳の合計が一致しない場合がある。

図表 4-3 分類項目

No	大分類	中分類	細分類	代表品目	排出段階での資源化可能物
1	燃やすごみ	厨芥類	調理くず	生ごみ、コーヒーかす等	
2			直接廃棄	購入後手がつけられずに捨てられたもの	
3			食べ残し	調理された食品等(生食できるものを含む)	
4		紙類	段ボール	ボール紙製の緩衝芯のあるもの	●
5			紙パック	牛乳、ジュースなどのパックで内側にアルミが貼っていないもの	●
6			紙製容器・包装	菓子箱、ボール箱、紙袋、包装紙等	●
7			新聞紙・チラシ	きれいなもの	●
8			雑誌・書籍類	週刊誌、月刊誌、パンフレット、ノート等	●
9			雑がみ	ダイレクトメール、はがきなど名刺以上のリサイクル可能紙類	●
10			オフィス系紙類	コピー用紙、伝票などの事業所から出された紙類のみ	●
11			その他紙類(リサイクル不適な紙類)	ティッシュペーパー、写真、感熱紙、汚れがあるもの、臭いのついたものなど	
12		剪定枝・落ち葉			
13		繊維類		古着、シャツ、セーター、タオル等	●
14		紙おむつ類		紙おむつ、生理用品	
15	汚れのあるプラスチック製容器包装		プラスチック製容器包装のうち、油などの汚れがあるもの(容器包装が中身の付着でべつっている、強い異臭がある、複数の容器包装が中身により固まっている状態)		
16	その他可燃物		木箱、割りばし、麻ひも、コルク、かばん、靴、ベルト等(合成樹脂は除く)、たばこの吸殻、湿布、乾燥剤、紙製のペットの砂等		
17	プラスチック製容器包装	ペットボトル		飲料・酒、醤油等のペットボトル	●
18		ペットボトル以外		シャンプー、洗剤、調味料などのボトル、チューブ、マヨネーズ、歯磨き粉などの容器等、発泡系トレイ、カップめんの容器等、レジ袋、弁当、卵パック、惣菜等を入れる透明ビニール袋、ペットボトルのキャップ・ラベル、包装袋、ラップ、フィルム、ペットボトルのラベル洋服店でもらう袋などレジ袋以外の袋	●
19	プラスチック製品	100%プラスチック製品		プラスチックのおもちゃ、CDケース、歯ブラシ、プランターなど	●
20		金属等混合プラスチック製品			
21		30cmオーバー			
22	陶器・ガラス・金属ごみ	陶磁器			
23		金属類	アルミ缶・スチール缶	アルミ製・スチール製の飲食缶	●
24			その他の金属容器・製品	塗料の缶、自動車オイルの缶、一斗缶等の大きな缶等なべ、やかん類、ハンガー、アルミ箔等	
25		びん	リターナブルびん	一升びん、ビールびん等	●
26			その他雑びん		●
27			薬品・化粧品等のびん		
28		土砂・残土・灰・石類			
29		有害・危険物	蛍光灯		●
30			乾電池(筒型)		●
31			乾電池(ボタン電池・二次電池)		●
32			体温計・温度計		
33			スプレー缶		
34			使い捨てライター		
35		インクカートリッジ			●
36		小型家電製品(9品目)		携帯電話、携帯音楽プレーヤー、携帯ゲーム機器、デジタルカメラ、ポータブルビデオカメラ、ポータブルカーナビ、電子辞書、卓上計算機、ACアダプター・コード類	●
37		小型家電製品(9品目以外)			
38		医療系廃棄物			
39		その他不燃物		かさ、携帯用カイロ、ガラス製品、植木鉢、ペット砂等	
40	ごみ排出時外装	レジ袋			
41		プラスチック製の袋(レジ袋)			
42		その他			

2 燃やすごみの調査結果

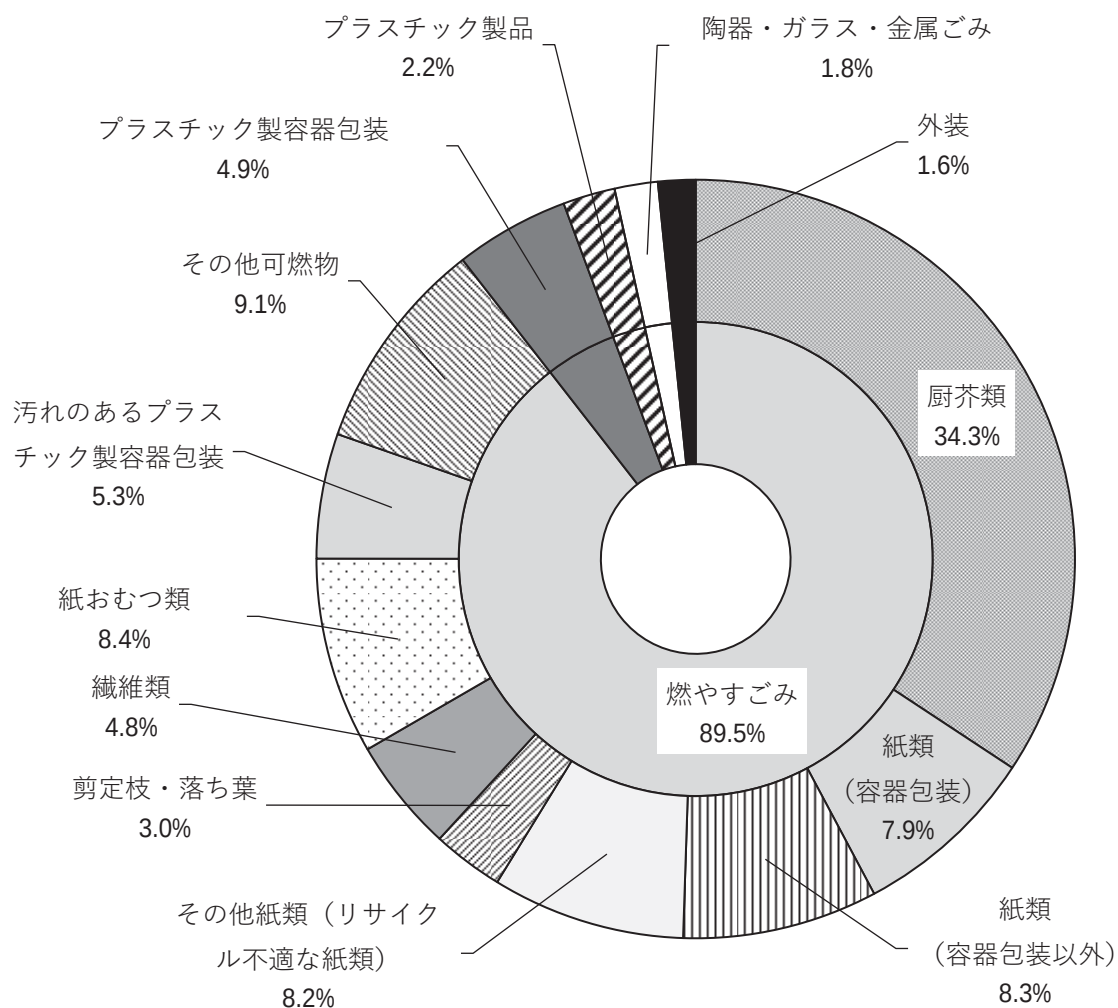
(1) 組成割合

①全体

全体の大分類では「燃やすごみ」が **89.5%**、「プラスチック製容器包装」が **4.9%**、「プラスチック製品」が **2.2%**、「陶器・ガラス・金属ごみ」が **1.8%**、「外装」が **1.6%**であった。

「燃やすごみ」の内訳（中分類）では、「厨芥類」が **34.3%**で最も高く、次いで、その他可燃物（**9.1%**）、「紙おむつ類」（**8.4%**）の順で高かった。

図表 4-4 燃やすごみの組成（全体：中分類）



図表 4-5 地域特性格別の燃やすごみの組成（細分類）

No.	大分類	中分類	細分類	①家族向け 集合住宅の 多い地域	②単身者向 け集合住宅 の多い地域	③戸建住宅 の多い地域 (戸別収集を 除く)	④戸建住宅 の多い地域 の戸別収集	⑤商業地域	全体	
1	燃やすごみ	厨芥類	調理くず	30.3%	21.1%	29.3%	29.7%	24.7%	27.3%	
2			直接廃棄	4.1%	6.3%	4.2%	4.3%	5.2%	4.7%	
3			食べ残し	3.2%	1.7%	2.1%	1.2%	3.1%	2.3%	
4		紙類	包 容 装 器	段ボール	1.2%	1.5%	1.0%	1.1%	1.7%	1.3%
5				紙パック	1.1%	0.7%	1.9%	0.8%	1.3%	1.2%
6			紙製容器・包装	4.5%	6.7%	5.4%	5.8%	5.1%	5.5%	
7			容 器 以 外 包 装	新聞紙・チラシ	2.0%	2.2%	2.1%	1.6%	2.3%	2.0%
8				雑誌・書籍類	2.9%	0.9%	1.1%	1.9%	1.4%	1.7%
9				雑がみ	2.8%	4.3%	4.4%	3.8%	3.3%	3.7%
10				オフィス系紙類	1.2%	0.5%	0.4%	1.7%	0.8%	0.9%
11			その他紙類(リサイクル不適な紙類)	7.3%	10.4%	8.2%	7.5%	8.2%	8.2%	
12		剪定枝・落ち葉	5.6%	1.7%	3.3%	1.7%	2.6%	3.0%		
13		繊維類	4.5%	3.7%	5.5%	4.9%	5.5%	4.8%		
14		紙おむつ類	10.7%	6.4%	7.7%	9.4%	7.5%	8.4%		
15		汚れのあるプラスチック製容器包装	4.2%	6.3%	5.0%	4.8%	6.5%	5.3%		
16		その他可燃物	7.2%	10.5%	10.5%	7.3%	10.4%	9.1%		
17	プラスチック製容器包装	ペットボトル	0.2%	2.9%	0.2%	1.3%	0.8%	1.0%		
18		プラスチック製容器包装(ペットボトル以外)	3.0%	5.8%	3.8%	2.5%	4.5%	3.9%		
19	プラス チック 製品	100%プラスチック製品	1.5%	2.3%	1.4%	2.8%	1.6%	1.9%		
20		金属等混合プラスチック製品	0.1%	0.3%	0.1%	1.1%	0.0%	0.3%		
21		30cmオーバー								
22	陶器・ ガラス・ 金属ごみ	陶 磁 器	陶磁器	0.0%	0.1%	0.1%	0.3%	0.0%	0.1%	
23			金 属	アルミ缶・スチール缶	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%
24				その他の金属容器・製品	0.1%	0.3%	0.2%	0.1%	0.4%	0.2%
25		び ん	リターナブルびん							
26			その他雑びん	0.1%	0.6%	0.2%	0.2%	0.1%	0.2%	
27			薬品・化粧品等のびん	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.2%	0.1%	
28		土砂・残土・灰・石類	0.8%	0.2%	0.1%	1.1%	0.8%	0.6%		
29		有 害 ・ 危 険 物	蛍光灯							
30			乾電池(筒型)	0.0%	0.0%		0.0%		0.0%	
31			乾電池(ボタン電池・二次電池)				0.1%		0.0%	
32			体温計・温度計							
33			スプレー缶		0.1%	0.1%	0.7%		0.2%	
34			使い捨てライター		0.0%	0.0%			0.0%	
35		インクカートリッジ				0.1%	0.0%	0.0%		
36		小型家電製品(9品目)	0.0%		0.1%	0.2%		0.1%		
37		小型家電製品(9品目以外)		0.1%	0.0%	0.1%	0.3%	0.1%		
38	医療系廃棄物	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
39	その他不燃物	0.0%	0.2%	0.0%	0.1%	0.3%	0.1%			
40	ごみ排出時外装	レジ袋	0.7%	1.1%	0.6%	0.9%	0.9%	0.8%		
41		プラスチック製の袋(レジ袋以外)	0.6%	0.9%	0.7%	0.7%	0.9%	0.7%		
42		その他	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
合計				100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

②地域特性別

大分類で地域別に比較すると、「燃やすごみ」は、「①家族向け集合住宅の多い地域」(92.7%)が最も高く、「②単身者向け集合住宅の多い地域」(84.8%)が最も低かった。「燃やすごみ」の中で最も割合の高い「厨芥類」を見ると、「①家族向け集合住宅の多い地域」(37.6%)が高く、「②単身者向け集合住宅の多い地域」(29.1%)が低かった。

「プラスチック製容器包装」は、「②単身者向け集合住宅の多い地域」(8.7%)が高く、「①家族向け集合住宅の多い地域」(3.3%)が低かった。

全ての地域で、「プラスチック製品」は3.9%以下、「陶器・ガラス・金属ごみ」は3.2%以下と低かった。

図表 4-6 地域特性別の燃やすごみの組成（大分類・中分類）

大分類	中分類	①家族向け 集合住宅の 多い地域	②単身者向 け集合住宅 の多い地域	③戸建住宅 の多い地域 (戸別収集を 除く)	④戸建住宅 の多い地域 の戸別収集	⑤商業地域	全体
燃 や す ご み	厨芥類	37.6%	29.1%	35.6%	35.2%	33.0%	34.3%
	紙類	紙類(容器包装)	6.8%	8.9%	8.3%	7.7%	7.9%
		紙類(容器包装以外)	8.8%	7.9%	8.0%	9.1%	8.3%
		その他紙類(リサイクル不適な紙類)	7.3%	10.4%	8.2%	7.5%	8.2%
	剪定枝・落ち葉	5.6%	1.7%	3.3%	1.7%	2.6%	3.0%
	繊維類	4.5%	3.7%	5.5%	4.9%	5.5%	4.8%
	紙おむつ類	10.7%	6.4%	7.7%	9.4%	7.5%	8.4%
	汚れのあるプラスチック製容器包装	4.2%	6.3%	5.0%	4.8%	6.5%	5.3%
	その他可燃物	7.2%	10.5%	10.5%	7.3%	10.4%	9.1%
プラスチック 製容器包装	ペットボトル	0.2%	2.9%	0.2%	1.3%	0.8%	1.0%
	プラスチック製容器包装(ペットボトル以外)	3.0%	5.8%	3.8%	2.5%	4.5%	3.9%
プラス チック 製品	100%プラスチック製品	1.5%	2.3%	1.4%	2.8%	1.6%	1.9%
	金属等混合プラスチック製品	0.1%	0.3%	0.1%	1.1%	0.0%	0.3%
	30cmオーバー						
陶 器 ・ ガ ラ ス ・ 金 属 ご み	陶磁器	0.0%	0.1%	0.1%	0.3%	0.0%	0.1%
	金属類	アルミ缶・スチール缶	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%
		その他の金属容器・製品	0.1%	0.3%	0.2%	0.4%	0.2%
	びん	リターナブルびん					
		その他雑びん	0.1%	0.6%	0.2%	0.2%	0.2%
		薬品・化粧品等のびん	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%
	土砂・残土・灰・石類	0.8%	0.2%	0.1%	1.1%	0.8%	0.6%
	有害・危険物	0.0%	0.1%	0.1%	0.8%		0.2%
	インクカートリッジ				0.1%	0.0%	0.0%
	小型家電製品(9品目)	0.0%		0.1%	0.2%		0.1%
	小型家電製品(9品目以外)		0.1%	0.0%	0.1%	0.3%	0.1%
	医療系廃棄物	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他不燃物	0.0%	0.2%	0.0%	0.1%	0.3%	0.1%
ごみ排出時外装		1.3%	2.0%	1.4%	1.6%	1.8%	1.6%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

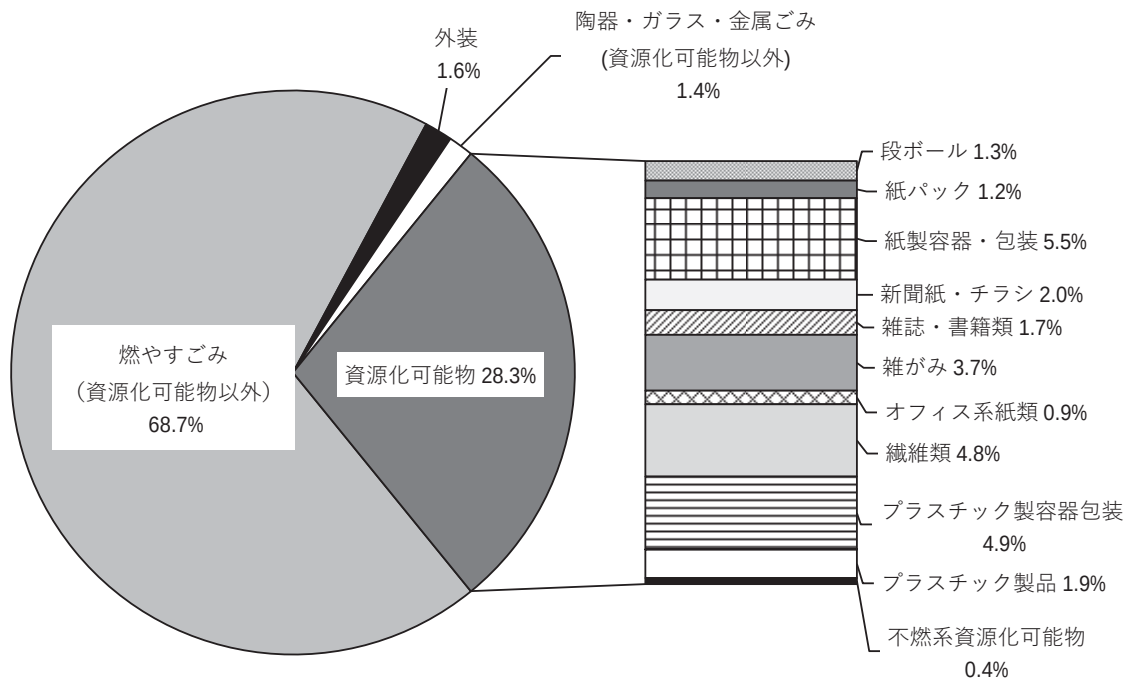
燃やすごみ	92.7%	84.8%	92.2%	87.5%	89.2%	89.5%
プラスチック製容器包装	3.3%	8.7%	4.0%	3.8%	5.2%	4.9%
プラスチック製品	1.5%	2.6%	1.4%	3.9%	1.7%	2.2%
陶器・ガラス・金属ごみ	1.2%	1.8%	1.0%	3.2%	2.1%	1.8%
ごみ排出時外装	1.3%	2.0%	1.4%	1.6%	1.8%	1.6%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 資源化可能物・対象外品目の混入率

全体の燃やすごみへの資源化可能物の混入率は **28.3%**、陶器・ガラス・金属ごみ（資源化可能物以外）の混入率は **1.4%**であった。資源化可能物（**28.3%**）の内訳は、「可燃系資源化可能物」が **21.1%**、「プラスチック製容器包装」が **4.9%**、「プラスチック製品」が **1.9%**、「不燃系資源化可能物」が **0.4%**であった。

更に「可燃系資源化可能物」の内訳をみると、「紙製容器・包装」（**5.5%**）が最も高く、次いで「プラスチック製容器包装」（**4.9%**）、「繊維類」（**4.8%**）となっている。

図表 4-7 燃やすごみの資源化可能物・対象外品目の混入率（全体）



図表 4-8 地域特性格別の燃やすごみの資源化可能物・対象外品目の混入率

分類			①家族向け 集合住宅の 多い地域	②単身者向 け集合住宅 の多い地域	③戸建住宅 の多い地域 (戸別収集 を除く)	④戸建住宅 の多い地域 の戸別収集	⑤商業地域	全体
燃やすごみ(資源化可能物以外)			72.6%	64.7%	70.4%	67.0%	68.1%	68.7%
陶器・ガラス・金属ごみ(資源化可能物以外)			1.0%	1.1%	0.5%	2.6%	1.9%	1.4%
資源 化 可 能 物	可 燃 系	段ボール	1.2%	1.5%	1.0%	1.1%	1.7%	1.3%
		紙パック	1.1%	0.7%	1.9%	0.8%	1.3%	1.2%
		紙製容器・包装	4.5%	6.7%	5.4%	5.8%	5.1%	5.5%
		新聞紙・チラシ	2.0%	2.2%	2.1%	1.6%	2.3%	2.0%
		雑誌・書籍類	2.9%	0.9%	1.1%	1.9%	1.4%	1.7%
		雑がみ	2.8%	4.3%	4.4%	3.8%	3.3%	3.7%
		オフィス系紙類	1.2%	0.5%	0.4%	1.7%	0.8%	0.9%
		繊維類	4.5%	3.7%	5.5%	4.9%	5.5%	4.8%
	プラスチック 製容器包装	ペットボトル	0.2%	2.9%	0.2%	1.3%	0.8%	1.0%
		プラスチック製容器包装(ペットボトル以外)	3.0%	5.8%	3.8%	2.5%	4.5%	3.9%
	プラスチック 製品	100%プラスチック製品	1.5%	2.3%	1.4%	2.8%	1.6%	1.9%
	不 燃 系	アルミ缶・スチール缶	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%
		リターナブルびん						
		その他雑びん	0.1%	0.6%	0.2%	0.2%	0.1%	0.2%
		蛍光管						
		乾電池(筒型)	0.0%	0.0%		0.0%		0.0%
		インクカートリッジ				0.1%	0.0%	0.0%
		小型家電製品(9品目)	0.0%		0.1%	0.2%		0.1%
ごみ排出時外装			1.3%	2.0%	1.4%	1.6%	1.8%	1.6%
合計			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

対象品目:燃やすごみ+ごみ排出時外装			73.9%	66.7%	71.7%	68.6%	69.9%	70.3%
資源化可能物			25.1%	32.2%	27.7%	28.8%	28.2%	28.3%
	可燃系資源化可能物		20.2%	20.5%	21.9%	21.7%	21.1%	21.1%
	プラスチック製容器包装		3.3%	8.7%	4.0%	3.8%	5.2%	4.9%
	プラスチック製品		1.5%	2.3%	1.4%	2.8%	1.6%	1.9%
	不燃系資源化可能物		0.2%	0.8%	0.4%	0.6%	0.2%	0.4%
陶器・ガラス・金属ごみ(資源化可能物以外)			1.0%	1.1%	0.5%	2.6%	1.9%	1.4%
合計			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3 陶器・ガラス・金属ごみの調査結果

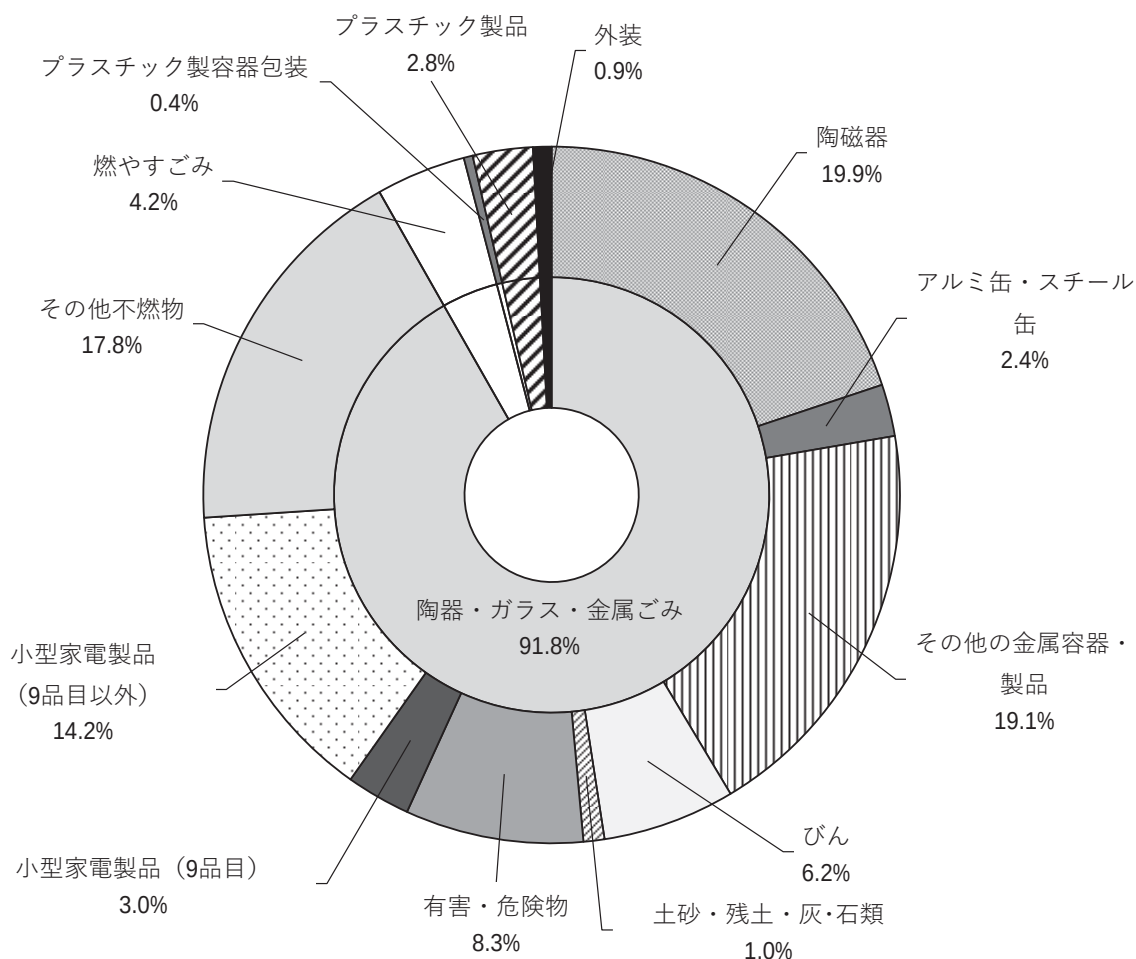
(1) 組成割合

①全体

全体の大分類では「陶器・ガラス・金属ごみ」が **91.8%**、「燃やすごみ」が **4.2%**、「プラスチック製容器包装」が **0.4%**、「プラスチック製品」が **2.8%**、「外装」が **0.9%**であった。

「陶器・ガラス・金属ごみ」の内訳（中分類）では、「陶磁器」が **19.9%**で最も高く、次いで「その他の金属容器・製品」(**19.1%**)、「その他不燃物」(**17.8%**)の順で高かった。

図表 4-9 陶器・ガラス・金属ごみの組成（全体：中分類）



図表 4-10 地域特性別の陶器・ガラス・金属ごみの組成（細分類）

No.	大分類	中分類	細分類	①家族向け 集合住宅の 多い地域	②単身者向 け集合住宅 の多い地域	③戸建住宅 の多い地域 (戸別収集を 除く)	④戸建住宅 の多い地域 の戸別収集	⑤商業地域	全体	
1	燃やすごみ	厨芥類	調理くず	0.0%			0.1%	0.1%	0.0%	
2			直接廃棄							
3			食べ残し			0.3%	0.1%		0.1%	
4		紙類	包 容 装 器	段ボール	0.2%	0.3%	0.7%	0.1%	0.2%	0.3%
5				紙パック		0.0%	0.0%		0.0%	0.0%
6			紙製容器・包装		0.1%	0.1%	0.5%	0.1%	0.2%	
7			容 器 以 外 包 装	新聞紙・チラシ	0.0%	0.1%	0.2%	0.2%	0.3%	0.2%
8				雑誌・書籍類				2.6%		0.5%
9				雑がみ	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%
10				オフィス系紙類		0.1%	0.0%		0.0%	0.0%
11			その他紙類(リサイクル不適な紙類)		0.0%	0.2%		0.0%	0.0%	
12		剪定枝・落ち葉		0.2%		0.2%	0.3%	1.0%	0.4%	
13		繊維類				0.5%	0.6%	0.5%	0.3%	
14		紙おむつ類								
15		汚れのあるプラスチック製容器包装		0.1%	0.1%	0.9%	0.4%	0.0%	0.3%	
16		その他可燃物		0.0%	1.2%	2.5%	1.1%	4.3%	1.9%	
17	プラスチック製容器包装	ペットボトル			1.6%	0.3%	0.0%		0.3%	
18		プラスチック製容器包装(ペットボトル以外)					0.4%	0.0%	0.1%	
19	プラス チック 製品	100%プラスチック製品		0.4%	0.8%	1.0%	1.4%	0.0%	0.7%	
20		金属等混合プラスチック製品		1.9%	1.6%	3.9%	1.5%	1.3%	1.9%	
21		30cmオーバー						0.9%	0.2%	
22	陶器・ ガラス・ 金属ごみ	陶磁器	陶磁器	22.1%	19.6%	11.6%	19.3%	23.3%	19.9%	
23			金 属	アルミ缶・スチール缶	0.9%	3.5%	4.9%	3.2%	0.9%	2.4%
24				その他の金属容器・製品	23.2%	21.8%	19.2%	18.3%	14.2%	19.1%
25		び ん	リターナブルびん							
26			その他雑びん	3.0%	2.7%	4.5%	5.7%	1.5%	3.3%	
27			薬品・化粧品等のびん	2.4%	2.7%	3.4%	4.2%	1.8%	2.8%	
28		土砂・残土・灰・石類		0.6%	0.2%	0.3%	2.2%	1.2%	1.0%	
29		有 害 ・ 危 険 物	蛍光管	0.5%	0.5%	0.7%		0.8%	0.5%	
30			乾電池(筒型)	3.0%	0.8%	0.5%	0.5%	1.2%	1.3%	
31			乾電池(ボタン電池・二次電池)			0.1%	2.5%	0.1%	0.5%	
32			体温計・温度計			0.0%			0.0%	
33			スプレー缶	7.6%	3.1%	9.3%	3.4%	4.6%	5.5%	
34			使い捨てライター	0.5%	1.3%	0.5%	0.3%	0.1%	0.5%	
35		インクカートリッジ								
36		小型家電製品(9品目)		3.5%	5.8%	1.7%	1.8%	2.3%	3.0%	
37		小型家電製品(9品目以外)		10.7%	12.6%	9.9%	14.4%	20.6%	14.2%	
38		医療系廃棄物								
39		その他不燃物		18.5%	18.3%	22.1%	13.9%	17.5%	17.8%	
40	ごみ排出時外装		レジ袋	0.3%	0.3%	0.3%	0.5%	0.3%	0.3%	
41			プラスチック製の袋(レジ袋以外)	0.2%	0.6%	0.2%	0.3%	0.3%	0.3%	
42			その他	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%	0.1%	0.2%	
			合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

②地域特性別

大分類で地域別に比較すると、「陶器・ガラス・金属ごみ」は、「①家族向け集合住宅の多い地域」(96.4%)が最も高く、「③戸建住宅の多い地域(戸別収集を除く)」(88.7%)が最も低かった。「陶器・ガラス・金属ごみ」の中で最も割合の高い「陶磁器」を見ると、「⑤商業地域」(23.3%)が高く、「③戸建住宅の多い地域(戸別収集を除く)」(11.6%)が低かった。

「燃やすごみ」は、「⑤商業地域」(6.8%)が高く、「①家族向け集合住宅の多い地域」(0.6%)が低かった。

「プラスチック製品」は、「③戸建住宅の多い地域(戸別収集を除く)」(4.9%)が高く、「①家族向け集合住宅の多い地域」と「⑤商業地域」(2.3%)が低かった。

全ての地域で、「プラスチック製容器包装」は1.6%以下と低かった。

図表 4-11 地域特性別の陶器・ガラス・金属ごみの組成(大分類・中分類)

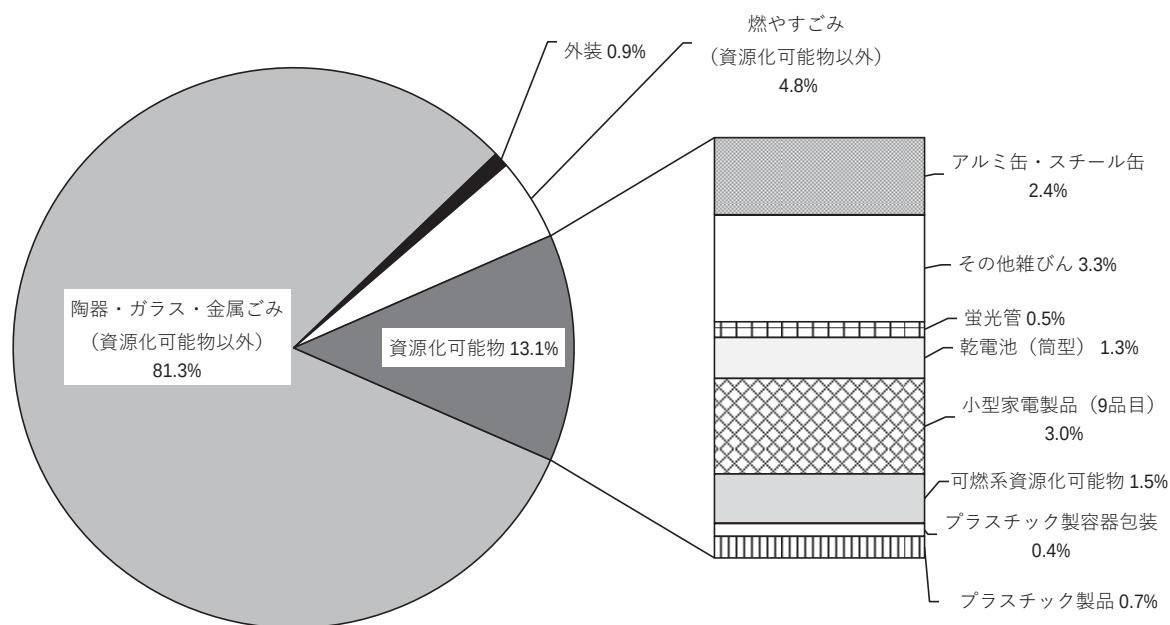
大分類	中分類	①家族向け 集合住宅の 多い地域	②単身者向 け集合住宅 の多い地域	③戸建住宅 の多い地域 (戸別収集を 除く)	④戸建住宅 の多い地域 の戸別収集	⑤商業地域	全体
燃やすごみ	厨芥類	0.0%		0.3%	0.1%	0.1%	0.1%
	紙類	紙類(容器包装)	0.2%	0.4%	0.7%	0.6%	0.3%
		紙類(容器包装以外)	0.1%	0.3%	0.2%	2.8%	0.5%
		その他紙類(リサイクル不適な紙類)		0.0%	0.2%		0.0%
	剪定枝・落ち葉	0.2%		0.2%	0.3%	1.0%	0.4%
	繊維類			0.5%	0.6%	0.5%	0.3%
	紙おむつ類						
	汚れのあるプラスチック製容器包装	0.1%	0.1%	0.9%	0.4%	0.0%	0.3%
	その他可燃物	0.0%	1.2%	2.5%	1.1%	4.3%	1.9%
	ペットボトル		1.6%	0.3%	0.0%		0.3%
プラスチック製容器包装	プラスチック製容器包装(ペットボトル以外)				0.4%	0.0%	0.1%
プラスチック製品	100%プラスチック製品	0.4%	0.8%	1.0%	1.4%	0.0%	0.7%
	金属等混合プラスチック製品	1.9%	1.6%	3.9%	1.5%	1.3%	1.9%
	30cmオーバー					0.9%	0.2%
陶器・ガラス・金属ごみ	陶磁器	22.1%	19.6%	11.6%	19.3%	23.3%	19.9%
	金属類	アルミ缶・スチール缶	0.9%	3.5%	4.9%	3.2%	0.9%
		その他の金属容器・製品	23.2%	21.8%	19.2%	18.3%	14.2%
	びん	リターナブルびん					
		その他雑びん	3.0%	2.7%	4.5%	5.7%	1.5%
		薬品・化粧品等のびん	2.4%	2.7%	3.4%	4.2%	1.8%
	土砂・残土・灰・石類	0.6%	0.2%	0.3%	2.2%	1.2%	1.0%
	有害・危険物	11.6%	5.7%	11.0%	6.6%	6.8%	8.3%
	インクカートリッジ						
	小型家電製品(9品目)	3.5%	5.8%	1.7%	1.8%	2.3%	3.0%
	小型家電製品(9品目以外)	10.7%	12.6%	9.9%	14.4%	20.6%	14.2%
	医療系廃棄物						
	その他不燃物	18.5%	18.3%	22.1%	13.9%	17.5%	17.8%
ごみ排出時外装		0.7%	1.1%	0.7%	1.1%	0.7%	0.9%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
燃やすごみ		0.6%	2.0%	5.5%	6.0%	6.8%	4.2%
プラスチック製容器包装			1.6%	0.3%	0.4%	0.0%	0.4%
プラスチック製品		2.3%	2.4%	4.9%	2.9%	2.3%	2.8%
陶器・ガラス・金属ごみ		96.4%	92.8%	88.7%	89.7%	90.2%	91.8%
ごみ排出時外装		0.7%	1.1%	0.7%	1.1%	0.7%	0.9%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 資源化可能物・対象外品目の混入率

全体の陶器・ガラス・金属ごみへの資源化可能物（当該品目を集積所または拠点にて資源として回収しているもの）の混入率は **13.1%**、また、燃やすごみ（資源化可能物以外）の混入率は **4.8%**であった。資源化可能物の内訳は、「可燃系資源化可能物」が **1.5%**、「プラスチック製容器包装」が **0.4%**、「プラスチック製品」が **0.7%**、「不燃系資源化可能物」が **10.5%**であった。

更に「不燃系資源化可能物」の内訳をみると、「その他雑びん」（**3.3%**）、が最も高く、次いで「小型家電製品（9品目）」（**3.0%**）、「アルミ缶・スチール缶」（**2.4%**）となっている。

図表 4-12 陶器・ガラス・金属ごみの資源化可能物・対象外品目の混入率（全体）



図表 4-13 地域特性別の陶器・ガラス・金属ごみの資源化可能物・対象外品目の混入率

分類			①家族向け 集合住宅の 多い地域	②単身者向 け集合住宅 の多い地域	③戸建住宅 の多い地域 (戸別収集 を除く)	④戸建住宅 の多い地域 の戸別収集	⑤商業地域	全体
燃やすごみ(資源化可能物以外)			2.2%	3.0%	7.9%	3.4%	7.7%	4.8%
陶器・ガラス・金属ごみ(資源化可能物以外)			85.6%	79.7%	76.4%	78.4%	83.5%	81.3%
資源化 可能物	可燃系	段ボール	0.2%	0.3%	0.7%	0.1%	0.2%	0.3%
		紙パック		0.0%	0.0%		0.0%	0.0%
		紙製容器・包装		0.1%	0.1%	0.5%	0.1%	0.2%
		新聞紙・チラシ	0.0%	0.1%	0.2%	0.2%	0.3%	0.2%
		雑誌・書籍類				2.6%		0.5%
		雑がみ	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%
		オフィス系紙類		0.1%	0.0%		0.0%	0.0%
		繊維類			0.5%	0.6%	0.5%	0.3%
	プラスチック 製容器包装	ペットボトル		1.6%	0.3%	0.0%		0.3%
		プラスチック製容器包装(ペットボトル以外)				0.4%	0.0%	0.1%
	プラスチック 製品	100%プラスチック製品	0.4%	0.8%	1.0%	1.4%	0.0%	0.7%
	不燃系	アルミ缶・スチール缶	0.9%	3.5%	4.9%	3.2%	0.9%	2.4%
		リターナブルびん						
		その他雑びん	3.0%	2.7%	4.5%	5.7%	1.5%	3.3%
		蛍光管	0.5%	0.5%	0.7%		0.8%	0.5%
		乾電池(筒型)	3.0%	0.8%	0.5%	0.5%	1.2%	1.3%
		インクカートリッジ						
		小型家電製品(9品目)	3.5%	5.8%	1.7%	1.8%	2.3%	3.0%
ごみ排出時外装			0.7%	1.1%	0.7%	1.1%	0.7%	0.9%
合計			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

対象品目:陶器・ガラス・金属+ごみ排出時外装			86.3%	80.8%	77.1%	79.5%	84.3%	82.1%
資源化可能物			11.5%	16.2%	15.0%	17.1%	8.1%	13.1%
	可燃系資源化可能物		0.3%	0.6%	1.5%	4.0%	1.3%	1.5%
	プラスチック製容器包装			1.6%	0.3%	0.4%	0.0%	0.4%
	プラスチック製品		0.4%	0.8%	1.0%	1.4%	0.0%	0.7%
	不燃系資源化可能物		10.8%	13.2%	12.2%	11.2%	6.7%	10.5%
燃やすごみ(資源化可能物以外)			2.2%	3.0%	7.9%	3.4%	7.7%	4.8%
合計			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

4 食品ロスの調査結果

食品ロスとは、本来食べられるにもかかわらず捨てられてしまう食品のことである。本調査では、環境省の「家庭系食品ロスの発生状況の把握のためのごみ袋開封調査手順書」（令和元年5月版）に準じて、燃やすごみのうちの厨芥類を「A 調理くず」、「B 直接廃棄」、「C 食べ残し」に分類し、食品ロスに係る分析を行った。なお、野菜の皮を必要以上にむくなどの「過剰除去」については、「A 調理くず」に含まれるが、排出状況からは過剰かどうかの判断が困難である。よって下表では、「B 直接廃棄」、「C 食べ残し」のみを食品ロスとして集計する。

賞味期限は「おいしく食べることができる期限（おいしいめやす）」のことで、この期限を過ぎてもただちに食べられなくなるわけではない。一方、消費期限は「期限を過ぎたら食べない方がよい期限（安全の期限）」のことである。

(1) 食品ロスの調査結果

厨芥類は調査対象のごみ量 **1,990.72kg** のうち **34.3%** を占める **682.64kg** で、その内訳は、「A 調理くず」が **79.6%**、「B 直接廃棄」が **13.8%**、「C 食べ残し」が **6.6%** であった。「B 直接廃棄」をさらに細かく見ると、「B 1 直接廃棄（手つかず **100%** 残存）」が **8.5%**、「B 2 直接廃棄（手つかず **50%** 以上残存）」が **3.0%**、「B 3 直接廃棄（手つかず **50%** 未満残存）」が **2.3%** と分類され、これら B 1～B 3 及び「C 食べ残し」の合計（厨芥類の **20.4%**）は食品ロスに該当する。なお、B 1～B 3 は賞味・消費期限等によりさらに分類した。

地域特性別では、「②単身者向け集合住宅の多い地域」で「B 直接廃棄」と「C 食べ残し」の合計が厨芥類の **27.3%** を占めて他の地域より食品ロスの発生が高かった。

図表 4-14 食品ロスの調査結果

調査対象ごみ量	1,990.72
厨芥類の量(A+B+C)(kg)	682.46
厨芥類の割合	34.3%

分類		重量(kg)	割合
厨 芥 類	A 調理くず	543.08	79.6%
	食品ロス合計(B+C)	139.39	20.4%
	B 直接廃棄	94.32	13.8%
	B1 直接廃棄(手つかず100%残存)	58.29	8.5%
	①賞味期限・期限内	2.07	0.3%
	②賞味期限・期限切れ	19.93	2.9%
	③消費期限・期限内	0.06	0.0%
	④消費期限・期限切れ	12.04	1.8%
	表示なし	24.20	3.5%
	B2 直接廃棄(手つかず50%以上残存)	20.65	3.0%
	①賞味期限・期限内	1.46	0.2%
	②賞味期限・期限切れ	8.58	1.3%
	③消費期限・期限内	0.20	0.0%
	④消費期限・期限切れ	2.85	0.4%
	表示なし	7.55	1.1%
	B3 直接廃棄(手つかず50%未満残存)	15.38	2.3%
	①賞味期限・期限内	1.97	0.3%
	②賞味期限・期限切れ	5.38	0.8%
	③消費期限・期限内	0.25	0.0%
	④消費期限・期限切れ	2.11	0.3%
	表示なし	5.66	0.8%
	C 食べ残し	45.07	6.6%
		682.46	100.0%

※端数処理の関係上、小計と内訳の合計が一致しない場合がある。

図表 4-15 地域別の食品ロスの調査結果

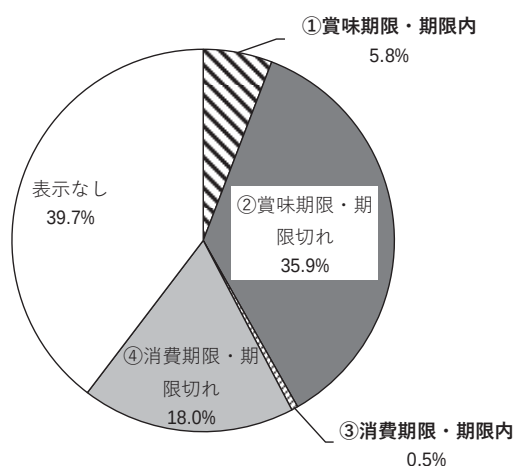
分類		①家族向け 集合住宅の 多い地域	②単身者向 け集合住宅 の多い地域	③戸建住宅 の多い地域 (戸別収集 を除く)	④戸建住宅 の多い地域 の戸別収集	⑤商業地域	全体
A 調理くず		80.7%	72.7%	82.3%	84.4%	75.0%	79.6%
食品ロス合計(B+C)		19.3%	27.3%	17.7%	15.6%	25.0%	20.4%
B	B1 直接廃棄(手つかず100%残存)	8.2%	11.8%	6.9%	6.6%	10.5%	8.5%
	B2 直接廃棄(手つかず50%以上残存)	1.9%	5.4%	3.3%	2.6%	2.7%	3.0%
	B3 直接廃棄(手つかず50%未満残存)	0.7%	4.3%	1.6%	2.9%	2.5%	2.3%
	C 食べ残し	8.4%	5.7%	5.9%	3.5%	9.3%	6.6%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 「B 直接廃棄」の賞味期限・消費期限による分類

「B 直接廃棄」を期限の有無・種類及びその経過状況により分類すると、最多は「表示なし」であったが、表示のあるものでは、「②賞味期限・期限切れ」が **35.9%**と最も高く、次いで、「④消費期限・期限切れ」が **18.0%**、「①賞味期限・期限内」が **5.8%**、「③消費期限・期限内」が **0.5%**の順であった。

よって、直接廃棄のうち、期限内に廃棄されたものは「①賞味期限・期限内」と「③消費期限・期限内」の合計の **6.3%**である。

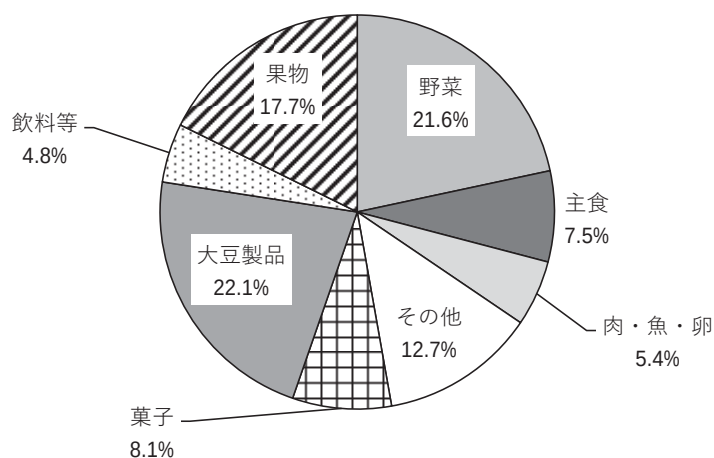
図表 4-16 直接廃棄の消費期限・賞味期限



(3) 「B 直接廃棄」の品目別割合

「B 直接廃棄」の品目は、大豆製品が **22.1%**で最も多く、次いで、野菜 **21.6%**、果物 **17.7%**などの順であった。

図表 4-17 直接廃棄の品目別割合



(4) 食品ロスの年間発生量の推計

食品ロスの割合（図表 4-14）に令和 5 年度の燃やすごみの年間実績量を乗じて試算したところ、燃やすごみのうち厨芥類は 17,503t、うち「A 調理くず」を除いた「食品ロス」は 3,575t と推計された。また、「B 1 直接廃棄(手つかず 100%残存)」の「賞味期限・期限内」は 53t と推計された。

令和 2 年度に区が開始したフードドライブ事業では、冷蔵が必要な食品や賞味期限 2 か月未満の食品は対象外のため、53t 全量が対象となるわけではないものの、フードドライブで利用できる食品が一定程度、ごみとして捨てられていると考えられる。

図表 4-18 食品ロスの年間発生量の推計

令和5年度 燃やすごみ量(t/年)	51,055
厨芥類の割合	34.3%
厨芥類の量(A+B+C)(kg)	17,503

分類		重量(t)	割合
厨芥類	A 調理くず	13,928	79.6%
	食品ロス合計(B+C)	3,575	20.4%
	B 直接廃棄	2,419	13.8%
	B1 直接廃棄(手つかず100%残存)	1,495	8.5%
	①賞味期限・期限内	53	0.3%
	②賞味期限・期限切れ	511	2.9%
	③消費期限・期限内	2	0.0%
	④消費期限・期限切れ	309	1.8%
	表示なし	621	3.5%
	B2 直接廃棄(手つかず50%以上残存)	529	3.0%
	①賞味期限・期限内	38	0.2%
	②賞味期限・期限切れ	220	1.3%
	③消費期限・期限内	5	0.0%
	④消費期限・期限切れ	73	0.4%
	表示なし	194	1.1%
	B3 直接廃棄(手つかず50%未満残存)	394	2.3%
	①賞味期限・期限内	51	0.3%
	②賞味期限・期限切れ	138	0.8%
	③消費期限・期限内	7	0.0%
	④消費期限・期限切れ	54	0.3%
	表示なし	145	0.8%
	C 食べ残し	1,156	6.6%
		17,503	100.0%

5 過去の調査結果との比較

(1) 燃やすごみ

①中分類による比較

本年度と令和5年度の調査結果を中分類ごとの割合で比較すると、増加したのは「紙類（容器包装）」（1.6 ポイント増）、「草木類」（1.6 ポイント増）などで、逆に減少したのは「汚れのあるプラスチック製容器包装」（1.9 ポイント減）、「厨芥類」（1.8 ポイント減）、「その他紙類（リサイクル不適な紙類）」（1.2 ポイント減）などであった。

図表 4-19 燃やすごみの中分類による組成比較

	平成29年度 調査	平成30年度 調査	平成31年度 調査	令和2年度 調査	令和3年度 調査	令和5年度 調査	本年度 調査
厨芥類	37.0%	39.1%	39.9%	34.1%	33.1%	36.1%	34.3%
紙類(容器包装)	7.2%	6.5%	6.7%	6.8%	7.2%	6.3%	7.9%
紙類(容器包装以外)	19.5%	17.0%	16.2%	20.8%	16.7%	7.6%	8.3%
その他紙類(リサイクル不適な紙類)						9.4%	8.2%
草木類	5.6%	7.3%	3.2%	3.3%	4.5%	1.4%	3.0%
繊維類	5.7%	5.7%	4.6%	5.2%	6.6%	5.6%	4.8%
紙おむつ類	6.1%	6.7%	6.9%	5.8%	7.8%	8.9%	8.4%
汚れのあるプラスチック製容器包装	1.6%	4.5%	4.9%	6.1%	0.3%	7.2%	5.3%
ゴム・皮革類	1.1%	1.0%	0.6%	2.8%	1.3%	8.5%	9.1%
その他可燃物	3.6%	3.9%	4.9%	4.4%	4.5%		
プラスチック製容器包装	8.0%	3.8%	6.0%	4.9%	11.3%	5.1%	4.9%
プラスチック製品	2.7%	2.3%	3.4%	3.1%	4.2%	1.8%	2.2%
陶器・ガラス・金属ごみ	1.4%	1.8%	1.8%	1.7%	1.7%	1.1%	1.8%
外装	0.6%	0.4%	0.9%	0.9%	0.8%	0.9%	1.6%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.1%	100.0%	100.0%	100.0%

②資源化可能物・対象外品目の混入率による比較

本年度と令和5年度の調査結果を資源化可能物及び対象外品目の混入率で比較すると、増加したのは「可燃系資源化可能物」（1.6 ポイント増）、「陶器・ガラス・金属ごみ（資源化可能物以外）」（0.5 ポイント増）、「不燃系資源化可能物」（0.1 ポイント増）で、減少したのは「プラスチック製容器包装」（0.2 ポイント減）であった。

図表 4-20 燃やすごみの資源化可能物・対象外品目の混入率比較

	平成29年度 調査	平成30年度 調査	平成31年度 調査	令和2年度 調査	令和3年度 調査	令和5年度 調査	本年度 調査
対象品目:燃やすごみ+ごみ排出時外装	66.0%	71.3%	71.4%	73.0%	64.8%	74.2%	70.3%
資源化可能物	32.9%	27.2%	27.5%	25.5%	33.8%	24.9%	28.3%
可燃系資源化可能物	24.6%	23.1%	20.8%	20.4%	22.2%	19.5%	21.1%
プラスチック製容器包装	8.0%	3.8%	6.0%	4.9%	11.3%	5.1%	4.9%
プラスチック製品	—	—	—	—	—	—	1.9%
不燃系資源化可能物	0.3%	0.3%	0.7%	0.2%	0.3%	0.3%	0.4%
陶器・ガラス・金属ごみ(資源化可能物以外)	1.1%	1.5%	1.1%	1.5%	1.4%	0.9%	1.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

③食品ロスの比較

食品ロスの割合で本年度と令和5年度の調査結果を比較すると、燃やすごみに占める割合では、「直接廃棄」が0.2ポイント減少、「食べ残し」が0.1ポイント減少し、合計0.3ポイントの食品ロスが減少した。

図表 4-21 燃やすごみの食品ロスの比較（燃やすごみ中の割合）

	令和2年度 調査	令和3年度 調査	令和5年度 調査	本年度 調査
調理くず	28.4%	27.9%	28.8%	27.3%
直接廃棄	3.7%	3.9%	4.9%	4.7%
食べ残し	2.0%	1.2%	2.4%	2.3%
合計(厨芥類)	34.1%	33.1%	36.1%	34.3%

図表 4-22 燃やすごみの食品ロスの比較（厨芥類中の割合）

		令和2年度 調査	令和3年度 調査	令和5年度 調査	本年度 調査
A 調理くず		83.2%	84.5%	79.7%	79.6%
食品ロス合計(B+C)		16.8%	15.5%	20.3%	20.4%
B	B1 直接廃棄(手つかず100%残存)	7.5%	6.5%	9.4%	8.5%
	B2 直接廃棄(手つかず50%以上残存)	1.9%	3.0%	3.4%	3.0%
	B3 直接廃棄(手つかず50%未満残存)	1.5%	2.4%	0.8%	2.3%
C 食べ残し		5.8%	3.6%	6.7%	6.6%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 陶器・ガラス・金属ごみ

①中分類による比較

本年度と令和5年度の調査結果を中分類ごとの割合で比較すると、増加したのは「陶磁器」（7.9ポイント増）などで、逆に減少したのは「金属製品」（5.5ポイント減）などであった。

図表 4-23 陶器・ガラス・金属ごみの中分類による組成比較

	平成29年度 調査	平成30年度 調査	平成31年度 調査	令和2年度 調査	令和3年度 調査	令和5年度 調査	本年度 調査
陶磁器	16.0%	19.0%	17.6%	11.1%	17.6%	12.0%	20.0%
金属類(容器包装) ※	3.6%	5.0%	2.8%	2.9%	2.6%	2.5%	2.2%
金属製調理用品	4.5%	5.2%	10.2%	9.2%	7.4%	24.8%	19.3%
その他金属製品	12.7%	16.3%	9.5%	16.8%	14.6%		
びん(容器包装)	7.7%	6.7%	5.1%	3.7%	6.1%	4.0%	5.2%
土砂・残土・灰・石類	2.4%	2.6%	2.1%	0.7%	4.2%	0.8%	0.6%
有害・危険物	8.5%	6.1%	9.3%	8.1%	7.3%	9.0%	8.7%
インクカートリッジ	0.7%	0.0%		0.1%	0.0%		
小型家電製品(9品目)	3.1%	2.3%	1.8%	2.1%	2.4%	1.9%	3.3%
小型家電製品(9品目以外)	11.0%	10.2%	12.6%	12.4%	8.7%	16.3%	14.1%
医療系廃棄物				0.0%			
その他不燃物	16.8%	15.4%	18.3%	21.6%	17.2%	20.0%	18.8%
燃やすごみ	10.5%	10.1%	9.2%	10.0%	9.6%	7.4%	6.5%
プラスチック製容器包装	2.3%	0.7%	0.8%	0.6%	1.3%	0.1%	0.4%
ごみ排出時外装	0.3%	0.5%	0.7%	0.7%	0.9%	1.2%	0.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

②資源化可能物・対象外品目の混入率による比較

本年度と令和5年度の調査結果を資源化可能物・対象外品目の混入率で比較すると、増加したのは「不燃系資源化可能物」（1.3ポイント増）、「可燃系資源化可能物」（0.4ポイント増）、「プラスチック製容器包装」（0.3ポイント増）で、減少したのは「燃やすごみ(資源化可能物以外）」（1.5ポイント減）であった。

図表 4-24 陶器・ガラス・金属ごみの資源化可能物・対象外品目の混入率比較

	平成29年度 調査	平成30年度 調査	平成31年度 調査	令和2年度 調査	令和3年度 調査	令和5年度 調査	本年度 調査
対象品目:陶器・ガラス・金属ごみ+ごみ排出時外装	68.0%	74.6%	74.6%	75.4%	73.7%	83.2%	82.1%
資源化可能物	23.0%	15.8%	17.5%	15.7%	17.8%	10.5%	13.1%
可燃系資源化可能物	1.4%	0.5%	1.3%	1.0%	1.1%	1.1%	1.5%
プラスチック製容器包装	2.3%	0.7%	0.8%	0.6%	1.3%	0.1%	0.4%
プラスチック製品	—	—	—	—	—	—	0.7%
不燃系資源化可能物	19.3%	14.6%	15.4%	14.0%	15.3%	9.2%	10.5%
燃やすごみ(資源化可能物以外)	9.1%	9.6%	7.9%	9.0%	8.5%	6.3%	4.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

第5章 排出原単位調査

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、一般廃棄物処理基本計画の改定及び今後の排出指導や新たなごみ減量施策を検討する基礎資料として、区内の家庭から排出されたごみの重量を調査し、1人1日当たりのごみ量（排出原単位）を把握することを目的に実施した。

(2) 対象地域及び調査日程

対象地域は燃やすごみの収集曜日別に、水曜・土曜地域から3か所、月曜・木曜地域及び火曜・金曜地域から各2か所を選んだ。また、住居形態に偏りがないように戸建住宅の多い地域から3か所、家族向け集合住宅、単身者向けアパート混在地域から各2か所を選定した。調査は6月22日～6月29日の間に行った。

図表 5-1 調査対象地域及び調査日程

月日	曜日	調査地点	地域特性
6月22日	土曜日	丸山1丁目	戸建住宅の多い地域
6月24日	月曜日	中央2丁目	家族向け集合住宅
6月25日	火曜日	新井2丁目	家族向け集合住宅
6月26日	水曜日	弥生町2丁目	単身者向けアパート混在地域
6月27日	木曜日	上高田1丁目	単身者向けアパート混在地域
6月28日	金曜日	白鷺3丁目	戸建住宅の多い地域
6月29日	土曜日	弥生町5丁目	戸建住宅の多い地域

(3) 調査方法

調査日前に調査セット（依頼文、調査ラベル）を対象地域に配布し、調査日に調査員が調査対象地域を巡回し、調査ラベルが貼ってあるごみ袋の重量を計量し、調査ラベルの記入内容（袋数、ラベルNo.、同居人数、前回燃やすごみを出した日）を記録した。

(4) 分析方法

調査結果を家族人数等別に、1人世帯、2人世帯、3人世帯、4人以上世帯に分けて集計し、区の属性別の人口を加味して加重平均することで、燃やすごみの平均的な排出原単位を推計した。

2 調査結果

(1) サンプル数

図表 5-2 は、家族人数別、地域種別のサンプル数で合計 740 世帯である。

図表 5-2 家族人数別、地域種別のサンプル数

世帯属性	戸建住宅の 多い地域	家族向け 集合住宅	単身者向け アパート混在 地域	全体
1人世帯	71	41	64	176
2人世帯	142	54	45	241
3人世帯	89	40	25	154
4人以上世帯	81	59	29	169
全体	383	194	163	740

(2) 調査結果

燃やすごみの排出原単位は平均で 348.6g/人日であった。地域特性別に見ると、戸建て住宅の多い地域では 379.2g/人日、家族向け集合住宅地域では 317.4g/人日、単身者向けアパート混在地域は 313.8g/人日となっている。

図表 5-4 は、前回の排出原単位調査結果である。

図表 5-3 属性別の燃やすごみの排出原単位（平均）

単位:g/人日

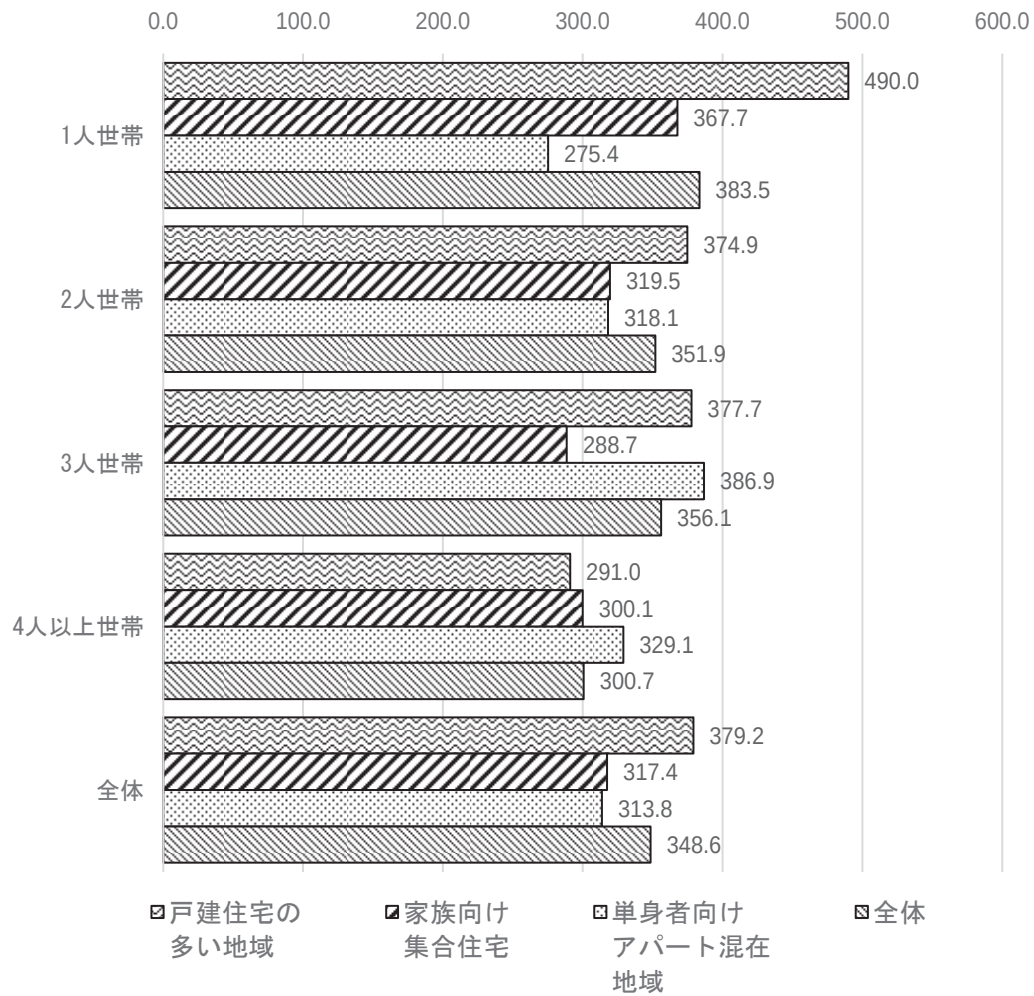
世帯属性	戸建住宅の 多い地域	家族向け 集合住宅	単身者向け アパート混在 地域	全体
1人世帯	490.0	367.7	275.4	383.5
2人世帯	374.9	319.5	318.1	351.9
3人世帯	377.7	288.7	386.9	356.1
4人以上世帯	291.0	300.1	329.1	300.7
全体	379.2	317.4	313.8	348.6

図表 5-4 （参考）令和元年度排出原単位調査

単位:g/人日

世帯属性	戸建住宅の 多い地域	家族向け 集合住宅	単身者向け アパート混在 地域	全体
1人世帯	354.1	343.0	334.9	342.2
2人世帯	345.6	293.8	370.2	326.3
3人世帯	342.9	337.2	290.4	334.4
4人以上世帯	278.3	254.7	274.9	260.1
全体	335.9	300.9	335.6	316.4

図表 5-5 属性別の燃やすごみの排出原単位（グラフ）



(3) 排出原単位の推計

調査で得られた家族人数等の燃やすごみの排出原単位と、令和2年国勢調査で得られた世帯人数別の人口割合から、家庭系の燃やすごみの排出原単位を推計した。

下表のとおり、全区拡大推計した燃やすごみ排出原単位は **354.6g/人日** となった。

図表 5-6 家庭系の燃やすごみの排出原単位の推計

世帯属性	人口割合※	排出原単位 (g/人日)
1人世帯	37.9%	383.5
2人世帯	24.6%	351.9
3人世帯	18.0%	356.1
4人以上世帯	19.5%	300.7
加重平均		354.6

※令和2年国勢調査

第6章 考察

1 家庭ごみと事業系ごみの推計

排出原単位調査で得た燃やすごみの排出原単位より、純家庭ごみ排出量（燃やすごみ、陶器・ガラス・金属ごみ）を推計した。さらに、ごみ組成分析調査から得た組成割合を乗じ、家庭ごみの品目別の量と割合を推計した。

また、令和6年度の推定区収集ごみ量から純家庭ごみ排出量を差し引き、区収集に排出されている事業系ごみ量を推計した。

(1) 令和6年度の収集ごみ量

令和5年度4-12月期、通年、及び令和6年度4-12月期のごみ量実績により、令和6年度の通年の燃やすごみ量と陶器・ガラス・金属ごみ量を推計した。

なお、陶器・ガラス・金属ごみは、前回令和元年度調査では清掃一組への搬入量（資源化したものを除いた量）を用いたが、今回の調査では収集量（排出量）を用いている。

〈計算式〉

令和6年度通年ごみ量＝

令和6年度4-12月期ごみ量÷令和5年度4-12月期ごみ量×令和5年度通年ごみ量

図表 6-1 令和6年度の通年収集ごみ量推計

	令和6年度	令和5年度		t/年
	4-12月 A	4-12月 B	通年 C	通年(推計) D=A÷B×C
燃やすごみ	38,248	38,717	51,055	50,437
陶器・ガラス・金属ごみ	1,122	1,221	1,605	1,475
合計	39,370	39,938	52,660	51,912

(2) 家庭ごみと事業系ごみの量推計

排出原単位調査で推計した燃やすごみの排出原単位（354.6g/人日）に、令和 6 年 10 月 1 日の中野区の人口 341,440 人を乗じて、家庭から排出される燃やすごみの量を 44,192t と推計した。

〈計算式〉

$$354.6 \text{ (g/人日)} \times 341,440 \text{ 人} \times 365 \text{ 日/年} \div 1,000,000 \text{ (g/t)} = 44,192\text{t/年}$$

次いで、令和 6 年度の燃やすごみ推計量（50,437t）から純家庭系の燃やすごみ推計量（44,192t）を差し引くことにより、事業系の燃やすごみ量は 6,245 t と推計された。

陶器・ガラス・金属ごみについては、家庭ごみと事業系ごみの割合が燃やすごみと同じと仮定し、令和 6 年度の陶器・ガラス・金属ごみ推計量（1,475t）に 87.6%を乗じて純家庭系の金属・陶器・ガラスごみ量（1,292t）を推計し、全体から家庭ごみ量を差し引いて事業系ごみ量（183t）を推計した。

図表 6-2 令和 6 年度の家庭・事業系収集ごみ量推計

	令和6年度 収集ごみ量 (注) A	家庭 ごみ量 B	事業系 ごみ量 C=A-B	家庭ごみ 割合 D=B÷A	事業系ごみ 割合 E=C÷A
燃やすごみ	50,437	44,192	6,245	87.6%	12.4%
陶器・ガラス・金属ごみ	1,475	1,292	183		
合 計	51,912	45,484	6,428		

(注)令和5年度および令和6年度4月～12月のごみ量からの令和6年度の推計値

(3) 品目別の家庭収集ごみ量

図表 6-2 で推計した家庭収集ごみ量に、組成分析調査で得られた細分類組成割合（p.106 図表 4-5、p.111 図表 4-10）を乗じ、家庭ごみの品目別ごみ量を推計した。同様に、図表 4-8（p.109）図表 4-13（p.114）を用いて、資源・対象外品目の量を推計した。推計結果を図表 6-3、図表 6-4 に示す。

図表 6-3 に見るように、品目別では生ごみが最も多く、調理くずが 12,056t、食品ロスが 3,095t（直接廃棄 2,094t、食べ残し 1,001t）排出されていると推定される。一方、図表 6-4 の下段に見るように、資源化可能物は合計で 12,659t がごみとして排出されていると推定される。

図表 6-3 家庭ごみの品目別の量（推計）

品目			燃やすごみ		陶器・ガラス・金属ごみ		合計		
			量(t/年)	割合	量(t/年)	割合	量(t/年)	割合	
燃やすごみ	厨芥類	調理くず	12,056	27.3%	0	0.0%	12,056	26.5%	
		直接廃棄	2,094	4.7%			2,094	4.6%	
		食べ残し	1,001	2.3%	1	0.1%	1,001	2.2%	
	紙類	包 容 装 器	段ボール	572	1.3%	3	0.3%	575	1.3%
			紙パック	521	1.2%	0	0.0%	521	1.1%
			紙製容器・包装	2,409	5.5%	2	0.2%	2,411	5.3%
		容 器 外 包 装 以	新聞紙・チラシ	899	2.0%	2	0.2%	901	2.0%
			雑誌・書籍類	735	1.7%	7	0.5%	742	1.6%
			雑がみ	1,642	3.7%	1	0.1%	1,643	3.6%
			オフィス系紙類	403	0.9%	0	0.0%	404	0.9%
		その他紙類(リサイクル不適な紙類)		3,641	8.2%	0	0.0%	3,642	8.0%
	剪定枝・落ち葉		1,339	3.0%	5	0.4%	1,344	3.0%	
	繊維類		2,138	4.8%	4	0.3%	2,142	4.7%	
	紙おむつ類		3,705	8.4%			3,705	8.1%	
	汚れのあるプラスチック製容器包装		2,350	5.3%	3	0.3%	2,354	5.2%	
	その他可燃物		4,034	9.1%	24	1.9%	4,059	8.9%	
プラスチック製容器包装	ペットボトル		448	1.0%	4	0.3%	452	1.0%	
	プラスチック製容器包装(ペットボトル以外)		1,705	3.9%	1	0.1%	1,706	3.8%	
プラスチック製品	100%プラスチック製品		836	1.9%	9	0.7%	844	1.9%	
	金属等混合プラスチック製品		145	0.3%	24	1.9%	170	0.4%	
	30cmオーバー				3	0.2%	3	0.0%	
陶器・ガラス・金属ごみ	陶磁器		45	0.1%	257	19.9%	302	0.7%	
	金 属	アルミ缶・スチール缶	49	0.1%	31	2.4%	80	0.2%	
		その他の金属容器・製品	98	0.2%	247	19.1%	346	0.8%	
	び ん	リターナブルびん							
		その他雑びん	95	0.2%	43	3.3%	138	0.3%	
		薬品・化粧品等のびん	35	0.1%	36	2.8%	71	0.2%	
	土砂・残土・灰・石類		264	0.6%	13	1.0%	277	0.6%	
	有 害 ・ 危 険 物	蛍光管			6	0.5%	6	0.0%	
		乾電池(筒型)	4	0.0%	16	1.3%	20	0.0%	
		乾電池(ボタン電池・二次電池)	7	0.0%	7	0.5%	14	0.0%	
		体温計・温度計			0	0.0%	0	0.0%	
		スプレー缶	81	0.2%	71	5.5%	152	0.3%	
		使い捨てライター	1	0.0%	7	0.5%	7	0.0%	
	インクカートリッジ		8	0.0%			8	0.0%	
	小型家電製品(9品目)		26	0.1%	39	3.0%	65	0.1%	
	小型家電製品(9品目以外)		45	0.1%	183	14.2%	227	0.5%	
医療系廃棄物		4	0.0%			4	0.0%		
その他不燃物		54	0.1%	230	17.8%	284	0.6%		
ごみ排出時外装	レジ袋		368	0.8%	4	0.3%	373	0.8%	
	プラスチック製の袋(レジ袋以外)		325	0.7%	4	0.3%	329	0.7%	
	その他		11	0.0%	3	0.2%	14	0.0%	
合 計			44,192	100.0%	1,292	100.0%	45,484	100.0%	

図表 6-4 家庭ごみの資源・対象外品目の量（推計）

品目			燃やすごみ		陶器・ガラス・金属ごみ		合計	
			量(t/年)	割合	量(t/年)	割合	量(t/年)	割合
燃やすごみ(資源化可能物以外)			30,364	68.7%	61	4.8%	30,426	66.9%
陶器・ガラス・金属ごみ(資源化可能物以外)			633	1.4%	1,050	81.3%	1,683	3.7%
資源化可能物	可燃系	段ボール	572	1.3%	3	0.3%	575	20.3%
		紙パック	521	1.2%	0	0.0%	521	1.1%
		紙製容器・包装	2,409	5.5%	2	0.2%	2,411	5.3%
		新聞紙・チラシ	899	2.0%	2	0.2%	901	2.0%
		雑誌・書籍類	735	1.7%	7	0.5%	742	1.6%
		雑がみ	1,642	3.7%	1	0.1%	1,643	3.6%
		オフィス系紙類	403	0.9%	0	0.0%	404	0.9%
		繊維類	2,138	4.8%	4	0.3%	2,142	4.7%
	プラスチック製容器包装	ペットボトル	448	1.0%	4	0.3%	452	1.0%
		プラスチック製容器包装(ペットボトル以外)	1,705	3.9%	1	0.1%	1,706	3.8%
	プラスチック製品	100%プラスチック製品	836	1.9%	9	0.7%	844	1.9%
	不燃系	アルミ缶・スチール缶	49	0.1%	31	2.4%	80	0.5%
		リターナブルびん						
		その他雑びん	95	0.2%	43	3.3%	138	0.3%
		蛍光管			6	0.5%	6	0.0%
		乾電池(筒型)	4	0.0%	16	1.3%	20	0.0%
		インクカートリッジ	8	0.0%			8	0.0%
		小型家電製品(9品目)	26	0.1%	39	3.0%	65	0.1%
ごみ排出時外装			705	1.6%	11	0.9%	716	1.6%
合 計			44,192	100.0%	1,292	100.0%	45,484	100.0%

対象品目			31,069	70.3%	1,061	82.1%	32,130	70.6%
	燃やすごみ＋外装		31,069	70.3%	—	—	31,069	68.3%
	陶器・ガラス・金属ごみ＋外装		—	—	1,061	82.1%	1,061	2.3%
資源・対象外品目			13,123	29.7%	231	17.9%	13,354	29.4%
	燃やすごみ(資源化可能物以外)		—	—	61	4.8%	61	0.1%
	陶器・ガラス・金属ごみ(資源化可能物以外)		633	1.4%	—	—	633	1.4%
	資源(小計)		12,490	28.3%	169	13.1%	12,659	27.8%
		可燃系資源化可能物	9,319	21.1%	20	1.5%	9,339	20.5%
		プラスチック製容器包装	2,153	4.9%	5	0.4%	2,158	4.7%
		プラスチック製品	836	1.9%	9	0.7%	844	1.9%
		不燃系資源化可能物	182	0.4%	136	10.5%	318	0.7%
合 計			44,192	100.0%	1,292	100.0%	45,484	100.0%

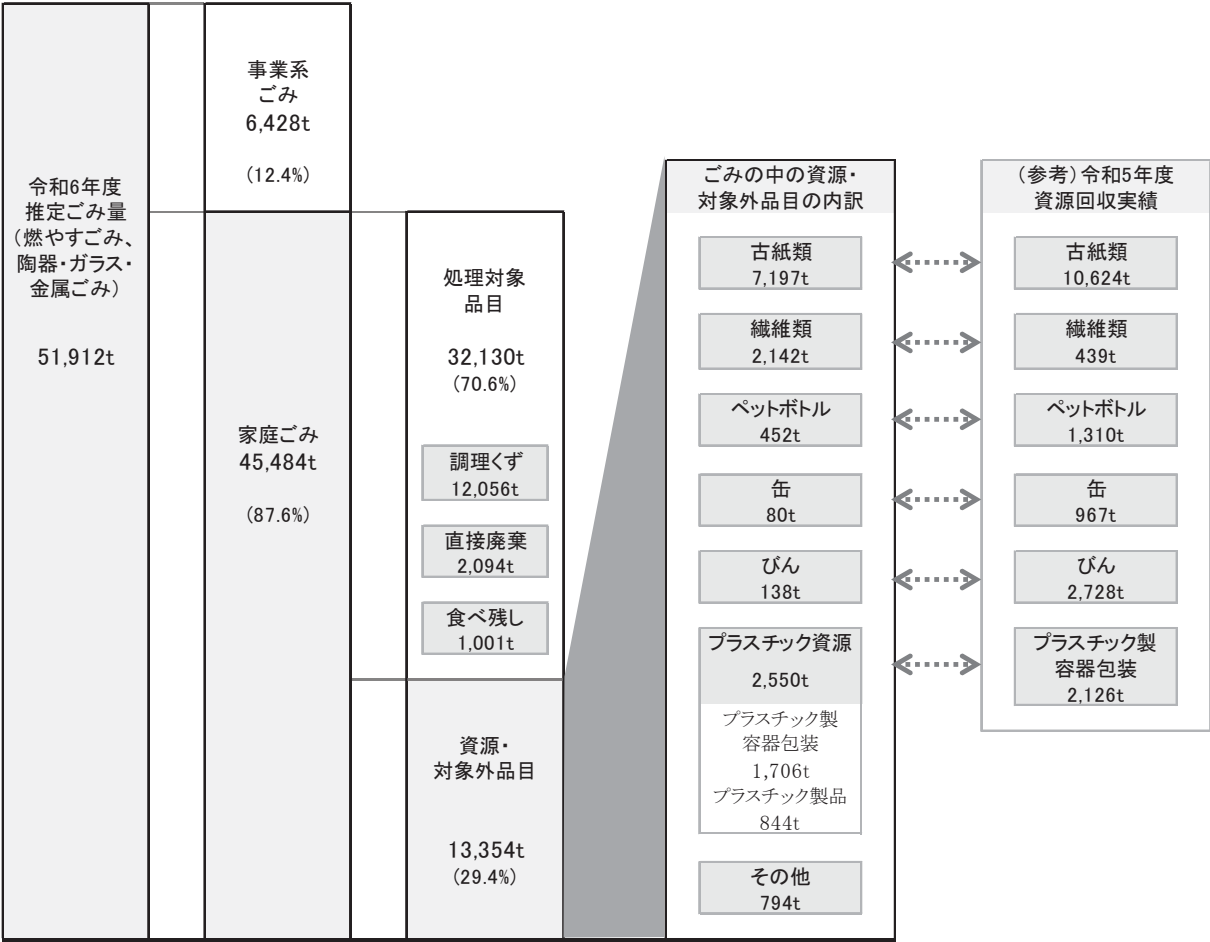
(4) ごみ排出構造推計のまとめ

前項(1)～(3)までの家庭ごみ量・事業系ごみ量の推計結果、及び家庭ごみの品目別内訳の推計結果の概要を、図表 6-5 にまとめた。

ごみの中の資源物の品目別推定量については、参考として、令和 5 年度の品目別資源回収実績（ステーション回収、拠点回収、集団回収）を付している。資源品目別の主な排出特性は以下のとおりである。

- ・ ごみの中の古紙類の量は推定 7,197t である。令和 5 年度の集団回収・拠点回収実績は 10,624t であるため、古紙全体の 4 割程度がごみに排出されていると推定される（販売店回収など把握されていない古紙リサイクル量は除く）。
- ・ 繊維類は、ごみの中に排出される量 2,142t に対し、令和 5 年度の集団回収・拠点回収実績は 439t であり、リサイクル促進の余地が大きい。
- ・ びん・缶・ペットボトルは、いずれも資源回収実績に対し、ごみとして排出される量は少量であり、分別の徹底がなされていると考えられる。
- ・ プラスチック製容器包装は、ごみに排出される量と資源として排出される量が半々程度と推定される。なお、プラスチック製品については令和 6 年度から回収開始で比較する回収実績値は無い。

図表 6-5 令和 6 年度のごみ排出構造の推定（概要）

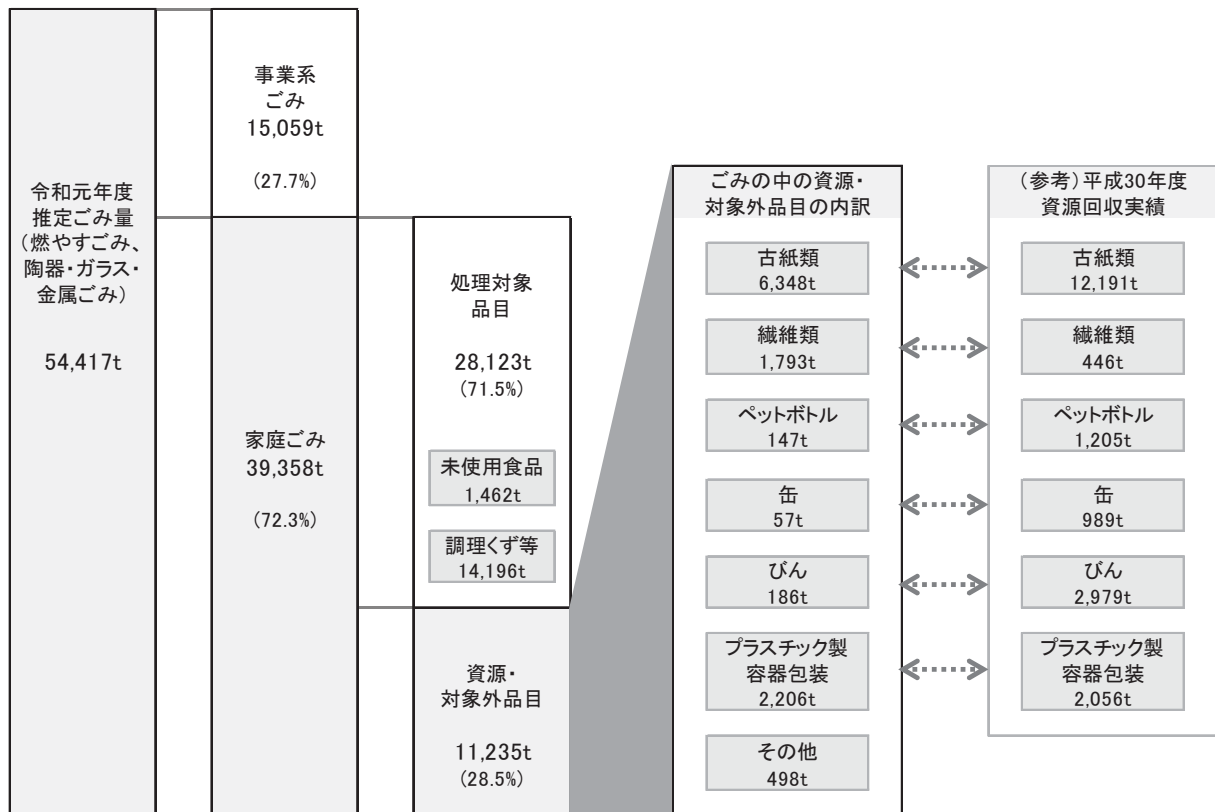


【令和元年度調査との比較】

前回の推定ごみ排出構造（図表 6-6）との比較結果を以下に整理する。

- ・ 純家庭ごみの推定排出量は、令和元年度 **39,358t** から令和 6 年度推定 **45,484t** へと増加している。これは、排出原単位調査にて純家庭系燃やすごみ排出原単位が令和元年度 **319.8g/人日** から令和 6 年度 **354.6g/人日** へと増加したこと、陶器・ガラス・金属ごみを清掃一組への搬入量ではなく収集量（排出量）で計上したこと、及び人口が令和元年度 **334,923 人** から令和 6 年度 **341,440 人** へと増加したことが影響している。
- ・ 事業系ごみは令和元年度 **15,059t** から令和 6 年度 **6,428t** へと大幅に減少している。事業系ごみは令和 2 年度にコロナ禍により大幅に落ち込み、その後回復傾向にあるものの、まだコロナ禍前の水準前回復していない状況があるものと考えられる。
- ・ 調理くずは令和元年度 **14,198t** から令和 6 年度 **12,056t** へと減少している。単身世帯の増加やデリバリー等中食の利用増加が要因として考えられる。
- ・ 資源・対象外品目は令和元年度 **11,235t** から **13,354t** へと増加している。古紙類（主に雑がみ）や繊維類の燃やすごみへの排出増が影響しているものと考えられる。

図表 6-6 （参考）ごみ排出構造の推定（前回令和元年度調査）



2 排出実態調査から得られた知見

(1) 家庭ごみの課題

①食品ロスの削減

厨芥類（生ごみ）はごみの中で最も大きな割合を占めているが、ごみ量自体が減少しているため、減少傾向にある。

食品ロスは消費・賞味期限切れや食べ残し等で発生し、組成分析調査からの推定では直接廃棄（消費・賞味期限切れ等によるもの）が **2,094t**、食べ残しが **1,001t** と推定される。

（p.130 図表 6-6）

区民アンケート調査からは、前回調査との比較で、まだ食べられる食品を廃棄する割合が増加傾向にあることが伺える（p.42 図表 2-48）。また、世帯人数別では4人以上のファミリー世帯で、「まだ食べられる食品を捨てたことがある」という回答が多くなっている。

（p.44 図表 2-51）

したがって、家庭内で食品ロス削減の行動を促すための PR 啓発として、ファミリー世帯をターゲットに、「食品を正しく管理して消費・賞味期限切れを防ぐ」「作りすぎを防ぐなどして食べ残しを減らす」ことなどを発信していく取り組みも有効と考えられる。

②資源プラスチックの分別促進

区民アンケート調査では、令和6年4月に開始した資源プラスチックの分別回収について、**35.8%**が「知らなかった」と回答している（p.31 図表 2-37）。プラスチックの分別ルール変更を「知らなかった」とする回答は、年齢別では30代、職業別では自営業、世帯人数別では単身世帯、居住形態別では持ち家以外の集合住宅に居住する世帯がそれぞれ高い傾向にあり（p.32 図表 2-38）、日々の暮らしの中で地域とのつながりが薄い層に情報が届いていない可能性が考えられる。

一方、資源プラスチックの分別開始については、区民アンケート調査で「分別で分からないもの・迷うものがある」との回答が**37.1%**あるものの、「プラスチック類の分別が楽になった」**26.1%**、「プラスチックが資源化されるので分別のしがいがある」**23.3%**と肯定的な評価がこれに続いている。（p.34 図表 2-40）

また、「分からないもの・迷うもの」の具体例としては、「素材がプラスチックかどうか見分けがつかないもの」「汚れが落ちない、落ちにくいもの」「アルミ蒸着のもの」「シールが貼付されているもの」がほぼ同割合で挙げられている。（p.37 図表 2-43）

今後とも資源プラスチックの分別方法について分かりやすく伝えるとともに、分別の意義（地球環境の保護など）を合わせて普及していくことが求められる。

③販売店回収の促進

区民アンケート調査では、スーパーマーケットに設置しているペットボトル自動回収機を 22.3%が「利用している」「たまに利用している」と回答しており（p.56 図表 2-63）、ペットボトル自動回収機の利用は一定程度定着していると言える。

一方、組成分析調査からごみに排出されるペットボトルは 452t と推定されており（p.130 図表 6-6）、前回令和元年度調査の推定 147 トンよりも増加している。

近年はコンビニエンスストアでも同様の回収機を設置する取り組みが進みつつあることも踏まえ、引き続き区の回収日以外でもペットボトルをごみに出さずに店頭回収できることを、区民に PR していくことが求められる。

④小型充電式電池の適正処理

小型充電式電池、特にリチウムイオン電池については、収集車両や不燃ごみ処理施設、さらには容器包装の再商品化施設においても火災や爆発等の事故が頻発しており、社会問題化している。今回の組成分析調査では、「陶器・ガラス・金属」中の二次電池の組成割合は 0.5%であったが、他に小型家電（組成割合 17.2%）の中に、小型充電式電池内蔵製品が含まれている場合もある（p.111 図表 4-10）。

さらに区民アンケート調査によると、小型充電式電池の処分方法は「電器店等のリサイクル協力店への持込」が 21.2%、次いで「リサイクル展示室、区役所 1 階の回収ボックスに出す」が 16.7%となっているが、「陶器・ガラス・金属ごみに出す」との回答も 15.7%あった（p.39 図表 2-45）。

こうした点を踏まえ、小型充電式電池の適正な回収・処理方法について周知・徹底を図るとともに、引き続きより安全な回収・処理方法について検討する必要がある。

⑤古紙の分別・リサイクル

組成分析調査によると、資源化可能な古紙類は燃やすごみの中の 16.2%を占め、年間で 7 千トン以上がごみとして排出されていると推定される。中でも多いのが「紙製容器・包装」（推定 2,411t）、「雑がみ」（同、1,643t）といったいわゆる雑がみ類である（p.128 図表 6-4）。

雑がみについては、区民アンケート調査でも分別の実施率は 48.6%にとどまっており、特に単身世帯での協力度が低くなっている。（p.17 図表 2-20、p.19 図表 2-22）

こうした層に向け、雑がみを中心とする分け方・出し方の認知をいかに高めていくかが引き続き課題である。

⑥区民への情報発信について

区民アンケート調査によると、ごみの分け方・出し方の情報源として最も多いのは、「資源とごみの出し方・分け方」（保存版）であり、74.4%が何らかの形で利用している（p.22 図表 2-25）。この比率は前回の調査よりも多くなっており、資源プラスチックの分別開始に伴う「資源とごみの分け方・出し方」冊子の全戸配布が影響しているものと考えられる。

また、年齢別に見ると、「区ホームページ」の参照は40代が43.3%と多く、「中野区ごみ分別アプリ」は20代が31.1%と多いことがわかる（p.25 図表 2-28）。

食品ロスの削減や雑がみ・資源プラスチックの分別促進など、多様な情報を区民に発信するには、引き続き「資源とごみの出し方・分け方」を中心的な媒体としつつ、情報を要望する区民、または知らない区民に着実に届けていくことが必要である。

例えば、「ごみ分別アプリ」といったICTを活用した情報提供は、タイムリーできめ細かな情報を届けやすい利点があるが、アプリの認知度は単身世帯では32.3%にとどまっている（p.30 図表 2-36）。スマートフォンを常用する若年単身層、アプリの利用にスマートフォンの学習が必要な単身高齢層など、単身世帯でも状況は様々であるため、例えば高齢層向け学習会を開催するなど、ターゲットを絞った普及策を検討することが求められる。

一方、地球規模の環境問題への社会的関心が高まるにつれ、「SDGs」や「脱炭素社会」といった用語への認識も着実に定着しつつある（p.13 図表 2-13）。

20代の若年層については、「SDGs」「3R」「脱炭素社会」は、最も「知っている」の割合が高く、特に「3R」は「知っている」割合が33.3%と他の年代よりも突出して高くなっている（p.15 図表 2-15～p.16 図表 2-18）。学校教育段階での環境教育の効果の現れと言える。

(2) 事業系ごみの課題

①廃棄物処理業者への委託の促進について

組成分析調査、排出原単位調査に基づく排出構造分析によると、区収集ごみに排出される事業系ごみは区収集ごみ量の12.4%、年間6,428tが排出されていると推定され、前回の調査と比較すると減少傾向にある（p.126 図表 6-2）。

令和2年からのコロナ禍の影響により、23区の事業系ごみは大幅に減少し、その後コロナ禍の収束とともに統計的には事業系ごみ（持込ごみ）は増加に転じているが、区収集に排出されるような小規模事業所からの事業系ごみは、まだコロナ禍前の水準まで戻っていないことが推察される。

事業所アンケート調査によるごみ排出量の分布を見ると、燃やすごみの週当たり排出量は「5kg未満」が最も多く41.7%であり、週当たり排出量30kg未満の範囲にある事業所の割合は89.7%である（p.72 図表 3-10）。

区では小規模事業所が区収集にごみを排出できる条件を、

- ・ 常時使用する従業者数の数が20人以下の事業者
- ・ 1日の平均ごみ排出量が50kg未満の事業者

のいずれかとしているが、事業所アンケート調査からは、この枠いっぱいにごみを排出する事業所は極めて少数と推察され、廃棄物処理業者への委託を促進する観点から、区収集に排出できる条件の見直しも引き続き検討課題となるものと考えられる。

②事業系ごみの削減

事業所アンケート調査によると、事業所のごみを減らす余地があるかどうかについて、**33.3%**が「ある」と回答している（p.88 図表 3-29）。業種別では「飲食店」「医療・福祉業」が「減らせると思う」という回答が**40%**を超え、他の業種よりも多くなっており、従業者規模別では、従業者数**10**人以上と多くなると、「減らせると思う」と回答する割合が高くなっている（p.89 図表 3-31）。

従業員数**10**人以上の事業所については、ごみ減量にもある程度組織的な対応を求められることから、後述するようにごみ減量に向けたさまざまな情報のニーズも高い傾向にある。

③食品ロスの削減

飲食店をはじめとする食品関連事業所での食品ロスの削減については、事業所アンケート調査によると「食品ロス量の把握」**47.9%**、「あまりものをまかない料理等で活用」**39.6%**、「小容量販売、小盛サービスの推進」**31.3%**など、一定程度取り組まれている（p.97 図表 3-42）。また、「なかの☆もったいない ぱくぱくパートナーズ」といった協力店事業についても、ある程度関心を寄せる回答が得られている（p.98 図表 3-43）。

他方、区民側の意識を見ると、「ぱくぱくパートナーズ」については、**62.9%**が「よい取り組みだと思う」と評価し、**9.1%**が「積極的に利用したい」と回答している（p.48 図表 2-55）。

区では令和**5**年**3**月に「中野区食品ロス削減推進計画」を策定し、食品ロス削減目標を設定の上、各種取り組みを進めているところであるが、フードシェアリングサービスなど民間のサービス事業も活発化しつつあることを踏まえ、引き続き区民、事業者双方への効果的な働きかけが必要である。

④事業所に向けた情報提供・普及啓発

事業者アンケート調査によると、ごみ減量・リサイクルを進める上で必要な情報・支援について、従業者数**20**人以上の事業所で「ごみ減量マニュアルの提供」「法律や条例等の規則に関する情報提供」「収集業者処理業者に関する情報提供」「先進的な取り組みの事例紹介」といった、多様な情報を求める割合が高くなっている（p.94 図表 3-38）。

飲食店における生ごみ、オフィス系の事務所における紙類など、ごみ減量等に関する情報提供方法を検討したり、直接指導したりするなど、より積極的な対応の工夫が求められる。

令和 6 年度 中野区一般廃棄物処理基本計画改定に伴う基礎調査業務委託

受託者：有限会社 循環資源・環境ビジョン研究所

令和 7（2025）年 3 月
